
2021年に出た本

この欄には、2021年1月から12月までに刊行された新刊書を掲載しています。

ジーザス・イン・ディズニールランド

ポストモダンの宗教、消費主義、テクノロジー
D.ライアン著 大畑 凜 小泉 空 芳賀達彦 渡辺翔平訳
ディズニールランドに象徴されるポストモダンの情報・技術・消費社会における宗教的営為のメカニズムを分析。監視社会論の泰斗による異色作。

46判 336頁 本体3500円 2021年
978-4-400-40753-9

ヒップホップ・アナムネーシス

ラップ・ミュージックの救済
山下壮起・二木 信編

ギャングスタ・ラップの宗教性を論じた衝撃作『ヒップホップ・レザレクション』。その議論を引き継ぐかつてないヒップホップ・アンソロジー。

A5変型判 264頁 本体2500円 2021年
978-4-400-31092-1

カール・バルト研究

絶対的逆説を指さす神学
宇都宮輝夫著

聖書解釈学、弁証法、アナログアを通してバルト神学の本質に迫り、神学史家としてのバルトの慧眼も明らかにする。半世紀に及ぶ研究の総決算。

A5判 314頁 本体3600円 2021年
978-4-400-31093-8

神の恵みの水路

現代に問いかける「ローマの信徒への手紙」
佐々木栄悦著

福島ので東日本大震災に遭遇した著者が、パウロの語ろうとした福音を全身で受けとめ、ローマ書の16の各章の主題にそって平易に解き明かす。

B6判 152頁 本体1300円 2021年
978-4-400-52129-7

山上の説教を生きる

八福の教えと平和創造

J.ディア著 志村 真訳

平和活動家でカトリック司祭である著者が、「辛いだ」というイエスの言葉を平和創造に「立ち上がって前進せよ!」と大胆に読み替える。

46判 216頁 本体1900円 2021年
978-4-400-40754-6

ゴスペルジャーニー

君に贈る5つの話

宮平 望著

キリスト教の福音(ゴスペル)の、ヘレニズムの背景をさぐる尚友の旅路(ジャーニー)。著者の人気シリーズ第5弾。

B6判 143頁 本体1200円 2021年
978-4-400-51756-6

神の言葉と契約

出エジプト記19章—24章の研究

大野恵正著

モーセ五書の中心問題(神顕現、十戒、契約の書、そして神と民の契約)を記す基層資料が、現在の形に整えられた消息を明らかにした労作。

A5判 531頁 本体5500円 2021年
978-4-400-12795-6

逢坂元吉郎

鶴沼裕子著

日本キリスト教史上に異彩を放つ牧師・神学者、逢坂元吉郎(1880-1945)。その生涯と思想を、半世紀に及ぶ研究の成果を基に書き下ろした意欲作。

46判 238頁 本体2200円 2021年
978-4-400-21329-1

正教の道

キリスト教正統の信仰と生き方

主教カリストス・ウエア著 松島雄一訳

正教の教えを簡潔に説き、その霊性の広さと深さを具体的に伝える。正教会の全体像を知る上で今や古典的定番となった書籍の待望の邦訳。

46判 272頁 本体2300円 2021年
978-4-400-32118-7

組織神学 第三巻

W.パネンベルク著 佐々木勝彦訳

主著の第三巻は、霊に関する教理の中で教会論を徹底的に詳論、展開し、終末論的でもって全体を締めくくる。

A5判 888頁 本体12000円 2021年
978-4-400-31040-2

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
 〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

100年前のパンデミック

日本のキリスト教はスペイン風邪とどう向き合ったか
 富坂キリスト教センター編

各教派や学校の機関紙誌、また教界指導者の日記を徹底的に読み込み、当時のキリスト者や教会の考え方と取り組みを探究した共同研究。

A5判 191頁 本体1500円 2021年
 978-4-400-21330-7

テモテ・テトス・フィレモン書

〈カルヴァン新約聖書註解〉12

J. カルヴァン著 堀江知己訳

いずれも1550年前後に書かれた、牧会書簡（テモテI・II、テトス）およびフィレモン書の4つの註解を収める。

A5判 338頁 本体4300円 2021年
 978-4-400-12797-0

テモテ・テトス・フィレモン書

〈カルヴァン新約聖書註解〉12 [上製函入版]

J. カルヴァン著 堀江知己訳

牧会書簡（テモテI・II、テトス）およびフィレモン書の4つの註解を収める。[上製函入版]を、限定100部制作。

A5判 338頁 本体5800円 2021年
 978-4-400-12798-7

目はかすまず気力は失せず

講演・論考・説教

関田寛雄著

93歳になる著者を牧会者・説教者・神学者として生かす福音の核心とは何か。40余年の間に語られた47編の講演・論考・説教を収録。

46判 320頁 本体2000円 2021年
 978-4-400-51765-8

遺跡が語る聖書の世界

長谷川修一著

聖書考古学の第一人者が、古代の人々の暮らしと社会をめぐる興味尽きないテーマを楽しく解説。『福音と世界』好評連載の単行本化。

46判 300頁 本体2100円 2021年
 978-4-400-21331-4

アナキズムとキリスト教

J. エリユール著 新教出版社編集部訳

キリスト教に内在するアナーキーなポテンシャルを覚醒させる。鋭利な技術社会批判で知られるキリスト教知識人の晩年の重要作。

46判 220頁 本体2500円 2021年
 978-4-400-40755-3

ローマの信徒への手紙 下巻

原口尚彰著

邦人の手による久々のローマ書本格注解の下巻。ローマ書を、ディアスポラ書簡の文脈に置き直し、修辞学的＝書簡論的な分析を施す。

A5判 240頁 本体4600円 2021年
 978-4-400-11183-2

ユダよ、帰れ

コロナの時代に聖書を読む

奥田知志著

人間を分断し孤立させ、弱者を排除する社会に対して、著者は、聖書の深い読みと長年の実践に裏付けられた洞察をもって、福音を大胆に対置する。

46判 268頁 本体1800円 2021年
 978-4-400-51766-5

聖書と農

自然界の中の人の生き方を見直す

三浦永光著

神と被造世界との関係に思いを馳せ、聖書が示す「農」の思想とは何かを探る。また内村鑑三をはじめとする信仰の先達に学ぶ。

46判 203頁 本体1500円 2021年
 978-4-400-40756-0

ヴェーバーとフランクリン

神と富と公共善

梅津順一著

ヴェーバーが「資本主義の精神」を体現する人物として評価したフランクリン。彼の生涯と行動を分析し、初期資本主義を支えた人間像を探る。

46判 456頁 本体4500円 2021年
 978-4-400-42728-5

教会政治の神学

改革派の教会政治原理とは【大森講座 35】

吉岡契典著

神学的考察の主題として考えられることが少なかった〈教会政治〉。その理由を神学史的に探り、長老主義教会政治に新たな光を当てる。

46判 101頁 本体1000円 2021年
 978-4-400-31709-8

福音と世界

毎月1日発行。1952年4月創刊以来、半世紀以上にわたり、神学・教会と世界の諸問題を集積形式で論じてきた。批判的精神に立ち、キリスト教の信仰と教会的伝統とを絶えず内側から問い直すキリスト教神学論壇誌。

A5判 80頁 税込660円

〈2021年 特集一覧〉

- 1月号 教育はいま——「知」の構造を問う
- 2月号 惑星の蜂起
- 3月号 死刑なき世界へ
- 4月号 監獄という問題
- 5月号 スピリチュアリティ——社会との交渉
- 6月号 「死」をいかに語りうるか
- 7月号 精神と権力
- 8月号 生きるためのフェミニズム2——何に抗するか
- 9月号 技術との対話
- 10月号 身体（からだ）再考
- 11月号 黒人神学との再会
- 12月号 クィア神学は何をするのか



〈2021年 連載一覧〉

- 福音のフラグメント／有住航（1月号～）
- 霊性のエコロジー あるいはアニマ＝マテリア
／村澤真保呂（1月号～）
- 古代イスラエル文学史序説
／勝村弘也（3月号～）
- 間隙を思考する 非同時代性のために
／田崎英明（4月号～）
- アジアの草の根 平和の証し人 一步、また一步
／宇井志緒利（9月号～）
- いまを生きるみことば／金迅野
- I Say a Little Prayer 開かれる世界
／栗田隆子
- レヴィナスの時間論／内田樹（～2月号）
- バビロンの路上で Conjecture of a Son of a Preacher Man
／マニユエル・ヤン（～3月号）
- くまさんのシネマめぐり
／好井裕明（～12月号）
- 新約釈義 第二テモテ書
／辻 学（～12月号）

表紙の絵 八木美穂子

シリーズ類の内容

【ウェスレー著作集】全7巻

- 1 新約注解 上 品切
- 2 新約注解 下 3500 円
- 3 説教 上 品切
- 4 説教 中 2900 円
- 5 説教 下 2900 円
- 6 神学論文 上 品切
- 7 神学論文 下 品切

【植村環著作集】全3巻

- 1 神の約束によりて 品切
- 2 主は生きておられる 品切
- 3 私の歩んだ道 2800 円

【植村正久記念講座】

- 1 植村正久の福音理解 1000 円
- 2 神の栄光の神学 1800 円
- 3 改革神学の展望 1800 円

【植村正久著作集】全7巻

- 1 時代思潮 →〈オ〉4600 円
- 2 時事評論 →〈オ〉4600 円
- 3 文学 →〈オ〉4600 円
- 4 神学思想 →〈オ〉4600 円
- 5 信仰と生活 →〈オ〉4600 円
- 6 教会と伝道 →〈オ〉4600 円
- 7 説教 →〈オ〉4600 円

【大森講座】

- 1 しるしの福音書 800 円
- 2 改革派教会の礼拝 品切
- 3 子どもの神学 品切
- 4 預言者と政治 800 円
- 5 改革主義信仰告白と説教 品切
- 6 カール・バルトにおける神認識の特徴 品切
- 7 長老制とは何か 品切
- 8 現代の教会と信仰告白 品切
- 9 あなたはむさぼってはならない 1000 円
- 10 神の言としてのコヘレト 1000 円
- 11 ブツァーとカルヴァン 1300 円
- 12 ヨハネとパウロ 1000 円
- 13 アタナシオスの救済論 品切

- 14 もう一つの召命物語 1000 円
- 15 改革教会における霊性 品切
- 16 カルヴァンからアミローへ 1000 円
- 17 カール・バルト「和解論」における復活 1000 円
- 18 宣教する教会の説教 品切
- 19 新約聖書における模範 850 円
- 20 ジョン・マクラウド・キャンベルの贖罪論 900 円
- 21 主の祈りと山上の説教 900 円
- 22 カルヴァンの神学と霊性 1000 円
- 23 プロテスタント・スコラ神学の再考察 1100 円
- 24 近代韓国における大復興運動の歴史的展開 1100 円
- 25 栄光のキリスト 1000 円
- 26 は未刊
- 27 信仰告白と教会 1000 円
- 28 キリスト者は何を信じているのか 1000 円
- 29 ポスト・フクシマの神学とフォーサイスの贖罪論 1300 円
- 33 バルト神学とオランダ改革派教会 1100 円
- 35 教会政治の神学 1000 円

【岡村民子著作集】全5巻

- 1 信仰的甘えの構造 4000 円
- 2 正典としての聖書 4000 円
- 3 聖書解釈試論 4000 円
- 4 旧約聖書概論 4000 円
- 5 対話としての正典 4000 円

【カール・バルト著作集】全18巻

(*印=新教セミナーブック)

- 1 教義学論文集 上 品切
- 2 教義学論文集 中 4500 円
- 3 教義学論文集 下 6700 円
- 4 神学史論文集 5000 円
- 5 倫理学論文集 品切
- 6 政治・社会問題論文集 上 品切
- 7 政治・社会問題論文集 下 品切
- 8 知解を求める信仰*・われ信ず* 品切
- 9 神認識と神奉仕*・教会の信仰告白*・キリスト教の教理* 品切
- 10 教義学要綱*・福音主義神学入門* 品切

- 11 19世紀のプロテスタント神学 上 3000 円
- 12 19世紀のプロテスタント神学 中 5000 円
- 13 19世紀のプロテスタント神学 下 5000 円
- 14 ローマ書 →〈オ〉7600 円
- 15 死人の復活*・ビリビ書注解*・ローマ書新解* 品切
- 16 説教 上 品切
- 17 説教 下 品切
- 18 書簡・総索引・年譜 未刊(中止)

【カール・バルト教会教義学】

- 神の言葉 I /1 教義学序説 →〈オ〉9500 円
- 神の言葉 I /2 神の啓示(上)三位一体の神 →〈オ〉8500 円
- 神の言葉 II /1 神の啓示(中)言葉の受肉 →〈オ〉9500 円
- 神の言葉 II /2 神の啓示(下)聖霊の注ぎ →〈オ〉10000 円
- 神の言葉 II /3 聖書 →〈オ〉8800 円
- 神の言葉 II /4 教会の宣教 →〈オ〉8000 円
- 神論 I /1 神の認識 →〈オ〉8300 円
- 神論 I /2 神の現実(上) →〈オ〉7200 円
- 神論 I /3 神の現実(下) →〈オ〉8300 円
- 神論 II /1 神の恵みの選び(上) →〈オ〉9100 円
- 神論 II /2 神の恵みの選び(下) →〈オ〉7400 円
- 神論 II /3 神の誠め →〈オ〉9200 円
- 創造論 I /1 創造の業(上) →〈オ〉9600 円
- 創造論 I /2 創造の業(下) →〈オ〉4700 円
- 創造論 II /1 造られたもの(上) →〈オ〉7800 円
- 創造論 II /2 造られたもの(中) →〈オ〉8700 円
- 創造論 II /3 造られたもの(下) →〈オ〉8400 円
- 創造論 III /1 創造者とその被造物(上) →〈オ〉9000 円
- 創造論 III /2 創造者とその被造物(下) →〈オ〉8600 円
- 創造論 IV /1 創造者なる神の誠め I →〈オ〉5000 円
- 創造論 IV /2 創造者なる神の誠め II →〈オ〉7700 円
- 創造論 IV /3 創造者なる神の誠め III →〈オ〉8500 円
- 創造論 IV /4 創造者なる神の誠め IV →〈オ〉5500 円
- 和解論 I /1 和解論の対象と問題 →〈オ〉5400 円

- 和解論 I /2 僕としての主イエス・キリスト(上) →〈オ〉7300 円
- 和解論 I /3 僕としての主イエス・キリスト(中) →〈オ〉9500 円
- 和解論 I /4 僕としての主イエス・キリスト(下) →〈オ〉6000 円
- 和解論 II /1 主としての僕イエス・キリスト(上1) →〈オ〉7800 円
- 和解論 II /2 主としての僕イエス・キリスト(上2) →〈オ〉8500 円
- 和解論 II /3 主としての僕イエス・キリスト(中) →〈オ〉8800 円
- 和解論 II /4 主としての僕イエス・キリスト(下) →〈オ〉9400 円
- 和解論 III /1 真の証人イエス・キリスト(上1) →〈オ〉8600 円
- 和解論 III /2 真の証人イエス・キリスト(上2) →〈オ〉5200 円
- 和解論 III /3 真の証人イエス・キリスト(中) →〈オ〉9500 円
- 和解論 III /4 真の証人イエス・キリスト(下) →〈オ〉9500 円
- 和解論 IV 〈断片〉 →〈オ〉9000 円
- 別巻 キリスト教的生 I →〈オ〉8800 円
- 別巻 キリスト教的生 II →〈オ〉9000 円

【カルヴァン・キリスト教綱要 改訳版】

全3冊

- 第1篇・第2篇 4500 円
- 第3篇 4500 円
- 第4篇 4500 円

【カルヴァン旧約聖書註解】全6巻

- 創世記 I 1~23章 →〈オ〉4600 円
- 創世記 II 24~50章 4500 円
- 詩篇 I 1~37篇 →〈オ〉5300 円
- 詩篇 II 38~74篇 →〈オ〉4600 円
- 詩篇 III 75~106篇 →〈オ〉4600 円
- 詩篇 IV 107~150篇 →〈オ〉4700 円

【カルヴァン新約聖書註解】全14巻

- 1 共観福音書 上 →〈オ〉5300 円
- 2 共観福音書 下 未刊
- 3 ヨハネ福音書 上 →〈オ〉3900 円
- 4 ヨハネ福音書 下 →〈オ〉4200 円
- 5 使徒行伝 上 →〈オ〉4700 円
- 6 使徒行伝 下 →〈オ〉4400 円
- 7 ローマ書 →〈オ〉4900 円

- 8 コリント前書 →〈オ〉4700円
 9 コリント後書 →〈オ〉4510円
 10 ガラテヤ・エペソ書 →〈オ〉3600円
 11 ビリビ・コロサイ・テサロニケ書 →〈オ〉3800円
 12 テモテ・テトス・フィレモン書 4300円／5800円（上製）
 13 ヘブル・ヤコブ書 →〈オ〉3800円
 14 ペテロ・ユダ書・ヨハネ書簡 →〈オ〉4000円

【教会と宣教双書】

- 1 説教と牧会 →〈新セ〉1900円
 2 共に生きる生活 →改訳新版 →ハンディ版 1600円
 3 教会の本質 →〈新セ〉1600円
 4 説教の本質と実際 品切
 5 教会の改革的形成 品切
 6 教会 品切
 7 集められた共同体 品切
 8 他者のための教会 2200円
 9 日本キリスト教団教会論 品切
 10 改革主義信条の神学 品切
 11 使命に生きる教会の建設 品切
 12 現代の宣教と聖書解釈 1800円
 13 派遣される教会 品切
 14 改革派教会の伝統 品切
 15 地上を旅する神の民 →〈新セ〉2500円
 16 現代の宣教と伝道 1553円

【熊野義孝著作集】全12巻＋別巻2巻

- 1 聖書講解 上 品切
 2 聖書講解 下 5000円
 3 聖書神学 品切
 4 神学議論 品切
 5 終末論・キリスト論・教会論 品切
 6 キリスト教本質論 品切
 7 教義学 上 →〈オ〉8100円
 8 教義学 下 →〈オ〉6900円
 9 教会と文化 品切
 10 歴史と現代 上 品切
 11 歴史と現代 下 品切
 12 日本のキリスト教 品切
 別巻Ⅰ 神学論 4800円
 別巻Ⅱ 信仰論 4800円

【現代神学双書】

- 1 ナザレのイエス 3200円

- 2 信徒の神学 →〈オ〉3200円
 3 宣教の神学 品切
 4 カルヴァンの神学 →〈オ〉4600円
 5 教義学要綱 →〈新セ〉品切
 6 危機に生きる信仰 品切
 7 原始キリスト教 品切
 8 キリストとキリスト者 品切
 9 キリスト教の神 品切
 10 聖書（ドッド） 品切
 11 ローマ書新解 →〈新セ〉2400円
 12 人間 品切
 13 キリスト教倫理入門 品切
 14 神の痛みの神学 品切
 15 礼拝学概論 →〈新セ〉2500円
 16 真人の共同体 品切
 17 現代のイエス伝 品切
 18 福音主義神学入門 →〈新セ〉2200円
 19 戦争・平和・キリスト者 品切
 20 キリスト教信仰の本質 2000円
 21 古代キリスト教思想家 →〈オ〉3500円
 22 パウロ（ディベリウス） 品切
 23 ペテロ（クルマン） →〈オ〉5000円
 24 自由の要求 品切
 25 現代の神学と日本の宣教 品切
 26 苦難の僕 品切
 27 聖書のイエスと現代の思惟 品切
 28 時の中心 →〈オ〉5200円
 29 宗教改革史 →〈新セ〉→品切
 30 明日の社会と明日の教会 2500円
 31 聖書のキリストと実存 品切
 32 責任を負う自己 →〈オ〉3800円
 33 ドイツ教会闘争への道 品切
 34 新約聖書における教会像 →〈オ〉4600円
 35 希望の神学 →〈オ〉5800円
 36 世俗都市 3200円
 37 ルターと現代 品切
 38 実存と歴史 品切
 39 神の死の神学 品切
 40 使徒行伝と歴史 品切
 41 イエスの譬え →〈オ〉3000円
 42 世俗時代の人間 品切
 43 状況倫理 →〈オ〉3100円
 44 パウロ（ボルンカム） →品切
 45 日本の教会と信仰告白 品切
 46 パウロとイエス 品切
 47 キェルケゴールと現代の神学 品切
 48 キリストと歴史 品切
 49 キリスト教信仰の本質 2000円

- 50 洗礼について 品切
 51 神学の展望 品切
 52 新約思想の探究 品切
 53 日本の説教者たち →〈オ〉4300円
 54 共観福音書概説 品切
 55 イエス 品切
 56 初期キリスト教の思想的軌跡 →〈オ〉4200円
 57 20世紀のプロテスタント神学 上 →〈新セ〉2800円
 58 からだと倫理 品切
 59 十字架につけられた神 →〈オ〉5800円
 60 抑圧された者の神 品切
 61 人間解放の神学 品切
 62 近代プロテスタント神学 →〈オ〉4100円
 63 新約聖書の諸問題 →〈オ〉3900円
 64 バルト初期神学の展開 品切
 65 20世紀のプロテスタント神学 下 →〈新セ〉2500円
 66 プロセス神学の展望 品切
 67 福音主義神学の展開 2800円
 68 聖霊の力における教会 →〈オ〉5200円
 69 身体性と神学 1600円
 70 小さき者の友イエス 4200円
 71 洗礼論概説 3500円
 72 旧約聖書の中心 品切
 73 身体性の神学 2427円
 74 ティリッヒの神と諸宗教 2718円
 75 恩寵と類比 3398円
 76 歴史の主に従う 4000円
 77 旧約聖書の預言と黙示 2700円
 78 神・キリスト・悪 2500円
 79 現代神学の論理の転換 7000円

【現代新約注解全書】

- マルコによる福音書 上巻（増補改訂版） 4000円
 使徒行伝 上巻 6000円
 使徒行伝 中巻 9000円
 使徒行伝 下巻 9000円
 ガラテヤ人への手紙 6660円
 第二コリント書 8-9章 7000円
 第二コリント書 10-13章 9700円
 ビリビ人への手紙 4800円
 ヤコブの手紙 5000円
 ヨハネの黙示録 上巻（旧版） 品切
 ヨハネの黙示録 下巻（旧版） 品切
 ヨハネの黙示録 上巻 4800円

- ヨハネの黙示録 中巻 8500円
 ヨハネの黙示録 下巻 8500円
 〈別巻〉ガラテヤ人への手紙 4800円

【現代キリスト教倫理双書】

- 1 解放と変革の神学 品切
 2 人権の思想 品切
 3 教会に未来はあるか 品切
 4 十戒 品切（→新装復刊）
 5 キリスト教社会倫理概説 品切れ
 6 キリスト教と文明の諸問題 品切
 7 自由の道しるべ 品切
 8 カトリック倫理とプロテスタント倫理 品切
 9 平和を可能にする神の国 品切

【現代のイエス理解】

- イエスが生きた世界 2000円
 イエスの弟子とは誰か 2000円
 パウロから見たイエス 2000円
 イエスについて何を知りうるか 2000円
 教師としてのイエス 2000円

【ケンブリッジ旧約聖書注解】全20巻

- 1 創世記 4800円
 2 出エジプト記 品切
 3 レビ記 品切
 4 民数記 未刊
 5 申命記 未刊
 6 ヨシヤ記 品切
 7 士師記 未刊
 8 サムエル記 4800円
 9 列王記 品切
 10 歴代誌・エズラ記・ネヘミヤ記 未刊
 11 ルツ記・エステル記・伝道の書・雅歌・哀歌 品切
 12 ヨブ記 3400円
 13 詩篇 1-75篇 品切
 14 詩篇 76-150篇 品切
 15 箴言 品切
 16 イザヤ書 未刊
 17 エレミヤ書 3883円
 18 エゼキエル書 品切
 19 ダニエル書・ホセア書・アモス書 品切
 20 ヨナ書・ミカ書他 未刊

【C.S.ルイス宗教著作集】全8巻＋別巻2

- 1 悪魔の手紙 2200円

- 2 四つの愛〔新訳〕 2200円
- 3 痛みの問題 2500円
- 4 キリスト教の精髓 2800円
- 5 詩篇を考える 2000円
- 6 悲しみを見つめて 2000円
- 7 神と人間との対話 2200円
- 8 栄光の重み 2500円
- 別巻1 偉大なる奇跡 2600円
- 別巻2 被告席に立つ神 品切

【シュラッター新約聖書講解】全14巻+別巻1

- 1 マタイによる福音書 4000円
- 2 マルコによる福音書 品切
- 3 ルカによる福音書 品切
- 4 ヨハネによる福音書 品切
- 5 使徒行伝 品切
- 6 ローマ人への手紙 品切
- 7 コリント人への第一の手紙 品切
- 8 コリント人への第二の手紙 品切
- 9 ガラテヤ・エペソ書 品切
- 10 ピリピ・コロサイ・ピレモン書 品切
- 11 テサロニケ・テモテ・テトス書 品切
- 12 ヘブル人への手紙 品切
- 13 ヤコブ・ペテロ・ユダ書 品切
- 14 ヨハネの手紙・黙示録 品切
- 別巻 自伝・総索引 品切

【新教コイノーニア】

- 1 日本のキリスト教の現在と将来 品切
- 2 靖国公式参拝を批判する 品切
- 3 日本のキリスト教とバルト 品切
- 4 日本の宗教と部落差別 品切
- 5 沖縄から天皇制を考える 1100円
- 6 合同教会としての日本基督教団 品切
- 7 朝鮮半島の平和と統一をもとめて 970円
- 8 カール・バルトと現代 1359円
- 9 激動のドイツと教会 970円
- 10 岩手靖国違憲訴訟戦いの記録 2427円
- 11 日本基督教団50年史の諸問題 品切
- 12 日本の神学の方法と課題 1165円
- 13 現場の神学 1359円
- 14 死刑廃止とキリスト教 品切
- 15 バルト＝ボンヘッファーの線で 1650円
- 16 現代の終末論とフェミニズム 2000円
- 17 地球温暖化とキリスト教 1200円
- 18 平和憲法を守りひろめる 3000円
- 19 人間の盾 1400円

- 20 カール・バルトとユダヤ人問題 1600円
- 21 いのちの倫理を考える 品切
- 22 人類に希望はあるか 1200円
- 23 井上良雄研究 1900円
- 24 聖餐 イエスのいのちを生きる 1500円
- 25 時代のように訪れる朝を待つ 1800円
- 26 原発とキリスト教 1600円
- 27 わたしたちはいま、どこにいるのか 1800円
- 28 なぜ「秘密法」に反対か 1300円
- 29 東アジアでボンヘッファーを読む 1800円
- 30 国家の論理といのちの倫理 2200円
- 31 戒規か対話か 1600円
- 32 キリストが主だから 700円
- 33 日本基督教団戦争責任告白から50年 1300円
- 34 宗教改革と現代 2200円
- 35 戦後70年の神学と教会 1500円
- 36 100年前のパンデミック 1500円

【新教セミナーブック】

- 1 教義学要綱 品切 → 新訳〈ハンディ版〉2000円
- 2 日本プロテスタント・キリスト教史 5000円
- 3 キリスト教綱要抄 3800円
- 4 信条集 → 〈オ〉9500円
- 5 アガペーとエロース1 → 〈オ〉3400円
- 6 私にみ言葉をください 5800円
- 7 宗教改革史 品切
- 8 福音的基督教 → 福音的キリスト教〈ハンディ版〉1800円
- 9 詩篇研究 3800円
- 11 われ信ず 2200円
- 12 キリスト教の教理 2000円
- 13 教会の信仰告白 2000円
- 14 神認識と神奉仕 2400円
- 15 死人の復活 2400円
- 16 ピリピ書注解 2200円
- 17 ローマ書新解 品切
- 18 福音主義神学入門 2200円
- 19 国家の暴力について 1800円
- 20 地上を旅する神の民 2500円
- 21 教会の洗礼論 1100円
- 31 キリストに従う 3200円
- 32 現代キリスト教倫理 4000円
- 33 説教と牧会 1800円
- 34 教会の本質 1600円
- 35 イエスの死の意味 1800円
- 36 イエスの十字架の意味 1800円

- 37 イエスの復活の意味 1800円
- 38 告白教会と世界教会 3800円
- 39 知解を求める信仰 2800円
- 40 イスカリオテのユダ 2200円

【新教セミナーブック 20世紀の遺産】

- 説教と牧会 (→セミナーブック33)
- 教会の本質 (→セミナーブック34)
- 礼拝学概論 → 単行本 2500円
- パウロ(ボルンカム) 品切
- 子どもの信仰と教会 品切
- 20世紀のプロテスタント神学上 2800円
- 20世紀のプロテスタント神学下 2500円
- アダム(リュティ) 品切
- 黒人霊歌とブルース 2400円
- 十戒(バークレー) 2400円
- イエスの宣教 4800円
- 新約聖書と神話論(ブルトマン) 品切
- アブラハム(リュティ) 品切
- ヤコブ(リュティ) 2600円

【新教ブックス】

- 幻なき民は滅ぶ 1456円
- 賢い悪魔 1359円
- 大地は主のもの 1650円
- 神への然り、カイサルへの否 1748円
- 詩人イエス 1456円
- よみがえれ、平和よ! 2718円
- 聖書 2718円
- イエシュア 2500円
- 唯一なる神 2500円
- 女の語る神、男の語る神 1800円
- 教会の性差別と男性の責任 2800円
- 入門 解放の神学 品切
- 世紀末のアメリカとキリスト教 1800円
- 教会であること 2100円
- メシアは夢か幻か 1800円
- 新約聖書入門 品切 → 新教新書に
- 旅人の時代に向かって 2800円

【鈴木正久著作集】全4巻

- 1 1938～1951年 2800円
- 2 1952～1960年 2800円
- 3 1961～1969年 2800円
- 4 自伝・日記・手紙・年譜 品切

【聖書の使信】全16巻

- 1 マタイによる福音書上 2800円
- 2 マタイによる福音書下 3000円
- 3 マルコによる福音書 3800円
- 4 ルカによる福音書上 2500円
- 5 ルカによる福音書下 3000円
- 6 ヨハネによる福音書 品切
- 7 使徒行伝 3200円
- 8 ローマ人への手紙 2800円
- 9 コリント人への第一の手紙 2400円
- 10 コリント人への第二の手紙 2400円
- 11 ガラテヤ書・エペソ書 2600円
- 12 ピリピ書・コロサイ書・テサロニケ書 2700円
- 13 テモテ書・テトス書・ピレモン書 2000円
- 14 ヘブル書・ヤコブ書 2400円
- 15 ペテロ書・ヨハネ書・ユダ書 2500円
- 16 ヨハネ黙示録 2400円

【叢書 新約聖書神学】全15巻

- 1 マルコ福音書の神学 4000円
- 2 ルカ福音書の神学 3600円
- 3 ヨハネ福音書の神学 3500円
- 4 使徒言行録の神学 2800円
- 5 ローマ書の神学 未刊
- 6 第一コリント書の神学 未刊
- 7 第二コリント書の神学 3000円
- 8 ガラテヤ書の神学 2800円
- 9 パウロ小書簡の神学 4000円
- 10 コロサイ・エフェソ書の神学 未刊
- 11 牧会書簡の神学 3000円
- 12 ヘブル書の神学 3000円
- 13 公同書簡の神学 3000円
- 14 ヨハネ書簡の神学 2600円
- 15 ヨハネ黙示録の神学 → 〈オ〉3500円

【続・黒崎幸吉著作集】全3巻

- 1 旧約研究 4660円
- 2 新約研究 4660円
- 3 信仰・所感・回想 4660円

【高倉徳太郎著作集】全5巻

- 1 形成期の高倉神学 → 〈オ〉4300円
- 2 確立期の高倉神学 → 〈オ〉4300円
- 3 聖書の宗教：人と思想 → 〈オ〉4300円
- 4 説教 → 〈オ〉4300円
- 5 聖書講義・ロマ書 → 〈オ〉4300円

【武〈福音と預言〉双書】

- 1 主イエスと弟子たち 600円
- 2 預言者アモスと現代 800円
- 3 主イエスの譬え話 800円
- 4 絶対的平和主義とキリスト教 800円

【デイリー・スタディー・バイブル旧約編】全23巻

- 1 創世記Ⅰ 3500円
- 2 創世記Ⅱ 5000円
- 3 出エジプト記 品切
- 4 レビ記 2800円
- 5 民数記 3301円
- 6 申命記 3400円
- 7 ヨシュア記・士師記・ルツ記 品切
- 8 サムエル記 品切
- 9 列王記 2400円
- 10 歴代誌 3301円
- 11 エズラ記・ネヘミヤ記・エステル記 3400円
- 12 ヨブ記 4600円
- 13 詩篇Ⅰ 品切
- 14 詩篇Ⅱ 3500円
- 15 箴言 4200円
- 16 伝道の書・雅歌 2800円
- 17 イザヤ書Ⅰ 品切
- 18 イザヤ書Ⅱ 3500円
- 19 エレミヤ書・哀歌 品切
- 20 エゼキエル書 2900円
- 21 ダニエル書 2400円
- 22 十二預言書Ⅰ 品切
- 23 十二預言書Ⅱ 品切

【ティリッヒ組織神学】全3巻

- 組織神学 第1巻 →〈オ〉9000円
 組織神学 第2巻 →〈オ〉5000円
 組織神学 第3巻 →〈オ〉9500円

【寺田 博著作集『恩寵』全6巻

- 1 創世記上 品切
- 2 創世記下 品切
- 3 イザヤ書 5500円
- 4 ローマ書 5500円
- 5 神に信じる 4000円
- 6 聖書学道 3000円

【トゥルナイゼン著作集】全6巻

- 1 ビリビ人への手紙・山上の説教 品切

- 2 ヤコブの手紙 2200円
- 3 説教 2500円
- 4 神の言葉と教会 神学論文集 2621円
- 5 キリスト者と礼拝 未刊
- 6 ブルームハルト・ドストエフスキー・バルト 2200円

【21世紀キリスト教選書】

- 1 出エジプトと解放の政治学 2200円
- 2 乳と蜜の流れる国 2800円
- 3 生態学的破局とキリスト教 品切
- 4 富める社会と解放の神学 2800円
- 5 アメリカ教会の現実と使命 3204円
- 6 石ではなくパンを 品切
- 7 マリアとは誰だったのか 品切
- 8 神を考える 3300円
- 9 性差別と神の語りかけ 4300円
- 10 聖霊は女性ではないのか 3800円

【日本キリスト教史双書】

- 1 内村鑑三不敬事件 →〈オ〉4200円
- 2 日本キリスト教社会経済史研究 2000円
- 3 天皇制下のキリスト教 品切
- 4 日本プロテスタント史論 品切
- 5 戦時下キリスト教の抵抗と挫折 品切
- 6 尾張名古屋のキリスト教 2800円
- 7 明治初期神戸伝道とD.C.グリーン 2200円
- 8 ジョナサン・ゴープル研究 3200円
- 9 天皇制と韓国キリスト教 2500円
- 10 夜が明けるまで 2913円
- 11 無教会史Ⅰ 2524円
- 12 愛知のキリスト教 3689円
- 13 無教会史Ⅱ 品切
- 14 無教会史Ⅲ 4100円
- 15 無教会史Ⅳ 4500円
- 16 長老・改革教会来日宣教師事典 3000円

【咸 錫憲著作集】全10巻

- 1 死ぬまでのこの歩みで 3107円
- 2 苦難の韓国民衆史 品切
- 3 聖書の立場より見た世界歴史 未刊
- 4 新しい時代の宗教 3800円
- 5 人間革命の哲学 未刊
- 6 恐れずに叫べ 未刊
- 7 民主統一への道 未刊
- 8 シアル革命の夜 3107円
- 9 考える民でこそ生きられる 2913円

- 10 水平線の彼方に 未刊

【福音の原点】

- 1 プロテスタントイズムになぜ聖餐は必要か 品切
- 2 パウロカルターか 800円
- 3 日本人は宗教が分かっているか 800円

【福田正俊著作集 全3巻】

- 1 説教集 品切
- 2 神学論文集 3883円
- 3 聖書研究・エッセイ集 3883円

【ブルトマン著作集】全15巻

- 1 共観福音書伝承史Ⅰ →〈オ〉5200円
- 2 共観福音書伝承史Ⅱ →〈オ〉5100円
- 3 新約聖書神学Ⅰ →〈オ〉5000円
- 4 新約聖書神学Ⅱ →〈オ〉5300円
- 5 新約聖書神学Ⅲ 3500円
- 6 イエス／原始キリスト教 5631円
- 7 聖書学論文集Ⅰ 品切
- 8 聖書学論文集Ⅱ 3800円
- 9 聖書学論文集Ⅲ 3300円
- 10 聖書学論文集Ⅳ 未刊
- 11 神学論文集Ⅰ 6000円
- 12 神学論文集Ⅱ 品切
- 13 神学論文集Ⅲ 品切
- 14 神学論文集Ⅳ 3500円
- 15 神学論文集Ⅴ 未刊

【ボンヘッファー聖書研究】全2巻

- 旧約編 3800円
 新約編 4700円

【ボンヘッファー説教全集】全3巻

- 1 1925-1930年 3800円
- 2 1931-1935年 品切
- 3 1935-1944年 4500円

【ボンヘッファー選集】全9巻

- 1 聖徒の交わり 品切

- 2 行為と存在 品切 →新訳4500円
- 3 キリストに従う →〈新七〉3200円
- 4 現代キリスト教倫理 →〈新七〉4000円
- 5 抵抗と信徒 品切 →ボンヘッファー獄中書簡集 品切
- 6 告白教会と世界教会 →〈新七〉3800円
- 7 キリスト論 3800円
- 8 説教 品切
- 9 聖書研究 品切

【増田 孝著作集】全4巻

- 1 人生と宗教と教育 品切
- 2 学園創設とその後の時代 品切
- 3 自伝 品切
- 4 日記・書簡・思い出の人々 品切

【松木治三郎著作集】全5巻

- 1 使徒パウロとその神学・新約聖書に於ける宗教と政治 5340円
- 2 人間とキリスト教・新約神学序説 7573円
- 3 イエスと新約聖書の教会・イエスと新約聖書の関係 6990円
- 4 ローマ人への手紙 7573円
- 5 説教と私の聖書の学び 5825円

【水谷昭夫著作選集】全3巻+別巻1

- 1 漱石文芸の世界 3700円
 - 2 漱石の原風景 3700円
 - 3 近代文芸とキリスト教 3700円
- 別巻 山本周五郎の世界 3700円

【宮本武之助著作集】全2巻

- 上巻 4854円
 下巻 4854円

【モルトマン組織神学論叢】全6巻

- 1 三位一体と神の国 品切
- 2 創造における神 品切
- 3 イエス・キリストの道 品切
- 4 いのちの御霊 品切
- 5 神の到来 品切
- 6 神学的思考の諸経緯 6400円

オンデマンド・ブック一覧

アガペーとエロース1 ニーグレン 3400円
 アガペーとエロース2 ニーグレン 4100円
 アガペーとエロース3 ニーグレン 4400円
 アブラハムの神 渡辺信夫 3300円
 イエスの譬え J. エレミアス 3000円
 イエスの復活とその使信 X. レオン＝デュフォー
 ル 4800円
 内村鑑三不敬事件 小沢三郎 4200円
 カール・バルトの生涯 E. ブッシュ 14000円
 カルヴァン神学論文集 J. カルヴァン 5500円
 カルヴァンの神学 W. ニーゼル 4600円
 希望の神学 J. モルトマン 5800円
 救済の神学 佐藤敏夫 5000円
 教会史綱要 H. v. シューベルト 5200円
 教会論・上下 H. キュンク 上＝6200円、下＝
 5500円
 共観福音書伝承史 I R. プルトマン 5200円
 共観福音書伝承史 II R. プルトマン 5100円
 キリスト教神学概論 佐藤敏夫 5000円
 キリスト教的生 I K. バルト 8800円
 キリスト論要綱 W. バネンベルク 6900円
 近代の神学 佐藤敏夫 4000円
 近代プロテスタント思想史 P. ティリッヒ
 4100円
 基督教教育 高崎毅 2600円
 基督教の起源 山谷省吾 6800円
 苦難と栄光の主 カルヴァン 3600円
 熊野義孝全集7,8(教義学上・下) 上＝8100円、
 下＝6900円
 荊冠の神学 栗林輝夫 7800円
 講解説教 降誕・復活 竹森満佐一 3300円
 講解説教 山上の説教 竹森満佐一 5200円
 講解説教 ガラテヤの信徒への手紙 竹森満佐一
 2700円
 講解説教 コリント人への第一の手紙 竹森満佐
 一 6600円
 講解説教 コリント人への第二の手紙 竹森満佐
 一 5400円
 講解説教 エペソ人への手紙 竹森満佐一 4700
 円
 講解説教 ベテロの第一の手紙 竹森満佐一
 4700円
 古代キリスト教思想家 H. カンペンハウゼン
 3500円
 宗教改革の神学 北森嘉蔵 4400円

十字架につけられた神 J. モルトマン 5800円
 「十字架の神学」の成立 青野太潮 5000円
 「十字架の神学」の展開 青野太潮 4000円
 状況倫理 J. フレッチャー 3100円
 初期キリスト教の思想的軌跡 J. ロビンソン/
 H. ケスター 4200円
 神社問題とキリスト教 戸村政博編 6000円
 信条集 前後篇(合本) キリスト教古典双書刊行
 委員会編 9500円
 信徒の神学 H. クレーマー 3200円
 新約思想の成立 八木誠一 5300円
 新約聖書神学 I R. プルトマン 5000円
 新約聖書神学 II R. プルトマン 5300円
 新約聖書における教会像 E. シュヴァイツァー
 4600円
 新約聖書の諸問題 佐竹 明 3900円
 聖霊の力における教会 J. モルトマン 5200円
 責任を負う自己 H. R. ニーパー 3800円
 組織神学 第一巻 ティリッヒ 9000円
 組織神学 第二巻 ティリッヒ 5000円
 組織神学 第三巻 ティリッヒ 9500円
 高倉徳太郎傳 小塩 力 3500円
 時の中心 H. コンツェルマン 5200円
 土着と背教 武田清子 5400円
 特高資料による戦時下のキリスト教運動I～III
 同志社人文研編 I＝8900円、II＝8900円、
 III＝8900円
 なぜ私は生きているか フロマートカ 2380円
 日本キリスト教史論 石原 謙 5200円
 日本の説教者たち 加藤常昭 4300円
 パウロをどうとらえるか 荒井 献編・弓削達・
 佐竹明・田川建三・青野太潮他 4200円
 フルベッキ書簡集 フルベッキ 5700円
 ベテロ O. クルマン 5000円
 ヘブライ人とギリシヤ人の思惟 T. ボーマン
 5800円
 ボンヘッファー伝1 E. ベートゲ 3300円
 ボンヘッファー伝2 E. ベートゲ 4100円
 ボンヘッファー伝3 E. ベートゲ 4100円
 ボンヘッファー伝4 E. ベートゲ 5300円
 マルコ福音書講解説教1 渡辺信夫 3600円
 マルコ福音書講解説教2 渡辺信夫 4700円
 預言者サムエル リュティ 2700円
 預言者ネヘミヤ リュティ 2400円

ヨハネ黙示録の神学 R. ボウカム 3500円
 ローマ書 K. バルト 9900円
 ローマ書講解説教I～III 竹森満佐一 I＝4200
 円、II＝4400円、III＝4800円

植村正久著作集

第1巻 時代思潮 4600円
 第2巻 時事評論 4600円
 第3巻 文学 4600円
 第4巻 神学思想 4600円
 第5巻 信仰と生活 4600円
 第6巻 教会と伝道 4600円
 第7巻 説教 4600円

高倉徳太郎著作集

第1巻 形成期の高倉神学 4300円
 第2巻 確立期の高倉神学 4300円
 第3巻 聖書の宗教：人と思想 4300円
 第4巻 説教 4300円
 第5巻 聖書講義・ロマ書 4300円

カール・バルト「教会教義学」

神の言葉 I /1 9500円
 神の言葉 I /2 8500円
 神の言葉 II /1 9500円
 神の言葉 II /2 10000円
 神の言葉 II /3 8800円
 神の言葉 II /4 8000円
 神 論 I /1 8300円
 神 論 I /2 7200円
 神 論 I /3 8300円
 神 論 II /1 9100円
 神 論 II /2 7400円
 神 論 II /3 9200円
 創造論 I /1 9600円
 創造論 I /2 4700円
 創造論 II /1 7800円
 創造論 II /2 8700円
 創造論 II /3 8400円
 創造論 III /1 9000円
 創造論 III /2 8600円
 創造論 IV /1 5000円
 創造論 IV /2 7700円
 創造論 IV /3 8500円
 創造論 IV /4 5500円
 和解論 I /1 5400円
 和解論 I /2 7300円

和解論 I /3 9500円
 和解論 I /4 6000円
 和解論 II /1 7800円
 和解論 II /2 8500円
 和解論 II /3 8800円
 和解論 II /4 9400円
 和解論 III /1 8600円
 和解論 III /2 8000円
 和解論 III /3 9500円
 和解論 III /4 9500円
 和解論 IV 9000円

カルヴァン旧約聖書註解

創世記 I 4600円
 詩 篇 I 5300円
 詩 篇 II 4600円
 詩 篇 III 4600円
 詩 篇 IV 4700円

カルヴァン新約聖書註解

1 共観福音書上 5700円
 3 ヨハネ福音書上 3900円
 4 ヨハネ福音書下 4200円
 5 使徒行伝上 4700円
 6 使徒行伝下 4400円
 7 ローマ書 4900円
 8 コリント前書 4700円
 9 コリント後書 3200円
 10 ガラテヤ・エペソ書 3600円
 11 ピリピ・コロサイ・テサロニケ 3800円
 13 ヘブル・ヤコブ書 3800円
 14 ベテロ・ユダ書・ヨハネ書簡 4000円



新約聖書小辞典

山谷省吾著 東海林勤増補改訂

戦後早くから文庫版で刊行された旧版を、最新の学説に準拠しながら増補・改訂、図版20、地図8面に新共同訳との対照表を加えて新装再刊。

小B6判 206頁 本体1500円 1989年
4-400-10601-2

図説・新約聖書の歴史と文化

C. M. ジョーンズ編 松本富士男／佐々木敏郎訳

新約の地理・風俗・考古学・キリスト教美術・シンボルの図版180と地図・年表20、現代英国の新約学者の要を得た解説を付した新約聖書案内。

B5判 190頁 本体1800円 1973年
4-400-11005-2

新共同訳 聖書辞典

新教出版社編

ハンディな聖書辞典の決定版！ 総項目2420。図版・地図20点。カラー口絵8頁。聖書全小見出表などの付録充実。情報満載。聖書研究に必携！

36判 608頁 本体2800円 2001年
978-4-400-11073-6

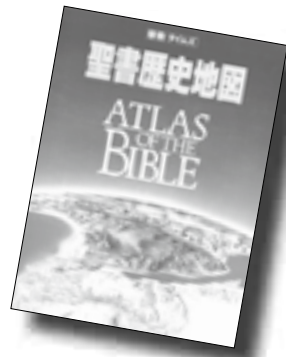
エレメンツ 新約聖書ギリシャ語教本

改訂第3版

J. タフ著 浅野淳博訳

定番の新約ギリシャ語入門がバージョンアップ。ギリシャ語フォントを大きくし、アクセントに関する新たな章を加えるなど、さらに使いやすく。

B5判 267頁 本体4000円 2020年
978-4-400-11028-6



辞典・図説・語学

カラー版聖書大事典

G. ヴィゴダー編集／荒井章三・山内一郎監修

聖書と考古学に関する最新の研究を踏まえ、4200項目の聖書用語を的確に解説。歴史的意味・聖書の意義を平明で親しみ易く紹介。全頁カラー。

菊倍判 1100頁 本体39806円 1991年
4-400-11000-1

新共同訳聖書コンコルダンス

新教出版社編

新共同訳聖書をテキストとする聖句索引。続編・固有名詞・小見出しもリストアップした、ハンディで価格も手頃なコンコルダンスの最高決定版。

36判 480頁 本体2500円 1997年
978-4-400-10602-9

旧新約聖書神学辞典

山谷省吾／小塩 力監修

旧新約聖書の重要語句、概念用語175項目の神学的解釈を簡明に叙述、索引を利用すれば約600の用語の神学的意味が理解可能となる貴重な辞典。

36判 510頁 本体2500円 1961年
4-400-11003-6

新教 = タイムズ聖書歴史地図

J. B. プリチャード編

荒井章三／山内一郎他監修

壮大で立体的なカラー地図・図版600点に詳細な聖書時代史を配し、聖書学・考古学・オリエント学・言語学界の総力を結集した画期的成果。

B4判 272頁 本体26214円 1993年
4-400-11001-X

神学

神学思想史

カルヴァン政治思想の形成と展開

自由の共同体から抵抗権へ

住田博子著

カルヴァンの共同体論を聖礼典論を手がかりに探求することを通して、その自由論とジュネーヴの国家教会体制の整合的理解を目指す。

A5判 256頁 本体3600円 2018年
978-4-400-42448-2

宗教改革と現代

改革者たちの500年とこれから 新教コインノーニア34

新教出版社編集部編

『福音と世界』の宗教改革500年連続特集における全論考を取録。4論文の増補を加え、宗教改革を現代に続く継起的な運動として捉え直す。

A5判 326頁 本体2200円 2017年
978-4-400-30717-4

キリスト教思想の形成者たち

パウロからカール・バルトまで

H. キュンク著 片山 寛訳

キリスト教史に巨大なパラダイムを画した7人の大思想家たちを取り上げ、その生涯と思想の光と影を余すところなく描いた神学思想史入門。

46判 350頁 本体2900円 2014年
978-4-400-32423-2

キリスト教思想史 I

キリスト教の成立からカルケドン会議まで

J. ゴンサレス著 石田 学訳

多様な思想の成立と展開を、礼拝共同体という場、および経済状況という背景から重層的に読み解く。思想家としての著者の主著。全3巻。

A5判 464頁 本体5000円 2010年
978-4-400-32424-9

キリスト教思想史 II

アウグスティヌスから宗教改革前夜まで

J. ゴンサレス著 石田 学訳

多様な教理の成立と展開を、教会のみならず、政治経済、一般思想との関係の中で重層的に読み解き、教科書としても定評のある名著。全3巻。

A5判 426頁 本体5000円 2017年
978-4-400-32425-6

アガペーとエロース 1

〈オンデマンド・ブック〉

A. ニーグレン著 岸 千年／大内弘助訳

キリスト教的愛の本質をギリシャ的な愛との対決を通して徹底的に究明した古典的名著。第1巻は新約思想とプラトン・アリストテレスらとの比較。

A5判 232頁 本体3400円 (54年)
2007年 978-4-400-34411-7

アガペーとエロース 2

〈オンデマンド・ブック〉

A. ニーグレン著 岸 千年／大内弘助訳

ノモス、エロース、アガペーの3つの根本モチーフが、使徒教父ヤグノーシス主義においていかなる解釈と展開を施されていったかを丹念に辿る。

A5判 316頁 本体4100円 (55年)
2007年 978-4-400-34412-4

アガペーとエロース 3

〈オンデマンド・ブック〉

A. ニーグレン著 岸 千年／大内弘助訳

アガペー概念が確立する経路を論述。アウグスティヌスによるキリスト教的愛の理解、中世における愛の教理、ルターのアガペー・モチーフの更新等。

A5判 346頁 本体4400円 (63年)
2007年 978-4-400-34413-1

ヘブライ人とギリシヤ人の思惟

〈オンデマンド・ブック〉

T. ボーマン著 植田重雄訳

二つの文化の特質をヘブライ語とギリシヤ語の言語構造等を手がかりに精緻に分析し、聖書世界の思想構造を解明した古典的名著。

A5判 414頁 本体5800円 (57年)
2003年 4-400-30751-4

現代神学の冒険

新しい海図を求めて

芦名定道著

驚くべき読博な知識と鋭利な分析力によって、複雑・多様化する現代神学の思想的潮流を分析し、その課題と進むべき方向性を展望する。

A5判 358頁 本体3400円 2020年 978-4-400-32768-4

ディズニー変形譚研究

世俗化された福音への信仰

宮平 望著

全てのディズニー映像作品に巧みに織り込まれた聖書のテーマ。その変容を丹念に辿り、聖俗の狭間にあるディズニー的世界観の核心に迫る。

A5判 240頁 本体2000円 2020年 978-4-400-40751-5

ただ一つの契約の弧のもとで

ユダヤ人問題の神学的省察

武田武長著

新約の厳密な釈義と論争史の丹念な追跡によって、キリスト教社会に存在してきた反ユダヤ主義の誤謬を剔抉し、救済史の新たな捉え直しを迫る。

46判 238頁 本体2400円 2020年 978-4-400-30572-9

組織神学 第一巻

W.バネンベルク著 佐々木勝彦訳

バルト後の神学界を主導した著者の主著。第一巻では組織神学の本質、キリスト教の真理性の意味、そして神論を徹底的に考察する。

A5判 664頁 本体9000円 2019年 978-4-400-31038-9

ヒップホップ・レザレクション

ラップ・ミュージックとキリスト教

山下壮起著

アフリカ系アメリカ人の宗教史を踏まえて成立と展開の歴史を丹念に辿り、ラッパーたちの声に耳を傾けてその宗教性を解明した注目作。

A5変判 264頁 本体3200円 2019年 978-4-400-31090-7

ヤスパースとキリスト教

二〇世紀ドイツ語圏のプロテスタント思想史において

岡田 聡著

実存哲学の高峰たるヤスパース思想と現代神学との影響関係を、ブルトマン、ティリッヒ、バルトとの折衝を通して探った貴重な労作。

46判 224頁 本体2500円 2019年 978-4-400-31088-4

20世紀のプロテスタント神学 下

〈新教セミナーブック〉

H. ツァールント著 新教セミナー訳

下巻では、弁証法神学の影響と共に、聖書神学の与えた衝撃を「史的イエス」問題を中心に論じ、あわせて世俗化論、エキュメニズム等に及ぶ。

B6判 296頁 本体2500円 1978年 4-400-33065-6 僅少

二十世紀神学の形成者たち

笠井恵二著

今世紀の神学者の中から、シュヴァイツァー、バルトラ6人を選び、生涯と著作、特にキリストの十字架と復活理解に焦点を当て、その特質を解明。

46判 306頁 本体3106円 1993年 4-400-31980-6

二十世紀キリスト教の歴史観

笠井恵二著

世紀末の歴史意識から、20世紀のキリスト教歴史観の特質を、バルト、ティリッヒ、トインビーら7人を通して考察、21世紀を展望した意欲作。

46判 304頁 本体3200円 1995年 4-400-31994-6

二十世紀の聖書理解

笠井恵二著

聖書論の歴史とドイツ・日本の神学者の多様な聖書理解の実際、聖書の持つ使信の豊かさと聖書に取り組み際の姿勢を明解・平易に論じる。

46判 336頁 本体3200円 1997年 4-400-12426-6 僅少

神学思想



誰にも言わないと言ったけれど

黒人神学と私

J. M. コーン著 榎本 空訳

黒人神学の開拓者ジェイムズ・コーン（1936-2018）の神学的自伝。先人たちの影響、人生の歩みが明らかに。序文はコーネル・ウェスト。

46判 280頁 本体3000円 2020年 978-4-400-32357-0

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ックス

近代の神学

〈オンデマンド・ブック〉

佐藤敏夫著

シュライエルマッハーからトレルチに至るプロテスタント神学の主要潮流を明快に解説。二十世紀神学の展開を理解する上で不可欠な労作。

A5判 269頁 本体4000円（64年） 2003年 4-400-30753-0

神学の起源

社会における機能 〈シリーズ神学への船出 03〉

深井智朗著

神学とは何かという問いに社会史的視点から応える。時代の転換期に神学はいかなる機能を果たしたのか。読者の神学観を一変させる神学入門。

46判変型 226頁 本体1800円 2013年 978-4-400-30003-8

ヴェーバーとピューリタニズム

神と富との間

梅津順一著

「ヴェーバー・テーゼ」を、ピューリタン一次文献との綿密な突き合わせによって検証し、近代資本主義の起源に迫る。

46判 460頁 本体4500円 2010年 978-4-400-42726-1

信仰告白と教会

スコットランド教会史におけるウェストミンスター信仰告白 袴田康裕著 〈大森講座 27〉

離合集散を繰り返し変転極まりないスコットランド教会史において、ウ告白がどのように受容されてきたかを検討した貴重な研究。

46判 116頁 本体1000円 2012年 978-4-400-31701-2

フォーサイス神学の構造原理

Atonement をめぐって

森島 豊著

P.T. フォーサイスの思想を、その贖罪信仰を軸としながら、形成史のおよび構造的に考察する。日本のフォーサイス受容の問題をも扱う。

A5判 424頁 本体3500円 2010年 978-4-400-32401-0

20世紀のプロテスタント神学 上

〈新教セミナーブック〉

H. ツァールント著 新教セミナー訳

バルトおよびバルト以後の神学者たちが、キリスト教世界の混乱の中で苦悩し論争してきた跡を絵画的に描き出した大著の前半。

B6判 327頁 本体2800円 1978年 978-4-400-33057-8

信条集

〈オンデマンド・ブック〉

キリスト教古典双書刊行委員会編

代々の教会に受け継がれ、代々の教会を支えてきた信仰告白文書の集大成。世界教会信条、福音主義教会信条、バルメン宣言等を収録。

A5判 728頁 本体9500円（55-57年） 2005年 4-400-30782-4

古代キリスト教思想家

ギリシア教父 〈オンデマンド・ブック〉

H. F. v. カンベンハウゼン著 三小田敏雄訳

大家による伝記的な教父学入門書。ユスティヌスからアレクサンドリアのキュリルスまで、12人を豊かな学殖と深い神学的洞察を込めて描く。

46判 278頁 本体3500円（63年） 2004年 4-400-20772-2

アンセルムスの神学

小野忠信著

アンセルムスの信仰的思索の豊饒な世界を解明、その信仰の秘義に迫る本格的な研究。先ず三位一体論を論究した後、贖罪論、恩寵論を考察した力作。

A5判 318頁 本体4500円 1985年 4-400-31044-2 僅少

プロテスタント・スコラ神学の再考察

〈大森講座 23〉

金 山徳著

スコットランドの神学者サムエル・ラザフォードの思想を中心に、プロテスタント・スコラ神学と正統主義神学の再評価を試みる貴重な労作。

46判 123頁 本体1100円 2008年 978-4-400-31697-8

近代プロテスタント思想史

〈オンデマンド・ブック〉

P. ティリッヒ著 佐藤敏夫訳

最晩年（63年）に行われたシカゴ大学での講義。スケールの大きな問題意識と神学的視野からする通史。啓蒙期からバルトまでを扱う。

46判 346頁 本体4100円（76年） 2003年 4-400-20762-5

近代キリスト教思想史 1

ルネサンス・ヒューマニズムと宗教改革

佐藤敏夫著

著者が新構想のもとに書き下ろした近代神学思想史研究第一作。ルネサンス人文主義者に始まり、宗教改革左派、英国宗教改革神学を含む。

46判 150頁 本体1900円 1999年 4-400-21297-1

「十字架の神学」の展開

〈オンデマンド・ブック〉

青野太潮著

『「十字架の神学」の成立』以後の著者の思想の深化展開を示す重要論考の他、金子啓一、田川建三らとの対論、大貫隆との対談などを収録。

46判 440頁 本体4200円 ` (06年) 2013年 978-4-400-12105-3

信仰と経験

イエスと神の王国の倫理

廣石 望著

イエスの譬えや奇跡物語に見るシンボリズムや教会の儀礼行為の意味を斬新な視点から解き明かし現代の信仰・倫理に橋渡しする 21 世紀の信仰論。

46判 360頁 本体2700円 2011年 978-4-400-11181-8

唯一神教の創出とその展開

預言者・イエス・パウロの働き

野村 喬著

教会の深刻な退潮の前に、改めて聖書を丹念に読み直し、その唯一神教の核心的メッセージと真の宗教の条件は何かを再確認しようとする試み。

46判 293頁 本体2000円 2014年 978-4-400-32449-2

キリスト論要綱

〈オンデマンド・ブック〉

W.パネンベルク著 麻生信吾／池永倫明訳

新約以来現代に至るキリスト論の諸問題を歴史に沿って徹底的に吟味した大著。神学の根本問題を考えるために繰り返し参照すべき基本文献。

A5判 496頁 本体6900円 (82年) 2003年 4-400-30766-2

神学入門

プロテスタント神学の転換点 平野清美訳

J.L.フロマートカ著 佐藤 優 監訳・解説

戦後、亡命先からブラハに戻って行った講義。初学者を対象とした 20 世紀の神学潮流への入門。著者の神学観がにじみ出た興味尽きぬ内容。

46変判 200頁 本体1800円 2011年 978-4-400-31981-8

人間への途上にある福音

キリスト教信仰論

J.L.フロマートカ著 平野清美訳 佐藤 優監訳

佐藤優氏が「この本が私の人生を定めた」と語る名著。フス派の伝統を継承し、世界の中で積極的に奉仕の務めを負う強烈な召命信仰を展開。

46判 370頁 本体3500円 2014年 978-4-400-31983-2

自由意志論

ジョンナサン・エドワーズ選集 1

J.エドワーズ著 柴田ひさ子訳 森本あんり監修

人間は自ら善を選べるという啓蒙主義的・楽観的人間観を積極的に批判し、罪から救い上げる恩寵と真摯に向き合うことを力強く訴える。1754 年刊。

A5判 424頁 本体7000円 2016年 978-4-400-32051-7

原罪論

ジョンナサン・エドワーズ選集 3

大久保正健訳 森本あんり監修

18 世紀を風靡した啓蒙主義的・楽観的人間観を徹底的に批判し、人間の罪と真摯に向き合うことを力強く訴える。アメリカ精神の源流にあるもの。

A5判 440頁 本体7000円 2015年 978-4-400-32053-1

21 世紀の信と知のために

キリスト教大学の学問論

西谷幸介・茂 牧人編

建学の精神にキリスト教を掲げる大学は、学問研究と信仰、教育活動と伝道とを、どのように位置づけるべきなのか。共同研究の成果。

A5判 380頁 本体5000円 2015年 978-4-400-31077-8

神とはいったい何ものか

次世代のキリスト教

J.ヒック著 若林 裕訳

現代の多元化の問題に最も果敢に取り組んできた思想家が、キリスト教に留まりつつ、独善的でない真に普遍的な信仰のあり方を追究した 10 編。

46判 249頁 本体2700円 2014年 978-4-400-31074-7

キリスト教の自己批判

明日の福音のために

上村 静著

イエスのラディカルな福音から現代社会と教会を見直した問題作。気鋭の著者の今までの研究と思索のエッセンスを平易にまとめた一冊でもある。

新書判 136頁 本体950円 2013年 978-4-400-32490-4

「十字架の神学」の成立

〈オンデマンド・ブック〉

青野太潮著

十字架の逆説とは何か、贖罪論は新約思想の中心なのか。佐竹、八木、荒井、松永、田川、滝沢らへの polemiek を通して浮かび上がるもの。

46判 540頁 本体5000円 (89年) 2011年 978-4-400-14433-5

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

現代アメリカ神学思想 増補新版

平和・人権・環境の理念

宮平 望著

ボフ、コーン、リユーサー、マクフェイグ、カブ、ハワーフスというアメリカの代表的神学思想家 6 人の主要著作を綿密に読み解く。

A5判 323頁 本体2800円 2018年 978-4-400-32767-7

ポップカルチャーを哲学する

福音の文脈化に向けて

高橋優子著

大学で教鞭をとる著者が、日本のポップカルチャーに底流する福音の現在形を解き明かした講義録。ジブリから村上春樹まで全 24 作品を紹介。

四六判 220頁 本体2000円 2017年 978-4-400-31082-2

神の和の神学に向けて

三位一体から三問一和の神論へ

宮平 望著

キリスト教の核心たる三位一体論を、問と和という日本の思考と感覚のもとに再表現する新たな神学の冒険。版元廃業による絶版書の復刊。

A5判 320頁 本体2400円 2017年 978-4-400-32764-6

ジョン・マクマレー研究

キリスト教と政治・社会・宗教

宮平 望著

関係論的人間理解に立ち独自の共同体思想を形成したスコットランド出身のキリスト教哲学者ジョン・マクマレーについて、本邦初の本格研究。

A5判 233頁 本体2400円 2017年 978-4-400-32766-0

ソクラテスの死とキリストの死

日本における講演と説教

B.クラップアート著 武田武長編

西欧精神を深く刻印してきた二人の刑死者をボンヘッファーを介して読み解き、またユダヤ教とイスラームとの対話を模索する論考など、8 編収録。

46判 330頁 本体3200円 2016年 978-4-400-32408-9

内なる生

E.アンダーヒル著 金子麻里訳

英国国教会の信徒にして小説家・詩人の著者が、司祭らにむけて語った 3 つの講演録。現代人の心のケア、祈りと瞑想、そして愛と奉仕。

小B6 148頁 本体1800円 2017年 978-4-400-31081-5

今を生きる滝沢克己

生誕 110 周年記念論集

滝沢克己協会編

独自のインマヌエル思想を唱え「滝沢神学」として国内はもとより海外にも影響の及んだ思想の現代的意義を 16 名の論者が考究。

46判 294頁 本体3200円 2019年 978-4-400-31085-3

ディズニーランド研究

世俗化された天国への巡礼

宮平 望著

膨大なディズニー文献を徹底的に踏破し、ディズニーの生い立ち、キャリア、信仰・思想から、テーマパークの構造と機能の分析まで。

A5判 261頁 本体2000円 2019年 978-4-400-40746-1

信仰の基礎としての神学

キリスト教神学への道案内

松田 央著

現代人の求道の関心と知的関心に応えるために、当然の真理とされていた神学や信条を再点検し、日常的な神経験の方法論を提示した入門書。

四六判 190頁 本体1700円 2018年 978-4-400-51870-9

日本で神学する

栗林輝夫セレクション 1

栗林輝夫著 大宮有博・西原廉太編

2015 年に急逝した著者の選集第 1 巻。田中正造や賀川豊彦の再評価からポストフクシマの神学まで、日本の文脈における解放神学の真髄。

A5判 350頁 本体3600円 2017年 978-4-400-31067-9

アメリカ現代神学の航海図

栗林輝夫セレクション 2

栗林輝夫著 大宮有博・西原廉太編

多様な潮流が絡まり合ってダイナミックな活力に溢れるアメリカ現代神学を、鋭利な視点から分析した 6 編。日本で神学するための道具として！

A5判 468頁 本体4900円 2018年 978-4-400-31068-6

聖書翻訳者ブーバー

堀川敏寛著

哲学者ブーバーが聖書翻訳を志した理由、その翻訳の特質たる方法論を、彼の対話的哲学との関係から明らかにした労作。

A5判 328頁 本体4100円 2018年 978-4-400-11069-9

対話する神——三位一体論

新しい**組織神学**の試み　〈希望と十字架 2〉

蓮見和男著

三位一体論の秘義を、西方と東方の神学の総合によって論じ、存在と信仰の類比に神の苦悩と痛み の類比を見出し、真実への道を探る。

46判　384頁　本体4500円　2004年
4-400-32769-8

神の和の神学入門

21世紀日本の神学

宮平 望著

キリスト教信仰の核心は西洋的な神学的言語でしか表現され得ないのか？　ヘレニズム化された三位一体論を日本的な文脈で語り直す意欲的な書。

46判　96頁　本体950円　2005年
4-400-32762-0

日本における宣教的共同体の形成

使徒信条の文脈的注解

石田 学著

西欧キリスト教の正と負の歴史的遺産をはつきりと見据えた上で、日本の天皇制的精神風土の中で使徒信条を告白することの射程を徹底的に問う。

46判　214頁　本体1900円　2004年
4-400-32761-2

日本人は宗教が分かっているか

〈福音の原点 3〉

佐藤敏夫著

教理史、宗教史理解、M.ウェーバー宗教社会学との対話を踏まえ、日本人に有効な宗教としてのキリスト教信仰の独自性と可能性を探った試論。

小B6判　72頁　本体800円　1997年
4-400-51852-3

現代神学の最前線

「バルト以後」の半世紀を読む

栗林輝夫著

20世紀の神学的巨人なきあと、ポストモダンから宗教右派まで混沌の中にある現代神学の多様な潮流を、解放的視点からシャープな筆致で描く。

46判　280頁　本体2200円　2004年
978-4-400-32765-3

日本の神学の方法と課題

〈新教コイノニア〉

新教出版社編

日本の神学の立場と拠点、それが進む方向をめぐって、25名の若い世代の神学者たちが、その展望を真剣に語った新鮮で意欲的な論考を集成。

A5判　128頁　本体1164円　1993年
4-400-30711-5

現代教義学総説

新版

H. G. ベールマン著　蓮見和男訳

ドイツで神学生の標準的な教科書として読み継がれてきた名著。最新の第6版(02年)に基づく新訳。伝統的な13の主題に斬新な視点を盛る。

A5判　536頁　本体6000円　2008年
978-4-400-31997-9

ギリシャ人には愚かなれど

福音と西洋文化

L. ニュービギン著　矢口洋生訳

西洋化と共にあった宣教観を根底から覆し、近代世界の基にある価値構造に福音を対峙させる。その後の宣教論に大きなインパクトを与えた名著。

46判　208頁　本体2200円　2007年
978-4-400-32668-7

三位一体論的神学の可能性

あるべき「社会」のモデルとしての三一神

松見 俊著

三位一体論の社会的アナロジー理解をバルト、パネンベルク、モルトマン、ポフなどとの対話を通して追求、古い教理の革新性を明らかにする。

A5判　270頁　本体4400円　2007年
978-4-400-32702-8

神をめぐる対話

新しい神概念を求めて

小川圭治著

神とは何か。現代世界の多元主義状況をふまえ、排他的な超越の一神論の神を越える新しい神概念を提示。多年に渡る思索の集成。

A5判　366頁　本体5400円　2006年
4-400-32701-9

知恵なる神の開かれた家

E. シュスラー＝フィオレンツァ著　山口里子他訳

04年に来日した著者の日本での講演・説教を収録。既成の神概念を打破し、新しい信仰共同体のあり方を示唆する著者最新の理論的達成を示す。

A5判　232頁　本体2100円　2005年
4-400-32135-5

神への問い

新しい組織神学的試み　〈希望と十字架 1〉

蓮見和男著

長年対話を重ねたバルト、モルトマンを機軸にしたながら、近代以後の神学思想や東洋の思想宗教との対話の上に無の思想と名の神学の構築を図る。

46判　412頁　本体5000円　2001年
4-400-32723-X

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

物語神学へ

ポール・リクール聖書論集 3

久米 博／小野 文／小林玲子訳

20世紀フランスを代表する哲学者のとくに聖書解釈に関する論考や説教を集成した日本独自企画の第3巻。物語神学とは何か、その必要性を提示。

46判　215頁　本体2400円　2008年
978-4-400-31998-6

死まで生き生きと

死と復活についての省察と断章

ポール・リクール聖書論集 別巻　久米 博訳

自らの死を目前に哲学者が紡ぎだした最後の思索。生と死、復活をめぐる澄明な言葉が綴られている。没後発見されたノートを厳密に校訂。

46判　160頁　本体2000円　2010年
978-4-400-32002-9

文化の起源

人類と十字架

R. ジラルール著　田母神顯二郎訳

自らの精神形成の道のりを振り返りながら、その思想の射程を縦横に論じたインタビュー集。暴力が昂進する世界に向けて発する貴重な発言。

46判　432頁　本体4000円　2008年
978-4-400-31995-5

サタンが稲妻のように落ちるのが見える

R. ジラルール著　岩切正一郎訳

サタンとは何者なのか？欲望のミメーシス理論とスケープゴート論を駆使して受難物語を読み解いた、暴力批判の哲学とは。ジラルール思想の集大成。

46判　300頁　本体3100円　2008年
978-4-400-31996-2

救済の神学

〈オンデマンド・ブック〉

佐藤敏夫著

聖書的な救済観から現代の教義学的論争に到るまでを一望の下に収め、キリスト教における救済論の主要問題を網羅し、分析した書。

A5判　314頁　本体5000円　(87年)
2015年　978-4-400-30783-9

キリスト教神学概論

〈オンデマンド・ブック〉

佐藤敏夫著

教会史と教理史への造詣に深く、現代的問題に鋭敏な感性を備えた著者による、バランスの取れた福音主義的な神学概論。桑田秀延以来の労作。

A5判　346頁　本体5000円　(94年)
2007年　978-4-400-34414-8

歴史の主に従う

フロマートカの神学的遺産　〈現代神学双書〉

畠山保男著

共産主義革命の渦中で、福音の自由のために闘ったチェコの神学者フロマートカの波乱の生涯を辿り、その神学の獨白性と現代的意味を論じた力作。

B6判　460頁　本体4000円　1995年
4-400-33077-X

神学部とは何か　〈シリーズ神学への船出 00〉

非キリスト教徒にとっての神学入門

佐藤 優著

鬼才佐藤優の原点は神学部。「虚学」としての神学の逆説的な有用性を熱く説き、神学的認識の魅力を語り下ろしたユニークな「神学への誘惑」。

46判変型　180頁　本体1700円　2009年
978-4-400-30000-7

復活と歴史的理性

神学の方法の研究

リチャード・R. ニーバー著　西谷幸介訳

ハーバードで長く組織神学を講じた著者の若きデビュー作。神学方法論の根本問題に対する透徹した考察により現代の古典と評価されている名著。

46判　288頁　本体3500円　2009年
978-4-400-32406-5

復活の神学

W. キュネット著　渡辺省三訳

ルター派教義学者の立場からブルトマンと対決する。1933年の初版以来4度改訂を重ね、82年の第6版に至った息の長い名著（底本は第5版）。

46判　450頁　本体3882円　1993年
4-400-32405-2

キリストの復活事件と教会

藤井孝夫著

キリストの復活事件を、その歴史的・終末論的一回性においてとらえ、それが今日の教会と宣教に持つ力と生命を、教会で苦闘する働き人に訴える。

46判　232頁　本体1800円　1987年
4-400-31047-3

愛と正義

ポール・リクール聖書論集 2

久米 博　小野 文　小林玲子訳

著者傘寿を挟む円熟の聖書論7編。テキスト、解釈行為、倫理にまたがる不可避の連関を徹底的に追究。エキジュメカルな影響も明らかにされる。

46判　290頁　本体3300円　2014年
978-4-400-31999-3

現代世界と宗教学

北川三夫著

シカゴ大学でエリアーデと共に現代の宗教学の発展に貢献して来た著者が、近代宗教学の流れを追って、宗教学の現状を展望した宗教学の道案内。

B6判 128頁 本体1000円 1985年
4-400-19391-X 僅少

心の宗教哲学

心の自然な構造に即して

川村永子著

キエルケゴール研究に従事するかたわら、臨濟宗相国寺に参禅し、哲学、神学と仏教哲学との統合に取り組む著者の、独自の宗教哲学構築の試み。

A5判 276頁 本体3800円 1994年
978-4-400-01064-7

民族主義とキリスト教

青山学院大学総合研究所編

聖書時代の「民族」概念の検討から始まり、近現代における民族問題とキリスト教の関わりに至るまで、9人の寄稿者による学際的共同研究。

A5判 260頁 本体4000円 2003年
4-400-42738-2 僅少

聖霊と人間

藤井孝夫著

伝道生活 50年への感謝と日本の教会の宣教の前進への願いをこめて、人間と教会を生かし導く聖霊の限りない力への賛美告白を豊かに響かせる。

46判 176頁 本体1600円 1994年
4-400-31065-5

ブルトマンとナチズム

「創造の秩序」と国家社会主義

R.ブルトマン著 深井智朗訳解説

ナチが全権掌握した年に行った特別講義や論考、説教など3編を収録。ブルトマンはいかにしてナチと対決したのか。実存論的聖書解釈と政治。

46判 130頁 本体1850円 2014年
978-4-400-40734-8

王道

21世紀中国の教会と市民社会のための神学

王 艾明著 松谷暉介編訳

三自愛国か家の教会かの二項対立を払拭し、教会に「真に教会たれ」と訴え、教会が教会となることが現代中国市民社会の成熟につながる。

46判 274頁 本体2300円 2012年
978-4-400-22710-6

受肉者イエス

その生涯と教え

J. S. スチュアート著 椿 憲一郎訳

1933年出版された原著は英語圏で長く読み継がれ、特に信徒の教会教育に用いられている。信仰の書として絶賛される名著。

46判 334頁 本体2800円 1979年
4-400-52588-0

キリスト論

清水義樹著

教義学者、牧師としてユニークな足跡を昭和史に残した遺稿。ライフ・ワーク「キリスト論」の独自性を示す歴史的キリストの生命を伝える力作。

A5判 306頁 本体3688円 1991年
4-400-31057-4

しもべとなった王

弟子達のキリスト論

C. N. クラウス著 棚瀬多喜雄訳

豊かな聖書釈義を踏まえつつメノナイトの伝統に立つ独自のキリスト論。「メシアなるイエスは誰か」「メシアなるイエスの革命」の二部構成。

B6判 356頁 本体3500円 1987年
4-400-31949-0

幼子の救い

悲しむ親への慰め

ロナルド・ナッシュ著 川越敏司訳

洗礼を受けず亡くなった子どもの救いはどうなるのか?などの親の素朴な疑問に、聖書的・教義学的に丁寧に答える貴重な牧会的示唆に富む一冊。

46判 192頁 本体1900円 2008年
978-4-400-32729-5

いばらに薔薇が咲き満ちる

神秘主義とキリスト教の将来

J. ツィンク著 宍戸 達訳

教会の長い伝統の中で忘却されてきた神秘主義の系譜を辿りなおし、隘路に陥った現代のキリスト教に対してその回復を静かに訴える。

46判 464頁 本体4000円 2001年
4-400-32106-1

小塩力神学論集

小塩 力著

「パウロにおける死」「死の死」等の神学論文と随想、評伝等の代表作を収録。著者の思想と感性の豊かさ、神学的洞察の鋭さが溢れる秀作選。

B6判 300頁 本体1800円 1979年
4-400-31043-4

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

神学諸科入門

〈第1分冊〉

今橋 朗・西村俊昭編

日本聖書神学校教師陣の共同執筆による、キリスト教学各科全体の入門案内。聖書・歴史・組織・倫理・実践の各科にわたる方法論と実際を紹介。

46判 236頁 本体1941円 1990年
4-400-31964-4 僅少

イエス

十字架につけられた民衆

C. S. ソン著 梶原 寿監修

現代アジアを代表する神学者待望のキリスト論。伝統的教義学に立つ教説を根底から解体、民衆の苦難の物語の視点からイエスの生を捉え直す。

A5判 392頁 本体4400円 1995年
4-400-31066-3

イエス・キリストその教会

藤井孝夫著

「教会とは何か」の問いに正面から取り組み、使徒的伝統の流れの中に現代の私たちの教会を改めて位置づけ直した、教会論の本質的・現代的展開。

46判 160頁 本体1455円 1993年
4-400-31062-0

ナザレのイエスとは誰か

H. G. ベールマン著 秋山卓也訳

ユダヤ教、ヒューマニズム、マルクス主義、神学等の視点から捉えた多様なイエス像を個々に踏まえた上で、神人イエスを提示する。

46判 224頁 本体1941円 1984年
4-400-52330-6

キリスト教本質論に関する一考察

村上和男著

明治学院大学論集と紀要に連載した「キリスト教本質論」に関する論稿を集大成。問題の提出と展開、キリスト論、神観の問題、信仰論に及ぶ。

A5判 460頁 本体3688円 1990年
4-400-31965-2 僅少

キリストへの信従

一つの福音的挑発

R. シュトゥルンク著 大島かおり訳

使徒、殉教者、フランチェスコ、トマスア・ケンピスから、ボンヘッファーを経て解放の神学に至る敬虔史を、キリスト信従として捉えた意欲作。

46判 384頁 本体3200円 1984年
4-400-52332-2

福音的キリスト教

〈ハンディ版〉

高倉徳太郎著 小塩 力 宮田光雄解説

近代日本のキリスト教が生み出した神学的古典の一つが読みやすいかたちで再登場。福音信仰を確立する苦闘は今も変わらぬ真理契機を帯びる。

B6変判 248頁 本体1800円 2014年
978-4-400-31026-6

現場の神学

〈新教コイノーニア〉

富坂キリスト教センター編

日本の宣教と神学を、現場から創り出して行こうとする学際的共同研究。生の現場からの発言と白熱の討論による新しいスタイルの神学の誕生。

A5判 150頁 本体1358円 1993年
4-400-30712-3 僅少

熊野義孝全集 第七巻〈教義学 上〉

〈オンデマンド・ブック〉

熊野義孝著

熊野の記念碑的な大作。邦人の手でこれを越える教義学は未だに書かれていない。本全集版では上巻に第1巻「神」及び第2巻「創造」を収録する。

A5判 627頁 本体8100円 (80年)
2003年 4-400-30764-6

熊野義孝全集 第八巻〈教義学 下〉

〈オンデマンド・ブック〉

熊野義孝著

第3巻「宥和と自由」。聖書釈義と厳密なキリスト論を中核として展開された熊野教義学の中心であり、教会の形成と聖礼典へ説き及んで完結する。

A5判 520頁 本体6900円 (82年)
2003年 4-400-30765-4

永遠帰帰の神話と終末論

人間は歴史に耐えうるか

佐藤敏夫著

「人間はいかにして歴史の不幸に耐えうるか」との根本問題に対し、永遠帰帰の神話と終末論の折衝を機軸に検討、終末論の積極的肯定に到る。

46判 224頁 本体1941円 1991年
4-400-41969-X

パウロカルターか

〈福音の原点 2〉

佐藤敏夫著

ルターとの比較の上でパウロの信仰と義認、罪の赦しと救い、聖霊の力の自覚と理解の意味を、広く現代神学思想の問題点から光をあてて論じる。

B6変型 60頁 本体800円 1996年
4-400-51851-5

神学の履歴書

初学者のための神学書ガイド

佐藤 優著

バルトからユンゲルまで、今読むに値する神学書13冊を取り上げ、その勘所を丁寧に解説。佐藤流の紙上神学ゼミナール。実践的な神学入門。

46判 260頁 本体1900円 2014年 978-4-400-31982-5

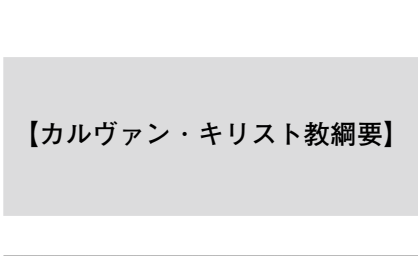
悪の意味

キリスト教の視点から

宮谷宣史編

悪と悪の存在の意味を問うために、聖書、中世西欧キリスト教、同じく近世、そして現代神学と、四つの視点から追究した16人の共同研究。

46判 420頁 本体3000円 2004年 4-400-42759-5 僅少



キリスト教綱要 第1篇・第2篇

改訳版

J.カルヴァン著 渡辺信夫訳

プロテスタント最初の組織神学と呼ばれる必読の古典が、40年ぶりの改訳により驚くほど明快・流麗な文体で蘇る。本巻は神論とキリスト論。

A5判 600頁 本体4500円 2007年 978-4-400-30108-0

キリスト教綱要 第3篇

改訳版

J.カルヴァン著 渡辺信夫訳

旧訳版のⅢ /1、Ⅲ /2の改訳版。聖霊論、信仰論、義認論、二重予定説など、きわめて重要な改革派神学の核心部をいっそうの正確さで表現した。

A5判 528頁 本体4500円 2008年 978-4-400-30109-7

キリスト教綱要 第4篇

改訳版

J.カルヴァン著 渡辺信夫訳

ローマ教皇制を批判し宗教改革の本義に立った教会論を展開。聖職者の意味や聖礼典のあり方、また最終章では国家論を詳述する。全3分冊完結。

A5判 608頁 本体4500円 2009年 978-4-400-30110-3

キリスト教の修練

S.キルケゴール著 井上良雄訳

イエスの精神を失った19世紀のデンマーク国教会に対し謙卑と犠牲に生きるイエスの生き方から痛烈なる批判を投げかけた名著。現代にも通じる。

46判 360頁 本体3500円 2004年 4-400-42129-5

ジョン・マクラウド・キャンベルの贖罪論

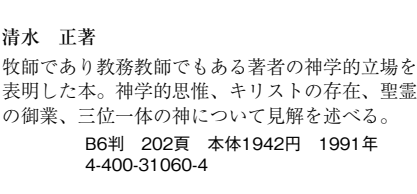
受肉論の構成を持つ贖罪論〈大森講座20〉

真田 泉著

牧会で喜びを失った信仰者と出会い、独自の贖罪論にたどり着くキャンベル。異端として職を追われた彼の贖罪論から十字架の意味を読み解く。

46判 80頁 本体900円 2005年 4-400-31694-7

神学の方法と内容



キリスト教の教師

聖書と現場から（山内一郎先生献呈論文集）

嶺重 淑 辻 学 大宮有博編

関西学院大学神学部教授として多くの人材を育てた山内一郎教授の中堅・若手の教え子たちが「キリスト教の教師」について寄稿した献呈論文集。

A5判 244頁 本体3800円 2008年 978-4-400-32001-2

死の意味

キリスト教の視点から

宮谷宣史編

聖書から教父を経て近代の思想家・文学者に至る死生観を学ぶ一方、現代社会の死の諸相を追究した研究者11人による学際的共同研究。

46判 300頁 本体2600円 1994年 4-400-61582-0

性の意味

キリスト教の視点から

宮谷宣史編

性の問題を、聖書神学、キリスト教思想、女性学の各専門分野から、11名の研究者によって論じられた、多彩で活発な共同研究。

46判 396頁 本体3000円 1999年 4-400-61591-X 僅少

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新七〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コインノニア、〈新ア〉＝新教ブックス

都市の神学



からだの救い

第一コリント書を中心にして

松永晋一著

パウロが示すからだの理解を、特にIコリントに即して追究、からだの自制と訓練、自由と愛、からだのよみがえり、そして教会論に及ぶ論集。

46判 264頁 本体2200円 2001年 4-400-32717-5

身体性の神学

〈現代神学双書〉

日本組織神学会編

20世紀末、鏡く露呈された生態学の問題を真剣に受けとめ、それを「身体」の問題の究明から解明する斬新な試み。日本組織神学会の総力を結集。

B6判 262頁 本体2426円 1990年 4-400-33074-5

身体性と神学

〈現代神学双書〉

喜田川信著

身体性を神学的に位置づけるという課題からハイデッガーの「存在と時間」と対話しつつ、神学の現代的展開の可能性を示唆する。

B6判 200頁 本体1600円) 1987年 4-400-33070-2

福音主義神学の展開

〈現代神学双書〉

H.ゴルヴィツァー著 村上 伸訳

〈運帯への解放〉を与えるみ言葉の衝迫にうながされて、現代の教会が直面する諸問題を、社会科学・哲学との対話の中で大胆率直に論じた力作。

B6判 346頁 本体2800円 1980年 4-400-33067-2

現代神学の論理の転換

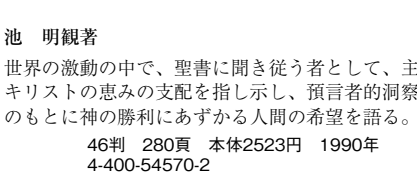
その場・理論・確証〈現代神学双書〉

D.リッツェル著 畑 祐喜訳

価値の多元化と多様化の進む現代、神学の枠組みの転換の可能性を探求してきた著者が、倫理と教会両面における神学の実践の行方を大胆に提示。

B6判 544頁 本体7000円 1997年 4-400-33080-X

勝利と敗北の逆説



現代に生きる思想

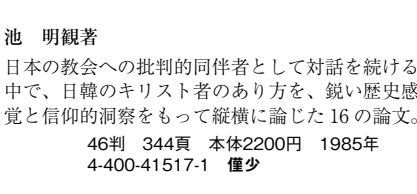
ハンナ・アレントと共に

池 明親著

政治哲学者H.アレントの思想との対話から、世紀末に立ち向かう現代人の存在根拠、それを支える思想の可能性をアジアの視点から考察。

46判 282頁 本体2600円 1989年 4-400-41567-8

破局の時代に生きる信仰



仲介者なる神

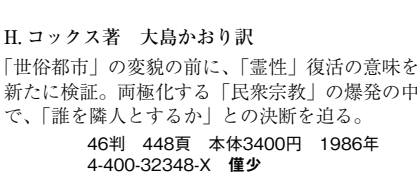
聖霊とキリスト教信仰

J. V.テイラー著 村上達夫訳

ホーケンダイクラの宣教の神学・現代論理学・文学・心理学との対話を通して、聖霊の働きの意味を把握、今日の世俗化社会における宣教論を展開。

46判 432頁 本体2600円 1979年 4-400-32590-3 僅少

世俗都市の宗教



世俗都市

〈現代神学双書〉

H コックス著 塩月賢太郎訳

キリスト教の存在意義を、現代都市の世俗化と都市化の問題の中で問い、教会の宣教とキリスト者の実存の革新、社会変動の神学を展望した力作。

B6判 430頁 本体3200円 1967年 4-400-43036-7 僅少

宗教改革の神学

〈オンデマンド・ブック〉

北森嘉藏著

第1部「ルターの神学」、第2部「カルヴァンの神学」、第3部「教義学方法論」。歴史神学を媒介した組織神学の試みに著者の創見が満ちている。

A5判 294頁 本体4400円 (60年) 2004年 4-400-30774-3

【カール・バルト 教会教義学】

神の言葉 I /1 (KD I /1)

序説／第1章 教義学の基準としての神の言葉

K.バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉

原書1932年。バルトの主著『教会教義学』の劈頭。教義学とは、その学問性とは、そして神の言葉とは何かをめぐる、教義学全体の根拠付け。

A5判 584頁 本体9500円 (95年) 2005年 4-400-34301-4

神の言葉 I /2 (KD I /1)

第2章 神の啓示〈上〉三位一体の神

K.バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉

「教義学序説」1-7節での形式的な論述を受けて、バルトにおける啓示論＝神の言葉論の初めの部分に当たる三位一体論が詳説される。

A5判 408頁 本体8500円 (95年) 2010年 4-400-30277-6

神の言葉 II /1 (KD I /2)

第2章 神の啓示〈中〉言葉の受肉

K.バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉

啓示論の第Ⅱ部では、聖書の証しの対象であるキリスト論が神の言葉の受肉の視点から展開される。再版に当たり部分的に改訂。

A5判 414頁 本体9500円 (95年) 2009年 978-4-400-34303-5

神の言葉 II /2 (KD I /2)

第2章 神の啓示〈下〉聖霊の注ぎ

K.バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉

啓示論の第Ⅲ部である聖霊論。神の言葉の出来事＝聖霊の注ぎとの関連で、教会、宗教、信仰、信仰者のこの世での生き方などが論じられる。

A5判 504頁 本体10000円 (96年) 2009年 978-4-400-34304-2

カルヴァンの神学

〈オンデマンド・ブック〉

W.ニーゼル著 渡辺信夫訳

告白教会の闘いの最中に刊行（1938年）されて以後、全世界のカルヴァン研究の方向性に決定的な影響を与えた古典的名著。

46判 388頁 本体4600円 (60年) 2004年 4-400-30773-5

初期カルヴァンの政治思想

田上雅徳著

人文主義者として知的生涯を開始したカルヴァンが、福音主義へと回心する過程で、政治の見方をどう変化させたのかを辿った画期的な研究の成果。

46判 280頁 本体3000円 1999年 4-400-42449-9

ツヴィングリの人と神学

F.ビュッサー著 森田安一訳

都市宗教改革の先駆者、ツヴィングリの生涯と思想を再評価し、教会と社会の預言者的な改革者としての歴史の意味を明らかにした画期的研究。

46判 200頁 本体1800円 1980年 4-400-32597-0

改革神学の展望

〈植村正久記念講座 3〉

H. J. クラウス著 蓮見和男訳

ドイツ改革派教会議長であった著者が86年来日折に語った講演を収録。今日の状況下に受容すべき教会の生命と使命をダイナミックに訴える。

B6判 230頁 本体1800円 1987年 4-400-31652-1

改革派神学の光と影

ウェストミンスター信仰基準の成立

J. H. リース著 今井 献訳

17世紀半ば、ウェストミンスターに結集した人々が、信仰告白、大小教理問答等を制定する経過、その歴史的・神学的意味と問題を鮮やかに描く。

46判 176頁 本体1700円 1997年 4-400-32433-8

ブツァーとカルヴァン

付1537年信仰問答（大森講座11）

芳賀繁浩著

カルヴァンとともに宗教改革の展開に多大な足跡を残した独自の改革者ブツァーの神学に〈信仰問答〉〈教会訓練〉の視点から迫った意欲作。

46判 136頁 本体1300円 1996年 4-400-31685-8 僅少

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック（新コ）＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

カルヴァンから学ぶ信仰の筋道

生誕500年記念講演集

渡辺信夫著

カルヴァンの生誕500年と『キリスト教綱要 改訳版』完結を記念し催された9つの講演会の記録。二度の『綱要』翻訳の著者によるカルヴァン論。

46判 176頁 本体1800円 2010年 978-4-400-32446-1

カルヴァンの『キリスト教綱要』を読む

渡辺信夫著

広大で複雑な『綱要』の世界を、時代や思想状況に照らし合わせながら、的確・平易に解説する。『綱要』の訳者による最も信頼できる入門書。

46判 256頁 本体2100円 2007年 978-4-400-32436-2

カルヴァン 歴史を生きた改革者

1509-1564

B. コットレ著 出村 彰訳

膨大な資料を駆使して、その思想を正確に描き出し、宗教改革のみならずそれ以降の西欧世界に影響を与えた人物の存在を浮き彫りにした本格評伝。

A5判 550頁 本体5900円 2008年 978-4-400-22122-7

カルヴァンの神学と霊性

「来るべき生への瞑想」〈大森講座22〉

吉田 隆著

「霊性とは信仰のかたちである」と定義し、カルヴァンの『キリスト教綱要』第二版、特に「キリスト者の生活について」を精密に読み解く。

46判 102頁 本体1000円 2007年 978-4-400-31696-1

ウィクリフ

宗教改革の暁の星

E. ロバートソン著 土屋澄男訳

教会の専制的支配に直面し、教会の誤謬を大胆に批判しながら聖書の英訳を果たした宗教改革の先駆けとも呼ばれるウィクリフを丹念に描く。

46判 172頁 本体1800円 2004年 4-400-42131-7

カルヴァン神学論文集

〈オンデマンド・ブック〉

赤木善光訳

回心前後の内面的発展を示す「コップの講演」（1533年）から死の5年前の「フランス信仰告白」（1559年）までカルヴァン理解に不可欠な9論文。

A5判 407頁 本体5500円 (67年) 2003年 4-400-30754-9

宗教改革関連書

ルターはヒトラーの先駆者だったか

宗教改革論集

宮田光雄著

ナチズムの惨禍に対する宗教改革責任論を考察する表題作ほか、神学、思想、現実に及ぶ影響史に迫り、宗教改革の真の継承を探った論集。

四六判 278頁 本体2750円 2018年 978-4-400-42711-7

天国から締め出されたローマ法王の話

エラスムス著 木ノ脇悦郎編訳

エラスムスの代表作。法王が天国の門番ペテロに阻まれ天国に入れてもらえないという風刺物語。エラスムス研究第一人者による解説・解題付き。

46判 284頁 本体2300円 2010年 978-4-400-32125-5

カルヴァン 霊も魂も体も

宗教改革論集1

出村 彰著

わが国の宗教改革史研究を牽引してきた著者の、単行本未収録重要論考を全3巻に集成。本巻はカルヴァンへの歴史神学的アプローチを試みる。

A5判 420頁 本体5000円 2009年 978-4-400-22111-1

ツヴィングリ 改革派教会の遺産と負債

宗教改革論集2

出村 彰著

スイス宗教改革の先駆者の生涯と思想に光を当て、その後の受容と影響作用史に及ぶ。また契約神学、再洗礼派に關する貴重な論考を収録。

A 5判 420頁 本体5000円 2010年 978-4-400-22112-8

牧会者カルヴァン

教えと祈りと励ましの言葉

カルヴァン著 E. マッキー編 出村 彰訳

カルヴァンの書簡、説教、『綱要』などの中から牧会者としての面目躍如たるものを抜粋、編集、解説したアンソロジー。貴重な示唆に富む必読書。

A5判 440頁 本体3800円 2009年 978-4-400-30111-0

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新七〉＝新教セミナーブック
 〈新コ〉＝新教コインノニア、〈新ブ〉＝新教ックス

神の言葉 II /3 (KD I /2)

第3章 聖書

K.バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉
 ここでは、聖書の正典性、靈感、教父や信条に体现された教会の権威、聖書解釈の責任と方法などの重要問題を、教会の説教のあり方から追求。

A5判 570頁 本体8800円 (77年)
 2015年 978-4-400-34305-9

神の言葉 II /4 (KD I /2)

第4章 教会の宣教

K.バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉
 宣教論的な視点から教義学の基本的な方法論を論じる。教会に委託された宣教の内容と方法、教義学と倫理学との関係などが扱われる。

A5判 312頁 本体8000円 (77年)
 2009年 978-4-400-34306-6

神論 I /1 (KD II /1)

第5章 神の認識

K.バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉
 『教会教義学』はここ第5章より「神論」に入る。本巻では神論の方法論が、その「実現」「可能性」「限界」の各面から論じられる。

A5判 470頁 本体8300円 (78年)
 2005年 4-400-34307-3

神論 I /2 (KD II /1)

第6章 神の現実〈上〉

K.バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉
 神論の各論的叙述に入る。特に第28節「自由の中で愛する方としての神の存在」では神の人格性が「行為の中での神の存在」として捉えられる。

A5判 355頁 本体7200円 (79年)
 2005年 4-400-34308-1

神論 I /3 (KD II /1)

第6章 神の現実〈下〉

K.バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉
 第31節「神の自由の様々な完全性」のもと神の単一性／遍在、不変性／全能、永遠性／栄光によって、神の完全に関する叙述が完成する。

A5判 490頁 本体8300円 (79年)
 2005年 4-400-34309-X

神論 II /1 (KD II /2)

第7章 神の恵みの選び〈上〉

K.バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉
 原書1942年。いわゆる予定論に対してバルトが施した独自の解釈が全面的に展開され、キリスト論的集中の特徴が最もよく現れている。

A5判 558頁 本体9100円 (82年)
 2005年 4-400-34310-3

神論 II /2 (KD II /2)

第7章 神の恵みの選び〈下〉

K.バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉
 バルトの予定論中最大の分量を配する「個人の選り」とりわけイェスカリオテのユダをめぐる長大な神学的釈義はあまりにも有名。

A5判 375頁 本体7400円 (82年)
 2005年 4-400-34311-1

神論 II /3 (KD II /2)

第8章 神の誠め

K.バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉
 第36節「神論の課題としての倫理学」、第37節「神の要求としての誠め」、第38節「神の決断としての誠め」、第39節「神の裁きとしての誠め」

A5判 563頁 本体9200円 (83年)
 2005年 4-400-34312-X

創造論 I /1 (KD III /1)

第9章 創造の業〈上〉

K.バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉
 原書1945年。創造論の基礎付け。特に創世記の詳細な釈義を基に「契約の外的根拠としての創造」「創造の内的根拠としての契約」が論じられる。

A5判 611頁 本体9600円 (84年)
 2005年 4-400-34313-8

創造論 I /2 (KD III /1)

第9章 創造の業〈下〉

K.バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉
 第42節「創造者なる神の肯定」。創造が神の愛から出た恵みの業であり、神の力強い肯定であるという主題を、厳密にキリスト論的に展開する。

A5判 174頁 本体4700円 (85年)
 2005年 4-400-34314-6

創造論 II /1 (KD III /2)

第10章 造られたもの〈上〉

K.バルト 菅 円吉／吉永正義訳〈オ〉
 本章全体が人間論。バルトは、ここで旧来の神学的人間論に従うことができず、「開拓者として」取り組まねばならなかったと述懐している。

A5判 421頁 本体7800円 (73年)
 2005年 4-400-34315-4

創造論 II /2 (KD III /2)

第10章 造られたもの〈中〉

K.バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉
 第45節「神の契約相手に定められた人間」、第46節「精神とからだとしての人間」。創造論における人間論の高所。

A5判 528頁 本体8700円 (74年)
 2005年 4-400-34316-2

創造論 II /3 (KD III /2)

第10章 造られたもの〈下〉

K.バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉
 第47節「時間の中での人間」。時間をめぐる精緻な考察が展開され、人間学的な興味と同時にバルトの終末論を理解する上できわめて重要。

A5判 490頁 本体8400円 (74年)
 2005年 4-400-34317-0

創造論 III /1 (KD III /3)

第11章 創造者とその被造物〈上〉

K.バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉
 本巻では摂理論が展開される。第48節「摂理についての教説、その根拠と形態」、第49節「その被造物の主としての父なる神」。

A5判 548頁 本体9000円 (85年)
 2005年 4-400-34318-9

創造論 III /2 (KD III /3)

第11章 創造者とその被造物〈下〉

K.バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉
 悪の問題に渾身の力を込めて取り組んだ第50節「神と虚無的なもの」、及びトマスと比肩される天使論、第51節「天国と神の使とその敵対者」。

A5判 484頁 本体8600円 (85年)
 2005年 4-400-34319-7

創造論 IV /1 (KD III /4)

第12章 創造者なる神の誠め〈i〉

K.バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉
 第52節「創造の教説の課題としての倫理学」、第53節「神の前での自由」。ここからバルトの創造論の倫理が展開されていく。

A5判 221頁 本体5000円 (80年)
 2005年 4-400-34320-0

創造論 IV /2 (KD III /4)

第12章 創造者なる神の誠め〈ii〉

K.バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉
 第54節「交わりの中での自由」の下、「男と女」「親と子」「近い者と遠い者」など、性・世代間・異民族間の共生といった喫緊の主題が論じられる。

A5判 404頁 本体7700円 (80年)
 2005年 4-400-34321-9

創造論 IV /3 (KD III /4)

第12章 創造者なる神の誠め〈iii〉

K.バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉
 第55節「生への自由」。ここでは「生への畏敬」「生の保護」「働く生活」の下で、安楽死や死刑、戦争の是非といった倫理学上の難問に取り組む。

A5判 492頁 本体8500円 (80年)
 2005年 4-400-34322-7

創造論 IV /4 (KD III /4)

第12章 創造者なる神の誠め〈iv〉

K.バルト 吉永正義訳〈オンデマンド・ブック〉
 第56節「限界の中での自由」。「一度だけの機会」「召命」「栄誉」に関する論述でもって創造論の大きな倫理が締めくくられる。

A5判 280頁 本体5500円 (81年)
 2005年 4-400-34323-5

和解論 I /1 (KD IV /1)

第13章 和解論の対象と問題

K.バルト 井上良雄訳〈オンデマンド・ブック〉
 原書1953年。ここ第13章より第IV巻「和解論」の広大な世界が開始される。第57節「和解者なる神の業」、第58節「和解についての教説」。

A5判 286頁 本体5400円 (59年)
 2005年 4-400-34324-3

和解論 I /2 (KD IV /1)

第14章 僕としての主イエス・キリスト〈上〉

K.バルト 井上良雄訳〈オンデマンド・ブック〉
 和解論の本論に入る。第59節「神の子の従順」の1「異郷に赴く神の子」、2「われわれに代わって審かれ給うた者としての審判者」、3「父の判決」

A5判 380頁 本体7300円 (60年)
 2005年 4-400-34325-1

和解論 I /3 (KD IV /1)

第14章 僕としての主イエス・キリスト〈中〉

K.バルト 井上良雄訳〈オンデマンド・ブック〉
 第60節「人間の傲慢と墮落」、第61節「人間の義認」のもとに罪が傲慢と墮落として規定され、それがいかに審かれた後に義とされるかを論じる。

A5判 540頁 本体9500円 (60年)
 2012年 978-4-400-34326-4

和解論 I /4 (KD IV /1)

第14章 僕としての主イエス・キリスト〈下〉

K.バルト 井上良雄訳〈オンデマンド・ブック〉
 和解論第I部の掉尾おなる教会論と信仰論。第62節「聖霊とキリスト教団の集まり」、第63節「聖霊とキリスト教信仰」。

A5判 300頁 本体6000円 (59年)
 2011年 978-4-400-34327-1

和解論 II /1 (KD IV /2)

第15章 主としての僕イエス・キリスト〈上1〉

K.バルト 井上良雄訳〈オンデマンド・ブック〉
 本巻から和解論第II部「主としての僕イエス・キリスト」。和解論のもう一つの主題、キリストの王職の持つ意味と射程が展開されていく。

A5判 310頁 本体7800円 (64年)
 2009年 978-4-400-34330-1

和解論 II /2 (KD IV /2)

第15章 主としての僕イエス・キリスト〈上2〉
K.バルト 井上良雄訳〈オンデマンド・ブック〉

第64節「人の子の高擧」の後半、3「王的人間」および4「御子の訓令」。和解論第II部におけるキリスト論の中核的部分。

A5判 398頁 本体8500円 (66年)
2011年 978-4-400-34331-8

和解論 II /3 (KD IV /2)

第15章 主としての僕イエス・キリスト〈中〉
K.バルト 井上良雄訳〈オンデマンド・ブック〉

第65節「人間の怠慢と悲惨」および第66節「人間の聖化」。キリストの十字架と復活によって克服され、新たに創造された人間の現実。

A5判 460頁 本体8800円 (68年)
2011年 978-4-400-34332-5

和解論 II /4 (KD IV /2)

第15章 主としての僕イエス・キリスト〈下〉
K.バルト 井上良雄訳〈オンデマンド・ブック〉

第67節「聖霊とキリスト教団の建設」および第68節「聖霊とキリスト教的愛」。人を生かし、神の証人として献身させる力としての聖霊。

A5判 448頁 本体9400円 (72年)
2018年 978-4-400-34333-2

和解論 III /1 (KD IV /3)

第16章 真の証人イエス・キリスト〈上1〉
K.バルト 井上良雄訳〈オンデマンド・ブック〉

本巻から第三部「真の証人イエス・キリスト」で、その預言職を展開。本分冊は第69節「仲保者の栄光」。その2は有名な「生の光」論。

A5判 290頁 本体8600円 (84年)
2015年 978-4-400-34334-9

和解論 III /2 (KD IV /3)

第16章 真の証人イエス・キリスト〈上2〉
K.バルト 井上良雄訳〈オンデマンド・ブック〉

第69節「仲保者の栄光」の後半。3「イエスは勝利者だ!」、4「御霊の約束」。この分冊で第三部の「狭義のキリスト論的基礎づけ」が完成する。

A5判 366頁 本体8000円 (85年)
2010年 978-40-400-34335-6

和解論 III /3 (KD IV /3)

第16章 真の証人イエス・キリスト〈中〉
K.バルト 井上良雄訳〈オンデマンド・ブック〉

本分冊の第70節「人間の虚偽と断罪」と第71節「人間の召命」が、和解論第三部における人間の罪および和解に関する教説を展開する。

A5判 560頁 本体9500円 (86年)
2012年 978-4-400-34336-3

和解論 III /4 (KD IV /3)

第16章 真の証人イエス・キリスト〈下〉
K.バルト 井上良雄訳〈オンデマンド・ブック〉

第72節「聖霊とキリスト教団の派遣」はバルトの最大の教会論。第73節「聖霊とキリスト教的希望」は第I部の愛、第II部の信仰に対応する。

A5判 498頁 本体9500円 (86年)
2009年 978-4-400-34337-0

和解論 IV (KD IV /4. Fragment)

キリスト教的生
K.バルト 井上良雄訳〈オンデマンド・ブック〉

バルトの洗礼論。「和解者なる神の戒め」の主題で展開される倫理学の一部だったが、完成されず、生前これのみが〈断片〉として刊行された。

A5判 378頁 本体9000円 (88年)
2018年 978-4-400-34338-7

【カール・バルト著作集】**教義学論文集 中**

〈カール・バルト著作集 2〉
菅 円吉／蓮見和男他訳

1930-34年におけるバルトの教会教義学への発酵期・ブルンナーらとの激しい論争の中から生まれた諸論文。「福音主義教会の危急」他 8篇。

A5判 326頁 本体4500円 1989年
4-400-30202-4

教義学論文集 下

〈カール・バルト著作集 3〉
井上良雄／小川圭治他訳

1936年以降の代表作「神の恵みの選び」「ルドルフ・ブルトマン」等 10篇収録。戦争の激動をくぐり抜け重大な転換を遂げた跡を示す。

A5判 432頁 本体6700円 1997年
4-400-30203-2

神学史論文集

〈カール・バルト著作集 4〉
吉永正義／小川圭治訳

シュライエルマッハー他近代神学者の神学を縦横に論じ、フォイエエルバッハ、キルケゴールを巡り興味つきない語り口を見せる。歴史神学論文 12篇。

A5判 300頁 本体5000円 1999年
4-400-30204-0

十九世紀のプロテスタント神学 上

第一部 前史 [上] 〈カール・バルト著作集 11〉
佐藤敏夫 岩波哲男 高尾利数 小樋井滋訳

19世紀神学の前提としての18世紀の啓蒙主義的人間観とその神学的な問題に迫り、近代神学史の課題を提示。

A5判 204頁 本体3000円 1971年
4-400-30211-3

十九世紀のプロテスタント神学 中

第一部 前史 [下] 〈カール・バルト著作集 12〉
佐藤司郎 安酸敏眞 戸口日出夫 酒井 修訳

ルソー、カント、ノヴァーリス、ヘーゲルらに神学的批評の光を当てた名講義。神学史家としての力量を遺憾なく発揮したユーモア溢れる論述。

A5判 380頁 本体5000円 2006年
4-400-30212-1

十九世紀のプロテスタント神学 下

第二部 歴史 〈カール・バルト著作集 13〉
安酸敏眞・佐藤貴史・濱崎雅孝訳

いよいよ本論たる19世紀の神学者。シュライエルマッハーからフォイエエルバッハ、シュトラウス、ブルームハルトからリッチェルまで 18人。

A5判 384頁 本体5000円 2007年
978-4-400-30213-1

バルトの著作**教義学要綱**

〈ハンディ版〉
K.バルト著 天野 有 宮田光雄訳

戦後間もない1946年夏学期、かつてナチによって追放されたボン大学で行った使徒信条による教義学の入門講義。神学への最上の道案内。

小B6判 366頁 本体2000円 2020年
978-4-400-30650-4

知解を求める信仰

アンセルムスの神の存在の証明 〈新セ〉
カール・バルト著 吉永正義訳

原著は1931年刊行。『ローマ書』に代表される前期と『教会教義学』に代表される後期との転換点をなす重要な著作。

A5判 240頁 本体2800円 2015年
978-4-400-30681-8

イスカリオテのユダ

〈新教セミナーブック〉
K.バルト著 吉永正義訳

バルト『教会教義学』の『神論』II/1「神の恵みの選び」で特にユダの問題を取り上げた長大な神学的釈義を抜粋。審きと救いをめぐる神学。

B6判 200頁 本体2200円 1997年
978-4-400-30241-4

バルト・セレクション 1

聖書と説教
カール・バルト著 天野 有編訳

文庫で読めるバルトの新選集。全7巻・収録論稿 89編はすべて新訳。その1が「聖書と説教」。代表的な説教論2篇と説教・講演 27編を収録。

文庫判 624頁 本体1900円 2010年
978-4-400-30161-5

バルト・セレクション 4

教会と国家 I
カール・バルト著 天野 有編訳

宗教社会主義から弁証法神学を経て反ナチ闘争に至る激動期の重要論考 8編を収録。「神学的公理としての第一誠」「今日の神学的実存!」等。

文庫判 544頁 本体1800円 2011年
978-4-400-30164-6

バルト・セレクション 5

教会と国家 II
カール・バルト著 天野 有編訳

反ナチ教会闘争時代の重要論考 10編を収録。「福音と律法」「義認と法」など教会と国家の問題を考える上で必読の文献を詳細な訳注と共に。

文庫判 648頁 本体1900円 2013年
978-4-400-30165-3

バルト・セレクション 6

教会と国家 III
K.バルト著 天野 有編訳

戦後再建期から東西冷戦期へと向かう時代の「キリスト者共同体と市民共同体」「国家秩序の転換の中にあるキリスト教会」など重要論考 11編。

文庫判 587頁 本体1800円 2018年
978-4-400-30166-0

キリスト教的生 I

〈オンデマンド・ブック〉
K.バルト著 天野 有訳

バーゼル大学神学部最終講義『和解論の倫理』遺稿の再構成。主の祈り講解形式で進められたユニークな展開、キリスト中心の強健な信仰が溢れる。

A5判 280頁 本体8800円 (98年)
2013年 978-4-400-12107-7

バルト関連書

バルト神学とオランダ改革派教会

危機と再建の時代の神学者たち〈大森講座 33〉石原弘著

バルト神学を受容史を通して 20 世紀オランダ改革派教会の神学史に貴重な視点を提供し、更に社会の中の教会のあり方を考えさせる労作。

A5判 118頁 本体1100円 2019年 978-4-400-31707-4

カール・バルトとエキュメニズム

一つなる教会への途

佐藤司郎著

バルトにとってエキュメニズム、そして教会の宣教とは何か？ 広範なテキストの綿密な解説を通してその神学の根本モチーフを解明。

A5判 270頁 本体3500円 2019年 978-4-400-31087-7

カール・バルトの愛と神学

DVD＋ブックレット

P.ライヘンバッハ監督 福嶋 揚解説

20 世紀最大の神学者の闘いの生涯を、本人の証言や関係者の貴重なインタビューで辿る。秘書キルシュバウムとの関係も正面から扱う。

A5変判 24頁 本体3700円 2019年 978-4-400-82804-4

翼をもつ言葉

説教をめぐるバルトとの対話

ウィリアム・ウィリモン著 宇野 元訳

北米を代表する実践神学者・説教者がバルトの説教および説教論と正面から取り組み、時にはバルトを批判しながら、徹底的に考察した大著。

A5判 460頁 本体5500円 2015年 978-4-400-32100-2

カール・バルトの教会論

旅する神の民

佐藤司郎著

初期から後期に至る教会論の展開と深化を追跡し、内在する論理と歴史状況とを綿密に検討。バルト教会論を全体的に論じたわが国で初の労作。

A5判 416頁 本体5500円 2015年 978-4-400-31076-1

神認識と神奉仕

スコットランド信条講解〈新セ〉

K.バルト著 宍戸 達訳

伝統あるギフォード講演に招かれ（37/38年）、ジョン・ノックスらの闘いが生んだ国民的信仰告白を、同時代の教会の課題に重ねて熱く語る。

A5判 208頁 本体2400円 1971年 4-400-30674-7

死人の復活

第一コリント書十五章の講義〈新セ〉

K.バルト著 山本 和訳

1923年のゲッティンゲンにおける講義。バルトの復活理解はもとより聖書釈義の特徴をよく示す初期の代表作の一。巻末の神学的自伝も感動的。

A5判 216頁 本体2400円 1981年 4-400-30675-5

ピリピ書注解

〈新教セミナーブック〉

K.バルト著 山本 和訳

1924年、26/27年に行ったピリピ書講義。キリスト教的の生活に対する終末的信仰の意味を解明した、バルトのいわゆる「神学的釈義」の精髓。

A5判 180頁 本体2200円 1981年 4-400-30676-3

福音主義神学入門

〈新教セミナーブック〉

K.バルト著 加藤常昭訳

バーゼル大学での最後の講義（1961-62年）。「神学の場所」「神学的実存」「神学の危険」「神学作業」の四部に分けて平明・簡潔にまとめる。

A5判 190頁 本体2200円 1968年 4-400-30678-X

地上を旅する神の民

バルト「和解論」の教会論〈新セ〉

K.バルト著 井上良雄訳

カール・バルト「教会教義学」の第4巻「和解論」13巻より特に教会の本質を論じた部分を抜粋編集したもの。教会論を体系的に学ぶための最適書。

46判 294頁 本体2500円 2008年 978-4-400-33432-3

カール・バルト＝滝沢克己往復書簡

1934-1968

寺園喜基訳

戦前から戦後にかけて、思想的な緊張をはらみながらも深い信頼に基づいて師弟の交わりを保った二人の、34年に及ぶ81通の書簡を収録。

46判 275頁 本体2700円 2014年 978-4-400-31075-4

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

国家の暴力について

死刑と戦争をめぐる創造論の倫理〈新セ〉

K.バルト著 天野 有訳

1951年公刊『教会教義学』Ⅲ/4「創造者なる神の戒め」で展開された創造論倫理のうち「死刑」「戦争」という国家的暴力の極限形態を論じる。

A5判 152頁 本体1800円 2003年 4-400-30679-7 僅少

ローマ書

〈オンデマンド・ブック〉

K.バルト著 吉村善夫訳

20世紀神学の開始を告げたあまりにも有名なローマ書講解第2版の全訳。屈曲した原文に漲るさまざまな緊張を見事に伝える吉村訳も声価高い。

A5判 662頁 本体7900円（67年）2013年 978-4-400-10215-1

われ信ず

使徒信条に関する教義学の主要問題〈新セ〉

K.バルト著 安積鋭二訳

ボン大学教授職停止を命じられたバルトが、翌35年にオランダ・ユトレヒト大学で行った16回の講義。バルトの文字通り信仰告白的な名講義。

A5判 184頁 本体2200円 2003年 4-400-30671-2

キリスト教の教理

ハイデルベルク信仰問答による〈新セ〉

K.バルト著 井上良雄訳

ドイツ敗戦後の47年にボン大学に招かれて行った講義。ハイデルベルク信仰問答の最良の解説であると同時に、バルト神学への入門書でもある。

A5判 140頁 本体2000円 1954年 4-400-30672-0

教会の洗礼論

〈新教セミナーブック〉

K.バルト著 宍戸 達訳

スイスの牧師、神学者たちを前に語られた歴史的名講演の記録。洗礼の本質、その力、意義、効果とは何か。聖餐問題を考える上でも必読の文献。

A5判 96頁 本体1100円 2008年 978-4-400-30680-1

教会の信仰告白

ジュネーブ教会信仰問答による使徒信条講解〈新セ〉

K.バルト著 久米 博訳

大戦下、スイスの牧師たちにフランス語で行った講義の速記録。時にカルヴァンと対決しつつ、この偉大な改革者の真意を明らかにしようとする。

A5判 140頁 本体2000円 1971年 4-400-30673-9

キリスト教的生 Ⅱ

K.バルト著 天野 有訳

『和解論』Ⅳで和解論の倫理の完成を目指したバルトの名著。「神の誉れを求める熱心」と題された77節は気宇壮大な講解である。

A5判 450頁 本体7200円 1998年 4-400-30266-2

晩年に贈られた友情

バルト・ツックマイアー往復書簡

宇野 元訳

死の1年半前81歳のバルトが文学者ツックマイアーに宛てた1通のファンレターから始まった友情。最晩年のバルトの肉声を伝える貴重な対話。

46判 140頁 本体1800円 2006年 4-400-32378-1

キリスト教倫理学総説 I /1

K.バルト著 吉永正義訳

1929-1931年、二つの大学神学部で、心血を注いで試みた神学的倫理学講義の集大成。神の言葉、神の要求としての神の戒めに聴従する道を示す。

A5判 240頁 本体4000円 2000年 4-400-30267-9

キリスト教倫理学総説 I /2

K.バルト著 吉永正義訳

バルトが40歳代で講義した神学倫理（1928/29年ミュンスター、29/30年ボン）。本分冊では、「創造主なる神の戒め」の各論的主題を扱う。

A5判 290頁 本体5200円 2003年 4-400-30268-7

キリスト教倫理学総説 Ⅱ /1

K.バルト著 吉永正義訳

いよいよ和解論の倫理に着手。ルター、カルヴァンと厳しく対論しつつ義認と聖化の問題をめくり、和解主なる神の戒めと人間の責任を論ずる。

A5判 448頁 本体7200円 2003年 4-400-30269-5

キリスト教倫理学総説 Ⅱ /2

K.バルト著 吉永正義訳

神の戒めに対する従順の行為は良心的で感謝に満ち、希望のうちに生きる現実である。バルトの「救済論」が凝縮された最重要書。

A5判 180頁 本体3200円 2005年 4-400-30270-9

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
 〈新コ〉＝新教コインノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

逆説から歴史へ

バルト神学におけるキリスト論的思惟の変貌
 八谷俊久著

生成と展開が示すバルトの核心。初期『ローマ書』の逆説的キリスト論から後期「和解論」の新たなキリスト論の構想に至る巨大な神学的転換。

A5判 363頁 本体3600円 2015年
 978-4-400-31079-2

歴史から世界へ

20世紀のプロテスタント神学におけるキリスト論の諸問題
 八谷俊久著

史的イエス問題とキリスト論とはどう接合するのか。バルト、ブルトマン、ティリッヒ、ボンヘッファー、モルトマンらの神学的苦闘を辿る。

A5判 331頁 本体3400円 2018年
 978-4-400-31083-9

カール・バルト

〈現代キリスト教の源泉〉

K. クーピッシュ著 宮田光雄／村松恵二訳

バルト神学形成と実存の姿を、思想環境や時代背景との関わりの中で的確に位置づける。バルト神学の巨大な世界への簡潔で信頼に足る道案内。

46判 260頁 本体1900円 1994年
 978-4-400-30576-7

バルト神学入門

E. ブッシュ著 佐藤司郎訳

バルト最晩年の助手を務めた最高の理解者による入門書。バルト神学の出発点から教会教義学にまで至る広大な世界をコンパクトに道案内。

46判 192頁 本体2000円 2009年
 978-4-400-33100-1 僅少

日本におけるカール・バルト

敗戦までの受容史の諸断面

バルト神学受容史研究会編著

昭和初年から敗戦に至る四半世紀、教会、神学校から京都学派、SCM運動等に至る広範な場で、バルトがいかに読まれたかを検証した共同研究。

46判 506頁 本体4700円 2009年
 978-4-400-21310-9

カール・バルトと現代

E. ブッシュ教授を迎えて 〈新教コインノーニア〉

小川圭治編

『K.バルトの生涯』の著者ブッシュ教授来日記録。バルト神学の今日の射程を、教会論・国家論に即して論じた講演・説教、日本側の応答を収録。

A5判 184頁 本体1358円 1990年
 4-400-40707-1

和解と希望

告白教会の伝統における状況神学の試み

B. クラッパート著 寺園喜基編

「アウシュヴィッツ以後の神学」の建設に取り組む中で示される、バルト－ボンヘッファーの線上にあるエキュメニカルな神学の現代的意味。

46判 480頁 本体5340円 1993年
 4-400-32407-9

カール・バルトとユダヤ人問題

再びE. ブッシュ教授を迎えて 〈新コ〉

小川圭治／寺園喜基編

ブッシュが論じたバルトの反ナチ闘争の真相を日本の教会がどう受け止め神学的実存に生かすのか、その問題をめぐる講演・論文・説教・報告集。

A5判 152頁 本体1600円 2004年
 4-400-40719-5

カール・バルトの生涯 改訂新版

1886-1968 〈オンデマンド・ブック〉

E. ブッシュ著 小川圭治訳

バルトの生涯とそのダイナミックな神学の展開を、最晩年の助手が豊富な引用と共に20世紀の歴史的な文脈に位置づけて描き切った大作。

A5判 768頁 本体14000円 (89年)
 2020年 978-4-400-34405-6

カール・バルトと反ナチ闘争 上巻

1933-1945年 ユダヤ人問題を中心に

E. ブッシュ著 小川圭治他訳

バルメン宣言作成から、ボンダを追われてスイスに帰国するまでのナチズム批判、ユダヤ人問題認識の深化を、徹底的な資料精査によって描く。

A5判 368頁 本体6500円 2002年
 4-400-42117-1

カール・バルトと反ナチ闘争 下巻

1933-1945年 ユダヤ人問題を中心に

E. ブッシュ著 雨宮栄一他訳

スイス帰国後の活動を詳述。告白教会との連帯、難民救済事業への参加、反ユダヤ主義への批判から「イスラエルの神学」が生まれるまで。

A5判 392頁 本体6500円 2002年
 4-400-42119-8

カール・バルトのローマ書研究

大崎節郎著

バルトの『ローマ書』(第2版1922年)成立の劇的経過、その主題と内容と衝撃力、それ以後のバルト神学の展開と意味を広く深く解明した大作。

A5判 530頁 本体6800円 1987年
 4-400-31049-3

恩寵と類比

バルト神学の諸問題 〈現代神学双書〉

大崎節郎著

初期バルトの問題点に視点を定め、キリスト論的集中のもとに、神の存在、予定論、人間論等を解明、神の言葉の神学の不朽の意味を鮮明にする。

B6判 340頁 本体3397円 1992年
 4-400-33076-1

途上のキリスト論

「バルト＝ボンヘッファー」の今日的意味

寺園喜基著

バルト・オーソドキシの弊害を克服する意図のもとに、新しい活力に溢れるバルト理解とその現実化を求めて、和解者キリストの現実性を開示。

46判 250頁 本体2600円 1999年
 4-400-32700-0 僅少

生ける主に従う

教会の神学を求めて

佐藤司郎著

バルトを20世紀神学の座標軸とし、その三一論研究から出発して現代神学と対話しつつ、実践的諸問題と教会的神学構築の方向を模索する論集。

46判 220頁 本体2000円 1999年
 4-400-31071-X

バルト神学の行程

佐々木徹著

バルト神学が形成される途上で出会った重要問題と真正面から取り組む。バルト神学におけるカトリック側の初期反応など、興味尽きないテーマ。

46判 224頁 本体2500円 2003年
 4-400-32748-5 僅少

三位一体の神

カール・バルトの神学研究

佐々木徹著

『教会教義学』の三位一体論・神論研究。原典に忠実に即しつつ、そのキリスト論的集中、三位一体論、神論の連関を解明、永遠の愛なる神を解明。

A5判 300頁 本体4500円 2000年
 4-400-32705-1 僅少

コンテクストの中の神学

バルト神学の原点と展開

細川道弘著

神学者カール・バルトの思想(テキスト)を、時代状況(コンテクスト)との関わりから読み解くという方法論に立ってその展開を跡づける。

46判 280頁 本体2000円 1997年
 4-400-32427-3

神の言葉の神学

バルト神学とその特質

吉永正義著

『教会教義学』Iの祖述を通して、教義学の標準たる神の言葉の特質、三位一体論の位置と意味、「神の言葉の神学」の教義学的必然性を確認。

A5判 752頁 本体8214円 1988年
 4-400-31055-8 僅少

受肉と聖霊の注ぎ

バルト神学とその特質

吉永正義著

『教会教義学』I-2を中心に初期バルトの他の諸研究を比較考察し、「言葉の受肉」と「聖霊の注ぎ」に焦点を合わせてその独自性を解明する。

A5判 750頁 本体9514円 1992年
 4-400-31061-2

バルト神学研究

菅 円吉著

バルトとの出会いを契機に、戦前・戦中・戦後の40年間、バルト研究に集中した著者の学的蓄積から、代表作「理性と啓示」を中心に13篇を収録。

A5判 550頁 本体4800円 1979年
 4-400-31042-6 僅少

カール・バルト『和解論』における復活

〈大森講座17〉

田村宏之著

膨大な『和解論』の体系と構造の中でキリストの復活がどのように論じられているかを精査し、神と人の隔たりを超える聖霊の働きに注意を促す。

46判 80頁 本体1000円 2002年
 4-400-31691-2

世にあるキリスト

リヒャルト・ヴィルヘルムへの手紙

C. H. ブルームハルト著 川島堅二訳

子ブルームハルトが、中国伝道に献身した女婿ヴィルヘルムに、1898-1914年の間に書き送った手紙123通。真に人間の・民衆的な宣教論。

46判 340頁 本体3800円 2000年
 4-400-52102-8

ボンヘッファーの著作

ボンヘッファー家の運命

その苦難・抵抗・勝利

S.ライプホルツ／G.ライプホルツ著 初宿正典訳

ボンヘッファーの双生児の妹ザビーネが、兄を回想しつつ、第二次大戦下の苦難を証言。夫ゲルハルトのボンヘッファー論を加えた貴重な資料。

46判 396頁 本体3200円 1985年
4-400-62338-6

ボンヘッファーの生涯

写真と著作による評伝

E.ペートゲ夫妻／C.グレルムス編 高橋祐次郎訳

500枚以上の写真、著作・書簡・日記からの抜粋と解説によって、ボンヘッファーの生涯・時代・思想を余すところなく描き出した画期的評伝。

A4変型 256頁 本体6601円 1992年
4-400-30317-9

ボンヘッファーの神学

解釈・キリスト論・この世理解

E.ファイル著 日本ボンヘッファー研究会訳

ボンヘッファー神学の包括的研究としては最高の秀作の誉れが高い。方法論の提示に始まり、キリスト論の位置づけ、将来的展望と問題提起に及ぶ。

46判 500頁 本体5800円 2001年
4-400-32109-6

ボンヘッファーと日本

ペートゲ 80歳祝賀論文集

村上伸／森岡巖／森野善右衛門編

ペートゲの80歳を祝ってその志にちななる日本とドイツの研究者が相呼応し、今日、共に生きかつ戦う意義と課題を真剣に追究した論文20篇録。

46判 380頁 本体3300円 1989年
4-400-41526-0

社会倫理と霊性

大庭昭博著

教会の宣教の現場で出会う問題と、ボンヘッファーが残した信仰と実践、特に教会論と深い霊性に生かされて格闘した教会的・神学的実践の総括。

46判 240頁 本体2200円 1998年
4-400-42446-4

D. ボンヘッファーの政治思想

抵抗と再建の論理と倫理

山崎和明著

責任参与の神学倫理が成立する過程を綿密な資料分析によって考証し、「世」の概念によるその論理を総体的に論じ切った類を見ない力作。

A5判 360頁 本体5000円 2003年
4-400-42739-0

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コインノニア、〈新ブ〉＝新教ボックス

この世的に生きるキリスト者

ボンヘッファーの幻

M.クスケ著 日本ボンヘッファー研究会訳

東ドイツの困難な状況下で、ボンヘッファーの思想に触発されつつ、キリスト者が「この世的に」生きる可能性を追求した真摯な試み。

46判 316頁 本体3300円 1991年
4-400-42376-X

【ティリッヒ組織神学】

組織神学 第一巻

〈オンデマンド・ブック〉

P.ティリッヒ著 谷口美智雄訳

ティリッヒの主著の全訳。「序論」で「相関関係」の方法を提示、第1部「理性と啓示」、第2部「存在と神」で、啓示と理性論の上に神論を構築。

A5判 386頁 本体9000円 (69年)
2020年 978-4-400-34281-6

組織神学 第二巻

〈オンデマンドブック〉

P.ティリッヒ著 谷口美智雄訳

第3部「実存とキリスト」。人間の実存様態が精緻に分析され、人間にとっての「キリストの現実性」が全面的に論じられる。

A5判 239頁 本体5000円 (69年)
2010年 978-4-400-34282-3

組織神学 第三巻

〈オンデマンドブック〉

P.ティリッヒ著 土居真俊訳

第4部「生と霊」、第5部「歴史と神の国」のもと、生の諸次元における聖霊の働きや、歴史との関連でカイロス概念をめぐる雄渾な思索が展開。

A5判 570頁 本体9500円 (84年)
2018年 978-4-400-34283-0

ティリッヒ関連書

ティリッヒの『組織神学』研究

藤倉恒雄著

『組織神学』全体と真向から対峙し、その全体的思考構造を厳密に分析、独自の〈宗教哲学〉の本質と全貌を提示した本格的なティリッヒ神学研究。

A5判 250頁 本体3500円 1988年
4-400-31056-6

ティリッヒの神と諸宗教

〈現代神学双書〉

藤倉恒雄著

『組織神学』後に構想された「具体的な霊（性）の宗教」を基に、「新しい存在」と「諸宗教との対話」へと展開していく神学的な論理を辿る。

B6判 272頁 本体2717円 1992年
4-400-33075-3 僅少

ティリッヒの人間理解

茂 洋著

前著『ティリッヒの組織神学の構造』（1971年）を基礎に、ティリッヒの説教の検証のもとに、その人間理解と終末観、文化観を究明した力作。

A5判 300頁 本体4000円 1986年
4-400-31045-0

ティリッヒ神学における存在と生の理解

茂 洋著

「自分の神学を聖霊論から再構成してみたい」と語ったティリッヒの「存在」理解の基礎となる生の理解の追究を試み、聖霊論への可能性を探る。

A5判 152頁 本体2000円 2005年
4-400-32771-X

モルトマンの著作

希望の倫理

J.モルトマン著 福嶋 揚訳

テロ、戦争、貧困、環境破壊、生命操作など課題山積の21世紀を生きるための終末論的倫理。『希望の神学』でデビューした著者の神学的総決算。

46判 470頁 本体4000円 2016年
978-4-400-40738-6

わが足を広きところへ

モルトマン自伝

J.モルトマン著 蓮見幸恵／蓮見和男訳

生い立ち、戦争と虜囚、修道と神学形成、その後の独創的な思想展開などをつぶさに記した神学的自伝。20世紀神学史としても興味尽きない。

A5判 552頁 本体5700円 2012年
978-4-400-32043-2

科学と知恵

自然科学と神学の対話

J.モルトマン著 蓮見和男・蓮見幸恵訳

科学技術の発展にとっての神学知の意義を、東洋的な自然観とも積極的に対話しつつ、聖書的な創造観の豊かな可能性を示唆しながら提示する。

46判 320頁 本体2800円 2007年
978-4-400-32042-5

希望の神学

キリスト教的終末論の基礎づけと帰結の研究

J.モルトマン著 高尾利数訳 〈オ〉

ブロッホと深く対話しつつキリスト教固有の未来的終末論を積極的に捉えその実践的意味を解明。希望の宗教としてのキリスト教を力強く弁証。

46判 490頁 本体5800円 1968年
4-400-30775-1

十字架につけられた神

〈オンデマンド・ブック〉

J.モルトマン著 喜田川信他訳

不受苦の神観念に異議申し立てをし、神に棄てられた中で死んで行ったイエスを神論の重要な次元として取り上げた問題作。

46判 530頁 本体5800円 (76年)
2006年 978-4-400-30776-1

聖霊の力における教会

〈オンデマンド・ブック〉

J.モルトマン著 喜田川信他訳

解放の神学の基礎共同体論から大きな刺激を受けつつ、世界を革新する力としての聖霊論の視点から構築されたモルトマン渾身の教会論。

46判 582頁 本体5200円 (81年)
2005年 4-400-34276-X

終りの中に、始まりが

希望の終末論

J.モルトマン著 蓮見幸恵訳

モルトマンが牧会者・教育者として、自らの終末論神学を平易に説く。個人の死後から世界全体の将来の運命までを貫く、希望の終末論。

46判 270頁 本体2700円 2005年
4-400-32134-7

いのちの泉

聖霊といのちの神学

J.モルトマン著 蓮見幸恵訳

組織神学論叢 4 『いのちの御霊』の聖霊論をふまえて、現代人にとっての聖霊の意味と働きを平易かつ的確に語り、霊性溢れる生活の道を示す好著。

46判 240頁 本体2600円 1999年
4-400-32040-5

現代の終末論とフェミニズム

日本講演集 1996 〈新教コイノニア〉

E.モルトマン＝ヴェンデル／J.モルトマン著

1996年10月来日時のモルトマン夫妻による講演会の記録。終末論的神学とフェミニズムの創造を論じ、日本の神学の応答に立って神学の将来を展望。

A5判 180頁 本体2000円 1997年
4-400-30715-8

政治的宗教と政治的神学

J.モルトマン／J. B.メッツ著 蓮見和男訳

カトリック、プロテスタントの俊英が、現代宗教の政治的形態である「非政治的宗教」の政治性を批判し、行動的な十字架の神学を展開する。

小B6判 164頁 本体1200円 1980年
4-400-32596-2

人への奉仕と神の国

J.モルトマン著 蓮見和男／芳賀繁浩訳

不安に満ちた現代、人間同士が助けあって生きて行くことの可能性を、弱い者、苦しむ者、精神的・肉体的に痛みを持つ者の立場から探究。

46判 180頁 本体1600円 1996年
4-400-52025-0

神学的思考の諸経験

キリスト教神学の道と形 〈組織神学論叢 6〉

J.モルトマン著 沖野政弘訳

モルトマンの組織神学体系の掉尾を飾る方法論の開示。あらゆる立場、解釈、人や出来事との出会いの経験から、神学とは何かを徹底的に論じる。

46判 480頁 本体6400円 2001年
4-400-30530-9

モルトマン関連書

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

現代プロテスタンティズムの政治思想

R.ニーバーとJ.モルトマンの比較研究

千葉 眞著

20世紀の政治と苦闘した神学者R.ニーバーとJ.モルトマンの神学の核心に迫り、そのキリスト教的政治思想の現代における有効性を検証する。

46判 448頁 本体5500円 1988年
4-400-31051-4

神・キリスト・悪

現代キリスト教思想の問題点 〈現代神学双書〉

喜田川信著

リクール、バルト、モルトマンと対話し、特にリクールの解釈学から悪の問題に取り組み、キリストにおける神の現実性を指し示した意欲作。

B6判 256頁 本体2500円 1996年
4-400-33079-6

人類に希望はあるか

21世紀沖縄への提言 〈新教コイノニア〉

J.モルトマン著 モルトマン博士招聘委員会編

新しい戦争の世紀—21世紀—にモルトマンが「辺境」沖縄で苦しみ闘う兄弟姉妹との触れ合いを通して、現代に生きる苦難と喜びの意味を伝える。

A5判 100頁 本体1200円 2005年
4-400-40721-7

【ウェスレー著作集】

新約注解下

〈ウェスレー著作集 2〉

松本卓夫／草間信雄訳

上巻（マタイ伝～使徒行伝）に続き、下巻にはローマ書以下を収録。古典的註解が、ウェスレーの敬虔な霊的信仰を鮮明にしている。

B6判 578頁 本体3500円 1979年
4-400-10327-7

説教 中

〈ウェスレー著作集 4〉

野呂芳男訳

上巻につづいて「山上の説教について」の後半部分、「信仰によって確立される律法」「宗教的熱狂の質」「キリスト者の完全」等18篇を収録。

B6判 344頁 本体2900円 1963年
4-400-10329-1

ウェスレー関連書

ウェスレーと聖化

H.リントシュトレーム著 野呂芳男監訳

プロテスタンティズムの一方の支柱、英国に生まれたウェスレー神学の特徴を、贖罪・義認・聖化に基づくキリスト者の完全として豊かに展開。

46判 418頁 本体3494円 1989年
4-400-30377-2

ウェスレーの聖霊の神学

L. M.スターキー著 山内一郎／清水光雄訳

ウェスレーの信仰と伝道生活全体に溢れる聖霊の働きの教理と体験を総合的に検討し、その教会史的位置づけ、現代に対する神学的意義を考察。

46判 308頁 本体3000円 1985年
4-400-30376-4

キリスト教と人間形成

ウェスレー生誕三〇〇年記念

青山学院大学総合研究所編

ウェスレーの衣鉢を継ぐ立場からいかなる教育思想が可能か。聖書学から神学、教育学などにまたがる8名の寄稿者による学際的研究の成果。

46判 360頁 本体2500円 2004年
4-400-42757-9

宗教と労働者階級

メソジズムと英国労働者階級運動 1800-50年

R. F.ウィアマス著 岸田 紀他訳

英国19世紀前半の労働運動の指導者の堅実な徳性と組織、その背景をなすメソジズムの組合組織を中核とする宗教的・政治的組織との関係を論究。

46判 384頁 本体3882円 1994年
4-400-40378-5

【トウルナイゼン著作集】

ヤコブの手紙

〈トウルナイゼン著作集 2〉

池永倫明訳

開戦直前の緊張高まる中、ユダヤ人難民救援に携わりながら語られた講解説教。堅実な釈義と福音への応答的視点に貫かれたヤコブ書講解の傑作。

46判 300頁 本体2200円 1987年
4-400-10552-2

説教

〈トウルナイゼン著作集 3〉

浅井 力訳

牧会者と同時に説教者として、神の言葉に聴き従おうとするその真剣な姿勢から生まれた預言者的で祭司的な喜びと慰めに満ちた説教35篇。

46判 320頁 本体2500円 1988年
4-400-10553-9

神の言葉と教会

神学論文集 〈トウルナイゼン著作集 4〉

池永倫明訳

バルトの無二の友として、弁証法神学を創唱した著者のキリスト中心的神学的・教会的・政治的・社会的実存を開示した論文集（1935年）。

46判 322頁 本体2620円 1990年
4-400-10554-7

ブルームハルト・ドストエフスキー・バルト

〈トウルナイゼン著作集 6〉

永野羊之輔／国谷純一郎／武田武長訳

ドストエフスキーの文学思想、ブルームハルトの神の国の信仰と実践、初期バルトの社会主義との格闘に即して打ち立てた独自の信仰と神学。

46判 300頁 本体2200円 1987年
4-400-30556-X

解放の神学・民衆の神学

インドネシア教会の宣教と神学

開発と対話と解放の神学の間で

木村公一著

貧困と開発独裁の狭間で苦悩し宣教の課題に挑戦するインドネシアの神学者たちを活写。独特な宗教・政治・経済状況の中の教会を綿密に分析。

A5判 392頁 本体3000円 2004年
4-400-32755-8

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
 〈新コ〉＝新教コインノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

いのちの神

G. グティエレス著 大倉一郎／林 巖雄訳

解放の神学の代表的論客による神論。いのちを支える恵みの神、そしていのちを守る正義の神のイメージを語る。その言葉は聖書的かつ革命的。

A5判 340頁 本体5600円 2000年
4-400-32101-0

正義と愛の御国を

ソレンチナーメの農民による福音書Ⅱ

E. カルデナル著 北條元子訳

中米ニカラグア・ソレンチナーメに成立した労働と祈りの共同体で、カルデナル神父が貧しい農漁民たちと行った聖書研究 28 篇を収録。

46判 342頁 本体2523円 1989年
4-400-32381-1

民衆が時代を拓く

民衆神学をめぐる日韓の対話

富坂キリスト教センター編

80年代、世界の神学に衝撃を与えた韓国の民衆神学をめくり、日韓の神学者が、数年にわたり討論を試み、対話を重ねてきた共同研究の記録。

46判 370頁 本体2717円 1990年
4-400-41529-5 僅少

民衆神学の形成と展開

1970年代を中心にして

朴 聖煥著

韓国民主化運動に参加して13年の獄中生活を送った著者が、民主化闘争の中から生まれた韓国固有の神学思想の成立と展開を記した労作。

46判 420頁 本体4000円 1997年
4-400-32429-5

民衆神学の探究

徐 南同著 金 忠一訳

民衆神学の担い手の一人であり、その道半ばにして天逝した徐南同教授の、民衆神学の発端となった論稿から遺稿までを集大成した論文集。

46判 472頁 本体4368円 1989年
4-400-31527-4 僅少

民衆神学を語る

安 柄茂著 桂川 潤／趙 容来訳

民衆神学の開拓者の一人が、1945年の解放以後の波乱に富んだ人生と神学的模索、それがもたらした新しい信仰の展望を縦横に語った対論集。

46判 306頁 本体3688円 1992年
4-400-31534-7

民衆の神学をめざして

CCA 都市農村宣教部編

劣悪な労働条件にあえぐ工場で、強制退去を迫られているスラムで、民衆の生存と人権を求める命がけの戦いから生まれた、アジアの現場の神学。

B6判 270頁 本体1800円 1983年
4-400-32324-2 僅少

自由への旅

女性からみた人間の解放

L. M. ラッセル著 秋田聖子・奥田暁子他訳

女性解放運動への取組みから生まれた自由への洞察。支配・従順・対立の古い枠組を破り、男性と女性が解放への共闘者として歩むことを訴える。

46判 224頁 本体1300円 1983年
4-400-32321-8 僅少

女の語る神・男の語る神

E. モルトマン＝ヴェンデル／J. モルトマン著

内藤道雄訳（新教ブックス）

フェミニスト神学が直面する課題を、モルトマン夫妻が講演、インタビュー等で縦横に論じ、夫妻してこの複雑微妙な問題に、新しい光をあてる。

46判 176頁 本体1800円 1994年
4-400-32484-2

教会の性差別と男性の責任

フェミニズムを必要としているのは誰か〈新ブ〉

R. ホロウェイ著 小野功生／中田元子訳

キリスト教の基本教義に対する内部からの挑戦としてのフェミニズムに真摯に応答すべく、英国を代表する11人の神学者・牧師が対論する。

46判 312頁 本体2800円 1995年
4-400-42485-5

【21世紀キリスト教選書】

出エジプトと解放の政治学

M. ウォーザー著 荒井章三訳

出エジプト物語を政治学的に分析。政治思想史に繰り返し登場する脱出・革命のイメージの源流を探りながら、解放の政治学との関連を提示する。

46判 240頁 本体2200円 1987年
4-400-32451-6

乳と蜜の流れる国

フェミニズム神学の展望

E. モルトマン＝ヴェンデル著 大島かおり訳

父権制社会の歪みの克服を目指して、両性が連帯できる「乳と蜜の流れる国」への道を探り、21世紀に向かう教会の未来像を探究した名著。

46判 296頁 本体2800円 1988年
4-400-32452-4

アメリカ教会の現実と使命

プロテスタント主流派・福音派・カトリック

M. E. マーティ著 三宅威仁訳

アメリカ教会史の大家が、多元化社会の典型である諸教会の現状を分析、信仰共同体の社会的参与のあり方を探りその将来像を提示する。

46判 358頁 本体3203円 1990年
4-400-42455-3

神を考える

現代神学入門

D. ゼレ著 三鼓秋子訳

果敢な実践と芸術への造詣によって著名な女性神学者が、現代世界の諸問題との折衝の中から信仰の可能性を追求した清新な神論。

46判 336頁 本体3300円 1996年
4-400-32458-3

性差別と神の語りかけ

フェミニスト神学の試み

R. リューサー著 小楡山ルイ訳

既成の神学の方法・内容をラディカルに捉え直してその再構築をはかった、フェミニスト神学の古典ともいべき記念碑的名著。

46判 372頁 本体4300円 1996年
4-400-32459-3

教会・牧会・礼拝

教会

次世代への提言！

神学生交流プログラム講演記録集

日本クリスチャン・アカデミー関東活動センター編

10年間の交流の記録。寄稿者＝荒井猷、小林哲夫、本田哲郎、関田寛雄、杉野榮、青野太潮、森一弘、並木浩一、石田学、神田健次、戒能信生。

A5判 368頁 本体2100円 2020年
978-4-400-52109-9

現代に生きる教会

対話・共生・平和

森野善右衛門著

日本基督教団の教師として60年務めた著者の、教会論をめぐる最近の論考を集成。北村牧師免職問題などに現れた教団の問題を鋭く問う。

B6判 236頁 本体1500円 2017年
978-4-400-33328-9

戒規か対話か

聖餐をめぐる日本基督教団への問いかけ

北村慈郎牧師の処分撤回を求め、ひらかれた合同教会をつくる会編 北村処分に異論をもつ多様な立場の信徒・牧師40名が、聖餐論から教会論に及ぶ視点からこの問題を考察し、開かれた教会のために提言する。

A5判 208頁 本体1600円 2016年
978-4-400-32453-9

福音宣教の使命に生きる教会

松田和憲著

世紀末、宣教への課題を問われる教会の使命に生きるため、戦後の宣教の経験を検証し、大胆な神学的・現実的展望を開示、教会の可能性を提示。

46判 240頁 本体2200円 1990年
4-400-32448-6

現代の宣教と伝道

エキュメニカルな視点から〈教会と宣教双書〉WCC 世界宣教・伝道委員会編著 松田和憲訳
宣教と伝道はどう違うのか。人間への奉仕と証しの課題を担うため、世界教会の経験に学びつつ伝道と宣教の可能性を探究する方向を指し示す。

B6判 178頁 本体1552円 1991年
4-400-33433-8 僅少

現代の宣教と聖書解釈

〈教会と宣教双書〉渡辺英俊著

現代新約学の成果を宣教の現場に生かす道はあるのか。現場からの問いに新約学はどう応答して行けるのか。この困難な問いに正面から取り組む。

B6判 250頁 本体1800円 1986年
4-400-33429-5

旅人の時代に向かって

二十一世紀の宣教と神学 〈新教ブックス〉渡辺英俊著

大きな転換の時代に向かっていかなる福音を語るべきか。安定と保身を事とする日本の教会への厳しい批判とアジアの状況を踏まえた大胆な試論。

46判 242頁 本体2800円 2001年
4-400-32488-5 僅少

世のために存在する教会

戦争責任から環境責任まで 武田武長著

教会が教会であるための責任の根拠を日独教会の歴史から考える。教会の戦争責任、現代の教会の環境問題に答える新しい信仰告白への模索の跡。

46判 244頁 本体2200円 1996年
4-400-42413-8

教会教育による教会形成

大森めぐみ教会の場合 岩村信二／森岡清美著

1927年創立の大森めぐみ教会 65 年の歴史を、「教会教育」に基づいて、主任牧師と宗教社会学者が共同で、分析・総括したユニークな研究の試み。

46判 272頁 本体2500円 1995年
4-400-31586-X

エクレシアの探求

量 義治著

大きな転換期にさしかかった無教会主義の現実の中で、聖書に立ち返りつつエクレシアの真理を探求し、新しい集会形成の実験を試みた取穂の報告。

46判 316頁 本体3800円 2001年
4-400-32718-3

罪責を担う教会の使命

井上良雄献呈論文集 森宮栄一／森岡 巖編

教会の戦争責任と戦後責任の告白と悔改めに立つて、新しい教会の使命、宣教の課題、政治的責任を担う根拠と方向を模索した力作の論文 14 篇。

46判 372頁 本体2800円 1987年
4-400-41522-8

今、教会を考える

教会の本質と罪責のはざままで 渡辺信夫著

学徒出陣の世代として、苦しみながら歩み続けて来たその経験と問題を、教会の戦争責任、戦後責任に集中して考察、新しい教会形成の道を指示。

46判 386頁 本体3600円 1997年
4-400-41240-7 僅少

告白する教会を求めて

池田 伯著

日本基督教団所属の教会の悩みにあずかるべく、「告白する教会」を掲げて現場で苦闘してきた著者 20 年の探求から生まれた実践的教会論の試み。

46判 296頁 本体2426円 1991年
4-400-31971-7

河原の教会にて

戦争責任告白の実質化を求め続けて 大倉一郎著

川崎の河川敷内に建てた教会の立場と経験から、その町に住む人々に刻まれた日本の近現代史の跡を偲び、そこで共に生きる所に刻む宣教の証言。

46判 160頁 本体1600円 2000年
4-400-51593-1

教会の告白と実践

実践神学序説 森野善右衛門著

世のために生きる教会の実践的課題の領域を、教会の現場から捕らえ、宣教、教育、牧師と信徒、訓練、生活と祈り等の諸問題に、光を当てた労作。

46判 310頁 本体3000円 1999年
4-400-31070-1

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コインノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

自立と共生の場としての教会

北村慈郎著

未受洗者にも聖餐を行い、日本基督教団から退任勧告された著者が、問題の本質を見据えつつ自身の信仰観、宣教観に基づいて教会的実存を問う。

46判 210頁 本体1800円 2009年
4-978-4-400-32444-7

牧師

その神学と実践 W. ウィリモン著 越川弘英／坂本清音共訳

米国を代表する実践神学者による待望の牧師論。牧師の仕事を 11 の側面から、その課題と方法を実践的・聖書的・神学的に語る渾身の書。

A5判 580頁 本体5000円 2007年
978-4-400-32111-8

教会論 上

〈オンデマンド・ブック〉H. キュンク著 石脇慶総／里野泰昭訳

著者はカトリックの改革陣営を代表する著名な神学者。上巻では教会の現状・問題点を剔抉した上で新約の教会像からその本質論を追究する。

A5判 453頁 本体6200円 (76年)
2003年 4-400-30760-3

教会論 下

〈オンデマンド・ブック〉H. キュンク著 石脇慶総／角田信三郎訳

下巻では「一つなる・普遍的な・聖なる・使徒的」教会の諸次元をめぐって考察が深まる。最後に教会における「奉仕」で大作は締めくくられる。

A5判 406頁 本体5500円 (77年)
2003年 4-400-30761-1

信徒の神学

〈オンデマンド・ブック〉H. クレーマー著 小林信雄訳

第二次大戦直後「信徒は凍結資産になっている」と大胆な診断を下し既成教会の教職中心主義を批判し教会革新を訴えた。未だに新しい問題提起。

46判 246頁 本体3200円 1960年
4-400-30779-4

教会であること

21 世紀のエキュメニズム 〈新教ブックス〉K. ライザー著 三村 修訳

世界教会協議会（WCC）総幹事が、現代世界と教会が直面する困難に、エキュメニカルな信仰と連帯によって大胆に取り組もうと訴える。

46判 180頁 本体2100円 2000年
4-400-42046-9

合同教会の「法」を問う

北村慈郎牧師の戒規免職無効確認等請求訴訟裁判記録 北村慈郎牧師の処分撤回を求め、ひらかれた合同教会をつくる会編

原告側の陳述書を中心とした裁判記録であると同時に、裁判で問われた本質的な問題＝「教会法」と「戒規」をより根源的に考察する資料でもある。

B5判 256頁 本体1700円 2016年
978-4-400-32455-3

インクルーシブ神学への道

開かれた教会のために 鈴木文治著

障害児教育に長年携わり、教師また牧師としてインクルージョンの実現に取り組んできた著者が綴る、教会を開かれた場とするための実践と思想。

46判 217頁 本体2000円 2016年
978-4-400-32454-6

鳥の小さな教会

多摩美術大学環境デザイン学科編著

瀬戸内海に浮かぶアートの島として知られる直島にユニークな教会堂が建った。その建築に込められた祈りとコンセプトを美しい写真と共に紹介。

B5判 108頁 本体2000円 2016年
978-4-400-82801-3

悲しみに寄り添う

死別と悲哀の心理学 K. ラマー著 浅見 洋、吉田 新訳

悲しみとは何か。心理学諸家との対話や実践例を通し従来の段階モデルに代えて課題モデルを提示。悲しみを乗り越える道を共に考える入門書。

46判 168頁 本体1800円 2013年
978-4-400-40727-0

牧会カウンセリング入門

有馬式夫著

日本聖書神学校での名講義と『福音と世界』の好評連載をまとめた 32 講。著者自身の血のにじむ実践に裏打ちされた独自の理論を平易に説く。

46判 222頁 本体2200円 1996年
978-4-400-42419-2

自殺者の遺族として生きる

キリスト教的視点 G. L. カー／G. C. カー著 川越敏司訳

義理の娘の自殺から遺族になった夫妻がその喪のプロセスを克明に記録。また「自殺は大罪」という神学を克服し、遺族に真の慰めを与える。

46判 180頁 本体2000円 2010年
978-4-400-42709-4

社会・倫理

社会・倫理

社会・倫理

社会・倫理

ケノーシス
大量消費時代と気候変動危機における祝福された生き方
S. マクフェイグ著 山下章子訳
自己を空しくするという生き方。エコフェミニスト神学を力強く牽引してきた著者が3人の先達の生き方に学びながら新たな霊性を提起する。
A5判 398頁 本体4000円 2020年
978-4-400-40752-2

現代のバベルの塔

反オリンピック・反万博

新教出版社編集部編

東京オリンピック・大阪万博さよなら！ 解放の神学、科学技術史、ジェンダー、アクティビズムなどの視点から9つのテキストと3名のトーク。

46判 200頁 本体2000円 2020年
978-4-400-40750-8

正義と法

キリスト教法倫理の基本線

W.フーバー著 宮田光雄監修 佐藤司郎 木部尚志 小嶋大造訳

キリスト教倫理の泰斗が、法の本質と神学的基礎を探り、「人権」をその最重要価値と位置づけ、現代の法治国家のあるべき姿を論じた大著。

A5判 752頁 本体9500円 2020年
978-4-400-40749-2

政治神学の想像力

政治的实践としての典礼のために

W. T. キャヴァノー著 東方敬信 田上雅徳訳

国家・市民社会・グローバリゼーションを支配する規律化された想像力を剔抉し「もう一つの想像力」を福音のストーリーから回復する試み。

46判 200頁 本体2500円 2020年
978-4-400-42773-5

礼拝学概論

由木 康著 松山與志雄解説

礼拝を祭司的傾向と預言者的傾向という2側面から考察し、その緊張関係を通して礼拝発展史を鮮やかに記述した名著。改版に際し解説を付した。

46判 320頁 本体2500円 2011年
978-4-400-33016-5

礼拝論入門

説教と司式への実践的助言

W. ウィリモン著 越川弘英／岩見育子訳

「信徒と共に礼拝を作り出す」プロセスを、教会形成と信仰形成に関わる本質的課題として位置づけ、礼拝における牧師の基本的任務を再確認。

46判 168頁 本体1800円 1998年
978-4-400-32437-9

言葉と水とワインとパン

キリスト教礼拝史入門

W. ウィリモン著 越川弘英訳

礼拝のあり方が初代教会以来現代までどのような変遷を辿ったかを豊富な情報で綴る。手頃な礼拝史であり、同時に優れた礼拝本質論でもある。

46判 220頁 本体2600円 1999年
978-4-400-22042-8

牧会としての礼拝

祭司職への召命

W. ウィリモン著 越川弘英訳

葬儀・結婚式・洗礼・聖餐など教会の日常的な礼拝行為を牧会という大きな文脈の中で捉え直し、礼拝と牧師職の本質を問うた問題提起の書。

46判 320頁 本体3300円 2002年
4-400-32110-X 僅少

洗礼論概説

〈現代神学双書〉

E. シュリンク著 宍戸 達訳

世界の教会の洗礼論の理解と実践を広く吟味・検討し、それを歴史的・神学的に総合した上で、教会の生命としての洗礼の必然性と意義を開示。

B6判 390頁 本体3500円 1988年
4-400-33072-9

祈り

その神学と実際

長崎 巍著

長年にわたって発行し続けた伝道誌『恵の時』の中で、特に祈りの意味の探求に取り組んできた成果を、熱い祈りのこもった祈祷論として提示。

46判 316頁 本体2718円 1989年
4-400-31960-1 僅少

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コインノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

ユーカリスト

神の国のサクラメント

A. シュメーマン著 松島雄一訳

著者はソルジェニツインが信頼を寄せた20世紀を代表する正教会神学者。神の愛の機密（サクラメント）を通して語る聖餐（ユーカリスト）論。

46判 368頁 本体3000円 2008年
978-4-400-32121-7

賛美歌にあった「君が代」

石丸 新著

明治22年山下樞之介編『讚美歌』から昭和18年『興亜少年讚美歌』までを、綿密な書誌的調査によって追い、信教の自由と平和について問う。

46判 200頁 本体1700円 2007年
978-4-400-21303-1

日本の説教者たち

日本キリスト教説教史研究

加藤常昭著（オンデマンドブック）

植村正久、海老名弾正、山室軍平、宮川経輝、高倉徳太郎の5名を説教論の観点から分析した、実践神学・歴史神学の面でも開拓的な労作である。

46判 397頁 本体4300円（72年）
2007年 978-4-400-26000-4

説教学講義

イーヴァント著作選1

H. J. イーヴァント著 加藤常昭訳

ナチ下の非合法牧師研修所で若き牧師たちに語られた講義。説教の本質から実践的アドバイスに及ぶ緊張感に満ちた濃密な講義。

46判 256頁 本体2600円 2009年
978-4-400-30560-6

改革派説教学ノート

吉岡 繁著

改革派説教の本質論から、内容、構成、作成、演述までを平易な言葉で説き明かす。長年の説教者、神学教師としての研鑽が生んだ説教学の集大成。

46判 217頁 本体1800円 2006年
4-400-32435-4

新約聖書の礼拝

初期教会におけるその形を尋ねて

F. ハーン著 越川弘英訳

初期教会の礼拝における驚くほどの多様さの中から標準形が次第に形づくられていく過程をつぶさに追跡。68年発表以来読み継がれる基礎的文献。

46判 180頁 本体2000円 2007年
978-4-400-32438-6

恵みの契約

カンバーランド長老教会 1984年信仰告白講解

H. W. マロウ著 松本雅弘訳

1810年、ウェストミンスター信条の選びの条項の新解釈をもって出発した契約共同体が、更に1984年に新しく起草した信仰告白の懇切な解釈。

46判 334頁 本体3200円 2000年
4-400-52670-4

礼拝

洗礼とはなにか

その今日の問題を問う

R. ロイエンベルガー著 宍戸 達訳

幼児洗礼否定論を真摯に受けとめつつ、現代の教会状況との関連で、幼児・成人双方の洗礼の意義を説く。教会教育のあり方に徹底的な反省を迫る。

46判 282頁 本体2600円 2012年
978-4-400-32431-7

聖書から聖餐へ

言葉と祭儀をめぐって

G. タイセン著 吉田 新訳

「御言葉とサクラメント」が中心的命題。現代人にとって意味ある聖書の読み方、礼拝の方法を考える。日本語版オリジナル編集企画。

46判 224頁 本体2500円 2010年
978-4-400-11149-8

聖餐の豊かさを求めて

山口雅弘編 廣石 望 高柳富夫 山口里子 禿 準一 他
すべての人に開かれた聖餐を模索する執筆陣が、具体例、説教例を交え、実践神学、組織神学、聖書学などさまざまな観点から議論の焦点に迫る。

A5判 250頁 本体2200円 2008年
978-4-400-32441-6

聖餐 イエスのいのちを生きる

57人の発言 新教コインノーニア24

高柳富夫 禿 準一編

非受洗者にも開かれた聖餐を行なってきた牧師が教師退任勧告を受けた。それは正しいのか。この現状に疑問を抱く57名の教職と信徒の見解集。

A5判 170頁 本体1500円 2008年
978-4-400-32443-0

原子力発電の根本問題と我々の選択

バベルの塔をあとにして
北澤宏一、栗林輝夫著　クリスチャン・アカデミー編
民間事故調の委員長を務めた物理学者北澤宏一氏と原発の政治神学的暗部を刎抉する神学者栗林輝夫氏とを中心とする白熱のシンポジウムの記録。
46判　210頁　本体1800円　2013年
978-4-400-40728-7

原発とキリスト教

私たちはこう考える〈コイノローニア26〉
新教出版社編集部編
福島第一原発事故を前に、キリスト者は何を語りなすべきかを24名の論者が共に模索する。故高木仁三郎氏の貴重な聖書論も収録。
A5判　180頁　本体1600円　2011年
978-4-400-40722-5

国家の論理といのちの倫理

現代社会の共同幻想と聖書の読み直し
上村　静編（新教コイノローニア30）
気鋭の聖書学者が教会内外の識者に呼びかけ、現代の様々な局面で人権を脅かす諸問題を論じ、それに抗する（いのちの倫理）を模索する。
A5判　310頁　本体2200円　2014年
978-4-400-40375-3

キリスト教と社会の危機

教会を覚醒させた社会的福音
W.ラウシェンブッシュ著　山下慶親訳
20世紀初頭、アメリカをはじめ世界のキリスト教に大きな影響を与えた社会的福音(ソーシャル・ゴスペル)運動。本書はそのマニフェストの書。
46判　540頁　本体6100円　2013年
978-4-400-40725-6

キリスト教と民主主義

現代政治神学入門
J. W. デ・グルーチー著　松谷好明・松谷邦英訳
キリスト教と民主主義という曖昧で絡み合った歴史・関係を解きほぐし、民主主義のヴィジョンと歴史的・具体的システムを批判的に神学する。
46判　344頁　本体3600円　2010年
978-4-400-42771-1

平和創造への道

関西学院大学キリスト教と文化研究センター編
多様な論者から考察と提言を得た連続講演を収録。寄稿者は野田正彰、最上敏樹、水野隆一、山崎和明、前島宗甫、ブージット・オムリ氏。
46判　208頁　本体2000円　2010年
978-4-400-42766-7

ポスト・フクシマの神学とフォーサイスの贖罪論

大森講座 29
川上直哉著
「犠牲」という観念を含む贖罪論は原発の過酷事故に苦し福島において何を意味するか。フォーサイスの贖罪論、救済論、社会倫理等と対話する。
46判　291頁　本体1300円　2015年
978-4-400-31703-6

今、なにをなすべきか

隅谷三喜男に学ぶ
姜　尚中・和田春樹・加山久夫著
日本がアジアの中で孤立と反動化を深めつつある今、隅谷没後10年を覚え、その志を継ごうとする三氏が熱く語った東京女子大での講演録。
A5判　80頁　本体1000円　2015年
978-4-400-40736-2

自民党改憲草案を読む

自民党改憲草案・日本国憲法付録
横田耕一著
憲法学者が自民党改憲草案を丹念に解説し、立憲主義を否定するその危険な本質を明らかにし、私たち自身の憲法理解を深める。今必読の書。
A5判　132頁　本体900円　2014年
978-4-400-40732-4

なぜ「秘密法」に反対か

開かれた平和な国のために祈りつつ〈新コ28〉
特定秘密保護法に反対する牧師の会編
2013年12月6日悪法が成立した。なぜ反対か、またキリスト者として、教会として今何をすべきかを33名の牧師が訴える。秘密法全文を収録。
A5判　136頁　本体1300円　2014年
978-4-400-40731-7

3・11後を生きるキリスト教

ブルトマン、マルクス、バハハから学んだこと
川端純四郎著
自らの信仰形成の途上で決定的影響を受けた3人と対話しつつ、この危機の時代にいかに聖書を読み、神を信じるかを、平易かつ徹底的に考える。
46判　94頁　本体1100円　2013年
978-4-400-52725-1

原発社会に生きるキリスト者の責任

いのちを選び取る生き方
藤井　創著
この1冊で放射線被曝や原発の問題がよく分かる。簡潔な解説と豊富な図版で原発事故の実相を正確に学び、生き方の方向転換を考える。
A5判　120頁　本体1300円　2014年
978-4-400-40730-0

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノローニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

日本的プロテスタンティズムの政治思想

無教会における国家と宗教
柳父図近著
近代日本が国民国家を形成する激動期に「2つのJ」という永遠の課題に立ち向かった内村・南原・矢内原・大塚という4人の無教会人の足跡を追う。
46判　387頁　本体3800円　2016年
978-4-400-42772-8

教会と戦争

川端純四郎著
著者が残した数多くの論文、エッセイ、講演録などから28編を精選、多面的な活動の根底にあった信仰と思想の全体像を描き出す一書。
46判　434頁　本体2500円　2016年
978-4-400-21322-2

キリストが主だから

いま求められる告白と抵抗
山口陽一・朝岡　勝著　新教コイノローニア32
安倍政権の施策を壊憲政治と批判し、第二次大戦下の教会の過ちに学びつつ、今やキリスト者の「抵抗権」と「信仰告白」に関わる事態だと訴える。
A5判　76頁　本体700円　2016年
978-4-400-40739-3

権利論

レフト・リバタリアニズム宣言
H.スタイナー著　浅野幸治訳
森村進氏（一橋大）曰く「分析的政治哲学の一頂点」。ロールズ正義論以後の自由と平等をめぐる議論に徹底した論拠から一つの見通しを示す名著。
A5判　496頁　本体5000円　2016年
978-4-400-40740-9

日本国を建てるもの

信仰・教育・公共性
梅津順一著
近代日本のキリスト教、日米キリスト教大学の歴史を振り返りつつ、信仰と社会科学の二つの足場から、日本の将来の精神的軸輪を構想する力作。
46判　360頁　本体2800円　2016年
978-4-400-21324-6

バルメン宣言の政治学

宮田光雄著
信仰告白によってナチズムと闘った教会から何を学ぶことができるか。ドイツ教会闘争の研究に半生をかけてきた著者の熱い思いが伝わる講演録。
B6変判　50頁　本体500円　2014年
978-4-400-40733-1

統べるもの／叛くもの

統治とキリスト教の異同をめぐって
新教出版社編集部編
統治とキリスト教の関係にジェンダー／セクシュアリティ／クィアやアナーキーといった視点から切り込む6論考とトークセッション。
46判　216頁　本体2200円　2019年
978-4-400-31086-0

荊冠の神学

被差別部落解放とキリスト教　〈オ〉
栗林輝夫著
差別を発生させる文化的機制を精緻に分析し、差別の批判と克服のためのキリスト教的視座を確立した日本における解放神学の記念碑。
A5判　545頁　本体7800円　(91年)
2019年　978-4-400-31064-8

剣を収めよ

創造的非暴力と福音
J.ディア著　志村　真訳
暴力の溢れる世界のただ中でイエスに従おうとした多数の福音の証人たち。その生き方に学び、創意に満ちた非暴力の可能性を追求する。
四六判　178頁　本体1800円　2018年
978-4-400-40744-7

山上の説教から憲法九条へ

平和構築のキリスト教倫理
宮田光雄著
聖書釈義、思想史的考察、憲法九条に基づく防衛戦略など4論文を収録。イエスの説く平和の福音が政治学的にも有力だとの驚くべきメッセージ。
B6変型判　259頁　本体1800円　2017年
978-4-400-40743-0

原子力発電と日本社会の岐路

聖書と共に考える混成型共生社会と脱原発
日本クリスチャン・アカデミー編　姜　尚中・上山修平著
未曾有の原発事故を受け「混成型共生社会」を提唱する姜氏。科学的批判精神と聖書の信仰を携えて歩めと訴える上山氏。白熱の対話の記録。
四六判　187頁　本体1500円　2017年
978-4-400-40742-3

日本基督教団戦争責任告白から50年

その神学的・教会的考察と資料　新教コイノローニア33
「時の徴」同人編
一方に論争と分裂、他方に新たな連帯と他教派への刺激を生んだ日本基督教団戦責告白。「時の徴」に連なる者たちがその意義を神学的に考察。
A5判　167頁　本体1300円　2017年
978-4-400-40711-9

市民的抵抗

非暴力行動の歴史・理論・展望

M ランドル著　石谷　行/田口江司/寺島俊徳共訳

19世紀から現代に至る非暴力抵抗の思想と実践の歴史を整理し、綿密に分析した労作。著者ランドル氏はイギリスの平和活動家。

A5判　264頁　本体2700円　2003年
4-400-421260

同時代史を生きる

戦後民主主義とキリスト教

宮田光雄著

著名な政治学者・篤信のキリスト者の戦後半世紀余にわたるエッセイ・講演から58編を精選。デモクラシー定着のためのペンによる闘いの軌跡。

46判　440頁　本体3800円　2003年
4-400-42743-9　僅少

ヒロシマと平和の福音

宗藤尚三著

宗藤尚三著

著者は被爆後に献身し牧師として働きつつ、反核運動や平和教育活動に挺身した。核時代に生きるキリスト者の生き方を考えるヒロシマの神学。

46判　188頁　本体1800円　1995年
4-400-41999-1　僅少

平和の憲法と福音

深瀬忠一著

深瀬忠一著

平和憲法の実践に全実存を賭けた憲法学者が、平和の福音を求めた末に到達した「平和的生存権」と「天皇制的構造」との対決を軸にした論文集。

46判　340頁　本体2523円　1990年
4-400-41528-7

平和憲法を守りひろめる

北海道キリスト者平和の会の証し〈新コ〉

深瀬忠一／橋本左内／榎本栄次／山本光一編

恵庭事件以来戦い続けて来た北海道のキリスト者を中心とする平和憲法の平和主義擁護の戦いの経験を、今日の危機的事態の中で吟味し展望する。

A5判　260頁　本体3000円　2001年
4-400-40717-9

平和の神学　1938-1965

P.ティリッピ著

R.ストーン編　芦名定道監訳

第二次大戦前夜から戦後の冷戦期にわたる30年の激動の下に綴られた12編の論考。文明史家の冷徹な眼差しと信仰者の眼差しが交錯する。

46判　296頁　本体3000円　2003年
4-400-32123-1

あなたはどんな修行をしたのですか？

オウムからの問い、オウムへの問い

NCC 宗教研究所／富坂キリスト教センター共編

世界を震撼させた特異なカルトを戦後の精神状況への深刻な問いとして受け止めた共同研究。野田正彰、鈴木正三、寺園喜基、志村　真他。

A5判　280頁　本体2000円　2004年
4-400-42754-4

宗教間の対話と共生のために

エキュメニカルな指針〈NCC宗教研究所双書〉

神田健次編・解説　村瀬義史訳

世界教会協議会（WCC）の宗教間対話の取り組みから、とくにユダヤ教およびイスラームとの対話について公にされた3つの重要文書を収録。

46判　90頁　本体1000円　2006年
4-400-42763-3

原理主義

確かさへの逃避

W.フート著　志村　恵訳

プロテスタントからイスラーム、さらにアジアの諸宗教に至る広範な原理主義現象を、近代的不安の所産ととらえ、解決のための真の啓蒙を読む。

46判　328頁　本体2800円　2002年
4-400-42116-3

宗教間対話と原理主義の克服

宗際倫理的討論のために

西谷幸介著

グローバリゼーションの中で多様化し多元化する宗教同士のせめぎあい。そこで原理主義を克服して対話の道を開く可能性はあるかを真剣に問う。

A5判　214頁　本体1900円　2004年
978-4-400-42762-9

統一協会と文鮮明

青年たちの心理を探る

和賀真也編著

著者が救出した3人の元会員の体験談、原理運動の真相に迫る赤裸々な重要資料の紹介を通して、統一協会の行動と論理をあばく問題作となった。

B6判　360頁　本体2200円　1981年
4-400-41513-9

ことばによる闘い

キリスト教ジャーナリスト・貝沼信の発言

貝沼　信著　ひとひとの会編

キリスト教出版の使命を担って生きた著者（1945-99年）の『福音と世界』巻頭言を中心とする論考・発言を収録した遺稿集。池明観氏の序。

46判　368頁　本体3400円　2002年
4-400-52732-8

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コインノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

平和のコンセプト

聖書的・神学的視座から

J.マッコリー著　東方敬信訳

キリスト教倫理の最も重要な概念として「平和」を捉え直し、その内実と広がりを構成概念（コンセプト）の対象として精密に把握する試みの書。

46判　172頁　本体1700円　2008年
978-4-400-42707-0

イエスと非暴力

第三の道

W.ウィンク著　志村　真訳

「絶対平和主義」でも「正義論」でもなく、イエスの生き方を現代世界でいかに展開できるかを徹底的に考え抜く。9・11後の非暴力論。

46判　120頁　本体1600円　2006年
4-400-42705-6

十　戒

現代倫理入門〈新教セミナーブック〉

W.パークレー著　牧野留美子訳

英国の著名な神学者が、キリスト者に「十戒」の現代的再解釈を通して、「現代倫理」の基本を複雑な現代生活の多方面にわたって諄々と説く。

B6判　300頁　本体2400円　1980年
4-400-32595-4　僅少

絶対的平和主義とキリスト教

武〈福音と預言〉双書 4

武　祐一郎著

キリスト教世界と平和主義確立に尽力してきた著者が、平和憲法の危機に直面する今、聖書の指し示す平和構築のための道筋を実践の場から考究する。

A5判　154頁　本体800円　2005年
978-4-400-50954-7

大学とキリスト教教育

四国学院キリスト教教育研究所叢書

四国学院キリスト教教育研究所編

キリスト教大学を取り巻く困難をどう克服するか。古屋安雄・中山弘正・小川圭治・山内一郎・土井省悟・土戸　清・隅谷三喜男・山崎和明の8氏。

A5判　280頁　本体3000円　2005年
4-400-34263-8　僅少

東アジアの平和とキリスト教

日本キリスト教団百人町教会編

日本キリスト教団百人町教会編

1979年、百人町教会日が韓国基督教長老会委室中央教会と出会って以来20年余、真剣に対話し続けて来た経験と成果を伝える誠実な告白と証し。

46判　208頁　本体1900円　1999年
4-400-42701-3　僅少

生命への畏敬

A.シュヴァイツァー書簡集

II ベール編　野村　実監修　会津　伸/松村国隆訳

1905～65年、シュヴァイツァーがその超人的な活動の中で書き送った手紙314通を年代順に編纂。生命への畏敬に貫かれた美しい魂の讃美告白。

A5判　360頁　本体4854円　1992年
4-400-52403-5

尊厳とは何か

グローバル化と人類の共生

ドイツ福音主義教会編　小杉尅次訳

グライ・ラマ、ミハイル・ゴルバチョフ、ティク・ナト・ハンら世界の有識者30人が語る、貧富の差がますますひらく現代の問題点と共生への課題

A5判　488頁　本体3500円　2009年
978-4-400-42708-7

21世紀の倫理とキリスト教

細川道弘著

細川道弘著

激動の時代を迎える今いかに生きるか。技術化社会に人間性の擁護を求め、確固たる福音的視点からキリスト教倫理を構築するための果敢な試み。

46判　210頁　本体1900円　1998年
4-400-42439-1

福音と現代倫理

藤井孝夫著

藤井孝夫著

神なき世界で、神を信じ、愛の戒めに聞き従うことは可能か？神の自由において世俗を越え、人間の課題を追究し、キリスト者の生き方を問う。

46判　288頁　本体2000円　1988年
4-400-41052-8　僅少

状況倫理

新しい道徳〈オンデマンド・ブック〉

J.フレッチャー　小原　信訳

道徳的判断において、遵法主義でもなく反律法主義でもなく「愛」を原理にした状況主義的な決断を説く。世界的反響を呼んだ神学的ベストセラー。

46判　316頁　本体3100円（71年）
2005年　4-400-44301-9

責任を負う自己

〈オンデマンド・ブック〉

ヘルムート・R.ニーバー著　小原　信訳

ラインホルドの弟ヘルムートが計画したキリスト教倫理三部作の第一部に相当。総論部分にも当たり、責任性を中核に据えて全面展開した名著。

46判　300頁　本体3800円（67年）
2006年　978-4-400-30777-8

アイデンティティーへの侵略

今高校生と語る戦後補償・人権

今村嗣夫・小暮修也著

あの戦争は何だったのか。国民の「政治上の責任」が問われる政治状況のもとで、未来を開く高校生と「戦後補償・人権」について語り合う書。

46判 196頁 本体1600円 1995年 4-400-42412-X **僅少**

未来をひらく人権

今村嗣夫／小暮修也著

人権擁護の戦いに参加してきた2人の著者が、その戦いの歴史と意義、特に差別、指紋押捺、公害等の基本的人権問題を検証の上、適切に解説。

46判 224頁 本体1747円 1992年 4-400-41535-X

天皇制・ヤスクニ

天皇とキリスト

近現代天皇制とキリスト教の教会史的考察

土肥昭夫著

08年に急逝した著者の16論文を精選、教界指導者、学校、ジャーナリズムなどの多様な側面から日本人キリスト者の意識と行動を明らかにする。

A5判 528頁 本体4700円 2012年 978-4-400-21317-8

光は闇の中に輝いている

靖国・天皇制・信教の自由　バプテスト40年の闘い
日本バプテスト連盟靖国神社問題特別委員会編

日本バプテスト連盟「靖国神社問題特別委員会」の1968年設置以来40年の軌跡を、貴重な資料・年表とともに振り返り、今後の課題を展望する。

46判 400頁 本体2500円 2010年 978-4-400-41545-9

下町の主の証人として

森山恣牧師説教・随想集

森山 恣著

本所緑星教会に40年仕えた牧師の説教・論文の他、牧師を慕う40人以上の証言を収録。靖国闘争を担い続けた一信仰者の実存が浮き彫りになる。

46判 256頁 本体2500円 2004年 4-400-52677-1 **僅少**

北国の理想

クラーク精神の純化と展開

深瀬忠一／大友 浩編著

クラーク博士の開拓魂、内村鑑三の独立精神、日本国憲法の平和主義の三本柱の上に、自由・独立・平和の理想を、広く深く追究した論考20篇。

B6判 336頁 本体2000円 1982年 4-400-41555-4

キリストの平和

平和と核廃絶を求める委員会編

1983年以來の広島平和セミナーでの講演から、大量の核兵器が生産される危機的状況の中で教会の担う和解の務めと平和への道を聖書に聞く試み。

B6判 216頁 本体1800円 1987年 4-400-41519-8

教会と国家

G. デンツラー編／相沢好則監訳

今日の世俗化に直面して、教会と国家の問題はますます複雑な様相を呈している。それを究明する現代ドイツの法学者、神学者の論考22編を収録。

46判 424頁 本体4000円 1985年 4-400-32342-0

新しく生きる道

松永晋一著

現代をいかに生きるかを聖書から新しいいのちの意味を聞き取る中で、心とは何か、和解と終末、労働と職業等の問題に即し本質的具体的に考察。

46判 304頁 本体2500円 2003年 4-400-42747-1 **僅少**

自由に生きる

藤田英彦／池 明観著

長年にわたり靖国神社国営化反対運動の先頭に立った藤田牧師と、韓国の代表的知識人池先生との同時代への透徹した洞察と共感に溢れる対話。

46判 208頁 本体1800円 1995年 4-400-51993-7

働く人間像を求めて

関西労伝ノート・その20年

竹中正夫編

なぜ労働者伝道なのか、今後労働者の問題にいかに関わるか。関西労伝誕生から20年を迎え、その歩みを経括し、教会の伝道姿勢を問う。

B6判 338頁 本体1800円 1978年 978-4-400-41507-7

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コインノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

人種の問題

アメリカ民主主義の危機と再生

C. ウェスト著 山下慶親訳

今最も注目を集めている黒人オビニオンリーダーがアメリカの人種問題の本質を深く探り、回心の政治学を論じる。1993年金米ベストセラー。

46判 172頁 本体2000円 2008年 978-4-400-42123-8

よみがえれ、平和よ！

差別と戦争と貧困の中から（新教ブックス）

J. ウォリス著 小中陽太郎監訳

黒人差別に荷担する白人教会の偽善と決別し、ベトナム反戦運動の経験から、ワシントンの黒人街で「寄留者共同体」を建設するまでの体験を語る。

46判 302頁 本体2717円 1992年 4-400-42480-4

神への然り、カイザルへの否

〈新教ブックス〉

R. M. ブラウン著 山下慶親訳

アメリカ大統領府政治戦略をカイザルの挑戦と位置づけ、神への忠誠に生きるキリスト者の決断の道を説き、現代への聖書信仰の責任を誠実に追求。

46判 216頁 本体1747円 1992年 4-400-52478-7

信教の自由とアメリカ

W. マーネル著 野村文子訳

信教の自由をめぐる教会と国家の闘争、西欧中世から宗教改革、米国憲法制定までの過程を検証し、諸宗派の対立と対話の実態を探る。

46判 272頁 本体2000円 1987年 4-400-42354-9

幻なき民は減ぶ

今ドイツ人であることの意味（新教ブックス）

D. ゼレ著 山下秋子訳

罪責を自覚する〈民族〉の形成と〈貧〉の理想の再発見を、今日ドイツで最も必要な幻（ヴィジョン）として、預言者の洞察をもって語る。

46判 172頁 本体1455円 1990年 4-400-42383-2

教会と核武装

オランダ改革教会編 池永倫明訳

80年代、果てしない核武装競争の中で、キリストの平和り神学に依拠し、核兵器への明確な否をつきつけた教会的・神学的信仰告白的文書の白眉。

B6判 216頁 本体1800円 1985年 4-400-42345-5

平和を目指す共生神学

スリランカの「対話と解放の神学」に学ぶ

志村 真編

内戦に苦悩するスリランカの地で平和の使者たらんとし、教会論・聖書解釈論を包含する新たな神学を希求する3人の神学者の論考を紹介。

A5判 230頁 本体2380円 2008年 978-4-400-32124-8

ジョン・H・ヨーダーの神学

平和をつくり出す小羊の戦い

東京ミッション研究所ヨーダー研究会編

『イエスの政治』などで知られるヨーダーの神学を、日本人研究者たちが多角的に論じた。ヨーダーの思想へのよき導入となる論集。

46判 230頁 本体1900円 2010年 978-4-400-42403-1

アメリカの戦争と宗教

アジアのまなざしから

関西学院大学キリスト教と文化研究センター編

9/11以後テロとの戦いに終始して世界に緊張を投ずるメリカ。その行動様式を分析・克服して新しい世界平和を創造する方途を探った学際的研究。

46判 216頁 本体2100円 2004年 4-400-42767-6

キリスト教国アメリカ再訪

古屋安雄著

名著『キリスト教国アメリカ』から38年。宗教多元化、主流教会の凋落、教会の保守化等、動きを止めないアメリカの教会・神学状況に鋭く迫る。

46判 184頁 本体1900円 2005年 4-400-42769-2

人間の盾

バクス・アメリカーナとキリストの平和（新コ）
木村公一著

2003年3月バグダッド郊外の変電所に配置され、米軍の攻撃下に踏みとどまり続けた40日間に渡る緊迫の記録。イラク戦争の実態。写真多数。

A5判 152頁 本体1400円 2003年 4-400-40718-7

世紀末のアメリカとキリスト教

〈新教ブックス〉

藤井 創著

キリスト教国アメリカの内実を鋭く問い、その凋落の現実を指摘しつつも、再生への様々な宣教的試みにも目配りする。深層からのアメリカ論。

46判 168頁 本体1800円 1999年 4-400-42500-2

〈オ〉 = オンデマンド・ブック、〈新セ〉 = 新教セミナーブック 〈新コ〉 = 新教コインノニア、〈新ブ〉 = 新教ックス

天皇の葬儀

笹川紀勝著

象徴天皇制を真正面に据え、国民民主主義に立つちながら、天皇の葬儀で予想される事態を、大胆に歴史的・憲法的視点から分析。

46判　216頁　本体1800円　1988年
4-400-41523-6

天皇制の検証

日本宣教における不可避な課題

東京ミッション研究所編

ポスト大嘗祭の日本宣教の不可避の問題である天皇制を取り上げ、その将来を考えながら、勇気をもって歴史・政治・神観・近代化問題を検証。

46判　210頁　本体1650円　1991年
4-400-41966-5

天皇制の神学的批判

富坂キリスト教センター編

神学的な視点から天皇制をいかに批判し克服するか？ 日本宣教のための教会の抱える実践的課題を歴史的・神学的に追究した研究 10 編を収録。

46判　342頁　本体2426円　1990年
4-400-41531-7

岩手靖国違憲訴訟戦いの記録

石割桜のごとく〈新教コインノニア〉

岩手靖国違憲訴訟を支援する会編

盛岡地裁構内にある咲かせる“石割桜”に象徴されるような、原告団・弁護団・支援する会の担った政教分離原則確立への戦いの記録全体を盛る。

A5判　390頁　本体2426円　1992年
4-400-40709-8　僅少

世に遣わされて

キリスト者の社会参与

中平健吉著

宗教と国家のあり方をめぐる違憲訴訟を初め、基本的人権の擁護確立の戦いに誠実に全力投球してきたクリスチャン弁護士の思索の結実の書。

46判　380頁　本体2800円　1982年
4-400-61558-8　僅少

民人と自然

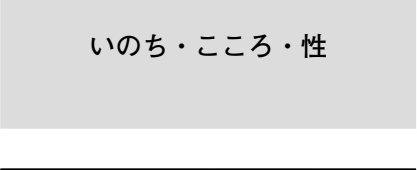
沖縄からの出発

水野たかし／渡久山章著

石垣島の白保の海を守る闘いから、アメリカで先住民問題と取り組む水野氏と、地球科学者で詩人の渡久山氏という異質な二人が生み出す随想集。

46判　230頁　本体1849円　1993年
4-400-42626-2　僅少

いのち・こころ・性



夜と霧の明け渡る日に

未発表書簡、草稿、講演

V.E. フランクル著　赤坂桃子訳

書簡や未公開原稿などの貴重な資料によって、名著『夜と霧』誕生の背後にあった個人史と時代史の文脈が初めて明確に交差する。

46判　312頁　本体2400円　2019年
978-4-400-31089-1

ロゴセラピーのエッセンス

18 の基本概念

V. フランクル著　赤坂桃子訳

重要概念のコンパクトで行き届いた解説（『夜と霧』英語版に著者が付した貴重な補遺）。日本人精神科医・心理療士による解説 2 本も収録する。

小B6　160頁　本体1850円　2016年
978-4-400-31080-8

自死と遺族とキリスト教

「断罪」から「慰め」へ、「禁止」から「予防」へ
土井健司編

自死予防の最前線、自死者の葬儀、遺族の悲嘆に寄り添う人々、さらにキリスト教における自死の意味を問う者らが共同研究を行った成果。

46判　265頁　本体2600円　2015年
978-4-400-40737-9

ラディカル・ラブ

クィア神学入門

P. チェン著　工藤万里江訳

性的少数者の視点から伝統的な三位一体論を大胆に読み替え、「クィア」(奇妙) なものとしての福音の本質を鮮明に打ち出した画期的な書。

A5判　220頁　本体2300円　2014年
978-4-400-32491-1

「レズビアン」という生き方

キリスト教の異性愛主義を問う

堀江有里著

レズビアンであることを公にした牧師の、今ここで生きるたたかいを綴る、ねばり強い実践と思索の書。『福音と世界』好評連載の単行本化。

46判　263頁　本体2200円　2006年
4-400-42704-8

虹は私たちの間に

性と生の正義に向けて

山口里子著

同性愛断罪の根拠とされてきた聖書テキストを網羅的・徹底的に再検討し、多様なセクシュアリティを含む神の創造の祝福を確認する渾身の労作。

A5判　368頁　本体3600円　2008年
978-4-400-42706-3　僅少

カナダ合同教会の挑戦

性の多様性の中で

A. ハントリー著　R. ウイトマー他訳

1988 年、同性愛を牧師職から排除しないことを決議するに至った教会の困難な歩み。関係者個々の素顔をルポルタージュ風に活写した記録。

46判　272頁　本体2100円　2003年
4-400-42121-X

死刑囚の母となって

この病は死に至らず

向井武子著

死刑囚の青年を養子にし、処刑の日まで寄り添い続けた女性牧師の手記。罪の償いを問い死刑廃止を静かに訴える。裁判員制度導入の今こそ必読。

46判　144頁　本体1400円　2009年
978-4-400-61579-8

モンスターチルドレン

子ども時代を奪われた子どもたち

M. ヴィンターホフ著　織田晶子訳

ドイツの児童精神科医が、問題行動が激増する背景に、子どもに対する大人の関係の変質が伏在することを指摘し、大人の責任を訴える。

46判　200頁　本体2000円　2009年
978-4-400-76000-9

ジャン・パニエの言葉

講話とインタビュー

J. パニエ　浅野幸治編訳

日本人の黙想会を指導した際の講話と対話や、メディアに応じた貴重なインタビュー類を収録。編訳者解説はパニエ思想の中核に迫る本格的論考。

46判　156頁　本体1600円　2012年
978-4-400-52360-4

人間になる

J. パニエ著　浅野幸治訳

知的なハンディを負う人たちの共同体「ラルシュ」の創始者が、不安や孤独から癒された真に人間らしい生き方とは何かを、美しい言葉で語る。

46判　238頁　本体1900円　2005年
4-400-42130-9

社会・倫理

すべてのわざには時がある
在宅ターミナルケアの記録
松本襄二著
死と対峙し、それをキリスト者として受容するとはどういうことか。自ら喉頭癌の経験を持つ著者が、患者の視点からホスピスを問い直す。
46判　200頁　本体1300円　1994年 4-400-61585-5

みわざの現れるために
NCC 障害者と教会問題委員会編
障害を負ったキリスト者が、わが身こそ主に用いられていることを証しする一方、その弱き所に集中する世の不合理と闘って行く姿を力強く語る。
B6判　208頁　本体1400円　1984年 4-400-51516-8

ひびきあういのち
重症児者神学への道
久山療育園編著　寺園喜基編集
身辺自立できない重度の知的・身体的障害を負う重症児者たちと共に歩んできた久山療育園の 25 年。新しい福祉文化を創造する信仰と神学の冒険。
A5判　270頁　本体2100円　2003年 4-400-52744-1　僅少

喜びのいのち
出生前診断をめぐる
全国キリスト者障害者団体協議会編
医療技術の進展の先端で起こる生命操作の事態の中に、人間の傲慢を察知し、その問題点に障害の苦難の経験から問いを発した貴重な研究と発言。
46判　240頁　本体2200円　2000年 4-400-51592-8

心の病いとその救い
富坂キリスト教センター編
心の病いを負う人々と共に歩む共同体として、その癒しと救いのために働くことを目指して、多様な立場の者たちが到達した研究の成果の集成。
46判　218頁　本体1800円　1991年 4-400-41973-8

いやしから救いへ
心の病いとその救い 2
富坂キリスト教センター編
好評の前書から 16 年。その後の環境の変化をふまえ、特にうつ、統合失調症の苦しみに向き合い、共に歩む教会のあり方を考察した共同研究。
46判　252頁　本体2000円　2007年 978-4-400-41974-7

宗教・科学・いのち

新しい対話の道を求めて

金城学院大学キリスト教文化研究所編

学際的共同研究の成果。ハインリッヒ・オット、テッド・ピーターズ、芦名定道、小原克博、柏木哲夫、藤井 創、森田 進ら 15 名が寄稿。

46判 376頁 本体2800円 2006年 4-400-42703-X

科学技術とキリスト教

富坂キリスト教センター編

科学技術が突きつける諸課題をキリスト教信仰の立場から論じた共同研究。古谷圭一、上山修平、中島貴子、今井尚生、谷村禎一、安田治夫他。

A5判 208頁 本体2600円 1999年 4-400-42702-1

地球温暖化とキリスト教

「持続可能な社会」のために〈新教コイノニア〉世界教会協議会「正義・平和・被造物」部局著

地球温暖化とは何かを解説し、その克服のために経済発展を至上とする価値観の転換を訴える。教会での共同学習に役立つ懇切なガイド付き。

A5判 112頁 本体1200円 1999年 4-400-40716-0

自然的世界とキリスト教

笠井恵二著

聖書の自然観に始まり、古代から現代に至る代表的な神学者の自然観を吟味考察した上で、今日の人間の自然との融和の可能性と共存の道を提示。

46判 280頁 本体3200円 1999年 4-400-42450-2

技術社会と信仰

H. モンテフィオレ著 関 正勝／塚田 理他訳

今日、教会が直面する科学技術、女性教職、国家と教会等の問題に指導的発言を続ける英国の神学者の来日講演集。キリスト教倫理の再考を促す。

46判 144頁 本体1358円 1991年 4-400-41968-1

大地は主のもの

聖書の発見（新教ブックス）

W. フーバー著 松田真理子／宮城多佳子訳

聖書の平和のメッセージが、時代にはなつ一筋の光のような 14 篇の黙想。人権侵害、環境破壊、経済的不正の中で「信仰告白」の意味を明示。

46判 184頁 本体1649円 1991年 4-400-52477-9

キリスト者と福祉の心

村山幸輝著

近代日本の社会福祉実践のために働いた糸賀一雄、福井達男、小塩高恒、留岡幸助らに反映したキリスト教信仰の特色とは何であったかを解明。

46判 250頁 本体2200円 1995年 4-400-41998-3

市民生活とボランティア

R. ヘンドリー／J. スミス編 小田兼三／野上文夫監訳

ボランティア活動の古い歴史をもつ英国全国社会福祉協議会（NCVO）の歴史を振り返り、その理念の現状を多面的に考察する。

46判 320頁 本体2718円 1993年 4-400-42406-5 僅少

教会と地域福祉実践

活動方針の具体的展開

G. ラベル著 小田兼三訳

人々と共に生きたイエスの愛と苦難の道に従って展開した、英国都市の多様な社会問題との苦闘から生まれた、新しい共同体建設への実践的提言。

46判 176頁 本体2000円 1998年 4-400-42438-3

ディアコニー共同体

奉仕活動の理論と実践

M. E. コーラー著 畑 祐喜訳

世にある教会は、人間と世界に仕える存在であるという問題に真正面から取り組み、歴史的経験、将来的展望を広い視野から提示した力作である。

46判 460頁 本体4600円 2000年 4-400-32047-2

聖書の中のワイン

S. バキオキ著 新名友子訳

アルコールの脅威を深刻に憂い、学殖と良心を傾けて、聖書に描かれたワインの史的研究に取り組み、現代人の飲酒に対して厳しく問題提起する。

46判 112頁 本体1000円 1995年 4-400-51998-8

自然と科学

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

心を見つめる教育

思春期の子をもつ親へのメッセージ

藤倉恒雄著

思春期の子女の親たち、その教育に関心をもつ読者に、教育現場の現実に即した教育理念を展開、若者の霊性への配慮と家庭教育の復権を説く。

46判 200頁 本体1261円 1989年 4-400-51958-9

幼児の心との対話

ツィンク夫妻著 内藤道雄訳

ドイツで活躍している児童心理学者、牧師夫妻の革新的な幼児教育論。さまざまな教育上の困難を持つ両親を念頭において共同執筆。

B6判 186頁 本体1300円 1974年 4-400-42017-5

こどものこころ

そのメッセージに聞く

大塚和子著

二～三歳児のための宣教と奉仕のために設けたナースリーで、キリスト教幼児教育の実験的な試みを行った。その体験をいきいきと率直に綴る。

46判 170頁 本体1700円 1999年 4-400-72665-7

こどもの苦しみと喜び

大塚和子著

保育者としての 40 数年間の経験に基づき、現在は保育アドバイザーとして活躍する著者が、こどもの目線から愛と共感を込めてその心象を綴る。

46判 136頁 本体1600円 2002年 4-400-72672-X

あなたの子どもは大人になれるか

保育の中の聖書

水野 誠著

幼稚園園長として園児の保護者たちに語った聖書講話。平易で身近な例話を豊富にちりばめながら聖書から子どもの成長と親の動機を示す読み物。

46判 300頁 本体2000円 1999年 4-400-52668-2 僅少

主よ、いつまでですか

無実の死刑囚・袴田巖・獄中書簡

袴田巖さんを救う会編

強盗殺人事件の容疑者として逮捕、死刑判決を受け、無実を叫ぶ元プロボクサーが肉親等へ書き送った手紙。日々の苦悩、受洗に至る道程を語る。

46判 190頁 本体1524円 1992年 978-4-400-61575-0 僅少

二人が向かい合うために

夫と妻のワークブック

レーナルト夫妻著 たかお・まゆみ訳

結婚を不断の努力の積み重ねととらえ、お互いが豊かになるライフスタイルをやさしく説く。ユーマラスな練習問題もついて参考に。

46判 168頁 本体1600円 2001年 4-400-42108-2

キリスト教家庭教育の展開

アメリカ・ピューリタン社会の場合

安達寿孝著

18 世紀北米における理論と実践、とりわけ J. エドワーズらに学びながら、現代社会における家庭教育の問題への手がかりを見出そうとする試み。

46判 270頁 本体2800円 1998年 4-400-32440-0 僅少

キリスト教教育の現代的展開

J. L. シーモア編 奥田和弘／西垣二一訳

社会に責任的に生きる人間のを求める働きとしてキリスト教教育を理解し、その原理と方法を追求するアメリカ教育学者らが書いた教育論。

46判 256頁 本体2095円 1987年 4-400-32570-9

パパやママががんになったら

チャイルド・ライフの出会いから

藤井あけみ著

病と闘う子どもへの心のケアを専門とする著者が、親が難病にかかったときの子どもの接し方、また家族のあり方を、現場から考える。

B6変 140頁 本体1500円 2015年 978-4-400-52710-7

幸福のレシピ

藤井あけみ著

チャイルド・ライフ・スペシャリストの働きを日本に紹介した著者が、病棟現場での様々な出会いと別れをしなやかな感性で綴ったエッセイ集。

B6判 128頁 本体1400円 2010年 978-4-400-52714-5

チャイルド・ライフの世界

こどもが主役の医療を求めて

藤井あけみ著

大人の論理や視点から行われてきた小児医療のあり方に問題を提起し、こどもの心のケアの重要性を訴える。著者は数少ない日本における専門家。

B6判 152頁 本体1900円 2000年 4-400-52712-3

聖書を読む技法

ポストモダンと聖書の復権

E. デイヴィス／R. ヘイズ編　芳賀　力訳

聖書の権威を復権させんと集まった10人の神学者たちによる「聖書プロジェクト」。ポストモダンの批判に応える共同研究と説教実践。

A5判　432頁　本体5000円　2007年
978-4-400-12432-0

聖書

その構造・解釈・翻訳（新教ブックス）

S. プリケット／R. バーンズ著　小野野生訳

聖書本文とその思想の成立過程を概観し、解釈史、翻訳史を明快に論じて、聖書を読む行為の意味の再考を促す。最も今日的な現代人の聖書入門。

46判　272頁　本体2718円　1993年
4-400-12481-9

ことばは光1

太田道子著

NGO「地に平和」代表である著者の珠玉の随想、市民運動論、そして聖書論。本巻は創世記の創造譚と墮罪物語を通して聖書的人間観に迫る。

46判　256頁　本体1900円　2006年
978-4-400-12791-8

唯一なる神

聖書における唯一神教の誕生（新教ブックス）

B. ラング編　荒井章三／辻　学訳

唯一神教の典型、ユダヤ教＝ヘブル思想成立の秘密に挑む。初期の多神教的形態から国家滅亡の危急に直面して「唯一神教」に至るダイナミズム。

46判　240頁　本体2500円　1994年
4-400-12482-7

滅亡の予感と虚無をいかに生きるのか 聖書に問う

新免　貢、勝村弘也著

福島第一原発事故という、人間が引き寄せた滅亡の予感と虚無に、どのように向きあうのか。改めて聖書を読む。関西神学塾特別講座の記録。

A5判　130頁　本体800円　2012年
978-4-400-40724-9

聖書の宣教と風土・文化

柏井宣夫著

聖書学者からの宣教論への寄与。「聖書の生活の座を明らかにすることによって、宣教が生き生きとしたものになることが出来る」と説く。

46判　112頁　本体800円
2003年　4-400-12749-4

おりておいで！

現代の若者に問いかけるショートメッセージ

藤井　創著

現代世界において福音とは何かを問いかけ、私たちを支配する主流の価値観から降りて、真に人間らしい生き方を探ろうと呼びかける。

46判　223頁　本体1800円　2010年
978-4-400-52715-2

アジアの風に吹かれて

藤井　創著

現代の巻き起こす問題をまともに受けて苦闘するアジアの民衆。その証言に沿いながら、若者と共に聖書を読み、信仰を見直した成果を率直に語る。

46判　190頁　本体2000円　2001年
4-400-52716-6

現場からの道

阿蘇敏文著

牧師、リースクールの農園ゼミの講師と二つの顔を持つ著者。農、反原発、移住労働者支援などの現場で出会った「闘う」人たちとの対話集。

A5判　320頁　本体1905円　2005年
4-400-42770-6

聖書学・聖書注解

聖書学・聖書注解

聖書学・聖書注解

聖書学・聖書注解

聖書学・聖書注解

聖書学・聖書注解

聖書学・聖書注解

聖書学・聖書注解

旧約聖書と新約聖書

シリーズ　神学への船出　第02巻

上村　静著

旧約と新約、ユダヤ教とキリスト教など、連続性と断絶が常に問われる繊細なテーマを気鋭の聖書学者が徹底的に論じる。42のコラムも充実。

46変判　361頁　本体2000円　2011年
978-4-400-30002-1

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コインノニア、〈新ア〉＝新教ブックス

山の上にある病院

岩村　昇／岩村史子著

村々を巡回し、人々に愛と奉仕の手をのべ、福音を証した医師夫妻の証言。読者に愛と勇気を起こす好著。ネパール最初の3年間の苦闘の記録。

B6判　264頁　本体1650円　1965年
4-400-61476-X

共に生きるために

アジアの医療と平和

岩村　昇著

20年間ネパールで医療活動を担ってきた著者が、実践の医学的・信仰的総括、アジアの医療ビジョン、強い平和への願いを綴った論文20篇を収録。

B6判　240頁　本体1650円　1982年
4-400-61557-X

アジアの地下水

サラワクの自然と人々

荒川純太郎著

東マレーシア・サラワクに派遣された経験の報告。過去・現在の侵略史を忘れた日本人に、アジアの民衆の心に地下水のように流れる痛みを伝える。

46判　248頁　本体1500円　1982年
4-400-61554-5

ヒマラヤ診療その日その日

伊藤邦幸／伊藤聡美著

神とアジアの隣人に仕えようと医学徒を志し、オカルドゥンガの地に派遣された夫妻が、家族をあげて真剣に働いたその辛苦を、赤裸々に伝える。

46判　380頁　本体2136円　1974年
4-400-61486-7

同行二人

伊藤邦幸著

JOCS ネパール派遣ワーカーとして亡き愛妻とキリストとの二人四脚の最後の活動の後に倒れた著者が、最後までネパールの民衆と共に生きた記録。

46判　420頁　本体3398円　1993年
4-400-61581-2

わが祈りの座

依さん石川さんと共に歩む会編

ネパールとバングラデシュに派遣され、現地の人たちの自立のための国際協力に貴重な足跡を残した2人の報告と、共に歩んだ会員の25年の祈り。

46判　260頁　本体2500円　1994年
4-400-61583-9　僅少

生き生きと農業をするための勇氣

富坂キリスト教センター企画

日本農業の衰退と混迷に勇氣をもって立ち向かい、農村と農業の再建を期するキリスト者が、ようやく到達した境地を、喜びをもって記録した問題作。

A5判　208頁　本体2500円　2000年
4-400-52709-3　僅少

共に生きる

知的障 碍者と教会

驚きを与える友人たち

F. パウアーズ著　片山　寛・加藤英治訳
英国バプテスト教会理事等を務めた著者がダウン症の子をもつ母の立場から、教会が開かれた共同体となるための神学的問題と具体的課題を考察。

四六判　250頁　本体1800円　2017年
978-4-400-40741-6

いのちの糧の分かち合い

いま、教会の原点から学ぶ

山口里子著

斬新な視点から聖書を読み直し隠された声なき声を聴き取る解釈学。目からウロコの刺激に満ちた8章。「ダヴィンチコード」もこう読める！

A5判　260頁　本体2200円　2013年
978-4-400-12757-4

わたしたちは、いまどこにいるのか

隅谷三喜男先生から託されたもの

日本基督教団代田教会編（新教コインノニア27）社会問題や教会改革に幅広く活躍した社会学者にしてキリスト者・隅谷の衣鉢を継ぐ3年連続シンポの記録。未発表宣教論も収録。

A5判　180頁　本体1800円　2012年
978-4-400-40723-2

七転び八起き寝たきりいのちの証し

クチマウスで綴る筋ジブ・自立生活20年

阿部恭嗣著　竹之内裕編

クチマウスで綴ったユーモアあふれるブログ記事を中心に、遺された論考・創作を妻と友人たちが編集し、仲間がメッセージを添えた、生の証し。

46判　320頁　本体1450円　2010年
978-4-400-52720-6

解放の出来事

出エジプト記を学ぶ

塩野和夫著

好評だった『祝福したもう神』の続編。「覚えましょう」などの工夫を随所に凝らした構成によってイスラエルの民の脱出と契約の歴史を学ぶ。

46判 211頁 本体1500円 1991年 4-400-51632-6

サムエル記を読む

神の選びと和解の道〈聖書に学ぶ〉

泉 典著

最新の聖書学的知見を援用しつつ、神学的釈義の視点から、イスラエルの歴史の中に人間の罪と神の救いのわざを深く読みとる。バルト論を付す。

46判 208頁 本体2000円 2000年 4-400-12704-4

自由の擁護

社会史の視点から見た十戒の主題

F.クリュゼマン著 大住雄一訳

キリスト教倫理の要諦とみなされる十戒を、成立時の社会史的文脈に置き直し、それが語られた社会層の性格を聞うてその本質に迫る新しい十戒論。

46判 158頁 本体1700円 1998年 4-400-42035-3

旧約詩編の文献学的研究

第一ダビデ詩編を通して

飯 謙著

表題でダビデに帰される4群73編中、3〜41編を第一ダビデ詩編と呼ぶ。ここに焦点を当てて詩編の成立と構成および中心思想を解明した労作。

A5判 300頁 本体5500円 2006年 4-400-12767-2

詩篇の思想と信仰 I

第1 篇から第25 篇まで

月本昭男著

古代オリエント学に通暁する著者ならではの広い視野から、各篇に詳細な語釈を施し、思想・信仰の特質にまで鋭く踏み込む。詩篇の学びに必携。

46判 364頁 本体3500円 2003年 978-4-400-12741-3

詩篇の思想と信仰 II

第26 篇から第50 篇まで

月本昭男著

読みやすい試訳と詳細な語釈。また解説では周辺世界の宗教思想とも比較対照しながら、広い地平からヤハウェ信仰の本質を深く探る。

46判 327頁 本体3800円 2006年 978-4-400-12743-7

アブラハム物語を読む

文芸批評的アプローチ

水野隆一著

複雑な語りと仕掛けを隠すアブラハム物語（創世記11:27～25:18）を、文芸批評的分析により読み解いた日本初の本格的注解書。

A5判 488頁 本体6600円 2006年 4-400-12768-0

創世記

〈ケンブリッジ旧約聖書註解 1〉

R. デヴィッドソン著 大野恵正訳

NEBによる注解の第1巻。文献批判や考古学などの最良の成果を取り入れながら、手堅く中庸を保った注解姿勢が創世記のリアリティを伝える。

A5判 402頁 本体4800円 1986年 4-400-10401-X

サムエル記

〈ケンブリッジ旧約聖書註解 8〉

P. R. アクロイド著 田淵 結訳

申命記的歴史の一部であるという認識に基づき、そのような歴史を要請した捕囚記の精神状況に注目しつつ、諸伝承に目配りした多元的注解。

A5判 440頁 本体4800円 1980年 4-400-10408-7

ヨブ記

〈ケンブリッジ旧約聖書註解 12〉

N. C. ハーベル著 高尾 哲訳

ヨブ記にかんする優れた社会史的研究をものした著者による注解。無意味な苦しみの中でひとり神と対決してなければならない人間の姿を読みとる。

A5判 220頁 本体3400円 1994年 4-400-10412-5

エレミヤ書

〈ケンブリッジ旧約聖書註解 17〉

E. W. ニコルソン著 松浦 大訳

エレミヤの言動が捕囚期を生きた伝承者たちをいかに力づけたかに着目し、申命記的歴史家の役割を高く評価しながらテキストを注解する。

A5判 424頁 本体3882円 1980年 4-400-10417-6

祝福したもう神

創世記の学び

塩野和夫著

世界創造に始まり、アブラハム以後のイスラエルの民の系譜を辿る創世記物語を、教会で深く学んだ経験をやさしい語り口でまとめた創世記研究。

46判 200頁 本体1500円 1987年 4-400-51631-8

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コインノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

ラビの聖書解釈

ユダヤ教とキリスト教の対話

J. マゴネット著 小林洋一編

現代の改革派ラビが十戒、イサク奉献、ルツ記を取り上げ「ラビ的解釈」を展開する3講演、また自らの個人史と重ねた宗教間対話論。

46判 205頁 本体1700円 2012年 978-4-400-30559-0

旧約聖書のメッセージ

福音の書として読む

小泉達人著

旧約聖書はいかなる意味で「福音」の書なのか。聖書学の成果に学びつつ、旧約を貫くメッセージを見据え、全体的な構造から解き明かす必読書。

46判 360頁 本体1900円 2005年 4-400-12763-X

旧約聖書の信仰の真髄

柏井宣夫著

ヤーウェ信仰の真髄とは何か。旧約学徒、神学教師、そして牧会者として、その一神教理解を中心に思索を重ねてきた成果を、平易な言葉で語る。

46判 152頁 本体1300円 2005年 4-400-12484-3

旧約聖書の預言と黙示

その本質と系譜〈現代神学双書〉

木田献一著

著者の旧約学研鑽の精髓である「預言と黙示」、預言の本質と歴史的系譜と意義を、信仰告白、宗教の危機、民衆等、現代的視点から見直した成果。

B6判 245頁 本体2700円 1996年 4-400-13078-9

旧約聖書に親しむ I

そして現代との対話

中道政昭著

市民講座・通信講座で定評の旧約聖書入門の単行本化。創世記から王国の成立（ソロモン王）時代まで。明快な説明と楽しい工夫が読者理解を促す。

46判 290頁 本体1800円 2004年 4-400-127605

旧約聖書に親しむ II

そして明日を見つめる

中道政昭著

市民講座・通信講座で定評の旧約入門の単行本化。王国の成立以降からダニエル書までを網羅。平易な説明で、より一層旧約理解を促す。

46判 360頁 本体1800円 2005年 4-400-12761-3

東と西の間の聖書

柏井宣夫著

聖書を東西文化の交流から説明する独自の構想に立つ聖書論。ヘレニズム文化の重要性に着目し、旧約聖書続編の位置づけにも一石を投ずる。

46判 112頁 本体1100円 2009年 978-4-400-12485-6

旧約聖書関連書

旧約聖書入門 1

現代に語りかける原初の物語

大野恵正著

聖書を平易かつ格調高く語ることに定評ある著者が、旧約から受け取ってきた豊かなメッセージの核心を現代人に取り次ぐ。全5冊シリーズ。

小B6判 272頁 本体1800円 2013年 978-4-400-12786-4

旧約聖書入門 2

現代に語りかける父祖たちの物語

大野恵正著

アブラハムからヨセフに到る族長たちの物語（創世記）を取り上げ、神による祝福の選びと働きかけの意味を考える。全5冊シリーズ。

小B6 368頁 本体1900円 2015年 978-4-400-12787-1

旧約聖書入門 3

現代に語りかける出エジプトと契約

大野恵正著

出エジプト記、レビ記、民数記、申命記を解説。難解とされる律法の考察を通して、イスラエルの民に与えられた契約の意味を解明。

B6変判 368頁 本体1900円 2019年 978-4-400-12788-8

古代イスラエル預言者の特質

伝承史的・社会史的研究

樋口 進著

王国時代に集中的に出現した「預言」という特異な宗教現象。本書は彼らの支持グループに着目しつつ社会史的な視座からその謎に迫った労作。

A5判 294頁 本体5000円 2013年 978-4-400-12751-2

【デイリー・スタディー・バイブル】

創世記 I

〈デイリー・スタディー・バイブル 1〉

J. C. L. ギブソン著　荒井章三／西垣内寿枝訳

創造物語からバベルの物語まで。旧約学の最新成果を紹介し、古代オリエントに並行する物語と比較しながら、聖書の独自の使信を読み解く。

46判　352頁　本体3500円　1998年
4-400-10426-5

創世記 II

〈デイリー・スタディー・バイブル 2〉

J. C. L. ギブソン著　加納孝代訳

12章から50章まで。アブラハム、ヤコブ、ヨセフの族長物語をそれぞれ、信仰の叙事詩、対立の叙事詩、運命の叙事詩として生き生きと論じる。

46判　540頁　本体5000円　1995年
4-400-10427-3

レビ記

〈デイリー・スタディー・バイブル 4〉

G. A. F. ナイト著　水谷八也訳

レビ記の煩雑かつ延々と続く規定を歴史的文脈から再考し、契約関係における神の恵みの手段として位置づけ、新約との関連を力強く説く。

46判　304頁　本体2800円　1994年
4-400-10429-X

民数記

〈デイリー・スタディー・バイブル 5〉

W. リガンズ著　石川　立訳

イスラエルの民の荒野の四十年を語る重要なテキストを、常にキリスト信仰から照らしつつ、堅実な講解説教風に解き明かす。

46判　434頁　本体3300円　1990年
4-400-10430-3　僅少

申命記

〈デイリー・スタディー・バイブル 6〉

D. F. ベイン著　丸橋　裕訳

古代の律法の根底にある普遍的な原理を洞察する注解によって、新約に好んで引用される申命記の数々が新たな相貌をもって読者に提示される。

46判　385頁　本体3400円　1997年
4-400-10431-1

創世記 I

〈オンデマンド・ブック〉

渡辺信夫訳

第1章から23章、すなわち天地創造よりサラの埋葬に至る部分。救済史的な視点に堅く立つ宗教改革的なメッセージ。

A5判　408頁　本体4600円　(84年)
2005年　4-400-14401-1

創世記 II

カルヴァン旧約聖書注解

J. カルヴァン著　堀江知己訳

創世記24章以下、イサクからヨセフにいたる父祖たちの物語。宗教改革者の釈義の真髄を示す大作。渡辺信夫訳のIから36年ぶりに完結。

A5判　398頁　本体4500円　2020年
978-4-400-10116-1

詩篇 I

〈オンデマンド・ブック〉

出村　彰訳

第1篇から第37篇まで。信仰義認論を高らかに謳い上げる「信仰中心的」な釈義がまさに「キリスト中心的」な釈義であることを示す力作。

A5判　490頁　本体5300円　(70年)
2005年　4-400-14403-8

詩篇 II

〈オンデマンド・ブック〉

出村　彰訳

第38篇から第72篇まで。奇をてらった転釈に陥ることを免れ、あらゆる権威に対し王者のごとき自由をもって聖句に対峙した渾身の傑作。

A5判　406頁　本体4600円　(71年)
2005年　4-400-14404-6

詩篇 III

〈オンデマンド・ブック〉

出村　彰訳

第73篇から第106篇まで。旧新約聖書は一貫してキリストを指し示しているという基本的確信に基づき、神の契約の不変性を見事に表現する。

A5判　407頁　本体4600円　(72年)
2005年　4-400-14405-4

詩篇 IV

〈オンデマンド・ブック〉

出村　彰訳

第107篇から第150篇まで。詩篇をキリストの光のもとで読み解くカルヴァンの簡にして要を得た「字句主義」の素朴さが私たちの胸を打つ。

A5判　421頁　本体4700円　(70年)
2005年　4-400-14406-2

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

アモス書講義

J. カルヴァン著　関川泰寛監修　堀江知己訳

原典を自ら訳して入念にパラフレーズするスタイルの、創設間もないジュネーヴ大学での講義の記録。改革者の肉声が伝わってくる訳文。

A5判　390頁　本体5000円　2019年
978-4-400-12456-6

古代イスラエル預言者の思想的世界

金井美彦／月本昭男／山我哲雄編

現代日本の聖書学の最前線で活躍する聖書学者15人が、預言者の存在と活動、その聖書の・歴史的・思想的・社会的意味を論じた最新の論文集。

A5判　340頁　本体6000円　1997年
4-400-11068-0

預言者と政治

解放の実践と根源的批判（大森講座4）

古賀清敬著

イザヤ、エレミヤらの終末的・未来的預言が、革新的な政治状況を示す言葉であることを明らかにし、教会の預言者的使命をより強く訴える好著。

46判　64頁　本体800円
1989年　4-400-31678-5　僅少

あなたはむさぼってはならない

〈大森講座9〉

三好　明著

教会とこの世が陥る「むさぼり」の罪を、聖書の・社会学的に考察する一方、その克服を通して形成されるべき教会共同体と市民共同体の姿を提示。

46判　70頁　本体1000円　1994年
4-400-31683-1

神の言としてのコヘレト

〈大森講座10〉

藤田英夫著

「すべてはむなしい」と断ずるコヘレトとは？なぜこの書が聖書に収められているか？この書に基づく説教の可能性を模索しその思想に肉迫。

46判　72頁　本体1000円　1995年
4-400-31684-X

【カルヴァン旧約聖書注解】

詩篇の思想と信仰 III

第51篇から第75篇まで

月本昭男著

詩篇詩人の信仰に深く内在必つつ、時にその狭隘な自民族中心主義を鋭く指摘。ユダヤ・キリスト教世界の基本文書を私たちの書として読む。

46判　344頁　本体3300円　2011年
978-4-400-12745-1

詩篇の思想と信仰 IV

第76篇から第100篇まで

月本昭男著

一篇一篇の文体の微妙な陰影に入り込み、ヤハウェ信仰の様々な側面、多様な神観の表現に肉薄する。詩篇を読むための必携の書。

46判　380頁　本体3500円　2013年
978-4-400-12746-8

詩篇の思想と信仰 V

第101篇から第125篇まで

月本昭男著

20年以上を費やした本邦最大級（全6巻）の詩篇注解、ついに完結。古代オリエント学に通暁する著者ならではの広い視野から旧約詩編に迫る。

46判　424頁　本体3900円　2020年
978-4-400-12747-5

詩篇の思想と信仰 VI

第126篇から第150篇まで

月本昭男著

厳密な私訳、詳細な語釈、各詩篇の構造の分析、そして古代オリエント学に通暁した著者ならではの広い視野からの行き届いた解説。

46判　328頁　本体3400円　2019年
978-4-400-12748-2

詩篇の思想と信仰 VII

第126篇から第150篇まで

月本昭男著

一字一句もおろそかにしない精密な語釈、詩人の信仰の核心を射貫く透徹した分析。古代のテキストが異質性を越えて現代に語りかけてくる。

46判　328頁　本体3400円　2018年
978-4-400-12748-2

詩篇研究

〈新教セミナーブック〉

左近　淑著

詩篇の中から、特に愛唱される20篇を選び、厳密な批評的釈義と穩健的確な解釈を加えた、定評ある詩篇研究。著作集に未収録の代表的著作。

B6判　426頁　本体3800円　1971年
4-400-11193-8　僅少

最初期キリスト教思想の軌跡

イエス・パウロ・その後

青野太潮著

キリスト教誕生の瞬間を多様な角度から捉え直し、またキリスト教思想が現代人にとって有する意味を深く考究した刺激的論考 29 編を収録。

46判 856頁 本体6000円 2013年 978-4-400-12104-6

イエス入門

R.ボウカム著 山口希生 横田法路訳	
世界的な聖書学者が初学者向けに書き下ろしたイエス入門。オクスフォード大学出版局の定評あるVery Short Introduction シリーズの一冊。	
46判変型 200頁 本体1900円 2013年 978-4-400-52071-9	

隣人愛のはじまり

聖書学的考察〈シリーズ神学への船出 01〉 辻 学著

隣人愛の様々な聖書の源流を訪ねながら、当たり前と思われている観念の歴史をたどる刺激的な船旅。聖書学的方法論への船出にも誘う。

46変判 200頁 本体1700円 2010年 978-4-400-30001-4

ローマ帝国とイエス・キリスト

磯部 隆著	
イエス・キリストの世界史的意味を、ローマ帝国という当時の世界帝国の背景から解明。主流文化の価値意識や思考様式に対する内面的対決の跡。	
46判 473頁 本体2600円 2013年 978-4-400-12107-7	

新約聖書の伝道理解

F.ハーン著 勝田英嗣訳	
初代教会のキリスト者は伝道をどう理解していたのか。伝道観の多様性を明らかにしつつ、そこを貫く共通の二つの根本問題を浮き彫りにする。	
A5判 240頁 本体3800円 2012年 978-4-400-32439-3	

フィロンと新約聖書の修辞学

山田耕太著	
新約理解に欠かせない修辞学的分析をルカ文書や書簡に適用した研究成果と、同時代の著述家フィロンの修辞に関する考察。	
A5判 352頁 本体6300円 2012年 978-4-400-12750-5	

イエスのたとえ話の再発見

J.エレミアス著 南條俊二訳	
初代教会により寓喩的に解釈されてきたたとえ話を、イエス本来の意図に添って読み直した名著。英語版に基づくと読みやすい新訳。	
四六判 298頁 本体3000円 2018年 978-4-400-12762-8	

キリスト教の再定義のために

荒井 献著	
1958年の処女作から2017年まで折々に綴り語った文章 55 編を精選。日本の聖書学を牽引してきた著者の信仰的・学問的実存の軌跡が鮮やかに。	
四六判 528頁 本体4500円 2018年 978-4-400-52151-8	

人生を聖書と共に

リチャード・ボウカムの世界	
R.ボウカム M.エリオットほか著	
傑出した神学者の古希を記念し、主要7作品を愛弟子たちが解説、聖書神学の最先端への道案内でもある。巻頭にはボウカムの信仰自伝も付す。	
46判 120頁 本体1600円 2016年 978-4-400-32456-0	

新約聖書と神の民 上巻

キリスト教の起源と神の問題 1	
N. T. ライト著 山口希生訳	
英語圏を代表する新約聖書神学ついに全訳開始。第1巻の前半にあたる本書は、綿密な聖書学方法論と新約聖書の時代背景を詳述する。	
A5判 609頁 本体6400円 2015年 978-4-400-12441-2	

新約聖書と神の民 下巻

キリスト教の起源と神の問題 1	
N. T. ライト著 山口希生訳	
上巻の方法論を踏まえた上で、原始教会が抱いていた「イスラエルのストーリー」を手がかりに、新約聖書成立のプロセスを明らかにする。	
A5判 336頁 本体3700円 2018年 978-4-400-12442-9	

信じない人のためのイエス入門

宗教を超えて	
ジョン・シュルビー・スポンゲ著 富田正樹訳	
アメリカ聖公会の著名な元主教が、聖書学の知見に基づき、従来の有神論を徹底的に批判し、本当の神体験とは何かをイエスを通して考える。	
A5判 400頁 本体3700円 2015年 978-4-400-32492-8	

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コインノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

列王記

〈デイリー・スタディー・バイブル 9〉	
A. G. オールド著 藤本鈴恵訳	
ダビデ王の死とソロモンの王位継承から、バビロンの侵略によって王国が最終的に滅亡するまでの約4世紀にわたる歴史。	
46判 234頁 本体2400円 1994年 4-400-10434-6	

歴代志

〈デイリー・スタディー・バイブル 10〉	
J. G. マコンヴィル著 小野功生訳	
捕囚から帰還した復興途上の共同体にあてて語るという歴代志史家の状況をふまえつつ、神への信頼、神からの赦しと恵みの思想を読み解く。	
46判 416頁 本体3300円 1990年 4-400-10435-4	

エズラ記・ネヘミヤ記・エステル記

〈デイリー・スタディー・バイブル 11〉	
J. G. マコンヴィル著 山森みか訳	
紀元前5世紀、民族滅亡と捕囚の苦境から、エルサレム神殿の城壁再建に苦闘するエズラ、ネヘミヤ、そして美しいエステルの愛の物語の研究。	
46判 320頁 本体3400円 1999年 4-400-10436-2	

ヨブ記

〈デイリー・スタディー・バイブル 12〉	
J. C. L. ギブソン著 滝沢陽一訳	
難解な本文をキリスト教の立場から整合的に理解することを戒め、神への抗議の積極的肯定、異教的象徴、暗い皮肉などをそれ自体として味わう。	
46判 480頁 本体4600円 1996年 4-400-10437-0	

詩篇Ⅱ

〈デイリー・スタディー・バイブル 14〉	
G. A. F. ナイト著 尾崎 安訳	
73篇から150篇まで。豊かな学殖と博引旁証によりイスラエルの民の信仰の詩を注解する。訳文は尾崎氏独自の折衷体により原文の雅趣を伝える。	
46判 670頁 本体5000円 1997年 4-400-10439-7	

箴言

〈デイリー・スタディー・バイブル 15〉	
K. T. エイトケン著 松平陽子訳	
イスラエルの民の世俗的な知恵の宝庫である箴言を、その社会的背景に注目しながら注解。10～31章は主題別に分類してその多様な特徴に迫る。	
46判 440頁 本体4200円 1995年 4-400-10440-0	

伝道の書・雅歌

〈デイリー・スタディー・バイブル 16〉	
R. デヴィドソン著 牧野留美子訳	
聖典としての先入観から自由にテキストを読む。伝道の書の詩としての美を十全に味わい、また雅歌を寓意的に読まず純粹に愛の歌として鑑賞。	
46判 288頁 本体2800円 1996年 4-400-10441-9	

イザヤ書Ⅱ

〈デイリー・スタディー・バイブル 18〉	
J. A. F. ソーヤー著 樋口 進訳	
40～66章（第二イザヤ、第三イザヤ）を扱う。ただしイザヤ書全体を、密接な思想的関連性の下に統一的に捉えようとする意欲的注解。	
46判 346頁 本体3500円 1995年 4-400-10443-5	

エゼキエル書

〈デイリー・スタディー・バイブル 20〉	
P. C. クレイギ著 友枝久美子訳	
難解な象徴や比喩のために多くの注解者を挫折させてきたエゼキエル書を、神の神聖さという中核的メッセージに留意しながら注解を施す。	
46判 494頁 本体2900円 1986年 4-400-10445-1	

ダニエル書

〈デイリー・スタディー・バイブル 21〉	
D. S. ラッセル著 牧野留美子訳	
捕囚記の人物の口を借りながら、前2世紀の苛烈な迫害にある同胞を励ますために書かれた黙示文学。その複雑な象徴の世界を解き明かす。	
46判 384頁 本体2400円 1986年 4-400-10446-X	

<div><div></div><div>新約聖書関連書</div></div>

イエスの福音

それは本当は何だったのか	
J. M. ロビンソン著 加山久夫、中野 実 訳	
Q資料やトマス福音書など「言葉福音書」を分析しイエスがガリラヤで語った「良き知らせ＝福音」の核心「神の国」に迫る。Qの本文を付す。	
46判変型 410頁 本体3500円 2020年 978-4-400-12035-3	

イエス

あるユダヤ人貧農の革命的生涯

J. クロッサン著　太田修司訳

人類学や社会学に及ぶ学際的知見を総動員して史的イエスの実像に迫り、その革命的なライフスタイルに新しい光を当てた「第三の潮流」の代表作。

46判　352頁　本体3600円　1998年
4-400-12033-3

イエスの死の意味

〈新教セミナーブック〉

ケーゼマン／コンツェルマン／ローゼ／ヘンヘン他

現代教会の直面する「説教の危機」に応えるべく、宣教の中心主題であるイエスの死、十字架、復活を、ドイツ神学界の俊英が共同研究。安積鋭二訳

46判　218頁　本体1800円（74年）
2005年　4-400-32259-9

イエスの十字架の意味

〈新教セミナーブック〉

ピツァー／ゲータース／シュラゲ／クレック他

「救いの根拠としての主イエスの十字架」の意味を、厳密な聖書釈義の成果と宗教改革的な「十字架の神学」との折衝の中で問い直す。南　吉衛訳

46判　240頁　本体1800円（75年）
2005年　4-400-32561-X

イエスの復活の意味

〈新教セミナーブック〉

マルクセン／ヴァルケンス／ガイヤー他　村上　伸訳

現代の教会は「復活」の福音をいかに語りうるのか？　その史実性から使信の神学性に至る「復活」のダイナミズムを解明する。

46判　218頁　本体1800円（74年）
2005年　4-400-32255-6　僅少

ナザレのイエス

〈現代神学双書〉

G. ボルンカム著　善野碩之助訳

福音書の史的・批評的研究と初期キリスト教史研究の最新の成果をふまえて、史的イエスの現実を示し、福音の使信の現代的意味を追究した傑作。

B6判　358頁　本体3200円　1967年
4-400-13001-0

ユダヤ人イエス

ユダヤ教とキリスト教の対話

D. フルッサー著　武田武長／武田　新訳

ユダヤ教の立場から初期キリスト教史を研究する著者が、イエスの言動のユダヤの背景に照らしながらその独創性を論じた興味溢れる書。

46判　212頁　本体2400円　2000年
4-400-12100-3　僅少

新約聖書の諸問題

〈オンデマンド・ブック〉

佐竹　明著

「イエスゆえの患難」「パウロにおける使徒職と恩恵」「パウロにおける苦難の理解」「パウロにおける十字架」等、重要論文 12 編収録。

46判　334頁　本体3900円（77年）
2003年　4-400-10763-9

四つの福音書、ただ一つの信仰

E. トロクメ著　加藤　隆訳

視点の異なる四つの福音書が正典に含まれている謎に迫り、初代教会の多様性と同時に、それらを貫くキリスト教信仰の統一性をも示す。

46判　162頁　本体1800円　2002年
4-400-12113-5

ナザレのイエスと信仰のキリスト

P. シュトゥールマッハー著　加藤善治／辻　学訳

新約学の泰斗が史的イエス問題に正面から答え、ナザレのイエスへの信仰告白の正当性を、イエス自身のメシア自覚に基礎づける。3 講演を収録。

46判　204頁　本体1900円　2005年
4-400-12133-X

イエスとパウロ　イスラエルの子

A. シュラキ著　長柴忠一訳

新約聖書の二人の中心人物を、ユダヤ教の信仰伝統を共有する預言者的実存として高く評価し、共感を込めて描き出す。

46判　122頁　本体1200円　2005年
4-400-12135-6

イエスとの初めての再会

史的イエスと現代的信仰の核心

M. ボーグ著　西垣二一・三ツ本武仁訳

「第三の探求」の成果に基づき、現代人にとって真に納得のいく聖書の読み方から導き出されたイエス観・神観・信仰観を積極的に提示する。

46判　254頁　本体2500円　2011年
978-4-400-12034-6

イエスとは誰か

史的イエスに関する疑問に答える

J. D. クロッサン著　飯郷友康訳

自らのイエス観の核心をインタビュー形式に託して率直に語り、開かれた食卓と無償の癒しを通して神の国を「実演」したイエスを鮮烈に描き出す。

46判　192頁　本体1900円　2013年
978-4-400-12305-7

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
 〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

原始キリスト教の心理学

初期キリスト教徒の体験と行動

G. タイセン著　大貫　隆訳

パウロや初期キリスト教徒たちがいかなる「心の世界」に住んでいたのかを「歴史的宗教心理学」という斬新な方法論を駆使して分析した大著。

A5判　860頁　本体9500円　2008年
978-4-400-11147-4

初期ユダヤ教の実像

土岐健治著

ファリサイ派は律法主義者だったのか。イエス時代のユダヤ教文献を博搜し、新約だけに拠りがちだったキリスト教側のユダヤ教像を書き換える。

46判　188頁　本体2000円　2005年
4-400-12429-0

初期ユダヤ教研究

土岐健治著

第一人者による待望の論文集。新約思想成立の背景となったユダヤ教内の特殊主義と普遍主義の相克を照射。「一神教と人類意識」「ヨナ書」他。

A5判　176頁　本体3500円　2006年
4-400-12430-4

初期キリスト教の思想的軌跡

〈オンデマンド・ブック〉

J. ロビンソン／H. ケスター　加山久夫訳

ナグ・ハマディ文書の発見によって明らかとなった初代教会の思想的多様性とその「正統と異端」をめぐるダイナミックな運動を解明した論集。

46判　452頁　本体4200円（75年）
2005年　4-400-14302-3

新約聖書

〈現代神学の焦点〉

G. ボルンカム著　佐竹　明訳

ドイツを代表する新約学者が、新約文書の成立の解明に主力を注ぎながら、新約後期諸文書の統一テーマ、神の出来事としてのイエスの歴史を示す。

小B6判　258頁　本体1600円　1972年
978-4-400-33216-9

新約思想の成立

〈オンデマンド・ブック〉

八木誠一著

今や独自の宗教哲学を構築した著者が新約思想の類型論的分析を打ち出した出発点。本書は初版以後の滝沢との論争をふまえた増補版。

A5判　368頁　本体5300円（63年）
2003年　4-400-10752-3

新約全書

現代仮名字体版『志無也久世無志與』

ネイサン・ブラウン訳

覆刻『志無也久世無志與』を綿密に解読し、現代仮名字体に書き改めた。ブラウンの活き活きした訳を現代人がより短かに味わえる一冊。

A5判　912頁　本体7000円　2011年
978-4-400-10682-1　僅少

約翰福音之傳・約翰上中下書

1837 年　シンガポール・堅夏書院版

K. F. A. ギュツラフ訳　秋山憲兒解説

「ハジメニカシコイモノゴザル」で始まるヨハネ福音書は、日本人漂流民・尾張の音吉の手助けによる近代日本の歴史最初の和訳で、貴重な覆刻。

A5判　192頁　本体8000円　2000年
4-400-10677-5

新約本文のパピルスⅢ

蛭沼寿雄著

故蛭沼氏の偉業が完結。新約本文パピルスの 47 番から 100 番までを扱う。単なる写本紹介を超えた労作。ⅠとⅡは大阪キリスト教書店より既刊。

B5判　380頁　本体15,000円　2010年
978-4-400-11022-4

幸いなるかな

初期キリスト教のマカリズム

原口尚彰著

新約聖書や使徒教父文書にも重要な役割を果たす「幸いの宣言」のユダヤ的背景に溯りつつ、初期キリスト教に独自の特質を明らかにした労作。

A5判　200頁　本体4700円　2011年
978-4-400-12769-7

イエスとその目撃者たち

目撃者証言としての福音書

R. ボウカム著　浅野淳博訳

福音書を目撃者証言というジャンルとして解釈する試み。古典から記憶理論までを駆使し、歴史における目撃者証言の信憑性を論じた偉業。

A5判　656頁　本体7600円　2011年
978-4-400-11180-1

イエス運動

ある価値革命の社会史

G. タイセン著　廣石　望訳

イエス運動の核心を、ラディカルな愛と和解のヴェイジョンを掲げたユダヤ教革新運動と位置づけ、原始キリスト教への発展を多角的に解明する。

A5判　420頁　本体5000円　2010年
978-4-400-11148-1

マルコによる福音書

私訳と解説

宮平 望著

聖書学の研究成果を十分に踏まえ、1節ごとに私訳を提示した上で、聖書の内的証言を最優先、他の聖書箇所との関連にも目配りした丁寧な解説。

A5判　432頁　本体2400円　2008年
978-4-400-11892-3

ルカによる福音書

私訳と解説

宮平 望著

聖書学の研究成果を十分に踏まえ、1節ごとに私訳を提示した上で、聖書の内的証言を最優先、他の聖書箇所との関連にも目配りした丁寧な解説。

A5判　717頁　本体4000円　2009年
978-4-400-11893-0

時の中心

ルカ神学の研究〈オンデマンド・ブック〉

H.コンツェルマン著　田川建三訳

ルカ神学の中核にある直線的な救済史観を、初めて厳密な文献批判と本文分析によって明らかに示したルカ-行伝研究における金字塔的業績。

46判　452頁　本体5200円　(65年)
2004年　4-400-10771-X

前に向かって進む

「ルカ福音書」が語る主イエスのイメージ

茂 洋著

主イエスはどのような時でも、死に至る旅でもつねに前に向かって進んでいかれる…私たちを力づけるルカ福音書のメッセージの定評ある講解説教。

46判　228頁　本体1900円　2008年
978-4-400-12784-0

栄光のキリスト

ヨハネによる福音書の受難物語　〈大森講座 25〉

高砂民宣著

共観福音書と著しく異なるヨハネの長大な受難物語を精密に分析し、「栄光」という視点からそのキリスト論の特色を明らかにする。

46判　120頁　本体1000円　2013年
978-4-400-31699-2

ヨハネによる福音書

私訳と解説

宮平 望著

聖書学の研究成果を十分に踏まえ、一節ごとに私訳を提示した上で、聖書の内的証言を最優先、他の聖書箇所との関連にも目配りした丁寧な解説。

A5判　472頁　本体2500円　2010年
978-4-400-11894-7　僅少

イエスの生と死　下巻

マルコ福音書に学ぶ　10-16章

秋田 稔著

イエスのエルサレム入城から十字架刑までのマルコ福音書のクライマックスを扱う。付録として旧約聖書に関する講演2篇を収録。

46判　344頁　本体3000円　2002年
4-400-12735-4

共観福音書の社会科学的注解

B.マリーナ／R.ロアボー著

大貫 隆監訳／加藤 隆訳

最新の歴史学・文化人類学の成果と共に、社会科学的視点を取り入れ、古代地中海世界の文書として福音書を読み、イエスの言動を見る画期的注解。

A5判　500頁　本体8214円　2001年
4-400-11146-6

古代ユダヤへのタイムトラベル

イエスが生きた世界

B.マリーナ著　浅野幸治訳

現代人が古代ユダヤに旅したら？　という想定の下、多数の挿話で、当時の社会の特徴を浮き彫りにする文化人類学的聖書解釈のユニーク試み。

46判　328頁　本体3800円　1999年
4-400-22043-5

マルコ福音書 上巻 〈増補新版〉

〈現代新約注解全書〉

田川建三著

上巻は6章6節まで。最前線の批判的・学問的な聖書学の成果を非専門家読者に配慮しつつ歯切れの良い文体で明快に伝える。中巻準備中。

46判　403頁　本体4000円　(72年)
2001年　978-4-400-11152-8

福音書作家マルコの思想

滝澤武人著

テキストと向き合い従来の通説の根拠を徹底的に吟味、「ガリラヤ民衆」の立場に立って批判的精神を貫徹した福音書作家の思想を浮彫りにする。

A5判　296頁　本体4000円　1995年
4-400-11067-2

ガリラヤへ行け

マルコ福音書研究

鈴木 浩著

様式史と編集史の研究成果を教会の聖書研究会にどう活かすか。著者が教会の聖研のために毎週書き続けた精緻なマルコ研究。聖書注解にも最適。

A5判　376頁　本体3600円　2005年
4-400-12765-6

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

イエスの譬え話 2

いのちをかけて語りかけたメッセージは？

山口里子著

福音書の行間を読み解き、イエスの言葉の核心に迫るフェミニスト神学の最新成果。見慣れた譬え話が、共生を希求する現代的な物語として再読。

A5判　245頁　本体2200円　2017年
978-4-400-12759-8

イエスの働きと言葉

A. M.ハンター著　吉田信夫訳

神の子、苦難のメシア、主にして僕イエスへの真実な信仰と共に福音書に向かい、穏健な方法論に立って史的イエスの働きと言葉の全体像を把握。

46判　292頁　本体2300円　1989年
4-400-12382-0

マタイによる福音書

私訳と解説

宮平 望著

新約聖書全巻の逐条のコメントリーを志す壮図の第1巻。1節ごとに私訳を提示。聖書の内的証言を最優先し他箇所にも目配りしながら丁寧に解説。

A5判　640頁　本体4000円　2006年
4-400-11891-6

マタイによる福音書

〈シュラッター新約聖書講解 1〉

蓮見和男訳

近代ドイツ聖書学の代表シュラッターの名著。厳密な私訳の聖書本文、広い学識と敬虔な信仰の講解が一体化し、生きた神の言葉として語られる。

A5判　492頁　本体4000円　1976年
4-400-10351-X　僅少

主の祈りと山上の説教

新たな解釈の試み　〈大森講座 21〉

佐藤泰將著

敵対勢力との信仰の戦いでマタイ宗団存続のために主の祈りと山上の説教が果たした機能・意味を、精密な本文分析と社会学的知見も援用し探る。

46判　90頁　本体900円　2006年
4-400-31695-5

イエスの生と死　上巻

マルコ福音書に学ぶ　1-9章

秋田 稔著

若人と共に自宅を開放して始めた聖書講義の記録。聖書学と対話しつつ、あくまで福音書を通してイエスと真摯に出会おうとする姿勢を貫く。

46判　372頁　本体3200円　2001年
4-400-12725-7

イエシュア

現代人のモデル・イエス 〈新教ブックス〉

L.スウィードラー著　八木誠一訳

ユダヤ教徒として生き死にしたイエスを、新しく根本的にユダヤ教との対話の中に捉えなおした、キリスト者のための「キリスト教再入門」。

46判　224頁　本体2500円　1994年
4-400-12483-5

小さき者の友イエス

〈現代神学双書〉

三好 迪著

「小さき者の友」としての生きざまに学び、それをイエスの宣教の中心として、深い学殖と敬虔を傾けて書かれた福音書研究論文 23 篇を収録。

B6判　480頁　本体4200円　1987年
4-400-33071-0　僅少

イエスの裁判

〈現代神学双書〉

J.プリンツラー著　大貫 隆／善野碩之助訳

カトリック教会の代表的な新約学者が、該博な古代法の知識と、初期キリスト教の史的研究を駆使して、イエスの裁判と十字架の死に挑んだ傑作。

46判　504頁　本体5000円　1988年
4-400-32374-9

イエスの宣教

〈新教セミナーブック〉

J.エレミアス著　角田信三郎訳

新約聖書の文学史的・言語学的研究の世界的権威が、イエスの使信の独自性とその意味を追求し、雄大な構想のもと学殖を傾けて完成した大作。

B6判　614頁　本体4800円　1978年
4-400-33257-8　僅少

イエスの譬え

〈オンデマンド・ブック〉

J.エレミアス　善野碩之助訳

福音書に記された譬話の中にイエスの中心的メッセージを読みとるために、精密な編集史的分析を経てその最古の形態に至ろうとした労作。

46判　298頁　本体3000円　(69年)
2005年　4-400-14303-1

イエスの譬え話 1

ガリラヤ民衆が聞いたメッセージを探る

山口里子著

あの不在地主や放蕩息子の父は果たして慈父の如き神の譬えなのか？　テキストの忠実な読みから浮かび上がるイエスの全く異なるメッセージ。

A5判　198頁　本体2000円　2014年
978-4-400-12758-1

コリント信徒への手紙を読む <p>教会の土台を据える （聖書に学ぶ）</p> 泉 治典著
パウロが語り伝えようとした時代の転換と終末の希望を、テクストに即して徹底的に読み解く。コリント書簡を学ぶためのコンパクトな座右の書。
<p>B6判　260頁　本体2200円　2006年</p> 4-400-12720-6

第二コリント書 8－9 章 <p>現代新約注解全書</p> 佐竹 明著
パウロはなぜコリント教会にエルサレム教会への献金を熱心に勧めたのか。パウロ神学の恵み理解をめぐる重要部分の詳細な注解。
<p>A5判　393頁　本体7000円　2017年</p> 978-4-400-11169-6

第二コリント書 10－13 章 <p>現代新約注解全書</p> 佐竹 明著
パウロを中傷してコリント教会を混乱に陥れた論敵の言い分に、使徒はただ主のみを誇るべきこと、使徒が苦難を受けるべきことを語る。
<p>A5判　664頁　本体9700円　2019年</p> 978-4-400-11170-2

ガラテヤ人への手紙 <p>〈現代新約注解全書〉別巻</p> 原口尚彰著
ガラテヤ書の修辭的機能に踏み込んで詳述した本邦初の本格的注解。古代書簡論の光の中で、パウロのメッセージが甦る。
<p>A5判　272頁　本体4800円　2004年</p> 4-400-11163-6

ガラテア人への手紙 <p>〈現代新約注解全書〉</p> 佐竹 明著
最高の学的水準をいく定番中の定番註解を読みやすい拡大版で重版。パウロ研究の第一人者による克明な註解は一般信徒にも利用しやすい必読書。
<p>A5判　620頁　本体6660円　2008年</p> 978-4-400-11150-4

ガラテヤ人、エフェソ人、フィリピ人、コロサイ人への手紙 <p>私訳と解説</p> 宮平 望著
聖書学の研究成果を十分に踏まえ、1節ごとに私訳を提示した上で、聖書の内的証言を最優先し、丁寧な解説を施す。聖書研究の座右の書。
<p>A5判　464頁　本体2500円　2013年</p> 978-4-400-11898-5

パウロは私たちにとって誰なのか 上 <p>ローマ人への手紙に学ぶ　1－8 章</p> 秋田 稔著
パウロの生き方と信仰に生けるイエス・キリストの姿を見、人間とは何かを問う信仰の書。「聖書の思想の出発点」（創世紀1―11章）も収録。
<p>46判　360頁　本体3000円　2004年</p> 4-400-12770-2

パウロは私たちにとって誰なのか 下 <p>ローマ人への手紙に学ぶ　9―16 章</p> 秋田 稔著
「私たちの聖書研究会」でのローマ書研究の完結巻。密度の濃い学問的聖書研究ながら、信徒に向けられた親しみやすい信仰書。巻末付録付。
<p>46判　230頁　本体2800円　2005年</p> 4-400-12771-0

使徒パウロ <p>伝道にかけた生涯　新版</p> 佐竹 明著
1981年発行のNHKブックス版を読みやすく組み直したパウロの入門的評伝の新版。パウロ研究の第一人者が歴史的厳密性を保った記述で著す。
<p>46判　280頁　本体2500円　2008年</p> 978-4-400-11021-7

ローマの信徒への手紙 上巻
原口尚彰著
パウロと読者とのコミュニケーションに焦点を合わせて使信に迫る、修辭学的＝書簡論的分析の成果。邦人の手になる久々のローマ書本格注解。
<p>A5判　270頁　本体4600円　2016年</p> 978-4-400-11182-5

ローマ人への手紙 <p>私訳と解説</p> 宮平 望著
聖書学の研究成果を十分に踏まえ、一節ごとに私訳を提示した上で、聖書の内的証言を最優先、他の聖書箇所との関連にも目配りした丁寧な解説。
<p>A5判　270頁　本体2000円　2011年</p> 978-4-400-11896-1

コリント人への手紙 <p>私訳と解説</p> 宮平 望著
信徒の聖書研究に最適な注解書の第7巻。聖書学の研究成果を十分に踏まえ丁寧な解説を施す。この巻はコリント前後書を含む。
<p>A5判　464頁　本体2500円　2012年</p> 978-4-400-11897-8

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コインノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

使徒行伝 中巻 <p>〈現代新約注解全書〉</p> 荒井 献著
上巻から37年ぶりの刊行となる中巻は、61-18:22を扱う。邦人の手になる学界最高水準の行伝注解である。
<p>A5判　510頁　本体9000円　2014年</p> 978-4-400-11157-3

使徒行伝 下巻 <p>〈現代新約注解全書〉</p> 荒井 献著
下巻は18章23－28章30節までを扱う。また巻末には「補論 最後のパウロ」および「概説 使徒行伝」が加わる。40年をかけてついに完結。
<p>A5判　455頁　本体9000円　2016年</p> 978-4-400-11158-0

使徒言行録 <p>私訳と解説</p> 宮平 望著
聖書学の研究成果を十分に踏まえ、一節ごとに私訳を提示した上で、聖書の内的証言を最優先、他の聖書箇所との関連にも目配りした丁寧な解説。
<p>A5判　464頁　本体2500円　2011年</p> 978-4-400-11895-4

ロゴス・エートス・パトス <p>使徒言行録の演説の研究</p> 原口尚彰著
使徒言行録に記されているペトロやパウロらの演説全29を修辭批評的な視点から分析し、それぞれの特質を明らかにした労作。
<p>A5判　256頁　本体4700円　2005年</p> 4-400-12766-4

グノーモン <p>新約聖書註解 1</p> J. A. ベンゲル著　岡本不二夫訳
18世紀ドイツ敬虔主義を代表する聖書学者の霊的な註解。ガラテヤ、エフェソ、フィリピ、コロサイ、フィレモンの5書簡を収録。
<p>A5判　240頁　本体3000円　2006年</p> 4-400-10130-4

イエス・キリストの信仰 <p>ガラテヤ 3 章 1 節―4 章 11 節の物語下部構造</p> リチャード・ヘイズ著　河野克也訳
キリスト教信仰と神学の根幹に関わる、長きにわたって争われてきた論争に、新たな視点から鮮やかな解決を提示した古典的論文。
<p>A5判　510頁　本体6500円　2015年</p> 978-4-400-12466-5

ヨハネ福音書講解 上巻 <p>1 章 1 節―8 章 11 節</p> アウグスティヌス著　中沢宣夫訳
ヒッポの司教・牧会者として会衆に語られた講解説教。古代修辭学の技法の全てを福音書の解き明かしに最大限傾注した流麗かつ白熱の説教。
<p>A5判　540頁　本体7600円　1996年</p> 4-400-10175-4

ヨハネ福音書講解 下巻 <p>8 章 12 節―21 章 25 節</p> アウグスティヌス著　中沢宣夫訳
アウグスティヌスの代表的聖書講解を、30余年に及ぶ辛苦の末の個人による完訳。定本に忠実な読解と綿密な訳注によって説教の迫力を再現。
<p>A5判　600頁　本体8214円　1992年</p> 4-400-10176-2

ヨハネ福音書を読む <p>聖書に学ぶ</p> 泉 治典著
ブルトマン、ヴェルケンス、オリゲネス、アウグスティヌス、ルター、カルヴァン、バルトラの神学的註解とも対話を重ねた格好の学びの伴侶の書。
<p>B6判　230頁　本体2100円　2008年</p> 978-4-400-12744-4

ヨハネ福音書のイエス・キリスト 上 <p>私たちを新しい生へと動機づける</p> 秋田 稔著
篤実な無教会信仰に基づき自らの主宰する聖書塾強会で語った聖書講話。ブルトマン、シュルツ、タイセンらと真剣に対話しながら講解する。
<p>46判　300頁　本体3000円　2010年</p> 978-4-400-12774-1

ヨハネ福音書のイエス・キリスト 下 <p>私たちを新しい生へと動機づける</p> 秋田 稔著
篤実な無教会信仰に基づき自らの主催する聖書塾強会で語った聖書講話。ブルトマン、シュルツ、タイセンらと真剣に対話しながら講解する。
<p>46判　240頁　本体2500円　2011年</p> 978-4-400-12775-8

使徒行伝 上巻 <p>〈現代新約注解全書〉</p> 荒井 献著
使徒行伝を歴史文学として読み解き、史実の装いの背後にあるルカの思想、その動機などにも迫ろうとする本格注解。上巻は1章から5章まで。
<p>A5判　431頁　本体6000円　1977年</p> 4-400-11156-3

ペテロ

弟子・使徒・殉教者（オンデマンド・ブック）
O.クルマン著 荒井 献訳

学問的かつ一般的にもよくまとまった、数少ない歴史的研究。神学的問題についても豊かな洞察を示し、「ペテロ問題」に関する必読書である。

46判 438頁 本体5000円（65年）2004年 4-400-10768-X

イエスの復活とその福音

〈オンデマンド・ブック〉
レオン＝デュフル著 三保 元訳

復活を証言する福音書の「言語」に詳細な分析を加えると同時に、現代にそれをどう語るかという問題提起に及ぶ。70年代に論争を呼んだ名著。

46判 416頁 本体4800円（74年）2004年 4-400-10769-8

ナザレのマリア

M. S. ハイスター著 出村みや子訳

ガリラヤのナザレ出身の無名の女性、イエスの母マリアが、信仰者の模範と希望になった経緯を、様々な伝承、信仰、神学の多様な視座から問う。

A5判 176頁 本体2800円 1988年 4-400-52377-2 僅少

新約聖書における模範

〈大森講座19〉
藤井和弘著

「和解の言葉」の担い手である教会の存在自体こそが《模範》に近づく道ではないか――現代の多様な価値観にあって教会の存在を問う。

46判 72頁 本体849円 2004年 4-400-31693-9

もう一つの召命物語

バルテマイの癒しから見た福音書記者マルコの神学
三永旨従著（大森講座14）

マルコが記す11の奇跡のうちの最後に位置する盲人バルテマイの癒しの奇跡を、種々の特徴と文脈の分析から、これを「召命物語」と位置付ける。

46判 96頁 本体1000円 1999年 4-400-31688-2

しるしの福音書

〈大森講座1〉
山岡 健著

新進気鋭の聖書学者が、ヨハネ福音書の中心テーマをエビローグ(20:30-31)の「しるし」に求め、それを焦点にヨハネ福音書の理解を試みた研究。

46判 74頁 本体800円 1986年 4-400-31675-0 僅少

ヨハネの黙示録 上巻 序説

〈現代新約注解全書〉
佐竹 明著

旧版を全面増補改訂、3巻本として刊行する。独自の段階的成立説に立ちながら、黙示録を立体的に考察、その謎を解明していく。

A5判 260頁 本体4800円 2007年 978-4-400-11164-1

ヨハネの黙示録 中巻

〈現代新約注解全書〉
佐竹 明著

黙示録に関する世界最高水準の注解書。いよいよ本文1章から11章までの注解に入る。本書のドイツ語版は定評あるマイヤー注解シリーズ収録。

A5判 480頁 本体8500円 2009年 978-4-400-11165-8

ヨハネの黙示録 下巻

〈現代新約注解全書〉
佐竹 明著

黙示録に関する世界最高水準の注解書。本文12章から22章までの注解。黙示録について真剣に学ぶ人、説教する牧師の必携書である。

A5判 480頁 本体8500円 2009年 978-4-400-11166-5

ヨハネの黙示録における祈りと讃美

長崎 巍著

「黙示録は讃美で始まり、祈りで終わる。そして全体は讃美と祈りに囲まれ、讃美と祈りが交互に入り組んで記されているのである」（本文より）。

46判 120頁 本体1200円 2002年 4-400-52673-9 僅少

ヨハネの黙示録に学ぶ 改訂版

黙示録は私たちに何を問いかけているか
秋田 稔著

時代背景を踏まえ、ギリシャ語原文に即してテキストが何を語ろうとしているかを読み解く。危機的を生きる我々に、終末信仰の堅持を強く訴える。

A5判 310頁 本体3000円 2009年 978-4-400-12772-7

新約聖書における教会像

〈オンデマンド・ブック〉
E.シュヴァイツァー著 佐竹 明訳

初代における教会観の多様性を、原始教会、パウロ、ヨハネ、および使徒教父の構想に即して解明すると同時に、その統一性の核心に迫る。

46判 382頁 本体4600円（68年）2004年 4-400-10770-1

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コインノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

いのちの糧の分かち合い

いま、教会の原点から学ぶ
山口里子著

斬新な視点から聖書を読み直し隠された声なき声を聴き取る解釈学。目からウロコの刺激に満ちた8章。「ダヴィンチコード」もこう読める！

A5判 260頁 本体2200円 2013年 978-4-400-12757-4

新しい聖書の学び

山口里子著

最新の聖書学研究に基づいた知見を盛り込み、人間解放の視点に基づきつつ、大学1年生にもわかりやすく平易に聖書を読み解く道案内をする。

A5判 203頁 本体1900円 2009年 978-4-400-12755-0

マルタとマリア

イエスの世界の女性たち
山口里子著

歴史的想像力を駆使し獲得される聖書の豊かな生命力。フェミニスト神学が生んだ成果。英語版原書はアメリカカナダカトリック報道協会賞を受賞。

A5判 336頁 本体2800円 2004年 4-400-12753-2

パウロをどうとらえるか

〈オンデマンド・ブック〉
荒井 献編

「パウロ主義批判」をめぐる貴重な対論の記録。寄稿者は荒井 献・佐竹 明・田川建三・弓削達・青野太潮・八木誠一・碑文谷創・高尾利数他。

A5判 294頁 本体4200円（72年）2003年 4-400-30756-5

主の祈り

イエスの祈りから弟子たちの祈りへ
M.フィロネンコ著 加藤 隆訳

主の祈りを当時のユダヤ教の祈りとの比較において検証し、その成立の起源にイエス自身の祈りと弟子たちに教示した祈りがあることを示す。

A5判 184頁 本体2200円 2003年 4-400-12118-6

ヨハネの黙示録

私訳と解説
宮平 望著

ヨハネの黙示録を、終末における天地再創造の約束を鍵として読み解く。個人による新約全巻注解全12冊、ここに完結。

A5判 308頁 本体2300円 2015年 978-4-400-11902-9

ピリピ人への手紙

〈現代新約注解全書〉
佐竹 明著

我が国におけるパウロ研究の第一人者による、3文書合成説に基づく最高の学的水準を保った克明な注解。一般信徒にも利用しやすい。

A 5判 302頁 本体4800円 1969年 978-4-400-11151-1

テサロニケ人・テモテ・テス・フィレモンへの手紙

私訳と解説
宮平 望著

聖書学の研究成果を十分に踏まえ、1節ごとに私訳を提示した上で、聖書の内的証言を最優先し、丁寧な解説を施す。聖書研究の座右の書。

A5判 368頁 本体2400円 2014年 978-4-400-11899-2

ヘブライ人への手紙

私訳と解説
宮平 望著

聖書学の研究成果を十分に踏まえ、1節ごとに私訳を提示した上で、聖書の内的証言を最優先し、丁寧な解説を施す。聖書研究の座右の書。

A5判 294頁 本体2200円 2014年 978-4-400-11900-5

ヤコブ・ペトロ・ヨハネ・ユダの手紙

宮平 望著
私訳と解説

信徒の聖書研究に最適の注解書。聖書全巻の逐条のコメントリーを志す壮図の第11作目。1節ずつメッセージ豊かで丁寧な解説を施す。

A5判 396頁 本体2500円 2015年 978-4-400-11901-2

偽名書簡の謎を解く

パウロなき後のキリスト教
辻 学者

なぜ書かれたのか、その主張や狙いは何か? 「第2パウロ書簡」について最新の研究成果に基づく、初めて邦語で読める包括的・画期的な入門書。

46判 233頁 本体2200円 2013年 978-4-400-12106-0

ヤコブの手紙

〈現代新約注解全書〉
辻 学者

思想内容、文学類型、著者問題などについて研究者たちを悩ませてきたヤコブ書に関する最高水準の学問的注解。5つの補論を付す。

A5判 300頁 本体5000円 2002年 4-400-11162-8

ヨハネとパウロ

新約神学の統一性に関する一考察〈大森講座 12〉
鈴木牧雄著

パウロの信仰義認から学びつつ、その真理を今日に有効に提示できる伝道の原理をヨハネに求め、この視点から2人の補いあう関係を明らかにする。

A5判 88頁 本体1000円 1997年
4-400-31686-6

覆刻馬太伝福音書・馬可伝福音書

ベッテルハイム聖書覆刻

幕末、教のため沖縄に渡来し琉球王府に捕えられながら新約の日本語訳に取り組んだ宣教師ベッテルハイムの「マタイ伝」「マルコ伝」の漢和対訳

B4変型 138丁 本体38000円)1979年
4-400-10678-0

新約聖書の「本文」とは何か

E. ギューティング著／前川 裕訳

聖書「本文」の性質、その研究方法、未解決の問題、本文校訂に携わる者への提案など、重要テーマを、正面から、かつコンパクトに扱う。

A5判 136頁 本体3500円 2012年
978-4-400-11026-2

【蛭沼寿雄著作選集】

新約本文学演習 マルコ・マタイ

蛭沼寿雄著作選集 第1巻
蛭沼寿雄著

複雑な写本情報を比較検討する校合作業をマルコ、マタイ両福音書を用いて丁寧に演習していくことで、本文学の醍醐味を伝える貴重な書。

A5判 600頁 本体4200円 2011年
978-4-400-11023-1

新約本文学演習 ルカI ギリシア語新約語法

蛭沼寿雄著作選集 第2巻
蛭沼寿雄著

演習はルカ福音書6章までの写本情報の校合作業。語法は新約に登場する様々な語法の実例を通して新約原典を学ぶ醍醐味を伝える。

A5判 600頁 本体4200円 2011年
978-4-400-11024-8

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

新約本文学史

蛭沼寿雄著作選集 第3巻
蛭沼寿雄著

本文学史における主要な研究者たちの手法や論理だけでなく彼らの生涯と業績までも紹介する。本文確立のために苦闘した先人のドラマが甦る。

A5判 530頁 本体4200円 2011年
978-4-400-11025-5

【カルヴァン新約聖書注解】

共観福音書 上

〈カルヴァン新約聖書注解〉1
森川 甫訳〈オンデマンド・ブック〉

初版1555年、『ハルモニー』と呼ばれる共観福音書注解より前半ルカ17:10までを収める。ジュネーブでの改革運動の苦闘の中で生まれた書。

A5判 531頁 本体5700円 (84年)
2005年 4-400-14407-0

ヨハネ福音書 上

〈カルヴァン新約聖書注解〉3
山本 功訳〈オンデマンド・ブック〉

ヨハネ福音書は、他の福音書の理解の扉を開く。ヨハネ書ほどキリストがこの世に来たことの意義と実りを教えてくれる書物はないことを力説。

A5判 337頁 本体3900円 (63年)
2005年 4-400-14409-7

ヨハネ福音書 下

〈カルヴァン新約聖書注解〉4
山本 功訳〈オンデマンド・ブック〉

二重予定説に対する誹謗など数々の神学論争に巻き込まれ、人生最大の苦闘の時期である1550年代に書かれた本書は、著者充実期の大作でもある。

A5判 362頁 本体4200円 (65年)
2005年 4-400-14410-0

使徒行伝 上

〈カルヴァン新約聖書注解〉5
益田健次訳〈オンデマンド・ブック〉

襲いかかる苦難を忍耐へと導くのは福音であることを教える使徒たちの歩みから、わたしたちに与えられる豊かな慰めを丁寧に解説。

A5判 419頁 本体4700円 (68年)
2005年 4-400-14411-9

使徒行伝 下

〈カルヴァン新約聖書注解〉6
益田健次訳〈オンデマンド・ブック〉

1552年にジュネーブで出版。政治、経済、社会すべてが劇的に急変していた宗教改革期に、聖書を真心をこめて扱い、御言葉を聴いた軌跡。

A5判 391頁 本体4400円 (73年)
2005年 4-400-14412-7

ローマ書

〈カルヴァン新約聖書注解〉7
渡辺信夫訳〈オンデマンド・ブック〉

宗教改革以前の「寓意的解釈」を廃し、著者の原意図を聖書からさぐり、読み解くことによって神の言葉を蘇らせたカルヴァン注解書最初の労作。

A5判 443頁 本体4900円 (59年)
2005年 4-400-14413-5

コリント前書

〈カルヴァン新約聖書注解〉8
田辺 保訳〈オンデマンド・ブック〉

キリストと教会への真実の奉仕を願いながら筆を執ったコリント前書の註解。キリストのからだなる者の、愛による一致を強調する。

A5判 420頁 本体4700円 (60年)
2005年 4-400-14414-3

コリント後書

〈カルヴァン新約聖書注解〉9
田辺 保訳〈オンデマンド・ブック〉

前書に引き続き1546年に完成。福音の使命の大綱を叙述し、福音の単純さから遠ざかることほど危険なことではないと力説する。

A5判 264頁 本体3200円 (63年)
2005年 4-400-14415-1

ガラテヤ・エペソ書

〈カルヴァン新約聖書注解〉10
森井 真訳〈オンデマンド・ブック〉

聖書研究を通して著者の思想が十分に熟した1548年出版の充実した註解。プロテスタントへの迫害が激しさを増す中で書かれた「静かな」結実。

A5判 296頁 本体3600円 (62年)
2005年 4-400-14416-X

ピリピ・コロサイ・テサロニケ書

〈カルヴァン新約聖書注解〉11
蛭沼寿雄・波木居齊二訳〈オンデマンドブック〉

教父の著述に詳しく同時代の著述にも通じていた著者の聖書注解は、今日なお古典としての輝きを失っていない。カルヴァンを知るための必読書。

A5判 318頁 本体3800円 (70年)
2005年 4-400-14417-8

ヘブル・ヤコブ書

〈カルヴァン新約聖書注解〉13
久米あつみ訳〈オンデマンド・ブック〉

ヘブル書からキリストの祭司職とその真の犠牲への信仰を読みとり、ルターが「藁の書簡」と呼んだヤコブ書をこめて扱い、御言葉を聴く正典として註解。

A5判 321頁 本体3800円 (75年)
2005年 4-400-14419-4

ペテロ・ユダ書・ヨハネ書簡

〈カルヴァン新約聖書注解〉14
乾慶四郎・久米あつみ訳〈オンデマンド・ブック〉

当時の慣例に従いペテロ両書簡、ヨハネ1書、ヤコブ書、ユダ書の5書を「経典書簡」として一括して扱う。妻を亡くした1549年に講じた註解。

A5判 348頁 本体4000円 (63年)
2005年 4-400-14420-8

【ブルトマン著作集】

共観福音書伝承史 I

〈ブルトマン著作集1〉〈オンデマンド・ブック〉
加山宏路訳

1921年の刊行以来、福音書研究の指針となってきた20世紀聖書学の金字塔。内容：I「イエスの言葉の伝承」(Aアポフテグマ、B主の言葉)。

A5判 360頁 本体5200円 (83年)
2004年 4-400-10767-1

共観福音書伝承史 II

〈ブルトマン著作集2〉〈オンデマンド・ブック〉
加山宏路訳

内容：II「物語素材の伝承」(A奇跡物語、B歴史物語と聖伝)、III「伝承素材の編集」(A〈話〉素材の編集、B物語素材の編集と福音書の形成)。

A5判 352頁 本体5100円 (87年)
2020年 978-4-400-10786-6

新約聖書神学 I

〈ブルトマン著作集3〉〈オンデマンド・ブック〉
川端純四郎訳

20世紀聖書学の代表的業績の完訳。第1巻は「新約聖書神学の前提と動機」。イエスの告知と原始教団のケリュグマを歴史学的に解明。

A5判 232頁 本体5000円 (63年)
2019年 978-4-400-12137-4

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コインノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

新約聖書神学 II

〈ブルトマン著作集 4〉〈オンデマンド・ブック〉
川端純四郎訳

第2巻「パウロとヨハネの神学」第1部〈パウロの神学〉A：信仰の啓示以前の人間 B：信仰の下にある人間、第2部〈ヨハネ福音書の神学〉。

A5判 386頁 本体5300円 (66年)
2009年 978-4-400-12138-1

新約聖書神学 III

〈ブルトマン著作集 5〉
川端純四郎訳

第3巻「古教会への発展」第1部〈教会秩序の成立・最初の発展〉、第2部〈教会の発展〉、第3部〈キリスト者の生き方の問題 補説〉。

A5判 274頁 本体3500円 1980年
4-400-10505-9

イエス／原始キリスト教

〈ブルトマン著作集 6〉
八木誠一／山本泰生訳

原始キリスト教の成立発展を古代宗教の枠内において捉え、その特質を明らかにした『原始キリスト教』と『イエス』(1926年初版)を収録。

A5判 456頁 本体5639円 1992年
4-400-10506-7

聖書学論文集 II

〈ブルトマン著作集 8〉
杉原 助訳

『エクセゲティカ』第2分冊。1932-48年の9論文収録。「ヨハネ文書とグノーシス」「救済史と歴史」「古代における光の象徴的使用の歴史」他。

A5判 300頁 本体3800円 1985年
4-400-10508-3

聖書学論文集 III

〈ブルトマン著作集 9〉
青野太潮／天野 有訳

『エクセゲティカ』第3分冊、1950-64年の論文と索引。「黙示文学はキリスト教神学の母か」「原始キリスト教のキリスト使信と史的イエスの関係」。

A5判 208頁 本体3300円 1994年
4-400-10509-1

神学論文集 I

〈ブルトマン著作集 11〉
土屋 博訳

『信仰と理解』第1巻(1933年)の全訳。1924-30年の15論文を収録。「自由主義神学と最近の神学運動」「カール・バルトの『死人の復活』」他。

A5判 404頁 本体6000円 1986年
4-400-10511-3

神学論文集 IV

〈ブルトマン著作集 14〉
山形孝夫／一柳やすか訳

『信仰と理解』第4巻(1965年)の全訳。1959-64年の13論文収録。「共観福音書の研究」「非神話化の間によせて」「神概念と現代人」他。

A5判 256頁 本体3500円 1983年
4-400-10514-8

【叢書 新約聖書神学】

マルコ福音書の神学

叢書 新約聖書神学 1

W. R. テルフォード著 嶺重 淑・前川 裕訳

聖書解釈学の多様な方法論を駆使し、他書との比較を通し、「神学者」マルコ独自のイエス理解に肉薄していく。

46判 338頁 本体4200円 2012年
978-4-400-10460-5

ルカ福音書の神学

叢書 新約聖書神学 2

J. B. グリーン著 山田耕太郎訳

先駆的な「物語神学者」としてのルカに着目し、その福音書に託されたラディカルな救済観を明らかにする。

46判 216頁 本体3600円 2012年
978-4-400-10461-2

ヨハネ福音書の神学

〈叢書 新約聖書神学 3〉

D. M. スミス著 松永希久夫訳

キリスト論に焦点を当てながら、ヨハネ福音書の成立過程を初期キリスト教会の現実とその背景にある歴史的・社会的現実の中で詳述する。

46判 304頁 本体3500円 2002年
4-400-10457-5

使徒言行録の神学

〈叢書 新約聖書神学 4〉

J. イェルヴェル著 挽地茂男訳

使徒言行録の著者ルカの捕らえた初期教会の形成と宣教の経過・意味・目的を、最新の研究成果に照らして、歴史的・神学的に明らかにした秀作。

46判 220頁 本体2800円 1999年
4-400-10453-2

第二コリント書の神学

〈叢書 新約聖書神学 7〉

J. マーフィー・オコナー著 野田美由紀訳

現代のカトリックを代表するパウロ研究の第一人者が、書簡の複雑な成立事情を読み解きながら、パウロ思想の重要な側面を明らかにする。

46判 200頁 本体3000円 2009年
978-4-400-10459-1

ガラテヤ書の神学

〈叢書 新約聖書神学 8〉

J. D. G. ダン著 山内 眞訳

著者は英語圏における最も有力なパウロ学者。本書はサンダースによって提起された「新しい視点」からガラテヤ書を考察した最初の研究書。

46判 264頁 本体2800円 1998年
4-400-10451-6

パウロ小書簡の神学

〈叢書 新約聖書神学 9〉

K. ドンフリード、I. マーシャル著 山内一郎、辻 学訳

第一、第二テサロニケ書（ドンフリード）とフィリピ書、フィレモン書（マーシャル）。執筆時の歴史的状況を再構成し、各書簡の神学に迫る。

46判 270頁 本体4000円 2016年
978-4-400-10463-6

牧会書簡の神学

〈叢書 新約聖書神学 11〉

F. ヤング著 土屋 博訳

トモテ I、II、テトスから成る牧会書簡神学研究。最新の社会学的研究を生かし、牧会書簡の基本構造と実践的諸問題を把握し、その独自性を示唆。

46判 266頁 本体3000円 2000年
4-400-10454-0

ヘブル書の神学

〈叢書 新約聖書神学 12〉

B. リンダース著 川村輝典訳

ヘブル書の筆者をパウロとヨハネに匹敵する新約における三大神学者の一人と位置づけ、同書の著者問題、思想内容について独自の解釈を施す。

46判 234頁 本体3000円 2002年
4-400-10456-7

共同書簡の神学

〈叢書 新約聖書神学 13〉

A. チェスター／R. P. マーティン著 辻 学訳

ヤコブ書の思想性に肉薄するチェスター、広い学識に基づきユダ書・ペトロ書を堅実に解説するマーティン。共に邦語文献が乏しく貴重。

46判 234頁 本体3000円 2003年
4-400-10458-3 僅少

ヨハネ書簡の神学

〈叢書 新約聖書神学 14〉

J. リュウ著 山岡 健訳

三つの長短異なるヨハネの手紙の神学思想を組織的に把握する難事業を見事に成し遂げ、愛の共同体としての教会への展望を指し示す驚くべき成果。

46判 220頁 本体2600円 1999年
4-400-10452-4

ヨハネ黙示録の神学

〈叢書 新約聖書神学 15〉〈オンデマンド・ブック〉

R. ボウカム著 小河 陽、飯郷友康訳

黙示録の文学的構造とローマ帝国支配下という歴史的文脈を明らかにした上で、キリストと神の国への集中がもたらした幻視の世界を解明する。

46判 220頁 本体3500円 (99年)
2020年 978-4-400-10787-3

【現代のイエス理解】

イエスが生きた世界

危機に立つ1世紀のユダヤ教〈現代のイエス理解 1〉

J. リッチズ著 佐々木哲夫訳

イエスが生きた時代状況とはいかなるものか？イエスを当時のパレスチナの宗教状況に位置づけ、イエスの活動の民衆的動機と現実を明らかにする。

46判 190頁 本体2000円 1996年
4-400-11876-2 僅少

イエスの弟子とは誰か

〈現代のイエス理解 2〉

J. D. G. ダン著 庄司 眞訳

イエスの根本的な使信の真実の現代的意味を、イエスの「弟子」であることの射程において捕らえ、その本質を当時のコンテクストから読み解く。

46判 200頁 本体2000円 1996年
4-400-11875-4

パウロから見たイエス

〈現代のイエス理解 3〉

V. ファニッシュ著 徳田 亮訳

パウロによるイエスの生涯と言葉の理解への試み。厳密な聖書解釈に立って、双方の宣教の異同を読み解き、パウロが行なった神学化の核心に迫る。

46判 200頁 本体2000円 1997年
4-400-11877-0

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コインノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

イエスについて何を知りうるか

〈現代のイエス理解 4〉

H. C. キー著 浜野道雄訳

聖書学が細分化に伴う多様なイエス像理解の中から、イエスの統一的把握の困難性を越えて、複雑多岐な資料を検討し、核心的イエス像を描き出す。

46判 192頁 本体2000円 1997年
4-400-11878-9

教師としてのイエス

〈現代のイエス理解 5〉

Ph. パーキンス著 庄司 眞訳

神からカリスマを受けた教師・預言者イエスが、無名の民衆に譬えや格言で語り教えた使信、正義、富、赦し、愛を、余すところなく明らかにする。

46判 176頁 本体2000円 2000年
4-400-11879-7

【蓮見和男・聖書の使信】

マタイによる福音書 上 1-12 章

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 1〉

蓮見和男著

信徒が聖書を靈的な養いとして学ぶためのシリーズ冒頭。特に説教はメッセージ中心、書簡との関連を持たせてキリスト論的な展開を心がける。

46判 263頁 本体2800円 1985年
4-400-11801-0

マタイによる福音書 下 13-28 章

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 2〉

蓮見和男著

13章以下の使信が、著者の心魂こめた講解によって、過不足なく提示される。読みやすく分かりやすい、マタイの独特の聖書の世界の導きと案内。

46判 310頁 本体3000円 1985年
4-400-11802-9

マルコによる福音書

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 3〉

蓮見和男著

マルコ福音書の独自性の把握に基づき、十字架に向かうイエスの使信を、丁寧な私訳と要を得た注釈、明快かつ深い洞察のこもった説教で伝える。

46判 330頁 本体3800円 1999年
4-400-11803-7

ルカによる福音書 上 1-10 章

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 4〉

蓮見和男著

誕生物語からエルサレムへの旅の前半まで。明快な私訳と簡潔な注釈に基づく、47編の講解説教のかたちで、ルカの使信が述べられる。

46判 276頁 本体2500円 1991年
4-400-11804-5 僅少

ルカによる福音書 下 11-24 章

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 5〉

蓮見和男著

エルサレムへの旅の後半から入城、受難、死、復活まで。ルカ福音書の独自の民衆の視点を伝える著者の聖書講解の独壇場。

46判 330頁 本体3000円 1992年
4-400-11805-3 僅少

使徒行伝

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 7〉

蓮見和男著

復活のキリストから弟子たちに託されたキリスト者の辿る福音宣教の道。その苦難を、ルカの証言を辿って教会的・神学的に説き証す。

46判 360頁 本体3200円 1989年
978-4-400-11807-7

ローマ人への手紙

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 8〉

蓮見和男著

パウロを代表する大書簡に、著者は特別の集中力を傾注してテキストに読解に取り組んだ。人間に対する神の義の世界の豊かな展望を明確に。

46判 260頁 本体2800円 1987年
978-4-400-11810-7

コリント人への第一の手紙

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 9〉

蓮見和男著

パウロの置かれた状況から本文を読み抜き、また本文から状況を見る往還作業。難解な7章、11章、14章を突破し I コリントの真髄を明示。

46判 228頁 本体2400円 1996年
4-400-11808-8

コリント人への第二の手紙

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 10〉

蓮見和男著

不信と争いに苦しむ共同体のためにパウロが訴える希望の使信。不安と絶望を越えて働くキリストの力と命を説き続ける使徒的信仰の真実。

46判 290頁 本体2400円 1998年
4-400-11809-6

ガラテヤ書・エペソ書

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 11〉

蓮見和男著

パウロの手紙群の中でも中編ながら福音の核心を説く二編。そこに示された十字架の真理、それから生まれる教会のあり方を深く鋭く説く。

46判 220頁 本体2600円 2001年
4-400-11811-8

ピリピ書・コロサイ書・テサロニケ書

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 12〉

蓮見和男著

ピリピの光の主キリストにある喜びと希望、コロサイの宇宙的キリスト論の広さと深さ、テサロニケの終末と主の来臨への待望を力強く解説。

46判 239頁 本体2700円 2002年
978-4-400-11812-1

テモテ書・テトス書・ピレモン書

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 13〉

蓮見和男著

本当に小さな3つの書簡を通して、パウロの牧会者としての面目を溢れんばかりに伝え、キリストの真実の恵みを、豊かに穏やかに厳しく訴える。

46判 140頁 本体2000円 2005年
4-400-11815-0

ヘブル書・ヤコブ書

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 14〉

蓮見和男著

「大祭司キリスト」のリアリティをあくまでも深い下からの視点をもって示すヘブル書、信仰と行為の動的な一致を鮮やかに展開するヤコブ書。

46判 200頁 本体2400円 2004年
4-400-11814-2

ペテロ書・ヨハネ書・ユダ書

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 15〉

蓮見和男著

福音宣教と教会創設の重荷を負いつつ、迫害の苦難に耐え、信仰と希望と愛をもって終末の勝利を目指して生きる証人たちの証しに学ぶ。

46判 220頁 本体2500円 2003年
4-400-11813-4

ヨハネの黙示録

〈聖書の使信 私訳・注釈・説教 16〉

蓮見和男著

20年の歳月をかけたシリーズ最終巻。著者の黙示録への取り組みは、シリーズ既刊の文脈を踏襲しつつもさらに力強く革新的な説得力に富む。

46判 192頁 本体2400円 2006年
4-400-11816-9

【松木治三郎著作集】

使徒パウロとその神学

新約聖書における宗教と政治 〈松木治三郎著作集 1〉

新約聖書学者である著者の主要著作を全5巻に網羅。第1巻には初期著作を代表する標題の2大作とその継承・発展と言うべき論文を収録。

A5判 330頁 本体5340円 1991年
4-400-10091-X

人間とキリスト・新約神学序説

〈松木治三郎著作集 2〉

パウロ研究の総括。人間の救済史的研究を試みた『人間とキリスト』と、福音書の史的批判的研究を徹底した『新約神学序説』を収録。

A5判 680頁 本体7573円 1991年
4-400-10092-8

イエスと新約聖書の教会

イエスと新約聖書の関係 〈松木治三郎著作集 3〉

新約聖書の核心をなす事柄を今日の教会の問題と直結させ、理解し解釈することをライフワークとした著者のキリスト教本質論ともいべき論考。

A5判 640頁 本体6990円 1992年
4-400-10093-6

ローマ人への手紙

翻訳と解釈 〈松木治三郎著作集 4〉

学問的厳密さに徹した邦人聖書学者による画期的な注解。パウロ神学の核心をなすローマ書と取り組んで30有余年の著者の代表作。

A5判 650頁 本体7573円 1992年
4-400-10094-4 僅少

説教と私の聖書の学び

〈松木治三郎著作集 5〉

新約研究の極限と現代の人間状況の極限との間に身をさらし、神の言葉としての聖書の使信を鋭く温かく豊かに聞きかつ語った説教集。

A5判 516頁 本体5824円 1992年
4-400-10095-2

<p>【続・黒崎幸吉著作集】</p>
<p>新約研究</p> <p>ロマ書・第一コリント書〈続・黒崎幸吉著作集 2〉</p>
<p>戦後、『愛と真』『永遠之生命』誌に約 100 回に渡り連載された「ロマ書研究」と「第一コリント書研究」を収録。パウロの二大書簡の私訳と講解。</p> <p>46判 582頁 本体4660円 1990年 4-400-00085-0</p>
<p>信仰・所感・回想</p> <p>〈続・黒崎幸吉著作集 3〉</p>
<p>著者が『永遠之生命』『聖約』等の雑誌に掲載した論説、随想、巻頭言、回想等 80 篇を収録。著者の人格と信仰と学識の全体像が浮かびあがる。</p> <p>46判 480頁 本体4650円 1990年 4-400-00086-9</p>
<p>説教集・信仰書</p>
<p>クリスマス</p>
<p>K. バルト著 宇野 元訳</p> <p>1928 年から 1962 年まで、クリスマスに寄せてバルトがしたためのエッセイと説教 10 編。時代のただ中で語られ、時代を超えて伝わる降誕の福音。</p> <p>小B6判 130頁 本体1400円 2020年 978-4-400-52110-5</p>

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コインノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

主イエスの言葉と働き

ルカ福音書 1 章から 10 章による講解説教

W. リュティ著 野崎卓道訳

傑出した説教者が戦後の混迷期に力強く語った 61 編の講解説教。1 編 1 編は短いが、ルカの伝えるイエスの言動から福音の真理がほぼしり出る。

46判 405頁 本体2300円 2020年
978-4-400-52108-2

主は偕にあり

田中遵聖説教集

田中遵聖著 神藏美子解説

直木賞作家・田中小実昌の父にして独立教会「アサ会」の牧師であった田中遵聖。その無類の福音観が横溢する幻の説教集を完全復刊。

A5判 286頁 本体3000円 2019年
978-4-400-51763-4

わたしの信仰

キリスト者として行動する

A. メルケル著 松永美穂訳

困難な政治状況の中でドイツと欧州を牽引する著者の信仰観・人生観を鮮明に示す貴重な書。教会関係者らを前に語った 17 の講演を収録。

四六判 240頁 本体2300円 2018年
978-4-400-40745-4

エフェソ書を読む

釈義と説教

石田 学著

初代教会内に生じた多様性を多様性として認めつつキリストにある一致を求め続けた先達たちの信仰を、テキストの丁寧な釈義から読み取る。

四六判 246頁 本体2000円 2018年
978-4-400-12721-5

神と向き合って生きる

横田幸子著

聖書には神と人との対話が綴られている。その対話を証言する 23 編の力強い説教を、信じる、祈る、愛する、生きる、をテーマに収録。

B6判 300頁 本体1700円 2018年
978-4-400-51443-5

いのちの水

T. ハーバー原作 中村吉基訳 望月麻生絵
「いのちの水」はなぜ自由に飲めなくなったのだろうか。カナダ人神学者が残した痛烈な寓話を、流麗な訳文と幻想的な消しゴム版画と共に贈る。

B6判 54頁 本体1500円 2017年
978-4-400-62774-6

「十字架につけられ給ひしままなるキリスト」

説教・講演集

青野太潮著

なぜパウロは「十字架につけられ給ひしままなるキリスト」と継続を意味する現在完了形で表現したのか？　ここに福音の核心がある。

46判 312頁 本体2000円 2016年
978-4-400-52149-5

人が神にならないために

説教集

荒井 献著

エコロジー、ジェンダー、脳死など社会的問題。国家の歴史と向き合わねばならない課題。聖書学の碩学、また一信徒として、聖書に即して語る。

46判 221頁 本体2000円 2016年
978-4-400-52150-1

あなたはヨブと出会ったか

迷い、躓き、行き詰まりながら読む

今井敬隆著

難しいとほやきながらも誠実に説教に取り組み、分からないことは分からないと告白し、大家の説にも簡単には納得せず、ヨブ記の深い世界に迫る。

46判 388頁 本体1600円 2016年
978-4-400-52727-5

イエスという人の物語

ホセ・ビヒル、マリア・ビヒル著、祐川郁生訳
ラテンアメリカで話題を呼んだ、ラジオドラマに基づくイエス物語。144 章、千頁を超える圧倒的な迫力。各章末には聖書学的な注が付く。
A5判 1150頁 本体5000円 2014年
978-4-400-52072-6 僅少

食材としての説教

聖書と現実の往還から

北村慈郎著

「北村さんの説教は人参みだ。与えられた食材を自分で調理する楽しみがある」と評された説教は、聖書と現実との間を生き生きと往還する。

46判 280頁 本体2200円 2015年
978-4-400-52361-1

あなたのガララヤへ

聖書（テキスト）を読む

今井敬隆著

聖書に対する既成の読み方にこだわらず、聴衆自らが考え応答するように促す、目からウロコの発見に満ちた、福音の栄養がたっぷりの 46 編。

46判 346頁 本体1500円 2014年
978-4-400-52718-3

<p>説教集・信仰書</p>
<p>イエス・キリストの生涯の要約</p>
<p>B. パスカル著 森川 甫訳</p> <p>パスカルが四つの福音書を深く読み抜き、354 の断章から構成した傑作。祈りと黙想の伴侶として比類ない価値を持つ。珠玉のイエス伝。</p> <p>B6判 168頁 本体1800円 2013年 978-4-400-52780-0</p>
<p>イエス・キリストの生涯</p>
<p>小川国夫著 加賀乙彦=まえがき、勝呂 奏=解説 信仰者の眼差しと文学者の感性から福音書を読み込み、自らの信仰告白として語った珠玉のキリスト伝。『福音と世界』連載の単行本化。</p> <p>46判 230頁 本体1900円 2013年 978-4-400-62772-2</p>
<p>最も大切なもの</p> <p>若人たちへのチャペル・メッセージ集</p> <p>樋口 進著</p> <p>関西学院大学・大学院で毎日・毎週行われるチャペルで、著者が若人のために心を込めて語ったメッセージ。33 編を精選。</p> <p>小B6判 216頁 本体1600円 2013年 978-4-400-52717-6</p>
<p>大いなる招待</p> <p>キリスト教講話集Ⅰ 新教新書 269</p> <p>井上良雄著</p> <p>没後に書斎で発見された 14 冊の説教ノートから本巻には 1940 年代と 50 年代のもの 10 編を収録。キリスト教の本質的なメッセージを雄渾に説く。</p> <p>新書判 312頁 本体1700円 2012年 978-4-400-51450-3</p>
<p>エデンからゴルゴタまで</p> <p>キリスト教講話集Ⅱ 新教新書 270</p> <p>井上良雄著</p> <p>遺された 14 冊の説教ノートから本巻には 1960 年代から 80 年代までの 10 編を収録。教会のあり方や信仰生活について力強く語る。</p> <p>46判 232頁 本体1700円 2012年 978-4-400-52059-7</p>
<p>人が孤独になるとき</p> <p>説教・奨励集</p> <p>並木浩一著</p> <p>著者が折に触れて語ってきた説教・奨励 14 篇を精選。日本の旧約学界をリードし続ける著者ならではの、聖書の学的・聖書の思考に沿った使信。</p> <p>46判 202頁 本体1900円 1998年 4-400-524411-8</p>

命の光の中を歩む

椿 信子著

牧会者・教育者としての豊かな経験の中から語られた説教や若人への滋味あふれる御言葉の解きあかしを取録。

46判 160頁 本体1300円 2010年 978-4-400-52142-6 僅少

現代に聖書を読む

山田 隆著

メノナイト信仰に固く立ちつつ、あらゆる教条主義から自由に真理を追求、平和と正義を求めて語り続けた熱いメッセージを 60 編を精選。

A5判 480頁 本体3500円 2007年 978-4-400-52135-8

現代に聖書を読む 2

山田 隆著

個人月刊誌『現代に聖書読む』に毎月記し続けた真摯な福音のメッセージから 60 編を取録。この巻は 2001 年から 2002 年にかけてのもの。

A5判 480頁 本体3500円 2009年 978-4-400-52136-5

現代に聖書を読む 3

山田 隆著

自立した人間へと解放するキリスト教の使信を伸びやかに語り、「ヴォランタリーな主体的決断」を重んじる。1999 年から 2001 年にかけての文章。

A5判 480頁 本体3500円 2010年 978-4-400-52137-2

現代に聖書を読む 4

山田 隆著

現代社会の病を鋭く見据えながら、イエスと出会って真の人間として生きる福音的な生の方向性を力強く語る。1998 年から 1999 年にかけての文章。

A5判 440頁 本体3500円 2013年 978-4-400-52138-9

遠くて近い道

聖書と人生

小野経男著

心にしみる 30 の聖書講話。信仰を通して人生を複合的次元において見ることを学んだ著者の、御言葉との対話から紡ぎ出された恵みの証し。

46判 260頁 本体1900円 2008年 978-4-400-51995-9

真実の言葉を求めて

申命記による

柏井宣夫著

地方教会の現場で聖書学と宣教の両立という困難な課題に取り組んできた旧約学者が申命記の講解を通して現代における宣教の可能性を問うた労作。

46判 208頁 本体1200円 1980年 4-400-51605-9 僅少

平和な未来を告げる

イザヤ書による説教

柏井宣夫著

元農村伝道神学校校長である著者が、まぶね教会の牧師時代に語ったイザヤ書講解説教は会衆に力と励ましを与え感動をよんだ。15 編を精選。

46判 160頁 本体1300円 2006年 4-400-12782-6

解放の歌

第二イザヤによる

太田愛人著

前上星川教会太田牧師が、8 年間『辺境通信』に連載した「第二イザヤによる講解説教」の再構成。預言者イザヤの美しいメシヤ信仰の深い説き証し。

46判 360頁 本体2000円 1981年 4-400-51606-7

苦難と栄光の主

イザヤ書 53 章による説教〈オンデマンド・ブック〉

カルヴァン著 渡辺信夫訳

サンビエール教会の週日礼拝でなされた連続講解説教より、特にイザヤ書 53 章を扱った説教 7 編を取録。レントとイースターの黙想に最適の書。

46判 302頁 本体3600円 (58年) 2007年 978-4-400-14430-4

ただ神を待つ

ダビデのまねび

石丸 新著

数十年にわたる牧師生活の中で読み進めてきた「詩編」を「ダビデのまねび」の観点から学び直した珠玉のメッセージ集 (40 編)。

46判 270頁 本体2200円 2014年 978-4-400-52719-0

主の名によって集まるところには

椿 憲一郎著

ひたすら福音のために奉仕してきた牧師の説教、論考等を集成。今日における伝道と教会形成の課題を真摯に考える。

46判 380頁 本体2000円 2010年 978-4-400-52141-9 僅少

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

預言者サムエル

サムエル記上講解説教〈オンデマンド・ブック〉

W.リュティ著 宍戸 達訳

リュティが初めて歴史書に取り組んだ。冷戦下の同時代的な問題にも言及しながら歴史の中で働く神の主権を証しする。61～63 年にかけての講解。

46判 395頁 本体2700円 (77年) 2007年 978-4-400-14431-1

預言者ネヘミヤ

ネヘミヤ記講解説教〈オンデマンド・ブック〉

W.リュティ著 宍戸 達訳

第二次大戦の終結をはさむ激動期、遠く紀元前 5 世紀にエルサレム再建に励むイスラエルの人々へ思いを馳せながら語られた感銘深い説教集。

46判 248頁 本体2400円 (87年) 2010年 978-4-400-14432-8

祝福される人々

山上の説教抄講解

W.リュティ著 野崎卓道訳

名説教者として知られ、また一連の旧約講解で著名なリュティが、山上の説教の「八福」を取り上げ、祝福の深い意味をやさしく説き明かす。

46判 172頁 本体1600円 2009年 978-4-400-52105-1

主の祈り

講解説教

W.リュティ著 野崎卓道訳

大戦終結から間もない混迷の 1945 年から 46 年にかけて、バーゼルを去る直前に語った力強い 12 の説教。巻末には貴重な自伝的エッセイを付す。

46判 232頁 本体2000円 2013年 978-4-400-52107-5

創世記講解説教

小泉達人著

師・渡辺善太の研究方法に倣い、物語的要素の多い創世記を、「始源史」と「族長史」の二部構成で語り、神の支配の全能と恵みの豊かさを強調。

46判 402頁 本体2523円 1992年 4-400-51633-4 僅少

山上の煙

十戒をめぐる一解釈

ジョイ・デイヴィッドマン著 村井洋子訳

アメリカ共産党員からキリスト教に転向、後に C・S・ルイスの妻となり、病のため夭折したユダヤ人女性が記した歎びに満ちた信仰への招き。

46判 200頁 本体1900円 2008年 978-4-400-42732-2

人が共に生きる条件

説教・奨励集

並木浩一著

わが国の旧約聖書学を牽引してきた著者の豊かな学殖と深い信仰が融合した、聖書との出会いを促す説教・奨励 14 編。著者の第二説教集。

46判 232頁 本体1700円 2011年 978-4-400-52442-7

信仰短言 暁に翼をひろげ 2

小池創造著

著者の教会の週報に連載される「信仰短言」。その滋味溢れる伝道的な名文は全国に多くの愛読者をもつ。本集は 05 年から 11 年まで 300 編余を取録。

A5判 312頁 本体1905円 2011円 978-4-400-51640-8

地の基は震え動く

P.ティリッヒ著 茂 洋訳

主にユニオン神学校で語った説教 22 編を取録。ティリッヒが初めて英語で出した説教集。ティリッヒ研究の第一人者による、全面的な新訳。

46判 260頁 本体2500円 2010年 978-4-400-52353-6

幸いへの招き

山上の説教に学ぶ

斎藤正彦著

キリスト教主義学校でのミニストリーに長年献身してきた著者による、初めて聖書を学ぶ人たちを念頭にした山上の説教理解の手引き。

46判 200頁 本体1800円 2010年 978-4-400-52437-3

ヤコブ

〈新教セミナーブック〉

W.リュティ著 宍戸 達訳

リュティによる創世記講解説教三部作の最終巻。25-50 章、ヤコブとその兄弟エサウ、息子ヨセフを中心に繰り広げられる葛藤と神の摂理の支配。

B6判 370頁 本体2600円 1974年 4-400-12248-4

十戒

教会のための講解説教

W.リュティ著 野崎卓道訳

徹底的に神の言葉に耳を傾け、現代人が直面する問題に正面から取りくみ、慰めと励ましに満ちた真に「聖書的な倫理」を展開する。

46判 308頁 本体2000円 2011年 978-4-400-52106-8

葬りを越えて

ルカによる福音書講解説教

岸本羊一著

前紅葉坂教会・故岸本羊一牧師が、晩年に語ったルカ講解説教 22 篇他を収録。現代、イエス・キリストの福音とは何かを、自らの実存を賭して語る。

46判 288頁 本体2135円 1992年 4-400-51441-2

イエスの言葉と現代

〈警え〉から〈根拠〉へ

亀田政則著

イエスの言葉によって生起する人間の心の出来事を、実践的な地平において、人間存在の〈根拠〉の深部において把握しようとする意欲的な試論。

小B6判 128頁 本体1200円 1996年 4-400-52421-3

主イエスの弟子たち

武〈福音と預言〉双書 1

武 祐一郎著

新しい文書伝道への志に動かされて双書を刊行。キリストの弟子たちの中からペトロ、ユダ、ヤコブの生き様を語り、現代の人間に説き及ぶ。

A5判 88頁 本体600円 2001年 4-400-50951-6

預言者アモスと現代

正義をつきない川のように 武〈福音と預言〉双書 2

武 祐一郎著

農民の子アモスが民衆の視点から人間と世界に訴えた言葉は、争いと憎しみ、不義と不正に満ちた今の時代のためにこそ聞かれるべきである。

A5判 136頁 本体800円 2002年 4-400-50952-4

主イエスの譬え話

武〈福音と預言〉双書 3

武 祐一郎著

「善きサマリヤ人」や「放蕩息子」など最もポピュラーなイエスの譬え話について、やさしく解き明かしながら福音の本質に迫る。

A5判 116頁 本体800円 2002年 4-400-50953-2

汝ら時を知るゆえに

井上良雄著

バルトに深く学びながら神の国のリアリティに促され、宣教と社会的実践に挺身してきた著者の『信徒の友』などに掲載された説教 21 編を収録。

46判 200頁 本体1600円 1987年 4-400-51436-6

答えをさがして

わたしたちの時代の苦難と希望

B. キング著 梶原 寿訳

公民権運動の父 M. L. キング牧師の娘が父の志を語る、アメリカ社会の再建と人間の再生への熱い願い溢れる 17 篇の説教。父から継ぐ魂の精髓。

46判 224頁 本体2200円 1998年 4-400-52039-0

キリストの復活

G. ネラン著

遠藤周作『おバカさん』のモデルとしても知られる著者が、自らの復活信仰を聖書を基に飄々と解き明かす。新版では幸田司教の葬儀説教を付す。

46判 210頁 本体2000円 1997年 978-4-400-32430-0

あなたはあなたでいい

あとはイエスにゆだねて

東後勝明著

英語教育の第一人者が57歳にして受洗。生活の折々から題材を取り、親しみやすく平易に語られた信仰入門。FEBC での放送からの単行本化。

B6変形判 180頁 本体1100円 2010年 978-4-400-52143-3

イエスの道につながって

教会暦による随想とメッセージ

山口雅弘著

イエスの道につながって歩みたいとの思いを待降節、降誕節、復活節、聖霊降臨日と節目ごとに新たにする随想とメッセージ。

46判 220頁 本体1800円 2010年 978-4-400-52721-3

イエスの宣言

野村 喬著

心に真っ直ぐに届く 107 篇の小説教集。福音書が記すイエスの生涯を追いながら、「単純な真理」を多様な角度から、説得力をもって提示する。

46判 210頁 本体1700円 2009年 978-4-400-12800-7

イエスの実像と虚像

山上の説教・マルコ福音書講解

林 見著

既成の教理にとらわれず、自らの生活の座から聖書に真摯に向き合い、そこで聞いた使信を会衆・説教者一体となって聴く喜びが横溢する。

46判 344頁 本体2200円 2004年 4-400-12764-8

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コインノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

アブラハムの神

創世記講解説教〈オンデマンド・ブック〉

渡辺信夫著

創世記 12 章から 22 章までのいわゆる「アブラハム物語」を、神の恵みの物語として読み抜き、ひたすら説教として語った名著。

46判 278頁 本体3300円 (66年) 2007年 978-4-400-58000-3

イサクの神、ヤコブの神

創世記講解説教

渡辺信夫著

創世記 24 章から 36 章までを講解した、全 20 編の説教を収録。最初の説教集『アブラハムの神』から半世紀を経て再び族長物語に取り組む。

46判 192頁 本体1800円 2010年 978-4-400-52438-0

マルコ福音書講解説教 1

1 章から 8 章まで〈オンデマンド・ブック〉

渡辺信夫著

1958 年の受難週に東京郊外にて開拓伝道を開始した著者が、その後 3 年半にわたっておこなったマルコ福音書の講解説教を 1 本にまとめた。

46判 328頁 本体3600円 (66年) 2007年 978-4-400-58001-0

マルコ福音書講解説教 2

9 章から 16 章まで〈オンデマンド・ブック〉

渡辺信夫著

主イエスの宣教と受難を語る福音書後半の迫力ある講解説教は、慰めと力に満ちた主の言葉を聴衆に取り次ぎ、読む人の心を砕き、喜びに溢れさせる。

46判 510頁 本体4700円 (68年) 2007年 978-4-400-58002-7

み言葉の調べ I

主イエスの生涯

宍戸 達、宍戸好子著

東京都国立市で長年にわたり堅実な教会活動・教会形成を続けてきた宍戸牧師夫妻の、定評ある説教を収録。「Ⅱ」は詩編の講解説教集。

46判 184頁 本体1600円 2005年 4-400-12778-8

み言葉の調べ II

詩編講解

宍戸 達／宍戸好子著／訳

国立で堅実な教会を続ける宍戸牧師夫妻の説教 9 編に牧師が私淑するトゥルンアイゼン、リュウティ、デュールストの 5 編を加えたみ言葉の響き。

46判 184頁 本体1600円 2005年 4-400-12780-X

み言葉の調べ III

受難と復活

宍戸 達編訳

宍戸牧師が私淑するリュティ、デュールストらによる「バーゼル説教集」への寄稿説教から、受難と復活を覚えて 12 編を精選して訳す。

46判 140頁 本体1500円 2010年 978-4-400-12785-7

預言者は何を語るか

樋口 進著

アモス、ホセア、イザヤなど 8 人の預言者をめぐる 25 の説教。旧約のメッセージを分かりやすく説くことで定評ある著者の、優れた預言者入門書。

46判 256頁 本体2200円 2005年 4-400-12776-1

聖書 読んで想う

渡辺正雄著

科学史家として著名な著者が自宅の家庭集会で語った聖書講話。平易な言葉で聖書を驚きと喜びの書として読む全 36 編の滋味溢れる信仰の手引き。

46判 224頁 本体1800円 2005年 4-400-12773-7

聖書 文化との接点

渡辺正雄著

聖書にみられる価値観は西洋文化の形成にいかなる役割を果たしたのか。科学史家の著者が、文化史の根本問題に切り込む興味尽きない講話集。

46判 144頁 本体1600円 2005年 4-400-12779-6

汝の敵を愛せよ

M. L. キング著 蓮見博昭訳

黒人の公民権獲得のために非暴力の粘り強い闘いを率い、ついに凶弾に倒れたキングの講演と説教。「良き隣人であること」「働く愛」等 17 編。

46判 273頁 本体1700円 1974年 978-4-400-52009-2

私には夢がある

M. L. キング講演・説教集

M. L. キング著 C. カーソン他編 梶原 寿監訳

39 歳で凶弾に倒れたキング牧師の、公民権運動最初期の活動から文字通り暗殺前夜までの重要な講演 11 編を収録。各編に同時代人の証言を付す。

46判 256頁 本体2400円 2003年 978-4-400-42122-1

終りから始まる

小幡慶助著

紛争や飢餓、自然破壊といった現代世界の諸問題にキリスト者はどう関わっていくべきか。その基本姿勢を「神の言」に追求した説教9編。

46判 210頁 本体1800円 1992年 4-400-41977-0

福音の土台

コリント人への手紙による説教

喜田川信著

パウロ書簡中特に第一コリント書をローマ書と並んで最も重要な書物と評価する著者が、テキストと格闘しつつ福音の土台を熱く語る。

46判 241頁 本体2200円 1992年 4-400-51442-0

喜びの手紙

ピリピンへの手紙による信仰入門

蓮見和男著

思い煩らいのさなかにある人へ、特に若い世代に向けての福音への導き。ピリピ書にあるキリストの恩恵とキリスト者の生き方を平易に語る。

86判 123頁 本体700円 1979年 4-400-73722-5

たといそうでなくても

説教集

小泉達人著

福音を「神の愛」として捕らえ、その信仰が新しい人生を切り開き、それが救いとなり恵みであると説く。そういう使信に溢れる説教12編を収録。

46判 176頁 本体1400円 2000年 4-400-52669-0 僅少

自由は汝の魂を歓呼して迎える

細川道弘著

パーキンソン症候群に襲われ5年あまりの壮絶な闘病の末に天に召された著者（1933-2000）の23編の説教を収録。イエスと共にある自由と喜び。

46判 112頁 本体900円 2002年 4-400-52733-6

愛する勇氣

W. S. コフィン著 持田克己訳

公民権運動と平和運動の経験を持つリバーサイド教会前牧師の説教集。同性愛、軍拡をめぐる現代的課題や、近親の死に対する福音の力を弁証。

46判 160頁 本体1400円 1977年 4-400-52373-X

講解説教 コリント人への第一の手紙

〈オンデマンド・ブック〉

竹森満佐一著

計74回にわたって行われた講解説教に加筆・編集。多年にわたる神学教師・牧会者としての教育と信徒訓練に基づいた力溢れる解き明かし。

46判 646頁 本体6600円（88年）2006年 978-4-400-10782-8

講解説教 コリント人への第二の手紙

〈オンデマンド・ブック〉

竹森満佐一著

別名「涙の書簡」はコリント教会との対決後に得た和解の喜びに溢れているが、著者はここに己を無化しキリストのみ誇るパウロの真骨頂を見る。

46判 510頁 本体5400円（85年）2006年 978-4-400-10783-5

講解説教 エペソ人への手紙

〈オンデマンド・ブック〉

竹森満佐一著

世の始めに先立って計画された神の救いの計画とその成就を述べた書簡を、教理と教会形成の両面から懇切に説く。計42回の講解説教。

46判 422頁 本体4700円（88年）2006年 978-4-400-10785-9

講解説教 ペテロの第一の手紙

〈オンデマンド・ブック〉

竹森満佐一著

勝利の信仰をもって世の厳しい試練に立ち向かうキリスト者の姿勢を示したテキストを、今日の教会の問題と照らしながら解き明かす。

46判 422頁 本体4700円（83年）2006年 978-4-400-10784-2

一人一人に与えられる賜物

コリントの信徒への手紙一講解説教

茂 洋著

人間的な混乱に陥っていた兄弟姉妹に宛てたパウロの恵み溢れる書簡を、深い思索と牧会経験に裏打ちされた著者が、懇切丁寧に解き明かす。

46判 233頁 本体1900円 2005年 4-400-12781-8

コリント前書の学び

西川博彬著

西諏訪教会における連続講解説教の記録。聖書を神の言葉と信じ、このみ言葉の上に教会を形成しようと苦闘した説教者・信徒の共同の労作。

46判 403頁 本体2500円 1996年 4-400-12652-8 僅少

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

講解説教 降誕・復活

〈オンデマンド・ブック〉

竹森満佐一著

65年から最晩年の90年までの間に吉祥寺教会でなされた説教から、特に降誕・受難・復活に関する未発表の説教を収録。全21編。

46判 276頁 本体3300円（92年）2006年 978-4-400-10779-8

講解説教 山上の説教

〈オンデマンド・ブック〉

竹森満佐一著

山上の説教ほど愛読され、また多く説教されるテキストはない。しかしその本質は人を感動させる美しい戒めではなく、真の福音だと説く。

46判 510頁 本体5200円（90年）2006年 978-4-400-10780-4

ローマ書講解説教 I

〈オンデマンド・ブック〉

竹森満佐一著

1章1節から3章31節まで30回の連続講解。吉祥寺教会での礼拝説教が篤志家の手で筆記され死刑囚に回覧されていたことは有名な逸話。

46判 338頁 本体4200円（62年）2004年 4-400-10776-0

ローマ書講解説教 II

〈オンデマンド・ブック〉

竹森満佐一著

4章1節から8章39節まで32回。「絶望の極にいたって、突然思いがけない言葉が出てまいります。それは、神に対する讚美の言葉であります。」

46判 361頁 本体4400円（65年）2004年 4-400-10777-9

ローマ書講解説教 III

〈オンデマンド・ブック〉

竹森満佐一著

9章1節から16章27節まで、これにより98回に及ぶ講解が終わる。説教のあり方を考え抜いていた著者の一つの到達点を示す円熟の仕事。

46判 414頁 本体4800円（72年）2004年 4-400-10778-7

講解説教 ガラテヤの信徒への手紙

〈オンデマンド・ブック〉

竹森満佐一著

最後の入院直前まで続けていたガラテヤ書講解は結局3章で中断し、講解説教の遺稿となった。いわば説教者の最後のメッセージである。

46判 206頁 本体2700円（91年）2006年 978-4-400-10781-1

山上の説教

終末時を生きる

井上良雄著

不安の中にある現代に生きる全ての人へ、今こそ山上の説教の力といのちを。神のことばを遍く伝えたいとする著者の祈りをこめた格調高い講解。

46判 254頁 本体2200円 1994年 4-400-51147-2

新しい言葉をもって

マルコによる福音書講解説教集

佐藤司郎著〈シリーズことばを生きる3〉

1991-93年、礼拝説教で語ったマルコ講解から23篇を収録。教義学的黙想を介しつつひたすら「テキストに聞く」誠実かつ現代的な説教スタイル。

46判 240頁 本体2200円 1996年 4-400-11827-4

マルコが語る主イエスのメッセージ

茂 洋著

「聞いてもらうために書かれた」最古の福音書と著者が位置づけるマルコから、生き生きとした主イエスの姿とメッセージを現代に発信する。

46判 300頁 本体2100円 2007年 978-4-400-12783-3

見えること・見えないこと

ヨハネによる福音書講解説教

茂 洋著

ヨハネ福音書の講解説教41編。見えるもの全てが虚無に服さざるをえない現実の中で、初めて見えない永遠のいのちを見ることができると説く。

46判 342頁 本体3000円 2000年 4-400-52711-5

合本 世の光キリスト・世の命キリスト

ヨハネ福音書による講解説教

森野善右衛門著

名著『世の光キリスト』（79年）、『世の命キリスト』（82年）を収める。ヨハネ福音書を通して語られるキリストの愛と光の御業が心にしみ入る。

86判 292頁 本体2800円 2007年 978-4-400-51602-6

ここに教会は立つ

使徒言行録に学ぶ

岡崎 見著

この日本に本当のキリスト教会を立てたいという願いから、使徒言行録に徹底して聞き、教会形成の道、教会の本質、使命、課題を語る教会論。

46判 244頁 本体2000円 2000年 4-400-52713-1

癒しと助けを求める祈り

W.パークレー著　本多峰子訳

肉体と心を病む人、その家族、また医療に従事する人々のために、パークレーが書いた祈り90編。祈り、聖句、歌が一体となって慰めに満ちた証し。

46判　210頁　本体1800円　1996年
4-400-52028-5　僅少

キリストにならいて《改訂版》

トマス・ア・ケンピス著　池谷敏雄訳

「キリストの模倣」を説く教会史上最高かつ不朽の古典。そのキリスト服従の聖書的で深い敬虔は、今日もなお尽きぬ命と力を与え続ける。

B6判　310頁　本体2000円　1984年
978-4-400-62003-7

み言葉はあなたの近くに

新共同訳新約聖書通読の手引き

松田和憲著

長年にわたる札幌開拓伝道の中で、信徒が新約聖書を通読するために仕上げた、一日一章形式の、身近で手頃な信仰の手引きとなる聖書案内。

46判　400頁　本体3800円　1996年
4-400-51636-9

御言葉はわが足のともしび

日々聞く聖書と祈り

蓮見和男著

毎日、聖書を読み、み言葉に聞き、祈るための1日1ページの小説教と祈り366篇。旧新約全体に目配りがきき、巻末に問題別、教理別索引を付す。

46判　420頁　本体3500円　1982年
978-4-400-51433-6

われらイエスを知るや I

A. シュラッター著　佐伯晴郎訳

老聖書学者／教義学者がファシズム台頭を前に最後の力をふりしぼった絶筆。イエスの姿を隈なく照らし出した日ごとの霊想。5月21日まで。

46判　416頁　本体2800円　1983年
4-400-52328-4

われらイエスを知るや II

A. シュラッター著　佐伯晴郎訳

シュラッターの棒尾を飾る幻の名著。適切な聖句、懇切な語り口、1日1章形式が相まって、イエスの本質を読者に鋭く問う。9月10日まで。

46判　290頁　本体2200円　1984年
4-400-52331-4

デボーション

影の国に別れを告げて

C. S. ルイスの一日一章

C. S. ルイス著　中村妙子訳

創作と随筆を含む数多くの著作から信仰の省察を導いてくれる文章を精選し、1日1頁の形式で配列。ルイスの世界への比類ない道案内でもある。

46判　552頁　本体4500円　1990年
978-4-400-52061-0

この日言葉をかの日に伝え

W・リュティ小説教一日一章

W.リュティ著　井上良雄訳

バルトやトゥルナイゼンの盟友であり、20世紀を代表する名説教者の、アドベントから始まる力強く美しい小説教を、井上良雄氏の名訳で贈る。

B5変形判　684頁　本体6000円　1995年
4-400-50558-8　僅少

主のよき力に守られて

ボンヘッファー一日一章

村椿嘉信訳

その全著作から、御言葉への深い洞察に基づく慰めと希望に溢れた言葉を精選して366日に配列。一日一日を恵みの喜びに生きる力を与える。

46判　684頁　本体5000円　1986年
978-4-400-50315-6

信じつつ祈りつつ

ボンヘッファー短章 365日

D. ボンヘッファー著　小池創造訳

信仰と行動とが渾然一体をなす珠玉の告白的文章から短章366篇を選ぶ。み言葉を、日々祈りつつ戦う力の源泉とするための聖想集。

46変判　136頁　本体1500円　1997年
4-400-50319-4

私にみ言葉をください

〈新教セミナーブック〉

K.バルト著　井上良雄他訳

『教会教義学』全13巻の各所にある膨大な聖書釈義から、教会暦と聖書日課に関連する800余を厳選、各主日中心に配列したバルトの1日1章。

A5判　684頁　本体5800円　1995年
4-400-10223-8　僅少

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ア〉＝新教ブックス

キリストをあなたに

四竜　揚著

自らの原爆体験に立ち、死と終末を見すえつつ、人間を生かし、世界を救うキリストの愛と恵みを豊かに伝えるため、真剣に歌かれた伝道説教14篇。

46判　210頁　本体1600円　1988年
4-400-51437-2

幸せはここに

ロンドン説教集

盛永　進著

1973年以来ロンドン日本人教会牧師として働く著者の38篇の説教。異郷に生きて孤独に悩む人にキリストの福音を慰めと喜びの使信として語る。

46判　344頁　本体3000円　1998年
4-400-52662-3

旅立ち

松浦大説教集

松浦　大著

1987年9月、45歳で早逝し池田五月山教会松浦牧師が、旧約への造詣と洞察に立って説き示す中で、限らない神の恵みの喜びを訴える説教31篇。

46判　220頁　本体2000円　1994年
4-400-51146-4　僅少

恵みと真実

四竜一郎説教集

四竜一郎著

広島教会牧師であった著者が、50余年の伝道牧会生活の中で、命を賭けて説きあかした説教の中から20篇を厳選。老熟の福音的信仰が静かに迫る。

B6判　128頁　本体800円
1982年　4-400-51933-3　僅少

恵みに動かされて

柏井忠夫著

元室町教会牧師の30余年の宣教と牧会をしめくくる説教集。「主の祈り講解説教」を中心に、地味で清楚な説き証しに福音の中心真理が浮き彫り。

46判　192頁　本体1600円　1987年
4-400-51435-8　僅少

和解の務め

国安敬二説教集

国安敬二著

宣教40年の経験の中から、福音の真髄をキリストの「和解」に求め、その命と力と希望を、今日の教会に向かって真剣に訴えた説教キリスト告白。

46判　208頁　本体2000円　1995年
4-400-51149-9　僅少

嵐を静めるキリスト

宮田光雄著

業績至上主義が支配する社会の中で、人間解放の喜ばしい約束と、時代の嵐に動じぬキリストへの根源的信頼に満ちた希望を、聖書から説き明かす。

46判　206頁　本体1553円　1989年
4-400-51569-9

荒れ野の旅に先立つ主

村上　伸著

89年11月、ベルリンの壁崩壊に始まる世界の激動を視野に収め、世界と人間の危機の中で、人間が教会が何に依り頼むべきかを訴えた説教16篇。

46判　192頁　本体1800円　1994年
4-400-51148-0

解放への巡礼

朴炯圭牧師論説集

朴　炯圭著　西片町教会編／いちじくの会訳

韓国民主化闘争を代表する元ソウル第一教会牧師の説教・講演集。投獄をものともせず、民衆の救い主イエスを証しする迫力にみちた証言と訴え。

46判　256頁　本体1800円　1986年
4-400-52351-9

悩みの日にわたしを呼べ

津島久雄著

ハンセン病の療養所にある家族教会で語られた珠玉の説教22編に折々の文章を併せて収録。著者は12歳で発症、14歳で受洗、後に牧師となる。

46判　296頁　本体1900円　2008年
978-4-400-51994-2

地べたの神

現代の低みからの福音

渡辺英俊著

寄せ場の労働者、移住労働者たちと共に聖書を読む中からつかんだ福音のメッセージ。渡辺牧師の総まとめともいえる福音書講解説教集。

46判　240頁　本体2200円　2005年
4-400-32489-3　僅少

神の盛大なる晩餐会

カール・ハイム説教集

K.ハイム著　高松義敦訳

ハイムの膨大な説教から12篇を収録。チュービンゲンの教会で、中小商工業に従事している市民や周辺の農村の人々を対象とした建徳的な説教。

B6判　184頁　本体1200円　1981年
4-400-51930-9　僅少

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
 〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

われらイエスを知るや Ⅲ

A. シュラッター著 佐伯晴郎訳

第3分冊は、9月11日より12月31日まで。イエスの十字架への道と死、復活と永遠の生命の啓示者の姿、新しい共同体の主となるイエスの3部。

46判 320頁 本体2500円 1984年
 4-400-52334-9

祈りの花束

聖書から現代までのキリスト者の祈り

V. ズンデル編 中村妙子訳

聖書の祈りに始まり、教父、宗教改革者、近現代の哲学・文学者、キング牧師、マザーテレサらの祈り。各人の簡潔な伝記と肖像、イラスト付き。

B4 変型 126頁 本体3000円)1987年
 4-400-52568-6

黙想の伴侶

初代教会から現代までの信仰の精華

V. ズンデル著 中村妙子訳

初期教会から現代まで信仰から紡ぎだされた霊性溢れる言葉を、カラー図版と共に全巻にちりばめた魅力溢れる詞華集。霊的信仰への最高の手引き。

A4変型 120頁 本体2800円 1988年
 4-400-52375-6 僅少

花嫁の聖書

ドーリング・キンダースリー・ブック編 牧野留美子訳
人生の歩みを支える聖句、愛と結婚にまつわる賢人たちの言葉を掲げ、ルノワール、モネ、ダヴィンチらの名画40葉オールカラーで配する。

小B6判 96頁 本体1500円 2001年
 4-400-52037-4

母に贈るよるこびの詩

ドーリング・キンダースリー・ブック編 牧野留美子訳
こどもの誕生から人生の新たな一歩を踏み出した女性に捧げる珠玉のような言葉 76編と44編の名画を納めた全ページカラーの華麗な出来上がり。

小B6判 96頁 本体1500円 2000年
 4-400-52048-X

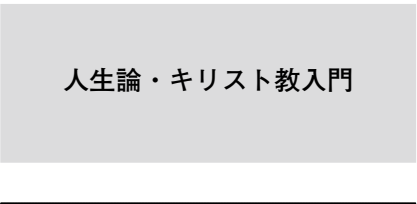
ベツレヘムの星

聖書的象徴による黙想

宮田光雄著

コトバ中心の教条的な信仰理解を離れ、聖書に登場する多様な象徴に思いを馳せることで、信仰のメッセージを読み解く画期的な試み。図版多数。

A5変型判 216頁 本体1900円 2005年
 4-400-52113-3



信じることをためらっている人へ
キリスト教「超」入門
岡野昌雄著
聖書に描かれる意外なイエスの姿からキリスト教用語の解説までクスッと笑いながら深くうなずかされる、楽しくやさしいキリスト教「超」入門書。
B6判 160頁 本体1200円 2016年
 978-4-400-52728-2

私の聖書物語

イースター黙想

宮田光雄著

「復活」を巡って紡ぎ出される思索の跡を取めた、味わい深い黙想集。巻末に著者の信仰的自伝ともいふべき《私の聖書物語》を収録。

B6変判 220頁 本体1800円 2014年
 978-4-400-52781-7

神に異をとなえる者

アベ・ビエール著 寺家村博／寺家村和子訳
フランスでもっとも愛される宗教者にして社会活動家がその最晩年に、親しい友との対話のなかで率直に披瀝した自らの自由闊達な信仰観。

B6変判 120頁 本体1200円 2012年
 978-4-400-52144-0

人生の意味と神

信仰をめぐる対話

V. フランクル P. ラビエー著 芝田豊彦 広岡義之訳
ナチ絶滅収容所を生き延びログセラピー（実存分析）を提唱した精神科医と、ユダヤ教の立場に立つ神学者とが、信仰とは何かを巡り真摯に対話。

46判 192頁 本体2400円 2014年
 978-4-400-31072-3

フランクル人生論入門

広岡義之著

教育哲学の視点からフランクル思想の深い宗教性に着目し、その豊かな泉から、人格の成長の糧と人生の意味を探求する。フランクル入門の好著。

B6変判 266頁 本体2000円 2014年
 978-4-400-31073-0 僅少

祈りの意味

H. E. フォスディック著 斎藤剛毅訳

100年近く読み継がれてきた祈り関する古典的名著。豊かな聖書の言葉と古今東西の先達からの引用が考察を導き、祈りを究め、祈りへと促す。

46判 354頁 本体2800円 2013年
 978-4-400-52146-4

祈りについて

神との対話

カルヴァン著 J.ヘッセリンク編 秋山 徹訳
祈りを「神との対話」と呼んだカルヴァンの実際の祈りと祈祷論。祈りを学ぶだけではなく、『綱要』への、またカルヴァン神学への最適の入門書。

46判 210頁 本体1800円 2009年
 978-4-400-30112-7

いちばん大事にすべきことは何か

ホセ・ヨンバルト著
著名な法哲学者・イエズス会司祭が、人生で大事なことを一つ一つ検討しながら、真の生きがいへの道案内をする。元気が出る書き下ろし人生論。

46判 220頁 本体1900円 2009年
 978-4-400-52664-3

瞑想とキリスト教

牧師が試みた禪・タオ・密教の世界
長谷川正昭著

信仰の新しい形の模索を、聖公会司祭が自分史と重ねユーマラスに語るユニークな瞑想論。からだごと神にゆだねる「全託の信仰」への招き。

46判 240頁 本体1900円 2007年
 978-4-400-51595-1

キリスト者は何を信じているのか
ハイデルベルク信仰問答入門〈大森講座28〉
楠原博行著

450年以上も読み継がれているハイデルベルク信仰問答の129の問答の中から、核心部分を取り上げやすく解説。巻末の「用語索引」は貴重。

46判 120頁 本体1000円 2014年
 978-4-400-31702-9

ハイデルベルク信仰問答 証拠聖句付き

吉田 隆訳

新教新書の清新な訳文に、膨大な証拠聖句を全文併載。教会の勉強会、求道者のテキストに最適の書。どこでも聖書と教理を一体に学べる。

A5判 216頁 本体1700円 2004年
 4-400-52130-3

説教集・信仰書

力強い慰め

ハイデルベルク信仰問答講解

F. クルスター著 小峯 明訳

「慰め」をキーワードに、現代神学との対話にも目を配りながら、各問答の意味を丁寧に解説。宗教改革者の信仰の核心が平易な言葉で語られる。

46判 254頁 本体2300円 2005年
 978-4-400-52131-0

ゴスペルハーモニー
君に贈る5つの話
宮平 望著
ドレミの謎、三位一体の数学、第一次大戦の休戦秘話、名詩「足跡」の福音、などとおきの興味尽きないキリスト教講話集。
B6判 124頁 本体1200円 2019年
 978-4-400-51755-9

ゴスペルエッセンス
君に贈る5つの話
宮平 望著
若手気鋭の神学者ミヤヒラ教授が、西南学院大学の学生たちに語った、とおきのキリスト教秘話。福音が分かる！
B6判 112頁 本体950円 2004年 4-400-51769-X

ゴスペルフォーラム
君に贈る5つの話
宮平 望著
ミヤヒラ教授が、福音は面白い！と唱え、親しみやすい語り口で学生たちに伝えたキリスト教の世界とは。青年の入門書として最適。
B6判 132頁 本体1100円 2007年
 978-4-400-51740-5

ゴスペルスピリット
君に贈る5つの話
宮平 望著
西南学院大学若手気鋭教授が語る、とおきのキリスト教秘話。親しみやすい語り口とバラエティにとんだ内容は若者に福音を伝えるために最適。
B6判 116頁 本体1100円 2008年
 978-4-400-51741-2

聖書によるキリスト教研究

竹田伸一著
聖書から52か所のテキストを選び、その意味の解釈と読み方の手引きを通して、キリスト教信仰の内実を指し示して、信仰生活の案内役を果たす。
46判 230頁 本体2380円 2001年
 978-4-400-12714-7

聖霊に導かれて聖書を読む

今、日本人として聖書をどう読むか

私市元宏著

聖書の中に生きて働く聖霊の力を発見する中で、その命と力に満ちた聖書への信頼と信仰に支えられて生きる喜びを見出すまでの誠実な告白証言。

46判 220頁 本体1800円 1997年
4-400-12431-2 **僅少**

はるかなる遠い日々

高倉徹の周辺

高倉雪江著

父徳太郎の遺した課題を負い地方教会へ赴任した高倉徹が、信徒との出会いから教会観を変革され、「戦責告白」を担うに至る歩みを妻が活写。

46判 248頁 本体1941円 1992年
4-400-61574-X **僅少**

ガンを知らされた牧師先生

岩村信二著

痛告知、教会における葬儀、記念会のあり方、キリスト教教育の問題等に解決の糸口を求めて書かれた信仰随想・キリスト教入門。

46判 180頁 本体1358円 1993年
4-400-61578-6

主の御腕に抱かれて

「足あと」に献げる感謝の花束

M. F. パワーズ著 尾崎 安訳

作者不詳のまま世界中に知られる名詩「足あと」。最近ようやく真相が明らかになった原作者に対して寄せられた、感動の手紙を収録。

46判 208頁 本体1800円 1997年
4-400-52436-1

植村環著作集 2

主は生きておられる

植村 環著

日本における女性牧師のパイオニア植村環が残した数多くの著作の中から味わい深い随筆や説教・論説・主張・講演等示唆に富んだ文章を収録。

46判 420頁 本体2800円 1984年
4-400-50076-4

植村環著作集 3

私の歩んだ道

植村 環著

自伝「私の歩んだ道」、伝道的文章、教会の歴史的歩みに関する随想、戦後書かれたアイゼンハワー大統領夫人宛て公開状等の 60 通の書簡を収録。

46判 414頁 本体2800円 1985年
4-400-50077-2

天路歷程 続篇

J. パニヤン著 池谷敏雄訳

基督者の妻と子供が、後を追って天国の巡礼に出発。あらゆる危機に打ち勝ち、神の御手に守られて、神の国の門に辿りつく信仰の勝利の旅を描く。

B6判 268頁 本体1800円 1985年
4-400-62004-2 **僅少**

信仰の証し

事実によりて

福音の証言

西田恵一郎・西田 玄著

2 人の息子と妻を病で天に送る痛切な経験をした父と、神学生として志半ばで天に召された息子が、与えられた恵みとは何かを証しする。

四六判 170頁 本体1500円 2017年
978-4-400-52730-5

ことばのともしび

末盛千枝子著

配偶者と死別し幼い子を抱えながら絵本編集者として活躍した著者の、人生の様々な試練と出会いと恵みを美しい言葉で綴った待望のエッセイ集。

46判 160頁 本体1000円 2013年
978-4-400-52145-7

この器では受け切れなくて

山谷兄弟の家伝道所物語

菊地 譲著

日本最大の寄場で日雇いとして働きながら伝道と奉仕を始めて 30 年。様々な出会いと恵みを振り返り、格差社会に憤り、新たな社会を展望する。

46判 252頁 本体1500円 2012年
978-4-400-52723-7

すべては神さまのプログラム

鈴木伶子著

NCC 議長をはじめとするエキュメニカルな働きを通して出会った、平和のために献身する友人たちの面影を綴った自伝的エッセー集。

46判 160頁 本体1400円 2009年
978-4-400-52665-0

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コインノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

迷っているけど着くはずだ

塩谷直也著

帰るべき場所を知らず、道に迷い、行き暮れる現代人に、究極の導き手・案内人であるイエスを贈る、ユーモア溢れる人生のガイドブック。

46判 186頁 本体2000円 2000年
978-4-400-51594-4

信仰の半歩前

オトコ、四十を過ぎれば

長尾 優著

仕事、家庭、そして教会奉仕に疲れたオトコたちが静かに心を委ねられるオトナの信仰とは？ しみじみ語るちょっぴり醒めた好エッセー集。

46判 272頁 本体2200円 2000年
4-400-52707-7

日々聖書を読む中で

一信徒の信仰と発言

佐野英雄著

戦後社会の激動の中で、生きる意味の追求の末に出会った聖書の世界の豊かさと深さ。病苦を乗り越えながら描く素朴と純粋な、熱い証言。

46判 142頁 本体1200円 1998年
4-400-52661-5

賢い悪魔

逆説的キリスト教入門（新教ブックス）

岩村太郎著

女子短大でキリスト教概論を講ずる著者の型破りな新しいキリスト教入門。実証的知識に支配されている若者たちに、軽妙に語りかける意欲作。

46判 200頁 本体1358円 1990年
4-400-52476-0 **僅少**

三代目のキリスト教

伝統文化との対決から深化へ

岩村信二著

40 余年の牧会経験を「三代目」キリスト者という視座から総括し、キリスト教の可能性と教会と神学のホットな問題を説いたキリスト教案内。

46判 228頁 本体1553円 1990年
4-400-51670-9

天路歷程 正篇

J. パニヤン著 池谷敏雄訳

パニヤンの敬虔な信仰と霊性が生んだ「天路歷程」正篇全訳。罪の重荷にあえぎつつ、救いと永生を求めて旅する人の姿は、現代人の生きざまに似る。

B6判 286頁 本体1800円 1976年
978-4-400-62001-3

光あふれて

聖書に聴くことば

仲原晶子／田添嬉雄編

ユニークな活動に励む関西学院大学宗教センター企画のチャペル・アワーでの奨励を一冊に編んだ、若い魂に送る新鮮なキリスト教信仰の入門書。

46判 172頁 本体1164円 1990年
4-400-51963-5

あなたは どう生きるか

現代キリスト教倫理入門

村上 伸著

女子大学学生のために、深い人間愛に基づいて、今日の人間の人間らしい生き方を提示。個人と社会、自然と世界の諸問題に福音の光を当てる。

46判 224頁 本体1900円 1997年
978-4-400-42432-1

あのお方は誰だったのですか

キリスト教再入門

藤倉恒雄著

「究極の真理」「霊性」の回復をめざし、人間としての自己理解確立のために、現代における信仰者の在り方の基本的ポイントを熱く説く。

46判 144頁 本体1500円 1994年
4-400-51584-2

あなたの日曜日

W. リュティ著 宍戸 達訳

日曜日の真の過ごし方を忘れている現代人に、名説教家として知られた著者が、安息日の意味と礼拝の喜びを滋味豊かに語りかける。

A5判 123頁 本体1900円 2002年
4-400-52112-5

信仰の豊かさを生きる

新しい日常性のための神学

A. ケーベルレ著 宮田光雄訳

キリスト教信仰の意味を現代人の生に即して説き明かす、新しいタイプの神学入門。聖書の象徴言語の再評価、新たなキリスト教的人間像の提起。

46判 282頁 本体2600円 1995年
4-400-52411-6

パン屑を集める心

逆説の真理としての聖書

原 栄作者

金城学院高校で 30 年余宗教主事を勤めた経験から「まことの神」が「まことの人」として十字架に死に、復活する逆説的真理を、平易に力強く説く。

46判 168頁 本体1747円 1993年
4-400-51144-8

サタンとの対話

片岡 篤著

悪霊どもの王サタンとの緊張をはらむ対話形式で、旧約から新約にわたる救いのドラマを描き、預言者の信仰とキリストの恵みの勝利を奏でる。

46判 340頁 本体2500円 1985年
4-400-56941-4

永遠の腕のもとに

アメリカの一女性に宛てた手紙

C. S. ルイス著 C. キルビー編 小峰三和子訳

ルイスが、カトリック信徒の未亡人メアリ・ウィルズ・シェルバーンに宛てた 138 通の書簡。1963年のルイスの死まで 13 年間に及ぶ温かい交流。

46判 216頁 本体2300円 2010年
978-4-400-52065-8

【C. S. ルイス宗教著作集】

悪魔の手紙

〈C. S. ルイス宗教著作集 1〉

C. S. ルイス著 森安 綾／蜂谷昭雄訳

老練の悪魔が甥の新米悪魔にキリスト教信者の青年を誘惑するための具体的指針を書簡対で綴る奇抜な風刺文学。著者が生涯こだわり続けた著作。

46判 220頁 本体2200円 1979年
4-400-52051-X

四つの愛 〔新訳〕

〈C. S. ルイス宗教著作集 2〉

C. S. ルイス著 佐柳文男訳

愛情、友情、恋愛、聖愛の四つの愛を挙げ、それぞれの意味と独自性を示すルイスの言葉は、まことに深いユーモアと鋭い洞察に溢れて飽かせない。
46判 232頁 本体2200円 2011年
978-4-400-52059-7 僅少

痛みの問題

〈C. S. ルイス宗教著作集 3〉

C. S. ルイス著 中村妙子訳

「なにゆえ神は、創られしものが痛み苦しむことを許したもうか？」この難題に正面から取り組み、自らの人生を踏まえて語りかける。全面改訳。

46判 230頁 本体2500円 2004年
4-400-52053-6

いのちの水は流れて

日本ハンセン病者福音宣教協会 (MOL) 編

日本ハンセン病者福音宣教協会・創立 10 周年記念証詞集。苦難と恩寵の体験を赤裸々に綴った記録 14 篇と、宣教と証しとしての説教 17 篇を収録。

B6判 328頁 本体1200円 1979年
4-400-61497-2

祈の友友天記 I

午後 3 時祈の友会編

戦前から戦後にかけて結核に倒れ、天に召されたキリスト者が、十字架の苦難を偲んで、死を乗り越えて行くために結んだ祈りの共同体の証詞集。

46判 400頁 本体2913円 1993年
4-400-61981-8 僅少

祈の友友天記 II

午後 3 時祈の友会編

戦前から戦後にかけて重い病で天に召された無名のキリスト者たち。彼らが生きる意味を問い、十字架の苦難を偲んで結んだ祈りの証し、第 2 巻。

46判 420頁 本体2913円 1994年
4-400-61988-5

主イエス共に歩みたもう

隅谷三喜男著

長年、日本キリスト教海外医療協力会理事長の立場から献身的に奉仕、その中で絶えず聖書に聞いた経験を綴った聖書聖想を 16 のテーマに集約。

46判 200頁 本体1800円 1998年
4-400-42443-X

ドイツの根底にあるもの

ヨーロッパの街角から

蓮見幸恵著

90 年代のドイツで牧師の夫と共に宣教と神学の研鑽に励んだ生活の記録。市民生活の根底に潜む精神を、豊かな感性でとらえた美しいエッセー。

46判 200頁 本体2400円 2001年
4-400-52724-7

初めに闇があった

ある失明者の聖書との対話

J. M. ハル著 土屋澄男訳

中途失明者で長年教育の現場に携わっていた著者が、盲目について聖書はどんなメッセージを語っているのか詳細に読み解き、実感を込めて著した。

46判 254頁 本体2400円 2008年
978-4-400-41991-4

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コインノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

わが涙よわが歌となれ

原崎百子著

ガンを知らされた牧師夫人が残した病床日記。絶望的事態を冷静に受けとめ、家族や友人を励す姿は、主にあって死を克服することの力を示す。

46判 256頁 本体1600円 1979年
4-400-61495-6

兵士と人間

混沌を越えて 郡司益良軍隊日記

郡司益良著

1945 年華北戦線で倒れるまでの 2 年余に秘かに書き綴られ奇跡的に保存された学徒兵陣中日記。人間の深淵から発した清澄な思想と透明な信仰。

46判 240頁 本体1200円 1984年
4-400-61561-8 僅少

主に負われて百年

川西田鶴子文集

川西 薫／川西 剛／川西 進編

著者（1898-1999）は兄三谷隆正、姉民子の薫陶を受けて信仰を得、内村に師事して福音的敬虔を全うした。「みつばさのかけに」等 60 編を収録。

46判 432頁 本体3500円 2003年
4-400-52675-5

愛のしるし

松本寛二著

神学校卒業後、ジャーナリスト、神戸女学院や東洋英和女学院教師を歴任した著者が、少年少女たちに福音をとりつぐ、滋味あふれるエッセー集。

46判 256頁 本体1600円 1984年
4-400-51937-6

神は見て良しとされた

島崎光正著

二分脊椎症の重い障害を、弱さの中の強さとして誇る純な信仰をもって、天性の詩人魂で人間と世界の現実を凝視、その美しさと豊かさを讃美告白。

B6判 266頁 本体2135円 1991年
4-400-61572-3 僅少

高原の記録

松田智雄と信州

小山源吾／小山 洋／新井 明編

信州農村で生きた社会学者松田が農民に説いた福音的文化講演を精選、編集。彼の示した農村理想型から、農業者のヴィジョンジが浮かび出る。

46判 146頁 本体1600円 1996年
4-400-52423-X 僅少

少女よ、起きなさい！

新約聖書の女たちの物語

I. クルーゼ著 千田まや訳

イスラエルの野山を訪ね歩きつづその土地と深く結びついた聖書の女性をとりあげ、その生き様、生の喜び悲しみを想像力豊かに味わい深く描く。

46判 264頁 本体2200円 1995年
4-400-52026-9

起きよ、光を放て

呉 薫齡著 金 慈林訳

韓国の劇作家・英文学者として高名な著者が癌の宣告を受けながらも、不安と恐れを越えて戦い、ついには奇跡的に癒されるまでの闘病の記。

46判 244頁 本体1800円 1988年
4-400-61566-9 僅少

涙の衣をぬいで

鈴木信子著

愛息を若くして交通事故で失った母が、残された家族と共に教会や知己の交流を通して与えられた深い問いと答えを静かに力強く語り訴える随想集。

B6判変形 118頁 本体949円 2003年
4-400-52746-8

豊かなる流れ

日野綾子著

長年捜真学園の現場の最前線で活動してきた著者が、長い魂の遍歴を語る中で、キリスト教教育の意味、女性宣教師の信仰等を伝える話の玉手箱。

A5判 680頁 本体4854円 1992年
4-400-51985-6 僅少

望みつつ歩む

日野綾子著

横浜で捜真学院院长として、キリスト教女子教育に献身して来た経験を、その信仰・人格・知性を傾けて語りつづいた美しい証言 70 篇を収録。

46判 336頁 本体2000円 1995年
4-400-51997-X

備えたもう主の道を

ふたりの自伝

宍戸 寛／宍戸峰子著

同盟（時事）通信社入社以来 38 年間記者として戦中戦後の世界を走り抜き、平和運動に尽力、その後の信徒伝道者として歩みを終えた著者の証し。

46判 280頁 本体2330円 1991年
4-400-61573-1

正教会入門

東方キリスト教の歴史・信仰・礼拝

T. ウェア著　松島雄一監訳

1963年の刊行以来、正教会の入門書として不動の地位を誇る名著の、大幅に増補された第3版を訳出。歴史・神学・実践まで深く正確な解説。

A5判　400頁　本体4000円　2017年
978-4-400-32119-4　僅少

宗教改革の人間群像

エラスムスの往復書簡から

木ノ脇悦郎著

宗教改革に大きく寄与しながら、ルターと対立し改革陣営を追われた屈指の人文学者エラスムス。その往復書簡から改革者たちの姿を浮上させる。

四六判　284頁　本体3000円　2017年
978-4-400-22727-4

旅する教会

再洗礼派と宗教改革

永本哲也・猪狩由紀・早川朝子・山本大丙編

幼児洗礼を否定したため弾圧され、安住の地を求めて世界を旅する教会となった再洗礼派。気鋭の研究者らがその全容を明らかにする。

四六判　302頁　本体2800円　2017年
978-4-400-22725-0

基督教の起源

オンデマンド・ブック

山谷省吾著／荒井　献解説

「本書が現代の読者にとって『古典』であることに間違いはない。その意味で、本書が復刊されることを心から歓迎したい。」(荒井献氏)

A5判　740頁　本体6800円　2016年
978-4-400-21323-9

十字軍とイスラーム世界

神の名のもとに戦った人々

R. スターク著　櫻井康人訳

十字軍は野蛮な「侵略者」だったのか？　通説的な歴史像を綿密に検討し、十字軍運動の背景や動機を明らかにし、東西世界の衝突の真相に迫る。

46判　384頁　本体3200円　2016年
978-4-400-22724-3

近代世界の成立にとっての プロテスタンティズムの意義

エルンスト・トレルチ著　深井智朗訳

ルターと近代とを安易に直結させるナショナルな解釈に抗し、近代科学やデモクラシー、資本主義などとの関連を冷静に論じた歴史的名講演。

46判　252頁　本体2600円　2015年
978-4-400-22124-1

〈グローバル・ヒストリー〉の中のキリスト教

近代アジアの出版メディアとネットワーク形成

M. ゾンターク編

大陸間ネットワークを反映するキリスト教史の構築を目指して近代東アジアの活字メディアに着目した7名の論者による共同研究の成果。

A5判　296頁　本体5200円　2019年
978-4-400-21327-7

評伝矢内原忠雄

関口安義著

他の追隨を許さぬ綿密な調査と膨大な資料を基に描きあげた1100枚を越す評伝の決定版。50頁におよぶ索引はさながら矢内原小事典の趣。

A5判　691頁　本体8000円　2019年
978-4-400-21325-3

南島キリスト教史入門

奄美・沖縄・宮古・八重山の近代と福音主義信仰の交流と越境

一色　哲著

独自の深さと広がりを持つ「南島」のキリスト教を、綿密な調査に基づき、交流史という観点から重層的に叙述。　(シリーズ神学への船出 04)

四六変型判　232頁　本体2200円　2018年　978-4-400-30004-5

クエーカー入門

クエーカー入門

P. ダンデライオン著　中野泰治訳

その発生と複雑な分派の歴史から「沈黙の礼拝」や「聖化」等の中心的教義、社会との関わりに至るまで、社会学者の著者が明晰に解説。

四六判　224頁　本体2400円　2018年
978-4-400-31084-6

戦後70年の神学と教会

新教コイノーニア 35

新教出版社編集部編

戦後70年にあたる2015年『福音と世界』特集を、神学と教会の二つの視角から精選。信仰と社会の切り結びから戦後とは何かを問う。

A5判　160頁　本体1500円　2017年
978-4-400-30718-1

宗教改革史

R. ベイントン著　出村　彰訳

宗教改革はなぜ起こりいかに展開したのか。16世紀の歴史的・社会的条件を見つづ改革者たちの信仰と思想の全容をまとめる。待望の改版復刊。

四六判　364頁　本体2800円　2017年
978-4-400-23030-4

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

キリスト教の精髓

〈C. S. ルイス宗教著作集 4〉

C. S. ルイス著　柳生直行訳

ラジオで毎回15分29回にわたり親しみやすく語りかけたルイスの信仰論。深い洞察と機知に溢れた言葉がさえる。定評ある名訳で贈る。

46判　358頁　本体2800円　1977年
4-400-52054-4

詩篇を考える

〈C. S. ルイス宗教著作集 5〉

C. S. ルイス著　西村　徹訳

詩篇を信仰の書と同時にユダヤ教文学の精華としても楽しみ、その魅力をくつろいだ筆致で縦横に語る。ユダヤ系の妻ジョイを得た喜びが反映。

46判　200頁　本体2000円　1976年
4-400-52055-2

悲しみをみつめて

〈C. S. ルイス宗教著作集 6〉

C. S. ルイス著　西村　徹訳

ルイスが59歳で結婚したヘレンは、間もなくがんに冒されて世を去った。彼が悲嘆の底から書いた稀有な魂の記録は、貴重な文学作品となった。

46判　144頁　本体2000円　1976年
978-4-400-52056-6

神と人間との対話

〈C. S. ルイス宗教著作集 7〉

C. S. ルイス著　竹野一雄訳

死の半年前に完成された最後の著作。神の真実に至るべき祈りの問題と、実践と瞑想の両面にわたって弁証。ルイスの確信の最後の反復。

46判　230頁　本体2200円　1977年
4-400-52057-9

栄光の重み

〈C. S. ルイス宗教著作集 8〉

C. S. ルイス著　西村　徹訳

ルイスの信仰の敬虔を代表する説教、「栄光の重み」を初め、12編の説教を収録。英国文学とキリスト教を代表する説教選集。

46判　208頁　本体2000円　1976年
4-400-52058-7

偉大なる奇跡

〈C. S. ルイス宗教著作集 別巻〉

C. S. ルイス著　本多峰子訳

ルイス最晩年の作品。洗練されたスタイルで現代に生きる人間の生の諸問題に信仰がどこまで有効かを問う。聖書の信仰の持つ力に目を向けさせる。

46判　270頁　本体2600円　1998年
4-400-52063-3　僅少

—————

歴史・評伝

—————

—————

—————

—————

平静の祈り

ラインホルド・ニーバーとその時代

E. シフトン著　穂田信子訳　安酸敏眞解説

多くの人々に愛唱される祈りは戦時下に作られた。その背景にあった神学者の生活と思想から祈りを再度味わう。愛娘が克明に綴った異色の思想史。

A5判　360頁　本体4000円　2020年
978-4-400-21328-4

逆風に抗して

ドロテー・ゼレ回想録

D. ゼレ著　三鼓秋子訳

常に神学界を震撼させてきた女性神学者の不屈の精神と知性、そして美的なものに開かれた感性が随所にきらめく、自伝の傑作

46判　336頁　本体2900円　2020年
978-4-400-51764-1

イエスを見つめながら

カンバーランド長老キリスト教会高座教会七〇年史

カンバーランド長老キリスト教会高座教会編

それは1冊の英語聖書から始まった……。時に迷い、時に痛みを負いながらも、キリストを見上げて走り続けてき教会の70年の軌跡をたどる。

A5判　270頁　本体2000円　2020年
978-4-400-22713-7

協力と抵抗の内面史

戦時下を生きたキリスト者たちの研究

富坂キリスト教センター編

協力者が抵抗者かといった単純な裁断を排し、内面史研究の視点から企てられた新たな歴史神学。植民地下のキリスト者にも着目する。

46判　274頁　本体2000円　2019年
978-4-400-21326-0

〈オ〉 = オンデマンド・ブック、〈新セ〉 = 新教セミナーブック
 〈新コ〉 = 新教コインノニア、〈新ブ〉 = 新教ックス

歴史観とキリスト教

黒川知文著

古代から現代までの歴史をめぐる思索の大河を、豊富な図版・図表を用いながら概観。多様な歴史観の特質をキリスト教との関連で詳しく考察。

46判 260頁 本体2500円 2013年
978-4-400-31041-9

橋をつくるために

現代世界の諸問題をめぐる対話

教皇フランシスコ D. ヴォルトン 戸口民也訳

フランスの著名な社会学者が1年間にわたって行った白熱のロングインタビュー。話題は難民問題から伝統と文化の問題まで多岐に及ぶ。

46判 421頁 本体2600円 2019年
978-4-400-40747-8

教皇フランシスコとの対話

自らのことばで語る生活と意見

アンブロジエッティ、ルビン著 八重樫克彦・由貴子訳

枢機卿時代のインタビュー。若き日と家族のこと、司祭への道、自らの信仰、教会の課題、そして祖国アルゼンチンを本音で語る貴重な証言。

46判 240頁 本体1500円 2014年
978-4-400-22668-0

教皇フランシスコ

12億の信徒を率いる神父の素顔

M. エスコバル著 八重樫克彦 八重樫由貴子訳

日本語で読める新教皇の初の評伝。初のイエズス会出身で初の非ヨーロッパ人と、初めて尽くしの未知の人物の思想と背景がよく分かる。

46判 224頁 本体1400円 2013年
978-4-400-22667-3

キリスト教の歴史 増補新版

斎藤正彦著

教科書として定番の名著が3度目の改訂。図版を増やし、文字を大きくし、歴史記述をさらに正確にし、21世紀の新しい動向・課題を加筆した。

A5判 150頁 本体760円 2011年
978-4-400-21705-3

マグダラのマリア、第一の使徒

権威を求める闘い

A. G. ブロック著 吉谷かおる訳

マグダラのマリアとペトロの競合関係を幅広い資料から文献学的に解明し、初期教会に既に存在した権威をめぐるジェンダーの対立をあぶり出す。

A5判 260頁 本体3800円 2011年
978-4-400-12756-7

小アジアの古代都市

パウロと黙示録への考古学的探訪

E. ヤマウチ 野町 裕訳

パウロの宣教やヨハネの黙示録にゆかりの12都市を取り上げ、その地誌と遺跡・建造物を豊富な図版を交え解説。著者はグノーシス研究の大家。

A5型判 176頁 本体1900円 2010年
978-4-400-22752-6

キリスト教のスピリチュアリティ

その二千年の歴史

ゴードン・マーセル監修 青山学院大学総合研究所訳

「スピリチュアリティ」という視点から人物史的に叙述された画期的なキリスト教史。キリスト教の多様な活力が生き生きと伝わる。

B5判 420頁 本体7000円 2006年
4-400-22116-4

キリスト教史 上巻

初代教会から宗教改革の夜明けまで

J. ゴンサレス著 石田 学訳

エピソードを追って物語のように読み進めることができ、キリスト教史上の重要人物の生涯や思想、教会と国家の格闘などをコンパクトに把握。

A5判 439頁 本体5700円 2002年
978-4-400-22114-2

キリスト教史 下巻 増補新版

宗教改革から現代まで

J. ゴンサレス著 石田 学/岩橋常久訳

キリスト教が近代世界の形成の中でたどった激動の歴史――変化する社会状況の中で分裂、多元化、そして一致への、壮大な信仰のドラマを詳述。

A5判 477頁 本体5900円 2020年
978-4-400-22110-4

教会史綱要

〈オンデマンド・ブック〉

H. v. シューベルト著 井上良雄訳

20世紀初頭の刊行以来名著の声価高い教会史概説。膨大な学殖が極度に圧縮された文体に込められる。50年ディンクラー補遺による第11版が底本。

A5判 350頁 本体5200円 1963年
4-400-20781-1

カッパドキア教父

キリスト教とヘレニズムの遺産

A. メレディス著 津田謙治訳

三世紀後半に活躍した三人の教父、大バシレイオス、ナジアンゾスのグレゴリオス、ニュッサのグレゴリオスの生涯、実践的生活、思想。

46判 254頁 本体2900円 2011年
978-4-400-22753-3

司教と貧者

ニュッサのグレゴリオスの説教を読む

土井健司著

「カッパドキア三教父」の一人グレゴリオスが説いた「社会的な説教3編」を取録。訳者による周到な解説と資料から蘇る4世紀の教会の姿。

46判 224頁 本体2400円 2007年
978-4-400-22751-9

古代キリスト教探訪

キリスト教の春を生きた人たちの思索

土井健司著

教父神学を専攻する気鋭の研究者が、平易な語り口で古代キリスト教世界、驚くほど新鮮で刺激に富む古代キリスト者の思索と生活を紹介する。

46判 192頁 本体2200円 2003年
4-400-22750-2

キリスト教とローマ帝国

小さなメシア運動が帝国に広がった理由

R. スターク著 穂田信子訳 松本宣郎解説

古代史最大の疑問に、宗教社会学者がカルト等の消長を分析する際に有効な手法を応用してその秘密に迫る。初代教会の強みとは何だったのか。

46判 306頁 本体3200円 2014年
978-4-400-22723-6

初期キリスト教とローマ社会

島 創平著

初期キリスト教の女性観、奴隷観、性倫理観等に関する通説を検証、古代地中海世界の中にキリスト教を位置付けし直し、現代の問題に説き及ぶ。

46判 176頁 本体1800円 2001年
4-400-22722-7

歴代のローマ教皇

古代・中世篇

戸山靖一著

第1代教皇ペテロより説き起こし、宗教改革が終了する第219代クレメンス7世に至る詳細な列伝。もう一つの中世ヨーロッパ・キリスト教史。

46判 482頁 本体2500円 1988年
4-400-21952-6 僅少

ローマ帝国のたそがれとアウグスティヌス

磯部 隆著

古代末期の神学的巨人の生涯を帝国の衰亡史と重ねつつ、弟子アリピウスの述懐を通して描いた壮大な歴史小説。

46判 350頁 本体2200円 2017年
978-4-400-22754-0

歴史・評伝

アメリカ・キリスト教史

理念によって建てられた国の軌跡

森本あんり著

アメリカという国を知る上で不可欠のキリスト教の歴史を、スペイン時代から現代に至るまでダイナミックかつコンパクトに描き切る。図版豊富。

46判 176頁 本体1700円 2006年
978-4-400-22117-3

ユタ州とブリガム・ヤング

アメリカ西部開拓史における暴力・性・宗教

高橋 弘著

モルモン教の拡大とユタ州定着に辣腕をふるったヤングの思想と行動を中心に、教団内の暴力事件などの実像に鋭く迫る貴重な労作。

46判 330頁 本体2300円 2007年
978-4-400-22120-3

セバステイアン・カステリヨ

宗教寛容のためのたたかい

H. グッグスベルク著 出村 彰訳

セルヴェトゥスの火刑に敢然と抗議し、カルヴァンやベーズらとの論争の渦中で史上初めて宗教寛容を理論化した人物の生涯と思想。評伝の決定版。

A5判 480頁 本体6600円 2006年
4-400-22118-0

パーゼル

ライン河畔に息づく死と生の文化

横手征彦著

独特の生と死をめぐる精神文化を育んできたパーゼル。その精神的・信仰的系譜を、ホルバイン、ニーチェ、バルト等々多様な生きざまに探る。

46判 358頁 本体3000円 2007年
978-4-400-22119-7

ジョン・ウェスレー伝

M. シュミット著 高松義教訳

ドイツの教会史家の特異なウェスレー伝。歴史的背景、生い立ちから回心まで、特にドイツ敬虔主義とウェスレーのつながりを究明して興味深い。

46判 450頁 本体3452円 1985年
4-400-62339-4 僅少

19世紀アメリカンボードの宣教思想 I 1810―1850

塩野和夫著

アジア伝道を行い、試行錯誤と艱難辛苦をなめ尽くしたアメリカンボードがアジア諸国、諸民族に及ぼした功罪を発見し把握する意欲的な試み。

A5判 230頁 本体2800円 2005年
4-400-42775-7

同志社の独立

ミッション・スクールからの脱皮

P. グリーシー著　北垣宗治訳

初期同志社の歴史、すなわちアメリカン・ボードからの独立のプロセスを「土着化」の成功例と捉え、そこに作用した要因を緻密に分析した労作。

A5判　520頁　本体4000円　2012年
978-4-400-22662-8

アメリカンボードと同志社

1875-1900

P. ボラー著　北垣宗治訳

宣教師と同志社との四半世紀にわたる協力関係を膨大なアメリカン・ボード文書から探る。学校の自立にとまなう宣教目的の変化が明らかに。

A5判　291頁　本体2800円　2007年
978-4-400-22663-5

アメリカン・ボード宣教師文書

上州を中心として

新島学園女子短期大学付属新島文化研究所・編訳
明治年間、アメリカン・ボード派遣宣教師として上州宣教に携わったその経験をボストン本部に報告した通信を収録した明治期日本伝道の記録。

A5判　460頁　本体8000円　1999年
4-400-22664-6

ヘンリー・スタウトの生涯

G. D. レーマン著　峠口　新訳

明治初期・長崎を拠点とし、九州一円の伝道に献身、多くの教職と信徒を育てた宣教師スタウト。その信仰と志と活動の跡の探求を、初めて紹介。

46判　202頁　本体1600円　1986年
4-400-21229-7

大儀見元一郎とその時代

サムライから牧師へ

太田愛人／秋山繁雄／岡見　璋著

幕臣、大儀見は、維新の後、明治3年、森有礼一行に加わり渡米、留学中に回心、牧師となって帰国した。本書はその波瀾万丈の生涯を描く。

A5判　400頁　本体6000円　1994年
4-400-41234-2

日本におけるドイツ

ドイツ宣教史百二十五年

日本におけるドイツ宣教史研究会編

シュペンナーらドイツ語圏からの宣教師たちの活動と影響を振り返った共同研究の成果。その影響から生まれた雑誌『真理』の総目次付き。

46判　216頁　本体2600円　2010年
978-4-400-22709-0　僅少

思想の社

日本プロテスタント・キリスト教史より

土肥昭夫著

日本人の精神構造を解析し、湯浅治郎ら先達の働きに学び、また教会の歴史、日韓交流の足跡などを歴史家の透徹した眼差しで論じ課題を訴える。

A5判　270頁　本体3400円　2006年
4-400-21300-5

日本キリスト教史論

〈オンデマンド・ブック〉

石原　謙著

11 論文を収録。とりわけ「日本基督教団の成立とその進展」「会派問題」「戦後二十年のキリスト教」は今日の教団問題を考えるための基礎文献。

A5判　360頁　本体5200円　(67年)
2003年　4-400-20755-2

日本キリスト教史を読む

塩野和夫著

日本のキリスト教の総合的・大局的な把握と理解を深めることを目指して、高校生、短大生向けに大胆な構想のもとに書き下ろされた野心的な試み。

A5判　168頁　本体1500円　1997年
4-400-21293-9

フルベッキ書簡集

〈オンデマンド・ブック〉

高谷道男編訳

安政6年来日し明治31年客死するまでの40年近くに及ぶ書簡。伝道、聖書翻訳、衆議院顧問等々多彩な活動記録は、第一級の資料価値をもつ。

A5判　454頁　本体5700円　(78年)
2007年　978-4-400-26001-1

女性宣教師の日本探訪記

明治期における米国メソジスト教会の海外伝道

齋藤元子著

19世紀、女性宣教師が報告書簡で本国にもたらした地理的知識。3人の女性宣教師の活動を検討し地理学史から宣教史への新たな視点を切り開く。

46判　280頁　本体2800円　2009年
978-4-400-21309-3

物語日本キリスト教史

日米キリスト者群像を辿る

志茂望信著

日本の近代史ならびにキリスト教を語る際に抜くことのできない「アメリカ」。本書は両国の激動の関係史に光をあてた異色のキリスト教史。

46判　680頁　本体5300円　1998年
4-400-21294-7

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コインノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

人を恐れず天を仰いで

復刊『一週一信』

広岡浅子著　影山礼子解説

明治実業界の女傑と呼ばれ、女子高等教育にも尽力した浅子の、剛毅にして瑞々しい信仰が窺われる自伝とエッセイを復刊。

B6変　160頁　本体1700円　2015年
978-4-400-52148-8

逆境の恩寵

祈りに生きた家族の物語

徳永　徹著

洗うが如き赤貧と病苦に苛まれながら、常に喜びをもって福音を説き続けた信徒伝道者・徳永規矩と妻歌子の生涯を描く。

B6変　229頁　本体1800円　2015年
978-4-400-52073-3

新島襄物語

良心へ向かう志

富田正樹／山本真司著

同志社で学ぶ中高生のために書き下ろされた新島襄の入門書だが、新島のことを知りたい一般読者にも最適のテキスト。オールカラー。

A5判　72頁　本体1200円　2015年
978-4-400-51758-0

近代化への挑戦

ペイルートのアメリカン大学と京都の同志社

アレクサンドラ・コビルスキ著　北垣宗治訳

アラブと極東の2大学は共に19世紀後半アメリカン・ボードの支援を受けて建学された。グローバルな視点から見直す画期的な同志社成立史。

A5判　280頁　本体2800円　2015年
978-4-400-22661-1

市民K、教会を出る

韓国プロテスタントの成功と失敗、その欲望の社会学
金　鎮虎著　香山洋人訳

韓国教会の自己省察の書。冷戦・開発独裁下の高度成長期と、その後の高度消費社会において、韓国プロテスタント教会が果たした役割を分析。

A5判　240頁　本体2400円　2015年
978-4-400-40735-5

キリストにある真実を求めて

出会い・教会・人間像

塩野和夫著

福音の真理は「出会い」の中にある。著者の多岐にわたる関心を貫く一本の線=「出会い」を中心に編まれた論集。

46判　340頁　本体2000円　2015年
978-4-400-42777-3

折られた花

日本軍「慰安婦」とされたオランダ人女性たちの声

M. ハーマー著／村岡崇光訳

8人のオランダ人女性たちの体験をつぶさに綴る。戦後の人生をも丹念にたどり、戦時下性暴力がいかに深い傷を残したかを示しす貴重な証言。

46判　216頁　本体1900円　2013年
978-4-400-40729-4

八重のこぼれ

新島八重とその同時代人が語り伝えた生き方

坂本優二著

彼女のこぼれを多数取り上げ背景を解説、また兄や二人の夫をはじめ同時代人の証言から、幕末から昭和を生き抜いた生涯を浮かび上がらせる。

46判　300頁　本体1500円　2012年
978-4-400-22666-6

評伝井上良雄

キリストの証人

雨宮栄一著

戦前は気鋭の文芸評論家、戦後はバルトに拠りつつ教会のために奉仕した一信徒神学者の生涯。その全体像を初めて明らかにした本格評伝。

46判　480頁　本体3800円　2012年
978-4-400-21318-5

内村鑑三と再臨運動

救い・終末論・ユダヤ人観

黒川知文著

大正期のキリスト教界を揺るがした再臨運動を内村の信仰形成史に位置づけ、同時代人の受容と批判、さらに彼のユダヤ人観との関わりから考究。

46判　300頁　本体2200円　2012年
978-4-400-31050-1

日本プロテスタント海外宣教史

乗松雅休から現在まで

中村　敏著

日本発の海外宣教師たちの軌跡を戦前から現在まで教派を超え概観する。母国の帝国主義と宣教地の間に立たされた宣教師たちから考える教会論。

A5判　304頁　本体2500円　2011年
978-4-400-21316-1

日本プロテスタント・キリスト教史

〈新教セミナーブック〉

土肥昭夫著

教派的に偏向しがちであった従来の教会史の枠組みを破り、近代100年の流れを問題史的視座から整理し、各時代の様相を浮き彫りにした名著。

A5判　488頁　本体5000円　1980年
4-400-30652-6　僅少

貧しい人々と賀川豊彦

雨宮栄一著
神戸新川のスラムに入居した賀川豊彦夫妻の救霊活動の実態等、本所セツルメント開設に至るまでの賀川の救貧活動の実態に迫る。

46判 340頁 本体2700円 2005年
4-400-52777-8

暗い谷間の賀川豊彦

雨宮栄一著
著者渾身の賀川論最終巻。非戦同盟、神の国運動、満州開拓農民、対米平和使節、逮捕拘留事件、世界連邦運動などの事件、運動を精査し総括。

46判 370頁 本体3000円 2006年
4-400-52778-6

昭和日本基督教会史

天皇制と15年戦争の下で

金田隆一著

天皇制ファシズムと軍国主義の重圧の下で苦難の中に辿った日基の運命を追跡、信仰と国家意識の問題性を問う。教会史に問う戦争責任論の力作。

A5判 520頁 本体6700円 1996年
4-400-21291-2

十五年戦争期の天皇制とキリスト教

富坂キリスト教センター編

あの「天皇制の狂奔期」に、諸教派や学校の態度決定はいかなるものであったのか。ほぼ全教派の抵抗と協力の諸相を精査した学際的研究の成果。

46判 620頁 本体5700円 2007年
978-4-400-21301-7

戦後教会史と共に

1950-1989

井上良雄著

社会と国家に対する教会の責任を、バルト神学を導きとしつつ徹底的に思索し、教会的な実践に参与してきた著者の時論的発言 41編を集大成。

46判 392頁 本体3600円 1995年
4-400-41238-5 僅少

井上良雄研究

「世のための教会」を求めて（新教コイノニア23）

雨宮栄一 小川圭治 森岡 巖編

井上が生涯追求した「世のための教会」の継承を願いながら、教会的・神学的同志らが寄稿した井上良雄論。巻末に詳細な井上良雄文献目録付き。

A5判 180頁 本体1900円 2006年
4-400-30716-6

評伝高倉徳太郎 上

雨宮栄一著

福音的キリスト教の確立にささげた生涯を描く「神学的評伝」。上巻は、生い立ちから38歳で英国留学から帰国した1924年までを扱う。

46判 384頁 本体3100円 2010年
978-4-400-21311-6

評伝高倉徳太郎 下

雨宮栄一著

下巻は、開拓伝道、日本神学校での教職、『福音的基督教』の執筆、晩年の病と死までの道程を描き、高倉が実存をかけたその神学に迫る。

46判 368頁 本体3000円 2011年
978-4-400-21312-3

高倉徳太郎傳

〈オンデマンド・ブック〉

小塩 力著

幼少期から自死に至る生涯と神学形成の道程を描いた力作。高倉に親しく師事した著者ならではの深い理解は、未だに評伝の決定版たるを失わない。

B6判 330頁 本体3500円 2006年(54年)
4-400-21240-8

日本キリスト教史における賀川豊彦

その思想と実践

賀川豊彦記念松沢資料館編

熊野義孝から栗林輝夫まで16名の論者による多面的な賀川論を集大成。「賀川論」の過去と現在、またその幅広さを展望できる貴重な論集。

A5判 584頁 本体4000円 2011年
978-4-400-21314-7

賀川豊彦

愛と社会正義を追い求めた生涯

R.シルジェン著 賀川豊彦記念松沢資料館監訳

アメリカ側の資料を駆使して賀川のキリスト伝道、労働運動、農民組合運動、協同組合運動、平和運動など多方面にわたる活動に迫った大作評伝。

A5判 413頁 本体4000円 2007年
978-4-400-21302-4

青春の賀川豊彦

雨宮栄一著

歴史的資料の徹底的な渉獵と、鋭い思想的人間的洞察をもって模索した賀川研究の労作。生い立ちから神戸・新川に入るまでの期間に焦点をあてる。

46判 328頁 本体2500円 2003年
4-400-52745-X

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

牧師植村正久

雨宮栄一著

好評の植村評伝3部作の完結編。「自由なる国民教会」の形成を目指し、情熱を注いで奮闘した壮年期から死に至る植村と、その時代背景を活写。

46判 400頁 本体3100円 2009年
978-4-400-21306-2

植村正久論考

大内三郎著

日本キリスト教思想史研究に大きな足跡を残した著者による、植村正久に関する論考を収録。緻密膨大な日録的研究に裏づけられた貴重な考証。

46判 292頁 本体2800円 2008年
978-4-400-21308-6

植村正久

植村正久とその弟子たち 1

佐藤敏夫著

近代日本の教会を代表する植村正久の信仰と神学を吟味、その流れを汲む福音的キリスト教の系譜を辿りながら、牧師植村の新しい人間像を提示。

46判 160頁 本体1700円 1999年
4-400-51861-2

復刻『宗教及び文藝』

第1号―第8号（植村正久主幹・福音新報社）

別冊解説＝武田清子／斉藤 勇

明治44年(1911年)に植村が創刊したこの雑誌は、第8号で突然廃刊、世人々ら忘れられたが、この時期の植村らの活動を知るために必須の資料。

菊判 750頁 本体8000円 2001年
4-400-10679-9

井深梶之助宛書簡集

明治学院創立120周年記念出版編

明治・大正・昭和初期の指導者、井深宛書簡は、東京一致神学校入学時から死去まで200通以上にも及ぶ。植村正久、新島襄ら150名の書簡を収録。

A5判 444頁 本体5000円 1997年
4-400-42656-4

高倉徳太郎日記

秋山憲兄編

初めて公にされる約三千日分を含む「完本」。既発表分を原本から一部補正するとともに、大部の未公表部分を加える。牧師の魂の軌跡。

46判 910頁 本体5000円 2015年
978-4-400-21321-5 日記

続・明治人物拾遺物語

キリスト教の一系譜

秋山繁雄著

デビッドソン、桑田繁太郎、矢島重虎、長山萬次、子安千代松、ミラー夫妻ら日本基督教会と明治学院をめぐる人々の精緻な資料による人物評伝。

46判 300頁 本体2600円 1998年
4-400-21230-0

日本組合基督教会史研究序説

塩野和夫著

日本組合基督教会の歴史・伝統成立の志を探究しながら、教派的教会としての日本のキリスト教を理解するための広く、新しい視野を開く好著。

A5判 580頁 本体7300円 1995年
4-400-21288-2

旧日本基督教会試論

教会・文化・国家

木下裕也著

旧日基の伝統をいかに自覚的・批判的に継承し、発展させていくか。鋭い問題意識のもとに取り組んだ、植村・高倉・熊野らを巡る意欲的論集。

46判 288頁 本体2000円 2007年
978-4-400-21307-9

権威と服従

近代日本におけるローマ書十三章

宮田光雄著

天皇制国家とキリスト教信仰との緊張葛藤、特に太平洋戦争下の協力と抵抗の諸相を聖書解釈史を通して描き出した近代日本キリスト教思想史論。

46判 320頁 本体2600円 2003年
978-4-400-32747-9

若き植村正久

雨宮栄一著

植村評伝の第1部。旧幕臣としての生い立ち、キリスト教との出会い、回心、献身。著作の経緯や啓蒙思想との折衝からもその素顔に肉薄する。

46判 366頁 本体2900円 2007年
978-4-400-21304-8

戦う植村正久

雨宮栄一著

20代後半から30代後半の教会形成、伝道、文筆で七面六臂の活躍を見せた時期を扱う。新神学、ナショナルリズムとの関係、藤村たちとの交流など。

46判 400頁 本体3100円 2008年
978-4-400-21305-5

追憶 熊野義孝先生

熊野義孝先生追憶文集刊行会編・発行	
熊野義孝と親交のあった先輩・同僚・後輩・教会員たち 82名の追想と、西田幾多郎・田辺元・吉満義彦の書簡。熊野清子「熊野義孝について」収録。	
46判 318頁 本体3398円 1994年 4-400-51992-9 僅少	

明治学院人物列伝

近代日本のもうひとつの道	
明治学院人物列伝研究会編	
建学以来120年の歴史の中から輩出された、文学・思想・社会・教育等の各分野で特異な存在として活躍した29人の人物評伝。	
46判 470頁 本体3000円 2003年 4-400-21295-5	

本のはなし（改訂増補版）

明治期のキリスト教書	
秋山憲兄著	
伝道の一翼を担った出版物と文書の研究、味わい深い随想、また『ギュッラフ訳約翰福音之伝』履刻版解説など、長年の古書収集と研究の集大成。	
A5判 320頁 本体2800円 2008年 4-400-22665-4	

一本の道

キリスト教出版 70年の歩み	
秋山憲兄著	
戦前より日本のキリスト教出版とともに歩んできた著者の道程とその途上での出会いの記録。日本のキリスト教出版史としても貴重な資料。	
46判 284頁 本体2000円 2010年 978-4-400-52666-7	

続・一本の道

待ちつつ、急ぎつつ	
秋山憲兄著	
満95歳の著者が、青年時代から今日までの人生の歩みを綴る。特に教会生活や亡き夫人との追想は心打つ。	
46判 267頁 本体2000円 2012年 978-4-400-52667-4	

日本キリスト教出版史夜話

創立40年記念出版	
西阪保治／河本哲夫／秋山憲兄著	
新教出版社の源流、日曜世界社、新生堂、長崎書店の歴史と経験の証言を軸に、教出版の現実と問題を探り、文書伝道の課題と使命を真剣に訴える。	
新書判 104頁 本体480円 1984年 4-400-51315-7	

スキャンダラスな人々

レーン夫妻スパイ事件と私たち	
岸本羊一著	
戦時下レーン宣教師夫妻のスパイ容疑事件に光を当てる。イエスを主とする時、国家権力は「スキャンダラスな人」として排除するしくみを描く。	
46判 168頁 本体1747円 1991年 4-400-41231-8 僅少	

戦時下ホーリネスの受難

山崎鷲夫編	
近代史最大の教会的受難、42年6月のホーリネス系教会弾圧事件をめぐる60人余の牧師・信徒の証詞、その他問題の歴史的研究など70篇を収録。	
A5判 676頁 本体4854円 1990年 4-400-21220-3	

回想 黒崎幸吉・光子

松田智雄監修	
黒崎幸吉没後20年、夫人光子没後1年を記念し、内村鑑三の日記、手紙等、無教会の内外の二人の信仰の生涯をめぐる文章と資料170篇を収録。	
46判 488頁 本体3882円 1991年 4-400-51972-4 僅少	

江原萬里・祝

遺稿と回想	
松田智雄／江原 望監修	
内村鑑三門下の無教会キリスト者・江原萬里は、大学在職中に結核に倒れ、貧窮の中で壮絶な病死を遂げる。本書は妻祝と萬里の遺稿と回想。	
46判 472頁 本体4500円 1994年 4-400-51986-4 僅少	

ある平和主義者の回想

中川晶輝著	
敗戦前後の中国で医師として働き、戦後は老人福祉医療に携わりながら平和運動に挺身してきた著者の回想。当時の「大東亜書翰」への批判収録。	
46判 176頁 本体1600円 2002年 4-400-52729-8 僅少	

勝利は武器によるものでなく

日系アメリカ人キリスト者戦時下強制収容の証言	
V.オカダ編 今泉信宏訳	
アメリカ市民でありながら開戦と共に突如大統領命令により強制収容所へ送られた日系人。過酷な運命を信仰によって堪え忍んだ歴史の証言。	
46判 200頁 本体2200円 2002年 4-400-42111-2	

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コインノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

日本基督教会鎮西中会記録

日本基督教会柳川教会編	
明治14年（1881年）九州地方の日本基督教会によって組織され、昭和18年の教団統合によって解消いたる、61年間の詳細な記録。	
B5判 410頁 本体12000円 1980年	

日本基督教会山陽中会記録

日本基督教会山陽中会記録編纂委員会編	
1881年、鎮西中会より独立、西日本四県と愛媛県を伝道圏に、1941年、日本基督教団成立まで57回の中会を開催した山陽中会の全記録。	
B5判 400頁 本体20000円 1990年 4-400-41219-9 僅少	

改革派カテキズム日本語訳研究

石丸 新著	
「ジュネーブ教会信仰問答」「ウェストミンスター信仰告白・大教理問答・小教理問答」等の日本語訳の歴史、内容、翻訳出版の経緯の綿密な研究。	
46判 166頁 本体1500円 1996年 4-400-52422-1	

特高資料による戦時下のキリスト教運動 1	
〈オンデマンド・ブック〉	
同志社大学人文科学研究所編	
昭和十一年から十五年まで。「支那事変」への諸教団の反応、燈台社（ものみの塔）の治安維持法違反事件、日本ハリストス正教会の「内紛」等。	
A5判 350頁 本体8900円 （72年） 2003年 4-400-20757-9	

特高資料による戦時下のキリスト教運動 2	
〈オンデマンド・ブック〉	
同志社大学人文科学研究所編	
昭和十六年から十七年まで。無教会主義者の「要注意言説」、キリスト教界の日米平和運動、教団合同問題、ホーリネス弾圧など。	
A5判 422頁 本体8900円 （72年） 2003年 4-400-20758-7	

特高資料による戦時下のキリスト教運動 3	
〈オンデマンド・ブック〉	
同志社大学人文科学研究所編	
昭和十八年から十九年まで。「大東亜戦争」に対するキリスト者の「要注意行動」、日本基督教団第二回総会の模様など。総索引付き。	
A5判 338頁 本体8900円 （73年） 2003年 4-400-20759-5	

内村鑑三不敬事件

〈オンデマンド・ブック〉	
小沢三郎著	
事件の経過を綿密に解明、更に当時の新聞・雑誌の記事を広く蒐集、キリスト教界内外の発言を網羅し、この事件の内容・影響を克明に示した労作。	
A5判 276頁 本体4200円 2004年 (61年) 4-400-40783-7	

神社問題とキリスト教

〈オンデマンド・ブック〉	
戸村政博編	
明治維新以後の膨大な文献を収集整理し、「宗教法案」を中心とする国家とキリスト教の緊張関係を多角的に浮き彫りにした資料集。	
A5判 420頁 本体6000円 2011年 (76年) 978-4-400-20785-6	

孤憤のひと 柏木義円

天皇制とキリスト教	
片野真佐子著	
天皇制下、国家主義に流れた明治から昭和前期、安中教会の講壇から、また『上毛教界月報』を通して果敢に闘う柏木義円の希有な生涯とその信仰。	
46判 380頁 本体3882円 1993年 4-400-61469-7 僅少	

田川大吉郎とその時代

遠藤興一著	
明治から昭和にまたがり、言論・政治・社会・教育の広範な領域で活躍したキリスト者の活動の全貌。戦時下の思想、和平工作活動を詳しく解明。	
46判 300頁 本体3000円 2004年 4-400-42758-7 僅少	

土着と背教

伝統的エトスとプロテスタント〈オンデマンド・ブック〉	
武田清子著	
「埋没・孤立・対決・接木（土着）・背教」という五類型を、著名なキリスト者を例に提示し、プロテスタント信仰の受容仕方を解明した名著。	
A5判 360頁 本体5400円 （67年） 2004年 4-400-40780-2	

土着と挫折

近代日本キリスト教史の一断面	
佐治孝典著	
賀川豊彦、波多野鶴吉、大原孫三郎らの近代キリスト教の土着化への苦闘を、人物史論を縦軸、天皇制との関わりを横軸に描いたキリスト教史論。	
46判 270頁 本体2233円 1991年 4-400-21221-1	

<div><div></div>〈オ〉 = オンデマンド・ブック、〈新セ〉 = 新教セミナーブック</div>	<div><div></div>〈新コ〉 = 新教コインノニア、〈新ア〉 = 新教ブックス</div>
--	--

尾張名古屋のキリスト教

真山光彌著

幕末・明治初期にかけて諸教派の伝道活動が押し寄せ特異な様相を呈した中京における教会形成とその展開を体系づけた名古屋キリスト教史。

B6判 324頁 本体2800円 1986年 4-400-21281-5

明治初期神戸伝道と D. C. グリーン

茂 義樹著

アメリカン・ボード最初の宣教師グリーンの生涯。切支丹禁制下における神戸を中心とする宣教活動を綿密な資料を駆使して追跡した感動的な読物。

B6判 268頁 本体2200円 1986年 4-400-21282-3

ジョナサン・ゴープル研究

川島第二郎著

明治初期バプテスト派宣教師として来日したゴープル。一般庶民への伝道・聖書翻訳・明治政府との交流など、その波乱に富んだ生涯を伝える。

B6判 386頁 本体3200円 1991年 4-400-21283-1

天皇制と韓国キリスト教

藏田雅彦著

天皇制帝国主義により韓国キリスト教が経験した苦難と抵抗を、新資料を余すところなく駆使して、全体的かつ詳細に描いた驚くべき歴史的研究。

B6判 270頁 本体2523円 1991年 4-400-41532-5 僅少

夜が明けるまで

南長老派ミッションの宣教の歴史

J. A. カグスウェル著 真山光彌他訳

金城学院、高知女学校、神戸学校の設立にあたった在日南長老教会ミッション。1885年同派伝道開始から1967年までの宣教の記録。

B6判 380頁 本体2913円 1991年 4-400-21284-X

愛知のキリスト教

真山光彌著

メソジスト監督教会、オランダ改革派教会、米国南長老教会の愛知県下の伝道開始期の事情と金城女学校・神社参拝拒否事件についての貴重な論考。

B6判 410頁 本体3688円 1992年 4-400-21286-6

無教会史 I

第一期 生成の時代

無教会史研究会編著

内村鑑三の創唱に始まった無教会の活動の過程を、8人の真摯な研究の共同執筆により全体的かつ包括的に跡づけた労作。Iは1930年内村の死まで。

B6判 272頁 本体2523円 1991年 4-400-21285-8 僅少

無教会史 II

第三期 結集の時代

無教会史研究会編著

敗戦の挫折感から立ち直り、戦後の混乱と動揺に満ちた時代に深く根を下す無教会。内村鑑三の遺志を継承し、全国各地に進展してゆく活動を描く。

B6判 368頁 本体4100円 1995年 4-400-21289-0

無教会史 IV

第四期 連帯の時代

無教会史研究会編

80年代以降の全国各地・海外における集会の動静。無教会運動の転機・危機を乗り越えて新しい連帯を作り出そうとする潮流を展望する。

46判 408頁 本体4500円 2002年 4-400-21299-8

長老・改革教会来日宣教師事典

中島耕二／大西晴樹／辻 直人著

日本基督一致教会成立の1877年前後までに米国長老教会、アメリカ・オランダ改革教会、スコットランド一致教会から派遣された26名の宣教師。

46判 320頁 本体3000円 2003年 4-400-22740-5

<div><div></div>〈オ〉 = オンデマンド・ブック、〈新セ〉 = 新教セミナーブック</div>	<div><div></div>〈新コ〉 = 新教コインノニア、〈新ア〉 = 新教ブックス</div>
--	--

芸 術

美 術

聖書の風景

小磯良平の聖書挿絵

岩井健作著

日本を代表する洋画家小磯良平（1903-1988）が聖書協会から委嘱され書き下ろした32枚の傑作聖書挿絵を、画家の信仰と重ねつつ読み解く。

A5変型判 197頁 本体2500円 2018年 978-4-400-82803-7

ゴッホと〈聖なるもの〉

正田倫顕著

ゴッホとキリスト教の関係やその作品の核にある〈聖なるもの〉の秘密を作品と書簡の分析で明らかにした俊英の力作。オールカラー口絵38頁。

A5判 204＋14＋口絵38頁 本体3000円 2017年 978-4-400-82802-0

渡辺禎雄聖書版画集

くすしきみわざ

渡辺禎雄／解説＝神田健次、アン・パイル

伝統的な型染版画を通して「くすしきみわざ」を賛美し続けたわが国キリスト教美術の一頂点。生誕100年を記念し代表作73点を収録した作品集。

A4判 184頁 本体5000円 2013年 978-4-400-80061-3

芸 術

美と真実

近代日本の美術とキリスト教

竹中正夫著

51名の美術家たちを取り上げ、近代日本美術史とキリスト教との関連を明らかにした待望の書。伝記的資料を丁寧に辿った貴重な労作。

A5判 360頁 本体3800円 2006年 4-400-82767-4

心の美術館

シスター・ウェンディ・ベケット著 本多峰子訳

BBCテレビの美術番組で人気司会者を務める著者が、厳選した73点を隠されたテーマを軸に深い精神性から読み解く。独創的な美術観賞の誘い。

B5変型 160頁 本体3200円 1999年 4-400-52044-7

私たちの間のイエス

祈りの芸術 写本絵画でたどるキリストの生涯

シスター・ウェンディ・ベケット著 本多峰子訳

中世期に描かれた膨大な聖書装画から43葉を選び、キリストの生涯を黙想する。名もなき画工たちの筆使いに秘められた信仰との響きあい。

B5変型 95頁 本体3000円 2001年 4-400-52103-6

耳をすまして

ほんとうにたいせつなこと

シスター・ウェンディ・ベケット著 本多峰子訳

シスターがこどもたちに贈る初めての絵本。信じること、愛すること、ゆるすこと……人生の大切なテーマを12枚の名画の中に探る。

A4変型 32頁 本体1900円 2002年 4-400-60813-1

ジョットのイエス伝

平川祐弘解説

美術史上初〈生けるキリスト〉を描出し、近代絵画の発端となったスクロヴェーニ聖堂のイエス伝連作28面を現地撮影フィルムから完全複製。

B4変型 図版36 本体18000円 1976年 4-400-10676-4 僅少

中世人の知恵

バーゼルの美術から

海津忠雄著

プラント『阿呆船』、シェーデル『世界年代記』、ホルバイン『死の舞踏』を柱に、ヨーロッパ中世の秋における思想と世界観を掘り下げる。

46判 224頁 本体2200円 1984年 4-400-81460-2

『新撰讃美歌』研究

神戸女学院大学「新撰讃美歌」研究会編

日本讃美歌史上の最高傑作『新撰讃美歌』をめぐる神戸女学院讃美歌研究会員による総合的論集。歌詞と英詞との関係／オルテン師と讃美歌他。

46判 460頁 本体2800円 1999年 4-400-80054-7

上り列車の時代の歌

昭和流行歌覚え書

滝口明男著

山室軍平の「平民の福音」を畢生名著として高く評価する著者が、流行歌、艶歌の世界に分け入り、大衆性、卑俗性の中に潜む真実と魅力を語る。

46判 208頁 本体1747円 1994年 4-400-51309-2 僅少

みたまのかげよ

前田 豊著

著者が霊的で詩的な敬虔の念を込めて作詞。溢れる詩情をほとぼしらせて、聖霊のいのちと力を誉め讃える子どものためのユニークな賛美歌32編。

B6変型判 80頁 本体950円 2004年 4-400-2772-7

光の中で信じ歌う

前田 豊作 島塚 光由

子供の信仰問答の第1部「光によって光をみる」、子供の賛美の歌22篇の第2部「光の中で歌おうよ」からなる。新しい賛美の世界が出現。

A5判 168頁 本体1500円 1994年 4-400-73758-6

すくいのみみ イエス・キリスト

前田 豊著

牧会伝道者として長年讃美歌にたくし神の愛を証ししてきた著者による32編の新讃美歌詩集。キリストの生涯に現れた神の恵みといのちの歌。

B6判変型 80頁 本体950円 2006年 4-400-52773-5

能ドラマと聖書

響き合う女性たちの物語

湯浅裕子著

「マグダラのマリアと井筒」など能と聖書から選び出した5つの物語。女性たちの生の響き合いを描き、異文化交流的な聖書読解の展望を拓く。

46判 90頁 本体1200円 2007年 978-4-400-12574-3

聖書と音楽

大野恵正著

聖書を題材にしたクラシック音楽から傑作28曲を選び、聖書解釈が創作の過程でどう結晶化するかを読み解く。信仰と芸術との神秘的出会い。

46判 368頁 本体4600円 1999年 4-400-82703-8

モーツァルト

K.バルト著 小塩 節訳

心底からのモーツァルト好きであったバルトが、驚くべき愛着を赤裸々に語るエッセー、対談6編。自由奔放に歌う主の創造の世界の賛美は圧倒的！

46判 150頁 本体1600円 1957年 978-4-400-62337-8

モーツァルト 超越性の痕跡

H.キュンク著 内藤道雄訳

カトリックの進歩的神学者によるバルト、ヒルデスハイマーらとの対話。アマデウスへの愛の告白の中にモーツァルトの宗教性と信仰の核心を追求。

46判 160頁 本体1845円 1993年 4-400-62409-9

黒人霊歌とブルース

アメリカ黒人の信仰と神学〈新セ〉

J.コーン著 梶原 寿訳

著者の父祖たちが奴隸制時代に生き延びるため作り出した黒人霊歌と、奴隸解放後も呻吟する黒人たちが生み出したブルースを共感を持って分析。

46判 302頁 本体2400円 1983年 4-400-42320-4 僅少

だれかが私の名を呼んでいる

黒人宗教音楽の社会史

W. T. ウォーカー著 梶原 寿訳

黒人霊歌からゴスペルまで黒人宗教音楽の歴史を、社会史と関わらせて描く。著者はM・L・キングと共に公民権運動の陣頭に立った活動家。

46判 296頁 本体2329円 1991年 4-400-82378-4

神は愛なり

讃美歌物語3

梅染信夫著

好評「讃美歌物語」の第3集。32曲の歌詞や曲の来歴を滋味豊かに記す。1、2と併せて著者愛唱の100曲に達し、信仰を歌った先達の姿を偲ぶ。

46判 188頁 本体1500円 1994年 4-400-81989-2

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コインノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

天に架ける橋

野月島の殉教者

申 英傑著

韓国中西部の名もなき小漁村の教会を舞台に、純朴なキリスト者達が戦中・戦後に体験した苦難と殉教の戦いを、リアルに描いた物語。

46判 362頁 本体2600円 1986年 4-400-61564-6 僅少

天の墓標 句文集

林 文雄著

その純真な人となりで多くのハンセン病者に慕われた医師。病友達が追悼のために出版したものを、召天30年を記念して新資料を加えて編集。

B6判 330頁 本体1800円 1978年 4-400-51924-4 僅少

真昼の悪夢

佐藤誠第九歌集

佐藤 誠著

冤罪により「牟礼事件」の犯人とされ、死刑囚となった著者が、若き日からのキリスト教信仰に支えられつつ詠み継いできた絶唱の数々。

46判 246頁 本体1247円 1979年 僅少

時といのち

D.ロメロ著 長尾ひろみ訳

小児癌で6歳半の男の子を亡くした母親による、看病・臨終・その後の生活を歌った詩集。み言葉と共有してけなげに生きる母子の姿。

46判 240頁 本体1738円 1993年 4-400-61577-4 僅少

音楽・賛美歌

私のごすべるくろにくる

沢 知恵著

同時代史と重ねながら聴いてきた・うたってきた「私にとってのごすべる」への思い。あらゆる境界線をまたぎ越して愛をうたう歌手が、熱く語る。

B6変 120頁 本体1500円 2016年 978-4-400-80001-9

漱石の原風景

〈水谷昭夫著作選集 2〉

奥野政元／山内祥史他編集

「漱石研究」の中から、単行本未収録作を中心に編集した珠玉の論集。『虞美人草』の世界／漱石の混沌とロンドン／漱石初期同時代批評賞書他。

46判 288頁 本体3695円 1997年 4-400-62612-1

近代文芸とキリスト教

〈水谷昭夫著作選集 3〉

奥野政元／山内祥史他編集

山本周五郎、三浦綾子らについて先駆的評伝を、椎名麟三、遠藤周作らに関するモノグラフィーを発表した著者の卓越した論攷14篇を収録。

46判 320頁 本体3700円 1998年 4-400-62613-X

山本周五郎の世界

〈水谷昭夫著作選集 別巻〉

奥野政元／山内祥史他編集

信仰者の視点から山本文学を読み解いたユニークな論考34篇。特に聖書との関連を論じた「山本周五郎とキリスト教」は本書中の圧巻。

46判 301頁 本体3700円 1998年 4-400-62614-8

イエスの生涯

いま始まった

水谷昭夫著

福音書テキストとの尽きることのない対話、その背後に立つ方との出会いと交わりを通して、生きたイエス像を描く希有な証言文学。

46判 188頁 本体1842円 1991年 4-400-61468-9

テキストの魅惑

出会いと照応

牧野留美子著

繊細・鋭利な感覚と明確な方法論に加えて、テキストへの熱い傾注から紡ぎだされた珠玉の作家・作品論。小川国夫、フロバール論等17篇を収録。

46判 448頁 本体3700円 1995年 4-400-61995-8

天国と真理

C. S. ルイスの見た実在の世界

本多峰子著

ルイス文学の根底にあるキリスト教理解と信仰の全貌を体系的に分析。キリスト論弁証論の現代的意味を積極的に証明した意欲的著作。

A5判 392頁 本体5000円 1995年 4-400-61471-9

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新プ〉＝新教ブックス

新約聖書入門

新教新書 275

笠原義久著

「正典」としての意味、背後にある初期キリスト教の多様性、主な文書の神学思想、そして新しい聖書学研究の傾向などを、やさしく解説。

新書判 208頁 本体1500円 2013年
978-4-400-11074-3

ルター自伝

新教新書 276

M.ルター著 藤田孫太郎編訳

ルターの「卓上語録」から自伝的な文章を抜粋。編訳者の詳細な解説を間に配し、その生涯、信仰、人間性を伝える。宗教改革 500 年記念復刊。

新書判 163頁 本体1200円 2017年
978-4-400-22125-8

キリスト者の標識

キリスト教講話集Ⅲ 新教新書 277

井上良雄著

バルト「和解論」翻訳や日本基督教団社会委員長らの歴任などで、信徒として教会に仕えた井上良雄の1940 - 60 年代の説教 12 編を収録。

新書判 304頁 本体1700円 2017年
978-4-400-51452-7

待ちつつ急ぎつつ

キリスト教講話集Ⅳ 新教新書 278

井上良雄著

信徒として多大な足跡を残した井上良雄。晩年にいたるまでの説教全 11 編を収録し、その至純な信仰を蘇らせる。講話集全 4 巻の最終巻。

新書判 288頁 本体1700円 2017年
978-4-400-51453-4

信仰の手引き

〈新書 1〉

J.カルヴァン著 渡辺信夫訳

宗教改革者カルヴァンがジュネーヴ教会のために書いた『キリスト教綱要』の要約的信仰指導書。改革派的な信仰内容が平易で簡明に示されている。

新書判 154頁 本体1000円 1954年
978-4-400-54001-4

新約聖書の信仰

〈新書 4〉

A. M.ハンター著 竹森満佐一訳

新約聖書学の碩学が、文献的、語学的研究方法を駆使し、史的イエスの問題を探究した古典的名著。新約聖書入門としても最適。

新書判 228頁 本体1000円 1959年
4-400-14004-0

信仰・希望・愛

〈新書 6〉

E.ブルナー 熊沢義宣訳

キリスト教の基本概念、信仰・希望・愛の意味と相違点、その統一性と関連性を、人間実存に関わらせつつ分析し、分かりやすく解明する信仰入門。

新書判 152頁 本体1000円 1957年
4-400-54006-5 僅少

改革者の祈り

〈新書 12〉

C. L.マンシュレック編 平井 清訳

ルター、カルヴァンはじめ 16 世紀の宗教改革者の祈り 280 余篇。改革者たちの魂の奥底から湧いて来る祈りと信仰の本質がにじみ出る精神の結晶。

新書判 204頁 本体1200円 1959年
4-400-54012-X

われ山に向かいて眼をあぐ

〈新書 23〉

K.バルト／E.トゥルナイゼン著 井上良雄訳

二人の盟友が、心をつ一つにして御言葉に聴き、待降・降誕・受難・復活にわたる聖書の使信を、美しく、力強く告げ知らせる小説教 41 編の名訳。

新書判 178頁 本体1200円 1955年
4-400-54023-5

神学入門

〈新書 29〉

北森嘉蔵著

福音の究極を提示した「神の痛みの問題」を手がかりに「神の痛みの神学」の神学的理解をさらに発展させた求道者・一般信徒向きの神学入門書。

新書判 155頁 本体1000円 2007年
978-4-400-34029-4

キリスト者の完全 附・伝記

〈新書 36〉

P. T.フォーサイス著 石島三郎訳

キリスト者の無罪、聖潔を論じ、その完全とは、キリストに在るということに他ならぬと説く著者代表作。訳者による著者の生涯と思想を附記。

新書判 136頁 本体1200円 2007年
978-4-400-34036-2

愛と自由について

〈新書 37〉

吉村善夫著

「信仰の本質は自由にある」との思いで綴られた、人が人生においてぶつかる幸福、孤独、愛、自由、生などについての含蓄に富んだ省察の精髓。

新書判 162頁 本体1000円 1960年
4-400-54037-5

説教・告解・聖餐

〈新書 38〉

W.リュティ／トゥルナイゼン著 赤木善光訳

共にスイスの優れた神学者・牧会者が、教会の実存を支える三つの柱の意義について一般信徒にも分かり易いように明快に説く。

新書判 161頁 本体1000円 2007年
978-4-400-54038-0

放蕩息子

〈新書 48〉

J.シュニーヴィント著 蓮見和男訳

ルカ福音書にしかり記されていない放蕩息子のたとえを解明し、神への帰郷と信仰による喜びについて力強く説いた好著。

新書判 160頁 本体800円 1961年
4-400-14048-2

反ナチ抵抗者の獄中書簡

〈新書 52〉

H.ゴルヴィツァー編 大岩美代訳

ヒトラーの全体主義政治の暴虐に抵抗して戦い倒れた人々の日記の断片、記録、詩、手紙等、強制収容所からの力強い使信。

新書判 182頁 本体1000円 1961年
4-400-64052-9

現代信仰問答

〈新書 53〉

D.ボヘンフッファー著 森野善右衛門訳

ヒトラーが政権を握っていた危機の時代の中で、キリスト教信仰とは今日何を意味するかについて、青少年のために書き下ろされた信仰問答。

新書判 114頁 本体1000円 1961年
978-4-400-54053-3

神を呼ぼう

〈新書 55〉

八木重吉著

誠実、真のありのままの素朴な表現で、魂の底より神を呼び求めた詩人の調べ高き心の歌。261 篇の詩を内容別にまとめた珠玉の信仰詩集。

新書判 176頁 本体1000円 1961年
978-4-400-64055-4

信仰の本質と動態

〈新書 56〉

P. ティリッヒ 谷口美智雄訳

信仰とは何か？ 何でないか？ その信仰の本質を求めて、現代における信仰の力と可能性を究明する。ティリッヒ神学の中心問題を開示する力作。

新書判 168頁 本体1000円 1961年
978-4-400-34056-0

新教新書

《放蕩息子》の精神史

イエスのたとえを読む

新教新書 271

宮田光雄著

このたとえが、時代や文化を越えて人々にいかなる刺激を与え続けてきたかを、美術や文学を追跡。30 点以上の豊富な図版が読者の理解を助ける。

新書判 184頁 本体1400円 2012年
978-4-400-54262-9

キリスト教会と天皇制

歴史家の視点から考える

新教新書 272

土肥昭夫著

講演・エッセイや、靖国・天皇制問題情報センターの通信に 50 回以上連載して多くの愛読者を得た巻頭言を一書にまとめる。

新書判 260頁 本体1700円 2012年
978-4-400-21319-2

仕事と人間

聖書神学的考察

新教新書 273

A. リチャードソン著 西谷幸介訳

キリスト教文化の底流をなす聖書の仕事観・人間観を、著名な英国の聖書学者が探った古典的名著。グローバル化時代の労働倫理を考えるために。

新書判 152頁 本体1300円 2012年
978-4-400-42722-8

権力を志向する韓国のキリスト教

内部からの対案 新教新書 274

崔 亨黙著 金 忠一訳

韓国民主化闘争、民衆神学だけにとどまらない「その後の韓国のキリスト教」とその病弊について鋭く分析し、対案を追求した類書の乏しい書。

新書判 180頁 本体1700円 2013年
978-4-400-40726-3

愛の勝利の輪

〈新書 228〉

H. G. クロトウェル編　飯野かおり／奥田暁子訳

父権制社会の中で形成された聖書の中に男女両性によって多様な仕方でも語られる神の言葉を発見しようとする。アメリカの女性たちによる説教集。

新書判　160頁　本体850円　1988年
4-400-34228-X　僅少

いのちといのちとの出会い

〈新書 229〉

益　巖著

日本の三大寄せ場の一つ、横浜寿町の教会に赴任した若き伝道者の宣教レポート。日雇労働者の人々の苦悩に、教会は何を語り、何をなすうのか。

新書判　146頁　本体800円　1988年
4-400-44229-2　僅少

嵐の中の教会

ヒトラーと戦った教会の物語 〈新書 230〉

O. プルーダー著　森　平太訳

1960年に邦訳出版されて以来、広く愛読されてきた実話小説。山村の小さな教会を襲った嵐に抗して福音を証した信徒と牧師の姿。(改訳)

新書判　186頁　本体950円　1989年
4-400-54230-0

目標をみざして走り

〈新書 231〉

森野善右衛門著

聖書を正しく理解し、どのように信じ告白しつつ生きるかを、若い世代の人々と共に考えようとした講話集。キリストの自由と平和を開示する。

新書判　198頁　本体951円　1990年
4-400-54231-9

象徴天皇制とキリスト教

〈新書 232〉

塚田　理著

象徴天皇制を、日本の教会と神学に対する根本的な問いとして受け止めてきた著者は、象徴天皇制からの自他の解放こそ宣教の課題であると力説。

新書判　176頁　本体921円　1990年
4-400-54232-7　僅少

石を取り除け

東独革命における教会の言葉 〈新書 234〉

H. ファルケ他著　佐々木悟史監訳

1989年秋、東欧変革の嵐の中で、東独教会はベルリンの壁の解放に大きな役割を果たした。激動の最中に、東独各地の教会で語られた説教を収録。

新書判　164頁　本体951円　1991年
4-400-54234-3

現存する神

〈新書 218〉

安　炳茂著

韓国の民衆神学の創造に参与してきた新約学者アン・ビョンム氏の聖書講解説教 10 篇。民衆との聖書の学びによって生まれたメッセージ。

新書判　156頁　本体700円　1985年
4-400-54218-1

清らかな鈴の音を

〈新書 223〉

特別養護老人ホーム清鈴園編

被爆者の看護と被爆体験の継承という二つの課題を引き受けて、ヒロシマの心を伝えるホームとして形成された「清鈴園」の歩みと人々の証言。

新書判　228頁　本体800円　1975年
4-400-54223-8

育ち行く者たちと共に

〈新書 224〉

藤原史朗著

在日二・三世の韓国・朝鮮人の高校生に通名で生きることを強いながらも、他方で就職の門を閉ざす日本人社会の差別構造に対して戦う教師の手記。

新書判　204頁　本体921円　1987年
4-400-44224-1

キリスト教倫理の未来

〈新書 225〉

D. ゼレ著　吉村秀子訳

キリスト教の歴史の中で永く倫理的美徳の尺度として尊重されてきた「従順」を再検討し、真の意味を探り、新たなキリスト教倫理の展開を試みる。

新書判　128頁　本体600円　1987年
4-400-54225-4

神が来られるなら

〈新書 226〉

J. モルトマン著　蓮見幸恵／蓮見和男訳

キリストの自由によりて解放された人間と教会が、喜びと希望をもち生きる道を平易に力強く説き示す。民衆と共に生きる教会を展望する論文 4 篇。

新書判　150頁　本体700円　1988年
4-400-34226-3

イエスのたとえ話

〈新書 227〉

J. デュボン著　石脇慶総訳

「イエスのたとえ話」の今日的意味を追究したユニークな研究書。イエスの語った「たとえ話」の聞き手、イエスの用いた対話方法等を平易に分析。

新書判　152頁　本体700円　1988年
4-400-14227-2

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

キリストの来臨

〈新書 166〉

C. H. ドッド著　神田盾夫訳

ドッドが待降節において語った終末論に関する講話と「福音書について」の講演ほか、共に簡潔にして実に含蓄深い 4 篇。

新書判　192頁　本体1000円　1953年
4-400-14166-7

信仰への旅立ち

読書のすすめ 〈新書 201〉

宮田光雄著

「一麦学寮」での読書指導の経験から厳選された文学書・思想書・信仰書 12 篇の深い学び。読書を通して追求した人生論。巻末に「一麦文庫百選」。

新書判　160頁　本体649円　1982年
4-400-54201-7

人は何によって生きるか

〈新書 204〉

松永晋一著

永遠への思い、出会い、賜物、自己の発見、使命、聖書、信仰、愛、希望、教会生活という 10 のテーマを中心に探ね求める。『生きる道』の姉妹篇。

新書判　160頁　本体640円　1983年
978-4-400-54203-2　僅少

落第人生論

〈新書 206〉

宮島新也著

種々多様な人間が、神の恵みの下でのびのびと生きる聖書の世界と今日の競争社会を対置させつつ、落第生の世界をユーモアをもって描く。

新書判　176頁　本体718円　1983年
4-400-54206-8　僅少

人間の人間らしさ

〈新書 212〉

小原　信著

やさしさとしなやかさをもって人間世界を観る時、無意味感じられる現実が感動と奇蹟に満ちているかを、若者に語りかける新しい人生論。

新書判　176頁　本体720円　1984年
4-400-44212-8

平和を造り出す力

非暴力直接行動の現代的意義 〈新書 214〉

L. S. アプシー著　林　好人／石谷　行訳

権力の暴力に果敢に立ち向かった非暴力行動の事例を抵抗の歴史から掘り起こし、私たちが生活の中で実践していくことが可能であることを語る。

新書判　146頁　本体700円　1984年
4-400-54214-9

信仰のキリスト I

〈新書 127〉

W. バークレー著　大島良雄訳

人、神、ダビデの子、神の子、人の子、メシヤ、神の僕、よき羊飼いなイエスの称号を包括かつ綿密に考察する救い主の本質。

新書判　320頁　本体1300円)2007年
978-4-400-14127-3

信仰のキリスト II

〈新書 128〉

W. バークレー著　大島良雄訳

I に引き続き、救い主、預言者、王、石、花婿、道・真理・命、など聖書に記されたイエスの 42 に及ぶ称号を考察することから解明する救い主の本質。

新書判　320頁　本体1300円　2007年
978-4-400-14128-0

大いなる時の始まり

〈新書 136〉

吉田満穂著

「大いなる喜びのおとずれ」(4 章)にはじまり、「生けるイエスに会う」(28 章)で終わるマタイ福音書の使信に関する感動的な 21 篇の説教。

新書判　192頁　本体1000円　1967年
4-400-14136-5

キリスト教の歩み I

宗教改革の前夜まで 〈新書 142〉

ラトゥレット著　小黒　薫訳

アメリカのパプテスト教会牧師でありアメリカ歴史学会会長を歴任した著者が、豊富な材料を駆使した公平な記述で述べる分かり易い歴史案内書。

新書判　248頁　本体1300円　2007年
978-4-400-24142-3

キリスト教の歩み II

宗教改革から現代まで 〈新書 143〉

ラトゥレット著　小黒　薫訳

近代から現代まで、宗教改革とその影響、海外伝道とくに東洋伝道について述べ、同時にキリスト教の将来あるべき方向を示唆する。

新書判　232頁　本体1300円)2007年
978-4-400-24143-0

祈　り

〈新書 162〉

K. バルト著　川名　勇訳

周到な配慮のもとに用意された神学者バルトの説教前後の祈り 50 篇。神に向かって注ぎ出されるひとりのキリスト者バルトの魂の告白。

新書判　160頁　本体1000円　1963年
978-4-400-54162-2

<p>一人の人間に</p> <p>〈新書 235〉</p> <p>塩野和夫著</p> <p>福音によって、一人の人間となる力を得、弱い人・悲しむ人・苦しめる人と共に生きる姿勢を、ユーモアを交え証して訴えるエッセー・小説教集。</p> <p>新書判 160頁 本体777円 1991年 4-400-54235-1</p>

<p>大バビロンが倒れた</p> <p>〈新書 236〉</p> <p>森野善右衛門著</p> <p>元東北学院大学教授である著者が、東北学院チャペルあるいは近隣の教会の講壇で語った説教 23篇。「いのちの夜明け」「新しい人を着る」他。</p> <p>新書判 226頁 本体971円 1992年 4-400-54236-X</p>
--

<p>もし愛がなければ</p> <p>〈新書 239〉</p> <p>吉武 誠著</p> <p>苛酷な戦争体験、戦後の精神的遍歴、召命体験の中から救いの喜びに溢れて証しする伝道説教 7篇。身近な語り口で、神の愛の豊かさが伝わる。</p> <p>新書判 160頁 本体900円 1993年 4-400-54239-4</p>
--

<p>ウェストミンスター信仰基準</p> <p>〈新書 240〉</p> <p>日本基督教改革派教会大会出版委員会訳</p> <p>健全な聖書信仰、厳肅な神中心主義、質実なキリスト教倫理を体現し、今も生きた信仰的指針でありつづける優れた信仰規準。</p> <p>新書判 336頁 本体1800円 1994年 4-400-54240-8</p>
--

<p>高校生と学ぶ十戒</p> <p>〈新書 243〉</p> <p>武 祐一郎著</p> <p>福音を理解するための土台として、また現代世界に生きる青年たちの倫理の土台として、十戒の学びが不可欠との信念から十戒を講義した記録。</p> <p>新書判 256頁 本体1300円 1995年 4-400-54243-2</p>

<p>使徒信条講解</p> <p>〈新書 244〉</p> <p>C. E. B. クランフィールド著 関川泰寛訳</p> <p>イギリス改革派教会の神学者が、求道者会や成人クラスを指導する牧師のために執筆した、特色あるコンパクトな「使徒信条」講解。</p> <p>新書判 133頁 本体1000円 1995年 978-4-400-54244-5</p>
--

<p>〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック</p> <p>〈新コ〉＝新教コインノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス</p>

<p>キリスト信仰と服従の道</p> <p>ヤコブの手紙講解 〈新書 246〉</p> <p>中川晶輝著</p> <p>戦中・戦後、キリスト教の平和問題に取り組み、医師の立場から老人福祉に関わって苦闘してきた著者の信仰と経験がヤコブ書を読み説く。</p> <p>新書判 140頁 本体900円 1996年 4-400-54256-4 僅少</p>
--

<p>新しいライフスタイル</p> <p>開かれた教会を求めて 〈新書 248〉</p> <p>J. モルトマン著 蓮見幸恵訳</p> <p>モルトマンが一般信徒向けに、新しい教会と人間の生き方を語った講演 7篇を収録。生きる希望と宣教の壁を克服するイエスのいのちを提示。</p> <p>新書判 176頁 本体1100円 1996年 4-400-54258-0</p>

<p>高校生と学ぶ山上の説教</p> <p>〈新書 249〉</p> <p>武 祐一郎著</p> <p>山上の説教を通して示されたイエスの生きざまの中に、生きる人間の道を学び、不安と息苦しさを覚える若者に、福音が与える喜びを告げ知らせる。</p> <p>新書判 328頁 本体1800円 1996年 4-400-54259-9</p>
--

<p>子育てを見直す</p> <p>スポック、ギノット、シェリルに学ぶ 〈新書 250〉</p> <p>安達寿孝著</p> <p>スポック、ギノットならびにキリスト教教育学のシェリルの三人の、主要著作をしつげを視点にずえて見直した内容豊かな書。</p> <p>新書判 160頁 本体1200円 1996年 4-400-74250-4</p>

<p>聖書の手引き</p> <p>〈新書 251〉</p> <p>G. ハークネス著 熊沢義宣訳</p> <p>新自由主義の立場から語られた旧新約聖書入門。背景、構造、成立事情、等、聖書の全貌が簡潔に解明。新共同訳聖書をテキストに改訳新版。</p> <p>新書判 192頁 本体1000円 1997年 4-400-14251-5</p>

<p>ハイデルベルク信仰問答</p> <p>〈新書 252〉</p> <p>吉田 隆訳</p> <p>宗教改革の信仰を最も豊かに告白し、読み継がれている『ハイデルベルク信仰問答』の新しい翻訳。読みやすさに徹し、レイアウトに工夫をこらす。</p> <p>新書判 148頁 本体900円 1997年 978-4-400-54252-0</p>
--

<p>御言葉はわたしの道の光</p> <p>ローズンゲン物語 〈新書 253〉</p> <p>宮田光雄著</p> <p>全世界で二百万に及ぶ愛読者を持つといわれる『日々々の聖句』(ローズンゲン)。その成立の由来や聖句の選ばれ方など、興味尽きない精神史。</p> <p>新書判 160頁 本体1000円 1998年 4-400-54253-X</p>

<p>問う私、問われている私</p> <p>〈新書 254〉</p> <p>塩野和夫著</p> <p>人間としてこの時代に生きる道を、自分の歩んできた道を誠実に見つめることから見出そうとして、その苦闘を若者に訴える教師・牧師の証言。</p> <p>新書判 144頁 本体949円 1999年 4-400-54254-8</p>
--

<p>み足の跡をしたい</p> <p>キング牧師における信仰のかたち 〈新書 261〉</p> <p>梶原 寿著</p> <p>公民権運動から反戦運動に突き進んで凶弾に倒れたキング牧師の鮮やかな足跡から、現代に生きるキリスト教信仰のかたちを見出そうとする試み。</p> <p>新書判 180頁 本体1200円 2000年 4-400-54261-0</p>

<p>教会と同性愛</p> <p>互いの違いと向き合いながら 〈新書 263〉</p> <p>A. プラット著 岸本和世訳</p> <p>同性愛への早急な断罪を退け、同性愛批判の聖書テキストを丁寧に吟味し、人間の性の真摯に考察の上、教会の中の真実な対話と対応を勧める。</p> <p>新書判 140頁 本体1000円 2001年 4-400-44263-2</p>

<p>いのちの継承</p> <p>〈新書 264〉</p> <p>小原 信著</p> <p>ひとつのいのちが終わり、また新しいいのちが受け継がれていく。そのプロセスに関わった著者の出会いと別れを反映した 21 編の講演とエッセイ。</p> <p>新書判 176頁 本体1000円 2001年 4-400-44264-0</p>
--

<p>若者と学ぶフィリピ書</p> <p>〈新書 265〉</p> <p>武 祐一郎著</p> <p>著者が基督教独立学園高校の校長時代に行った 20 講に及ぶ懇切な解説。身近な例話をふんだんに用いて、パウロの福音を若者たちの心に届ける。</p> <p>新書判 304頁 本体1500円 2002年 4-400-14265-5</p>
--

<p>新教新書</p> <p>フェミニスト視点による聖書読解入門</p> <p>〈新書 266〉</p> <p>P.トリプル著 細川久子/森 真弓/湯浅裕子/河野信子訳</p> <p>ジェンダー批判の視点に立ったテキスト分析の具体的な方法を実例に即して平易に解説。父権制の流れに抗する声なき声を掘り起こす試み。</p> <p>新書判 128頁 本体1000円 2002年 4-400-14266-3 僅少</p>
--

<p>われは教会を信ず</p> <p>エフェソの信徒への手紙に学ぶ 〈新書 267〉</p> <p>佐藤司郎著</p> <p>エフェソ書の語る「キリストのからだ」なる教会の意味を掘り下げ、今日の教会の務めや信徒の倫理を平易な言葉で解き明かした講解説教。</p> <p>新書判 162頁 本体1400円 2011年 978-4-400-11828-2</p>

<p>「十字架の神学」をめぐる</p> <p>講演集 〈新書 268〉</p> <p>青野太潮著</p> <p>イエスの十字架をどうとらえるのか。聖書の緻密な読みから、十字架と贖罪論の間に「楔を打ち込む」大胆な問題提起を含む 4 つの講演を収録。</p> <p>新書判 282頁 本体1700円 2011年 978-4-400-12103-9 僅少</p>

<p>バルト自伝</p> <p>新教新書 279</p> <p>K. バルト著 佐藤敏夫編訳</p> <p>雑誌の要望に応じて 10 年ごとに綴った 3 編の文章。42 歳から 72 歳までの 30 年間をカバーする興味尽きない自伝。訳者による詳細な解説付き。</p> <p>新書判 139頁 本体1200円 2018年 978-4-400-34050-8</p>

<p>キリスト教概説</p> <p>熊野義孝著</p> <p>近代日本、とくに明治初期における「プロテスタント」教会の形成と発展のあとを、社会科学と福音の接点から解明しようとしたユニークな教会史。</p> <p>新書版 157頁 本体1000円 1997年 4-400-54063-4</p>

<p>近代日本の形成とキリスト教</p> <p>隅谷三喜男著</p> <p>近代日本、とくに明治初期における「プロテスタント」教会の形成と発展のあとを、社会科学と福音の接点から解明しようとしたユニークな教会史。</p> <p>新書版 142頁 本体1000円 2008年 978-4-400-24027-1</p>
--

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コインノーニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

こども・青年

もうひとりのはかせ

ヴァン・ダイク原作 中井俊巳文 おむらりこ絵
「四人目の博士」「アルタパンの物語」として知られるヴァン・ダイクの傑作を、幼児でもわかる言葉と美しい挿絵で待望の絵本化。
A4判変型 32頁 本体1400円 2018年
978-4-400-75006-2

イースター・ブック

改革者の言葉と木版画で読むキリストの生涯
M. ルター著 R. ベイントン編 中村妙子訳
宗教改革史研究の碩学であるローランド・ベイントン教授が、福音書に関するルターの説教から新たな視点によって抜粋・編集したユニークな書。
B5判変型 130頁 本体1800円 1983年
978-4-400-52782-4

クリスマス・ブック

M. ルター著 R. ベイントン編 中村妙子訳
ベイントン教授が、キリストの降誕を語ったルターの説教から7編を精選。ルターが作詞したクリスマス讃美歌2編を付す。
B5判変型 130頁 本体1700円 1983年
978-4-400-52783-1

せいなるよのたからもの

クドウあや 絵と文 玉井邦夫 解説
「出生前診断」で障害を告知された両親の苦悩、そして産む決断、共に生きる喜びを描く。いのちの意味と尊厳を考える異色のクリスマス絵本。
A4判変型 38頁 本体1300円 2013年
978-4-400-75005-5

キリガイ

ICU 高校生のキリスト教概論名 (迷) 言集
有馬平吉編著
成績をつけない「丸腰」教師アリマンとの対話から飛び出した高校生たちの期末試験名 (迷) 回答集。瑞々しいことばの数々が感動と笑いを誘う。
A5判 240頁 本体1400円 2012年
978-4-400-52722-0

ミシュカ

コルモン文 ロジャンコフスキー絵 みつじまちこ訳
貧しい病気の男の子のために自分をクリスマス・プレゼントにささげた、ぬいぐるみのクマのお話です。パール・カストール叢書の古典的傑作。
A4変判 32頁 本体1300円 2012年
978-4-400-75004-8

しあわせなろば

藤本四郎作・絵
ろばの子ラビンはお母さんから聞いた救い主に早く会いたいと思いました。ろばを探しに来た男の人と一緒に旅に出たラビンが出会ったのは……。
B5判 30頁 本体1200円 2011年
978-4-400-75003-1

ちいさなものいのり

ファージョン文 オートン・ジョーンズ絵 島 多代訳
かわいらしい祈りに託して、小さきものの命の尊さと、すべての被造物を生かしてくださる神への信頼を謳う。原文も付いたバイリンガル絵本。
B5判 24頁 本体1200円 2010年
978-4-400-75001-7

ぼくのらいおん

字のない絵本シリーズ
マンダナ・サグト作
フランスで好評の字のない絵本シリーズが日本に初上陸。その第一弾、らいおんとおとこのこの友情の物語。躍動感溢れる絵と切なくも深い展開。
150x260 24頁 本体940円 2010年
978-4-400-75100-7

ひとりぼっちのちいさなエルフ

H. タイナ絵 I. カルヴォネン文 つのぶえだん訳
北欧フィンランドの人気画家が描いたクリスマス絵本。悩んで工夫して、ついにお客さんと一緒に喜びを分かち合うことに成功したエルフ！
A4変 25頁 本体1400円 2009年
978-4-400-75000-0

美しい少年・ナザレのイエス

西阪 盾作 渡辺禎雄画
ローマ帝国の圧制のもと神の平和に思いを巡らす少年イエスを、福音書の記述をもとに豊かな想像力を駆使して描く。カラー型染版画4葉。
B5変型判 104頁 本体1900円)1982年
4-400-73752-7

子どもたちへの手紙

C. S. ルイス著 中村妙子訳
ルイスのもとには世界中から『ナルニア国物語』の質問が寄せられていた。ルイスが死の直前まで書き続けた返事から99通を厳選。
46判 199頁 本体2200円 1986年
4-400-62353-X

神さまのこどもたちへ 2

こどもと共に聞く日曜の福音 B年
松浦 謙著
カトリック教会の典礼暦（B年）に沿って主日礼拝に読まれる福音書を、分かりやすく解説。1年57回分のこども向け説教案を併載、典礼解説付き。
46判 247頁 本体1700円 2002年
978-4-400-52737-4

神さまのこどもたちへ 3

こどもと共にきく日曜の福音 C年
松浦 謙著
カトリック教会典礼暦に沿って福音箇所（ルカ福音書中心）と主題句を説明。こども向け説教教案を紹介、教派を問わずCSの教材として最適。
46判 288頁 本体1800円 2003年
4-400-52751-4

いのちの時間

いのちの大切をわかちあうために
B. メロニー著 M. イングベン絵 藤井あけみ訳
動植物を通して、いのちの「始まり」と「終わり」、そしてこの二つに挟まれた「生きる時間」について語った生命の神秘の絵本。
A5変判 40頁 本体1500円 1998年
4-400-42036-1

ねことふしぎなぶどう酒

いえすさまと小さな動物たち2
N. バターワース著 M. インクベン作画
好評シリーズその2。カナの婚宴の様子を屋根の上から眺めていた好奇心旺盛な猫。猫の目が見たイエス様の奇跡の真実とは？
A5変判 32頁 本体921円 1989年
4-400-60808-5

こども・青年

森のサンタクローズ

E. シュミット作画 中村妙子訳
いつも冬眠中で、まだサンタのおじさんに会ったことのないヤマネのグリスは、今年のクリスマスこそは起きてみようという決心をする……。
B5変型 32頁 本体1200円 1990年
4-400-60809-3

マリア

〈聖書に見る女性たち〉
M. アレックス著 R. イムホフ画 友枝久美子訳
デンマークの絵本「聖書に見る女性たち」シリーズの第1冊。受胎告知から宮詣でまでの物語が、現代フランス童画界の第一人者の筆によって展開。
A4変型 32頁 本体1200円 1988年
4-400-60802-6

ルツ

〈聖書に見る女性たち〉
M. アレックス著 A. ルアーノ画 矢田由香子訳
「聖書の見る女性たち」シリーズの第2冊。すべての人に愛され敬慕されるルツの物語を、現代スペイン画壇の巨匠が叙情的に描き出す。
A4変型 32頁 本体1200円 1988年
4-400-60803-4 僅少

もみの木

アンデルセン著 N.E. バーカート絵 中村妙子訳
中村妙子の名訳を、現代アール・デコの旗手バーカートの写実性可憐な挿絵で彩る、深い余韻が残るクリスマスの物語。大人から子どもまで。
A5変 48頁 本体1500円 1984年
4-400-62336-X

【つのぶえ文庫】

暗い森を抜けて

神曲ものがたり 〈つのぶえ文庫〉
ダンテ著 住谷 真文
14世紀初頭のイタリアが生んだ宗教学の傑作。魂の旅路を壮大な叙事詩に描いた大古典を年少者向けに分かりやすく再話。
小B6 184頁 本体1300円 2015年
978-4-400-77003-9

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コインノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

お父さんの手紙

（つのぶえ文庫）

I. ディーシェ 著 赤坂桃子 訳

ベルリンのお父さんから毎週届く手紙。でもそこには秘密が。困難な時代を生きたユダヤ人少年と父と祖父の物語。ドイツ児童文学賞受賞。

小B6判 126頁 本体1000円 2014年
978-4-400-77002-2

危険な旅

天路歷程ものがたり

（つのぶえ文庫）

J. バニヤン 著 中村妙子 訳

17世紀のビューリタンが生んだ宗教学の傑作をわかりやすくダイジェスト。真の救いを求めるクリスチャンの旅を中村妙子先生の名訳で贈る。

小B6判 114頁 本体1000円 2013年
978-4-400-77001-5

旧約聖書物語

II. ニーバー 著 中村妙子 訳

イスラエルの民に臨んだ神の摂理：天地創造、律法、約束の地、王国の盛衰、メシアの待望等、旧約聖書の物語を巧みな構想で中学生に語る。

B6判 172頁 本体660円
1960年 4-400-73708-X

私たちのキリスト

中・高校生のマルコ福音書研究

蓮見和男 著

中学生のために・マルコによる福音書を、忠実に章節を追いながら克明にわかりやすく講解し、イエスの生涯とその福音を鮮明に伝える。

B6判 170頁 本体800円
1981年 978-4-400-73711-7

私たちの信仰告白

K. シェンケル 他 著 蓮見和男／蓮見幸恵 訳

スイス改革派教会が若い世代のために編んだテキスト。第1部はハイデルベルク信仰問答を骨格とした問答形式、第2部は信仰と生活を考える。

B6判 120頁 本体900円)
1983年 4-400-73724-1

私たちの『創世記』

今橋 朗 著

中・高生のために「創世記」全体（天地創造からヤコブの死まで）をくわしく興味深く講解しながら、人間を救いへと導く神の摂理について説明。

B6判 140頁 本体680円
1967年 978-4-400-73715-5 僅少



教科書

ヤバいぜ！聖書

あなたに贈る 40のメッセージ

明治学院テキスト作成委員会編

旧約聖書と新約聖書から20ずつ、計40のテキストをとりあげて解説、私たちの生き方を考える。中学から大学まで使われることを想定。

B5判 96頁 本体1000円 2019年
978-4-400-51762-7

希望する力

生き方を問う聖書

佐原光児 著

虚無や諦めを乗り越えさせるのが希望だ。だが希望する力は鍛える必要がある。そのために手がかりとなる聖書への道案内をする。

A5判 156頁 本体1300円 2019年
978-4-400-51760-3

新たな約束

新約聖書に学ぶ神の招き

後藤田典子 著

中学3年生を想定した教科書。長年の金城学院中学での授業を踏まえ、知識の教授に留まらず新たな価値観に基づく生き方を共に考える。

A5判 136頁 本体900円 2019年
978-4-400-51761-0

13歳にもわかるキリスト教

キリスト教スタディーブック・シリーズ4

美濃部信 著

初めて聖書とキリスト教に接する中学生のために若手教師が書き下ろした待望のオール・イン・ワンの総合的なキリスト教入門。オールカラー。

A5判 100頁 本体900円 2016年
978-4-400-51759-7

GOOD NEWS 新約聖書編

キリスト教スタディーブックシリーズ1

関西学院大学神学部監修 福島 旭 著

初めて聖書に接する中学生に向けて作られたワークブック。中学で教鞭をとる筆者の工夫満載の内容で自然に聖書に興味がわき知識が身につく。

B5判 140頁 本体970円 2008年
978-4-400-51751-1

EXODUS (エクスダス) 旧約聖書

キリスト教スタディーブックシリーズ2

福島 旭 著

初めて旧約聖書に向き合う中高生に、興味を持続しながら読み進めてもらう工夫が満載。知識偏重ではなく、考えながら自主的に学ぶ姿勢を応援。

B5判 160頁 本体1120円 2009年
978-4-400-51752-8

BibleChallenge(バイブルチャレンジ) 1

キリスト教スタディーブックシリーズ3

田邊哲朗 著

聖書の素晴らしさに出会う前に、読むことをあきらめてしまう学生が多いことから、まずは代表的な聖書の箇所を知り、親しむことを勧める。

A5判 72頁 本体660円 2009年 978-4-400-51754-2

エレメンツ

新約聖書ギリシャ語教本 増補改訂版

J. ダフ 著 浅野淳博 訳

オクスフォード、ケンブリッジ大学新入生必須のギリシャ語翻訳試験のための教本。徹底的に合理化された内容と丁寧な手ほどきで入門者に最適。

B5判 260頁 本体4000円 2016年
978-4-400-11027-9 僅少

生きるってなんだ 1

新約聖書に学ぶ

澄田 新 著

生きることに疲れ、悩んでいる現代の高校生と共に現場で悩みながら歩んできた著者の聖書入門。「イエスってどんな人」「自然の人イエス」他。

A5判 116頁 本体800円
1997年 978-4-400-51732-0

生きるってなんだ 2

旧約聖書に学ぶ

磯貝曉成 著

旧約に登場する人物たちのストーリーから、人間とは何者か、自立や真の豊かさとは何を意味するかを考える。

A5判 116頁 本体800円
1997年 978-4-400-51733-7

生きるってなんだ 3

総合的に学ぶ

澄田 新／磯貝曉成 著

総合的学習の時間に応じる新タイプの聖書科教科書。「人間関係」「福祉活動」「自然環境」「現代医療」「情報社会」「21世紀」の6テーマ。

A5判 110頁 本体800円
2002年 978-4-400-51736-8

こども・青年

聖書と人間 1

イエスに学ぶ人間像

原 栄作 著

「イエスのたとえ話」「イエスの生と死」「イエスに出会った人々」の3部構成。イエスを学び、現代における探究。

A5判 120頁 本体800円
1974年 978-4-400-51712-2

聖書と人間 2

旧約に学ぶ人間像

原 栄作 著

「創世記と人間」「出エジプト記とモーセ」「旧約の人々」の3部に分け、聖書的人間観を解明、現代青年との対話を通し考察。

A5判 132頁 本体800円
1975年 978-4-400-51713-9

聖書と人間 3

現代に生きる人間像

原 栄作 著

真実と自由と連帯を求め、激変の現代を生きる十代の青年におけるキリスト教倫理入門。巻末に日本近代キリスト教人物史を付す。

A5判 112頁 本体700円
1977年 978-4-400-51714-6

新版ジュニアのための聖書入門

後藤田典子 著

「ほんとうに中学生に読んでもらえる教科書」をめざし、中学校の現役教師が書き下ろした意欲作。CSの教材としても最適。

A5判 100頁 本体800円
2011年 978-4-400-51757-3

イエスをたずねて

陶山義雄 著

多様性、世俗化の時代に、現代人にとってイエスとは誰であるかを青年たちと共に考える。イエスの探求と生き方の密接な関わりを語る。

A5判 112頁 本体620円
1975年 4-400-51715-2

イエスに出会った一人

久保田純一 著

「大切な一人」「共に生きた一人」シリーズの第3冊目。イエスと出会い、その福音をのべ伝えたパウロ、ペテロ、マリアなどの生き様を描く。

A5判 102頁 本体749円
1995年 4-400-51731-4

神学思想

〈植村正久著作集 4〉
〈オンデマンド・ブック〉

日本神学史上の開拓的な働きの中から、代表作『真理一斑』ほか、新神学問題、キリスト論論争などをめぐる論考を収録。解説熊野義孝。

46判 526頁 本体4600円 (66年)
2005年 4-400-34267-0

信仰と生活

〈植村正久著作集 5〉
〈オンデマンド・ブック〉

キリスト教入門書『福音道しるべ』など、福音の教会主義に立って日本人の生活に密着した信仰を説こうと試みた宣教的文書類。解説大内三郎。

46判 520頁 本体4600円 (66年)
2005年 4-400-34268-9

教会と伝道

〈植村正久著作集 6〉
〈オンデマンド・ブック〉

「日本伝道論」をはじめとして、教会の自立、内外協力、教会教育などを論じる。今回「教会の合同」を全文収録した。解説大内三郎・土肥昭夫。

46判 528頁 本体4600円 (67年)
2005年 4-400-34269-7

説教

〈植村正久著作集 7〉
〈オンデマンド・ブック〉

雄弁から遠い訥々たる口調ながら、徹頭徹尾福音を語り、会衆の魂を激しく揺さぶった植村の説教。霊的迫力にあふれた 63 編を収録。解説山谷省吾。

46判 526頁 本体4600円 (67年)
2005年 4-400-34270-0

【高倉徳太郎著作集】

形成期の高倉神学

〈高倉徳太郎著作集 第1巻〉
〈オンデマンド・ブック〉

「キリストによれる価値の創造」「自我を徹して恩寵へ」等の神学小論文と、自伝的な「祝福せらるるまで」など、高倉神学の形成過程を辿る。

46判 405頁 本体4300円 (64年)
2005年 4-400-34271-9

個人著作集

＊カール・バルト著作集、ウェスレー著作集、トゥルナイゼン著作集は「**神学**」に、ブルトマン著作集、松木治三郎著作集、統・黒崎幸吉著作集、蛭沼寿雄著作選集は「**聖書学・聖書注解**」に掲載されています。

【植村正久著作集】

時代思潮

〈植村正久著作集 1〉
〈オンデマンド・ブック〉

多岐にわたる植村の論説を日本とキリスト教、人生論、国家と倫理、キリスト教と社会、武士道論などの項目のもと全 56 編を収録。解説石原謙。

46判 471頁 本体4600円 (66年)
2005年 4-400-34264-6

時事評論

〈植村正久著作集 2〉
〈オンデマンド・ブック〉

日本の近代化の激動の中で預言者的洞察をもって発表された、内外の政治、教育、ジャーナリズム、宗教などに関する論評 120 編。解説大内三郎。

46判 468頁 本体4600円 (66年)
2005年 4-400-34265-4

文学

〈植村正久著作集 3〉
〈オンデマンド・ブック〉

文学評論、翻訳など、植村の優れた文学者としての一面を伝える 71 編。この多面的な巨人がいかにかに詩的精神に富んでいたかを示す。解説斉藤勇。

46判 490頁 本体4600円 (66年)
2005年 4-400-34266-2

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
〈新コ〉＝新教コイノーニア、〈新ア〉＝新教ブックス

大切な一人

キリスト教学校で聖書を学ぶ
久保田純一著

キリスト教学校に学ぶ人のために、キリスト教学校の歴史と建学精神、礼拝の意味、聖書の知識、イエスの生涯と教会の歴史をわかりやすく説明。

A5判 80頁 本体660円
1989年 978-4-400-51728-3

地球のみんなと生きる

富坂キリスト教センター編

経済的正義、民族差別、チェルノブイリの子供たちなど、具体的な事例を通して中学校、高校、教会教育の現場で環境問題やいのちの問題を考える。

小B6判 72頁 本体800円
1998年 978-4-400-52444-1

共に生きた一人

キリスト教学校で旧約聖書を学ぶ
久保田純一著

『大切な一人』の続篇。旧約聖書のすべてを1年間で学び・そこから共同体の一員としての人間の在り方を考えていくために。写真、地図多数。

A5判 102頁 本体800円
1991年 4-400-51729-2

パウロの出発

佐伯晴郎著

どのようにしてパウロは、キリスト教徒を迫害する中でイエスと出会うことになったか。使徒行伝、パウロの手紙を学ぶ。

A5判 120頁 本体780円
1985年 4-400-51724-1

豊かな生命を求めて

原谷 勉著

高校聖書教科教師として自らの「生」を見失う生徒たちの現実直面し、それへの真摯な対応の経験をふまえて執筆した教倫理の教科書・資料集。

A5判 106頁 本体740円
1986年 978-4-400-51725-2

約束の大地へ

聖書地図帖・旧約聖書 1

野呂幸子著

工夫された地図を用い、神の創造と神の約束、イスラエルの民の解放の出来事など、全人類と共にいたもう神について学ぶ。聖書ワークブック。

B5判 48頁 本体750円
1992年 978-4-400-51730-6

イエスの道を行く

聖書地図帖・新約聖書 1
木村栄寿著

イエスの時代のパレスチナの宗教と政治、風土、産業を概説。共観福音書に即してイエスの歩んだ道を、カラー地図・白地図に書き込みながら学ぶ。

B5判 28頁 本体416円
1986年 4-400-41727-1

生き方を「考える」トレーニング

土井かおる著

宗教嫌いの若者に贈る聖書から入る人生論。「自己」「関係」「愛」「待つこと」「喜び」といったテーマを考える。各章末にトレーニング問題付。

A5判 68頁 本体849円
2004年 4-400-51738-1

いのちへの道

キリストのかたちなるまで

村上 伸著

生命の畏敬、愛と性、平和等の問題を、シュヴァイツァー、バルト、ボンヘッファーの信仰と思想を引用、青年のために解りやすく語る。

A5判 100頁 本体700円
1984年 978-4-400-51723-8

キリスト教の歴史 増補新版

斎藤正彦著

使徒たちの時代から、宗教改革をへて、現代の教会一致の胎動を見るに至るキリスト教 2000 年の歴史を簡潔にまとめた教会史入門。図版多数。

A5判 150頁 本体760円
2011年 978-4-400-21705-3

キリストへのかぎりなき出発

佐伯晴郎著

イエス以前、イエスの時代、イエス以後の3部に分け、高校生・短大生・求道者に、1年間で旧新約聖書の骨子を語る。

A5判 120頁 本体620円
1983年 4-400-51722-5

現代に生きる人間

神・世界・人

森野善右衛門著

現代に生きる青少年に、真実の人間として生きる道を指し示す、斬新なキリスト教倫理入門。創世記を中心に、自然環境の保全等も考察。

A5判 130頁 本体880円
1988年 4-400-51726-8

〈オ〉＝オンデマンド・ブック、〈新セ〉＝新教セミナーブック
 〈新コ〉＝新教コイノニア、〈新ブ〉＝新教ブックス

確立期の高倉神学

〈高倉徳太郎著作集 第2巻〉
 〈オンデマンド・ブック〉

代表作「福音的キリスト教」ほか「恩寵と真実」「福音的教会観」など、高倉が日本の教会の革新を祈りつつ書いた大小の論考を収録する。

46判 482頁 本体4300円 (64年)
 2005年 4-400-34272-7

聖書の宗教：人と思想

〈高倉徳太郎著作集 第3巻〉
 〈オンデマンド・ブック〉

「ヨブ記の宗教」「イザヤの信仰」「イエスの教訓における救拯思想」「ルターの根本思想」ほか植村正久論など、聖書と先達に学んだ軌跡。

46判 438頁 本体4300円 (64年)
 2005年 4-400-34273-5

説教

〈高倉徳太郎著作集 第4巻〉
 〈オンデマンド・ブック〉

「恩寵と生命」「祈祷の人イエス」「霊魂の目醒め」「キリスト者の祝福」など、日本の教会に遺された記念碑的遺産として聳える47編の説教。

46判 456頁 本体4300円 (64年)
 2005年 4-400-34274-3

聖書講義・ロマ書

〈高倉徳太郎著作集 第5巻〉
 〈オンデマンド・ブック〉

1924-26年および28-30年の2度にわたって東京神学社で行ったロマ書講義をすべて収録。神の主権、義認と聖化に関する高倉の信仰の精髓。

46判 494頁 本体4300円 (64年)
 2005年 4-400-34275-1

【鈴木正久著作集】

1938～1951年

〈鈴木正久著作 1〉

キリストの良き証人として、日本の教会の指導者として敬愛された元日本キリスト教団総会議長鈴木正久牧師の初期の説教・随想・論説を網羅。

46判 520頁 本体2800円 1980年
 4-400-50040-3 僅少

1952～1960年

〈鈴木正久著作 2〉

1950年代、牧師であることの光栄ある使命に生き、日本における自立的・主体的な教会の課題を徹底的に追求する中から生まれた発言。

46判 480頁 本体2800円 1980年
 4-400-50041-3 僅少

1961～1969年

〈鈴木正久著作 3〉

1960年代教会と歴史の必然にうながされて、日本キリスト教団を中心とする日本の教会の状況の前面に躍り出る。祈り、告白、主張、議論の足跡。

46判 456頁 本体2800円 1980年
 4-400-50042-X 僅少

【熊野義孝全集】

聖書講解下

〈熊野義孝全集 2〉

「ガラテヤ書研究」他、パウロの手紙と関連文書の講解を収録。建徳のかつ堅牢な注解の基礎作業の上に、パウロの福音的な使信の全貌を解明。

A5判 560頁 本体5000円 1978年
 4-400-10026-X

教会と文化

〈熊野義孝全集 9〉

「キリスト教倫理入門」「キリスト教の特異性」等の単行本の他、ヒューマニズムと文化、宗教を考察した広い視野からなる神学的文化論を収録。

A5判 506頁 本体5500円 1981年
 4-400-10026-X

別巻 I 神学論

1. 聖書関係論文、2. 神学論考(「歴史主義の問題」「弁証法的神学における神学的諸問題」等20篇)、3. 人と神学(ルター、カルヴァン、バルト)。

A5判 490頁 本体4800円 1984年
 4-400-30037-4

別巻 II 信仰論

1. 説教(12篇)、2. 教会生活と伝道(14篇)、3. 自著、読書について(15篇)、4. 基督に生きる人々(10篇)、5. 人物(9篇)からなる人間味溢れる内容。

A5判 392頁 本体4800円 1984年
 4-400-30038-2

【岡村民子著作集】

岡村民子著作集 1

〈成 錫憲著作集 1〉

小杉尅次訳

聖書学者渡辺善太が体系化した聖書正典論を継承展開。「信仰の甘えの暴露」(78年)と「証言者の主体をして賭けさせる歴史の主」(2000年)。

46判 393頁 本体4000円 2001年
 4-400-10064-2

岡村民子著作集 2

〈成 錫憲著作集 4〉

森山浩二訳

カトリックとプロテスタントの相違を解明する「聖典としての聖書」、特殊啓示の問題を追求する「聖書各巻のかけがえのなさ」を収録。

46判 450頁 本体4000円 2001年
 4-400-10065-0

岡村民子著作集 3

〈成 錫憲著作集 8〉

高崎宗司監訳

正典の形態的解釈原論の試みである「聖書解釈試論」、聖書正典における配列順序における一貫的理解を目指す「聖書を貫く救拯史観」を収録。

46判 410頁 本体4000円 2001年
 4-400-10066-9

岡村民子著作集 4

〈成 錫憲著作集 9〉

仁科健一訳

「旧約聖書概論」(52年)、「聖書における人間の主体性」(69年)を収録。創造主の神言的規範性に対する主体の触発を論じる。

46判 500頁 本体4000円 2001年
 4-400-10067-7

個人著作集

岡村民子著作集 5

〈成 錫憲著作集 5〉

小杉尅次訳

「対話の場としての正典」(71年)、「聖書的文脈においてのひびきあい」(92年)および「聖書66巻の文脈的模索」(書き下ろし)を収録。

46判 400頁 本体4000円 2002年
 4-400-10068-5

【成 錫憲著作集】

死ぬまでこの歩みで

〈成錫憲著作集 1〉

小杉尅次訳

3・1 運動への参与、関東大震災下の死との直面、戦時下共産主義体制下での苦難、民主化闘争体験と、その生涯が生き生きと平明に語られる。

46判 444頁 本体3106円 1991年
 4-400-52601-1

新しい時代の宗教

〈成錫憲著作集 4〉

森山浩二訳

安心立命の源としての宗教ではなく、時代に対して良心の声をあげうる宗教こそが、新しい時代の宗教たりうる。韓国の預言者の透徹した宗教論。

46判 320頁 本体3800円 1994年
 4-400-52605-4

シアル革命の夢

〈成錫憲著作集 8〉

高崎宗司監訳

北に生まれ、共産主義の弾圧を受け韓国に逃げざるをえなかった著者。南北の平和統一はその生涯の夢、課題であった。南北平和統一論の集大成。

46判 274頁 本体3106円 1992年
 4-400-52603-8

考える民でこそ生きられる

〈成錫憲著作集 9〉

仁科健一訳

政治体制・法体系・経済構造も、無限の可能性をばらむ民衆を中心にしてこそ意味を持つものとなる。草の根として主張する人間としての民衆論。

46判 260頁 本体2912円 1992年
 4-400-52602-X

書名索引

アメリカ南部バプテスト連盟と歴史の審判 100
 アメリカの戦争と宗教 52
 アメリカン・ボード宣教師文書 103
 アメリカンボードと同志社 103
 アモス書講義 62
 嵐の中の教会 121
 嵐を静めるキリスト 88
 新たな約束 126
 有島武郎研究 113
 ある平和主義者の回想 107
 荒野の旅に先立つ主 88
 アンセルムスの神学 16

イエスの死の意味 67
 イエスの十字架の意味 67
 イエスの生涯(水谷) 114
 イエスの生涯Ⅰ・Ⅱ(パークレ) 119
 イエスの生と死 上下 68,69
 イエスの宣教 68
 イエスの宣言 85
 イエスの譬え 68
 イエスのたとえ話 121
 イエスの譬え話1・2 68
 イエスのたとえ話の再発見 65
 イエスの弟子とは誰か 77
 イエスの働きと言葉 68
 イエスの福音 64
 イエスの復活とその福音 73
 イエスの復活の意味 67
 イエスの道につながって 85
 イエスの道を行く 128
 イエスをたずねて 127
 イエスを見つめながら 96
 生き生きと農業をするための勇氣 58
 生き方を「考える」トレーニング 128
 生きるってなんだ 1～3 127
 生ける主に従う 35
 イサクの神、ヤコブの神 84
 イザヤ書Ⅱ(DSB) 64
 石原吉郎 詩文学の核心 112
 石を取り除け 121
 イスカリオテのユダ 31
 遺跡が語る聖書の世界 2
 偉大なる奇跡 96
 痛みの問題 95
 いちばん大事にすべきことは何か 91
 一本の道 107
 井上良雄研究 105
 いのちといのちとの出会い 121
 いのちの泉 40
 いのちの歌 112
 いのちの糧の分かち合い 58,

い

イースター・ブック 124
 イェシュア 68
 イエス(クロッサン) 67
 イエス(ソン) 22
 イエス運動 66
 イエスが生きた世界 77
 イエス・キリストその教会 22
 イエス・キリストの生涯 81
 イエス・キリストの生涯の要約 81
 イエス・キリストの信仰 70
 イエス伝詩集・信仰詩集 113
 イエスという人の物語 81
 イエスと新約聖書の教会 79
 イエスとその目撃者たち 66
 イエスとの初めての再会 67
 イエスとパウロ イスラエルの子 67
 イエスとは誰か 67
 イエスと非暴力 50
 イエスについて何を知りうるか 78
 イエスに出会った一人 127
 イエス入門 65
 イエスの言葉と現代 85
 イエスの裁判 68
 イエスの実像と虚像 85

あ

愛する勇氣 87
 愛知のキリスト教 110
 アイデンティティーへの侵略 53
 愛と自由について 117
 愛と正義 20
 愛の勝利の輪 121
 愛のしるし 94
 アウグスティヌス 119
 アガペーとエロース1～3 15
 芥川龍之介の遺書 113
 悪の意味 25
 悪魔の手紙 95
 アジア・エキュメニカル運動史 108
 アジアの風に吹かれて 59
 アジアのキリスト教の展望 108
 アジアの地下水 58
 新しい言葉をもって 86
 新しい聖書の学び 72
 新しいライフスタイル 122
 新しく生きる道 53
 アナキズムとキリスト教 2
 あなたのガリラヤへ 81
 あなたの子どもは大人になれるか 56
 あなたの日曜日 92
 あなたはあなたでいい 85
 あなたはどう生きるか 92
 あなたはどんな修行をしたのですか? 51
 あなたはむさぼってはならない 62
 あなたはヨブと出会ったか 81
 あのお方は誰だったのですか 92
 アブラハムの神 84
 アブラハム物語を読む 61
 アメリカ教会の現実と使命 43
 アメリカ・キリスト教史 99
 アメリカ現代神学の航海図 18

〈オ〉=オンデマンド・ブック、〈新セ〉=新教セミナーブック
 〈新コ〉=新教コイノニア、〈新ア〉=新教ブックス

神に信じる

〈寺田博著作集『恩寵』5〉

聖書の原文を厳密に読んで、「神に信じる」としか表現できない〈聖書本来の信仰の独自性〉を旧新約聖書全体にわたって講解。草稿から再構成。

A5判 368頁 本体4000円 1988年
 4-400-10082-0 僅少

聖書学道

〈寺田博著作集『恩寵』6〉

50年にわたる聖書学道から生まれた「隠れたる現実と隠れたる現実人」,「聖書の1方向を見出す」等と『恩寵』誌から編集した「求道ノート」他

A5判 334頁 本体3000円 1989年
 4-400-10083-9

【宮本武之助著作集】

上巻

〈宮本武之助著作集〉

日本神学校、東京神学大学で宗教哲学を講じ、東京女子大学学長、フェリス女学院院長を歴任した著者のキリスト教倫理学、宗教哲学研究の集大成。

A5判 404頁 本体4853円 1992年
 4-400-10096-0 僅少

下巻

〈宮本武之助著作集〉

20世紀プロテスタント神学者の文化観を論じた労作「キリストと文化」、教育者としての多年の経験に基づく「学校教育とキリスト教」他、収録。

A5判 510頁 本体4853円 1992年
 4-400-10097-9 僅少

【福田正俊著作集】

神学論文集

〈福田正俊著作集2〉

高倉徳太郎、カール・バルト、宗教改革の神学を視座に教会形成に努めた著者の思索と祈りの結晶、その教会論の集大成。

46判 472頁 本体3882円 1994年
 4-400-50062-4

聖書研究・エッセイ集

〈福田正俊著作集3〉

名著「主の祈りーキリスト教の小さな学校」、「ピリビ書研究」の他、エレミヤ、ヨブの省察と小説教、その他エッセイ、バルト訪問記などを収録。

46判 480頁 本体3882円 1994年
 4-400-50063-2

【寺田博著作集『恩寵』】

イザヤ書

〈寺田博著作集『恩寵』3〉

飯田吾妻町教会牧師としてイザヤの精神を受け継ぎ、イザヤ書講解を語り続けて『恩寵』誌に発表した旧約預言者の発言。51篇を収録。

A5判 490頁 本体5500円 1989年
 4-400-10080-4 僅少

ローマ書

〈寺田博著作集『恩寵』4〉

信州飯田の恩寵学堂での毎月の講壇でロマ書を繰り返し講じた中から、ロマ書学道8章私訳と講解23篇、ロマ書講解1章～12章31篇他を収録。

A5判 458頁 本体5500円 1988年
 4-400-10081-2 僅少

72

いのちの神 42
 いのちの継承 123
 いのちの時間 125
 命の光の中を歩む 83
 いのちの水 80
 いのちの水は流れて 95
 いのちへの道 128
 祈り(長崎) 47
 祈り(バルト) 120
 祈りについて 91
 祈りの意味 91
 祈りの友召天記 I・II 95
 祈りの花束 90
 いばらに薔薇が咲き満ちる 23
 井深梶之助宛書簡集 104
 今、教会を考える 45
 今、なにをなすべきか 49
 今を生きる滝沢克己 18
 いやしから救いへ 55
 癒しと助けを求める祈り 89
 岩手靖国違憲訴訟戦いの記録 54
 インクルーシブ神学への道 44
 インドネシア教会の宣教と神学 41

う

ウィクリフ 26
 ウェストミンスター信仰基準 122
 ウェスレー著作集 40
 ウェスレーと聖化 41
 ウェスレーの聖霊の神学 41
 ヴェーバーとピューリタニズム 16
 ヴェーバーとフランクリン 2
 内なる生 18
 植村環著作集 2・3 93
 植村正久(京極) 119
 植村正久(佐藤) 104
 植村正久著作集 129
 植村正久論考 104
 内村鑑三と再臨運動 102
 内村鑑三不敬事件 106
 美しい少年・ナザレのイエス 125

え

永遠回帰の神話と終末論 22
 永遠の腕のもとに 95
 栄光の重み 96
 栄光のキリスト 69
 EXODUS(エクソダス)旧約聖書 127
 エクレシアの探求 45
 エズラ記・ネヘミヤ記・エステル記(DSB) 64
 エゼキエル書(DSB) 64
 エデンからゴルゴタまで 81
 江原萬里・祝 107
 エフェソ書を読む 80
 エマオへの旅 113
 エレミヤ書 61
 エレメンツ 127
 エレメンツ 新約聖書ギリシャ語教本 14

お

逢坂元吉郎 1
 王道 23
 大いなる招待 81
 大いなる時の始まり 120
 大儀元一郎とその時代 103
 岡村民子著作集 1～5 131
 起きよ、光を放て 94
 幼子の救い 23
 小塩力神学論集 23
 お父さんの手紙 126
 折られた花 102
 おりておいで! 59
 終りから始まる 87
 尾張名古屋のキリスト教 110
 終りの中に、始まりが 39
 恩寵と類比 35
 女の語る神・男の語る神 42

か

改革者の祈り 117
 改革神学の展望 27
 改革派カテキズム日本語訳研究 106
 改革派神学の光と影 27
 改革派説教ノート 46

戒規か対話か 43
 回想 黒崎幸吉・光子 107
 解放の歌 83
 解放の出来事 61
 解放への巡礼 88
 科学技術とキリスト教 57
 科学と知恵 39
 賀川豊彦 105
 影の国に別れを告げて 89
 賢い悪魔 92
 カッパドキア教父 98
 合本 世の光キリスト・世の命キリスト 86
 悲しみに寄り添う 44
 悲しみをみつめて 96
 カナダ合同教会の挑戦 55
 神が来られるなら 121
 神・キリスト・悪 40
 神さまのこどもたちへ 2・3 125
 神と人間との対話 96
 神とはいったい何ものか 19
 神と向き合って生きる 80
 神に異をとねえる者 90
 神認識と神奉仕 33
 神の言葉と契約 1
 神の言としてのコヘレト 62
 神の言葉の神学 35
 神の盛大なる晩餐会 88
 神の恵みの水路 1
 神の和の神学に向けて 18
 神の和の神学入門 21
 神は愛なり 115
 神は見て良しとされた 94
 神への然り、カイザルへの否 52
 神への問い 21
 神を考える 43
 神をめぐる対話 21
 神を呼ぼう 117
 からだの救い 24
 ガラテヤ人への手紙(佐竹) 71
 ガラテヤ人への手紙(原口) 71
 ガラテヤ・エペソ書(カルヴァン) 75
 ガラテヤ書・エペソ書(連見)

79

ガラテヤ書の神学 77
 ガラテヤ人、エフェソ人、フィリビ人、コロサイ人への手紙(宮平) 71
 カラー版聖書大事典 14
 ガリラヤへ行け 69
 カルヴァンから学ぶ信仰の筋道 26
 カルヴァン神学論文集 26
 カルヴァン政治思想の形成と展開 15
 カルヴァンの『キリスト教綱要』を読む 26
 カルヴァンの神学 27
 カルヴァンの神学と霊性 26
 カルヴァン 霊も魂も体も 26
 カルヴァン 歴史を生きた改革者 26
 カール・バルト 34
 カール・バルト研究 1
 カール・バルト=滝沢克己往復書簡 33
 カール・バルトとエキュメニズム 33
 カール・バルトと現代 34
 カール・バルトと反ナチ闘争 上下 34
 カール・バルトとユダヤ人問題 34
 カール・バルトの愛と神学 33
 カール・バルトの教会論 33
 カール・バルトの生涯 改訂新版 34
 カール・バルトのローマ書研究 34
 カール・バルト『和解論』における復活 35
 河原の教会にて 45
 韓国から見た日本 109
 韓国キリスト教の受難と抵抗 108
 韓国と日本の間で 109
 韓国の民衆宗教とキリスト教 108
 韓国民主化闘争資料集 108
 ガンを知らされた牧師先生 93
 キ
 生一本のキリスト教 113

危険な旅 126
 技術社会と信仰 57
 北国の理想 53
 希望する力 126
 希望の神学 39
 希望の倫理 39
 金教臣の信仰と抵抗 109
 偽名書簡の謎を解く 72
 逆説から歴史へ 34
 逆風に抗して 96
 逆境の恩寵 102
 救済の神学 20
 旧新約聖書神学辞典 14
 旧日本基督教会試論 104
 旧約詩編の文献学的研究 61
 旧約聖書と新約聖書 59
 旧約聖書に親しむ I・II 60
 旧約聖書入門 1～3 60
 旧約聖書の時代 119
 旧約聖書の信仰の真髄 60
 旧約聖書のメッセージ 60
 旧約聖書の預言と黙示 60
 旧約聖書物語 126
 教会教育による教会形成 45
 教会教義学
 神の言葉 I /1 27
 神の言葉 I /2 27
 神の言葉 II /1 27
 神の言葉 II /2 27
 神の言葉 II /3 28
 神の言葉 II /4 28
 神論 I /1 28
 神論 I /2 28
 神論 I /3 28
 神論 II /1 28
 神論 II /2 28
 神論 II /3 28
 創造論 I /1 28
 創造論 I /2 28
 創造論 II /1 28
 創造論 II /2 28
 創造論 II /3 29
 創造論 III /1 29
 創造論 III /2 29
 創造論 III /3 29
 創造論 IV /1 29
 創造論 IV /2 29
 創造論 IV /3 29

創造論 IV /4 29
 和解論 I /1 29
 和解論 I /2 29
 和解論 I /3 29
 和解論 I /4 29
 和解論 II /1 29
 和解論 II /2 30
 和解論 II /3 30
 和解論 II /4 30
 和解論 III /1 30
 和解論 III /2 30
 和解論 III /3 30
 和解論 III /4 30
 和解論 IV 30
 教会史綱要 98
 教会政治の神学 2
 教会であること 44
 教会と核武装 52
 教会と国家 53
 教会と戦争 48
 教会と地域福祉実践 57
 教会と同性愛 123
 教会と文化 130
 教会の告白と実践 45
 教会の信仰告白 32
 教会の性差別と男性の責任 42
 教会の洗礼論 32
 教会の本質 36
 共観福音書 上(カルヴァン) 74
 共観福音書の社会科学的注解 69
 教会論 上下 44
 教義学要綱 31
 教義学論文集 中下(バルト) 30
 教皇フランシスコ 98
 教皇フランシスコとの対話 98
 教師としてのイエス 78
 協力と抵抗の内面史 96
 清らかな鈴の音を 121
 キリガイ 124
 ギリシャ人には愚かなれど 21
 キリストが主だから 48
 キリスト教国アメリカ再訪 52
 キリスト教概説 123
 キリスト教会と天皇制 116

キリスト教家庭教育の展開 56
 キリスト教教育の現代的展開 56
 キリスト教綱要 第1～4篇 25
 キリスト教史 上巻 98
 キリスト教史 下巻 増補新版 98
 キリスト教思想史Ⅰ・Ⅱ 15
 キリスト教思想の形成者たち 15
 キリスト教神学概論 20
 キリスト教的生Ⅰ・Ⅱ 31,32
 キリスト教と社会の危機 49
 キリスト教と人間形成 41
 キリスト教と民主主義 49
 キリスト教とローマ帝国 99
 キリスト教の歩みⅠ・Ⅱ 120
 基督教の起源 97
 キリスト教の教師 25
 キリスト教の教理 32
 キリスト教の再定義のために 65
 キリスト教の自己批判 19
 キリスト教の修練 25
 キリスト教のスピリチュアリテイ 98
 キリスト教の精髓 96
 キリスト教の歴史 増補新版 98,128
 キリスト教本質論に関する一考察 22
 キリスト教倫理Ⅰ～Ⅳ 118,119
 キリスト教倫理学総説Ⅰ/Ⅰ～Ⅱ/Ⅱ 32
 キリスト教倫理の未来 121
 キリスト者と福祉の心 57
 キリスト者の完全 附・伝記 117
 キリスト者の標識 116
 キリスト者は何を信じているのか 91
 キリスト信仰と服従の道 122
 キリストにある真実を求めて 102
 キリストに従う 36
 キリストにならいて《改訂版》 89

キリストの王権 118
 キリストの現実に生きて 37
 キリストの復活 85
 キリストの復活事件と教会 20
 キリストの平和 53
 キリストの来臨 120
 キリストへのかぎりなき出発 128
 キリストへの信従 22
 キリスト論(清水) 23
 キリスト論(ボンヘッファー) 36
 キリスト論要綱 19
 キリストをあなたに 88
 ギレアド 112
 近代化への挑戦 102
 近代韓国における大復興運動の歴史的展開 108
 近代キリスト教思想史Ⅰ 16
 近代世界の成立にとってのプロテスタンティズムの意義 97
 近代日本の形成とキリスト教 123
 近代の神学 16
 近代プロテスタント思想史 16
 近代文芸とキリスト教 114

く・け

クエーカー入門 97
 空虚な墓 キリスト者の兵役 118
 GOOD NEWS 新約聖書編 126
 苦難と栄光の主 83
 グノーモン 70
 熊野義孝全集 130,131
 熊野義孝全集 第七・八巻〈教義学上下〉 22
 暗い谷間の賀川豊彦 105
 暗い森を抜けて 125
 クリスマス 80
 クリスマス・ブック 124
 〈グローバル・ヒストリー〉の中のキリスト教 97
 荆冠の神学 48
 激動のドイツと教会 101
 ケノーシス 47

権威と服従 104
 原罪論 19
 原始キリスト教の心理学 66
 原子力発電と日本社会の岐路 48
 原子力発電の根本問題と我々の選択 49
 現存する神 121
 現代アメリカ神学思想 増補新版 18
 現代教義学総説 21
 現代キリスト教講話 118
 現代キリスト教倫理 増補改訂版 36
 現代神学の最前線 21
 現代神学の冒険 17
 現代神学の論理の転換 24
 現代信仰問答 117
 現代世界と宗教学 23
 現代に生きる教会 43
 現代に生きる思想 24
 現代に生きる人間 128
 現代に聖書を読む 1～4 83
 現代の終末論とフェミニズム 40
 現代の宣教と聖書解釈 45
 現代の宣教と伝道 45
 現代のパベルの塔 47
 現代プロテスタンティズムの政治思想 40
 原典 現代中国キリスト教資料集 109
 原発社会に生きるキリスト者の責任 49
 原発とキリスト教 49
 現場からの道 59
 現場の神学 22
 原理主義 51
 権力を志向する韓国のキリスト教 116
 権利論 48

こ

行為と存在 36
 講解説教 エベソ人への手紙 87
 講解説教 ガラテヤの信徒への手紙 86
 講解説教 降誕・復活 86

講解説教 コリント人への第一の手紙 87
 講解説教 コリント人への第二の手紙 87
 講解説教 山上の説教 86
 講解説教 ペテロの第一の手紙 87
 高原の記録 94
 高校生と学ぶ山上の説教 122
 高校生と学ぶ十戒 122
 降誕 118
 合同教会の「法」を問う 44
 公同書簡の神学 77
 幸福のレシピ 56
 黒人霊歌とブルース 115
 告白する教会を求めて 45
 告白教会と世界教会 36
 告白と抵抗 37
 ここに教会は立つ 86
 心の宗教哲学 23
 心の美術館 111
 心の病いとその救い 55
 心を見つめる教育 56
 ゴスペルエッセンス 91
 ゴスペルジャーニー 1
 ゴスペルスピリット 91
 ゴスペルハーモニー 91
 ゴスペルフォーラム 91
 子育てを見直す 122
 古代イスラエル預言者の思想的 世界 62
 古代イスラエル預言者の特質 60
 古代キリスト教思想家 16
 古代キリスト教探訪 99
 古代ユダヤへのタイムトラベル 69
 答えをさがして 85
 国家の暴力について 32
 国家の論理といのちの倫理 49
 ゴッホと〈聖なるもの〉 111
 言葉と水とワインとパン 47
 ことばによる闘い 51
 ことばのともしび 93
 ことばは光 1 59
 子どもたちへの手紙 125
 こどもの苦しみと喜び 56
 こどものこころ 56

このあかるさのなかへ 112
 この器では受け切れなくて 93
 この日言葉をかの日に伝え 89
 この世的に生きるキリスト者 38
 子ブルームハルトの生涯と使信 101
 孤憤のひと 柏木義円 106
 コリント後書(カルヴァン) 75
 コリント信徒への手紙を読む 71
 コリント前書(カルヴァン) 75
 コリント前書の学び 87
 コリント人への第一の手紙(蓮見) 78
 コリント人への第二の手紙(蓮見) 78
 コリント人への手紙(宮平) 71
 ゴルゴタへの道 112
 コンテクストの中の神学 35

さ

最初期キリスト教思想の軌跡 65
 罪責を担う教会の使命 45
 在日朝鮮基督教会の女性伝道師たち 108
 幸いなるかな 66
 幸いへの招き 82
 サタンが稲妻のように落ちるの見える 20
 サタンとの対話 95
 サムエル記 61
 サムエル記を読む 61
 山上の煙 82
 山上の説教 86
 山上の説教から憲法九条へ 48
 山上の説教を生きる 1
 三代目のキリスト教 92
 3・11後を生きるキリスト教 49
 賛美歌にあった「君が代」 46
 三位一体の神 35
 三位一体論的神学の可能性 21
 しあわせならば 124
 幸せはここに 88
 椎名麟三論 113
 C・S・ルイスとともに 101
 C・S・ルイス評伝 101
 死から生へ 101
 司教と貧者 99
 死刑囚の母となって 55
 仕事と人間 116
 自殺者の遺族として生きる 44
 ジーザス・イン・ディズニールンド 1
 事実によりて 93
 自死と遺族とキリスト教 54
 詩人イエス 113
 次世代への提言! 43
 自然的世界とキリスト教 57
 思想としての編集者 100
 思想の杜 103
 時代のように訪れる朝を待つ 108
 下町の主の証人として 53
 十戒(パークレー) 50
 十戒(リュティ) 82
 使徒行伝 上中下(荒井) 70
 使徒行伝 上下(カルヴァン) 74,75
 使徒行伝(蓮見) 78
 使徒言行録(宮平) 70
 使徒言行録の神学 76
 使徒信条講解 122
 使徒的宣教とその展開 118
 使徒パウロ 71
 使徒パウロとその神学 79
 死人の復活 33
 死の意味 25
 詩の喜び 詩の悲しみ 112
 地べたの神 88
 詩篇Ⅰ～Ⅳ(カルヴァン) 63
 詩篇Ⅱ(DSB) 64
 詩篇研究 62
 詩篇の思想と信仰Ⅰ～Ⅵ 61,62
 詩篇を考える 96
 死まで生き生きと 20
 島の小さな教会 44

- 自民党政改憲草案を読む 49
 市民K、教会を出る 102
 市民生活とボランティア 57
 市民的抵抗 51
 しもべとなった王 23
 社会倫理と霊性 38
 ジャン・パニエの言葉 55
 主イエス共に歩きたもう 95
 主イエスの言葉と働き 80
 主イエスの譬え話 85
 主イエスの弟子たち 85
 自由意志論 19
 19世紀アメリカカンボードの宣教思想 I 99
 十九世紀のプロテスタント神学 上中下 31
 宗教改革史 97
 宗教改革と現代 15
 宗教改革の神学 27
 宗教改革の人間群像 97
 宗教・科学・いのち 57
 宗教間対話と原理主義の克服 51
 宗教間の対話と共生のために 51
 宗教と労働者階級 41
 十五年戦争期の天皇制とキリスト教 105
 13歳にもわかるキリスト教 126
 十字架とハーケンクロイツ 100
 「十字架につけられ給ひしまなるキリスト」 81
 十字架につけられた神 39
 「十字架の神学」の成立 19
 「十字架の神学」の展開 19
 「十字架の神学」をめぐる 123
 十字軍とイスラーム世界 97
 自由に生きる 53
 自由の擁護 61
 自由は汝の魂を歓呼して迎える 87
 自由への旅 42
 終末・預言・安息日 100
 祝福される人々 82
 祝福したもう神 61
- 出エジプトと解放の政治学 42
 主に負われて百年 94
 受肉者イエス 23
 受肉と聖霊の注ぎ 35
 主は偕にあり 80
 ジュネーヴ教会信仰問答 118
 主よ、いつまでですか 56
 主の祈り(ティーリケ) 118
 主の祈り(フィロネンコ) 72
 主の祈り(リュティ) 82
 主の祈りと山上の説教 68
 主の名によって集まるところには 83
 主の御腕に抱かれて 93
 主のよき力に守られて 89
 小アジアの古代都市 98
 状況倫理 50
 少女よ、起きなさい! 94
 象徴天皇制とキリスト教 121
 勝利と敗北の逆説 24
 勝利は武器によるものでなく 107
 昭和日本基督教会史 105
 初期カルヴァンの政治思想 27
 初期キリスト教とローマ社会 99
 初期キリスト教の思想的軌跡 66
 初期ユダヤ教の実像 66
 初期ユダヤ教研究 66
 食材としての説教 81
 女性宣教師の日本探訪記 103
 ジョットのイエス伝 111
 ジョン・ウェスレー伝 99
 ジョナサン・ゴープル研究 110
 ジョン・H・ヨーダの神学 52
 ジョン・マクマレー研究 18
 ジョン・マクラウド・キャンベルの贖罪論 25
 自立と共生の場としての教会 44
 するしの福音書 73
 神学諸科入門 22
 神学史論文集 30
 神学的思考の諸経験 40
 神学入門(北森) 117
- 神学入門(フロマートカ) 19
 神学の起源 16
 神学の方法と内容 25
 神学の履歴書 25
 神学部とは何か 20
 新教=タイムズ聖書歴史地図 14
 新共同訳聖書コンコルダンス 14
 新共同訳 聖書辞典 14
 信教の自由とアメリカ 52
 箴言(DSB) 64
 信仰・希望・愛 117
 信仰告白と教会 16
 信仰短言 暁に翼をひろげ 282
 信仰と経験 19
 信仰と自由の手紙 119
 信仰の基礎としての神学 18
 信仰のキリスト I・II 120
 信仰の手引き 116
 信仰の半歩前 92
 信仰の本質と動態 117
 信仰の豊かさを生きる 92
 信仰への旅立ち 120
 信じつつ祈りつつ 89
 真実の言葉を求めて 83
 信じない人のためのイエス入門 65
 神社参拝を拒否したキリスト者 109
 神社問題とキリスト教 106
 人種の問題 52
 信条集 16
 信じること働くこと 101
 信じることをためらっている人へ 90
 人生の意味と神 90
 人生を聖書と共に 65
 『新撰讃美歌』研究 115
 身体性と神学 24
 身体性の神学 24
 信徒の神学 44
 新版ジュニアのための聖書入門 127
 申命記(DSB) 63
 新約思想の成立 66
 新約聖書 66
- 新約聖書と神の民 上下 65
 新約聖書における教会像 73
 新約聖書における模範 73
 新約聖書入門 116
 新約聖書小辞典 14
 新約聖書の諸問題 67
 新約聖書の信仰 116
 新約聖書の中心的使信 119
 新約聖書の伝道理解 65
 新約聖書の「本文」とは何か 74
 新約聖書の礼拝 46
 新約全書 66
 新約本文学演習 マルコ・マタイ 74
 新約本文学演習 ルカ I ギリシア語新約語法 74
 新約本文学史 74
 新約本文のパピルスⅢ 66
 人類に希望はあるか 40
- す・せ**
- 素顔のモルモン教 100
 スキャンダラスな人々 107
 すくいのきみ イエス・キリスト 115
 鈴木正久著作集 130
 図説・新約聖書の歴史と文化 14
 すべてのわざには時がある 55
 すべては神さまのプログラム 93
 統べるもの／叛くもの 48
 正義と愛の御国を 42
 世紀末のアメリカとキリスト教 52
 正教会入門 97
 正教の道 1
 聖金曜日 118
 性差別と神の語りかけ 43
 聖餐 イエスのいのちを生きる 46
 聖餐の豊かさを求めて 46
 政治神学の想像力 47
 政治的宗教と政治的神学 40
 聖書 59
 聖書 文化との接点 84
 聖書 読んで想う 84
- 聖書から聖餐へ 46
 聖書と音楽 115
 聖書と人間 1～3 127
 聖書と農 2
 聖書によるキリスト教研究 91
 青春の賀川豊彦 105
 聖書の宣教と風土・文化 59
 聖書の手引き 122
 聖書の中のワイン 57
 聖書の風景 111
 聖書翻訳者ブーバー 18
 聖書を読む技法 59
 せいなるよるのたからもの 124
 性の意味 25
 正義と法 47
 生命への畏敬 50
 聖霊と人間 23
 聖霊に導かれて聖書を読む 93
 聖霊の力における教会 39
 責任を負う自己 50
 世俗都市 24
 世俗都市の宗教 24
 説教講義 46
 説教・告解・聖餐 117
 説教と牧会 36
 説教と私の聖書の学び 79
 絶対的平和主義とキリスト教 50
 セバステイアン・カステリョ 99
 戦後教会史と共に 105
 戦後ドイツの光と影 100
 戦後70年の神学と教会 97
 戦時下ホーリネスの受難 107
 洗礼とはなにか 46
 洗礼論概説 47
- そ**
- 走者イエス 113
 創世記(ケンブリッジ) 61
 創世記 I・II(カルヴァン) 63
 創世記 I・II(DSB) 63
 創世記講解説教 82
 漱石の原風景 114
 漱石文芸の世界 113
- 創造と再創造 112
 続・一本の道 107
 続・黒崎幸吉著作集 80
 続・明治人物拾遺物語 104
 ソクラテスの死とキリストの死 18
 組織神学 第一巻(パネンベルク) 17
 組織神学 第一～三巻(ティリッヒ) 38
 組織神学 第三巻(パネンベルク) 1
 育ち行く者たちと共に 121
 備えたもう主の道を 94
 尊厳とは何か 50
- た**
- 大学とキリスト教教育 50
 大切な一人 128
 大地は主のもの 57
 第二コリント書の神学 77
 第二コリント書 8-9章 71
 第二コリント書 10-13章 71
 大バビロンが倒れた 122
 対話する神 21
 高倉徳太郎著作集 129,130
 高倉徳太郎傳 105
 高倉徳太郎日記 104
 田川大吉郎とその時代 106
 戦う植村正久 104
 ただ神を待つ 83
 ただ一つの契約の弧のもとで 17
 たといそうでなくても 87
 ダニエル書(DSB) 64
 旅する教会 97
 旅立ち 88
 旅人の時代に向かって 45
 ダブル・ヴィジョン 112
 民人と自然 54
 だれかが私の名を呼んでいる 115
 誰にも言わないと言ったけれど 17
- ち・つ**
- 小さき者の友イエス 68
 ちいさなもののいのり 124

知恵なる神の開かれた家 21
 知解を求める信仰 31
 力強い慰め 91
 地球温暖化とキリスト教 57
 地球のみんなと生きる 128
 地上を旅する神の民 33
 乳と蜜の流れる国 43
 知的障害者と教会 58
 地の基は震え動く 82
 チャイルド・ライフの世界 56
 仲介者なる神 24
 中国の近代化とキリスト教
 109
 中世人の知恵 111
 朝鮮半島の平和と統一をもとめ
 て 109
 長老・改革教会来日宣教師事典
 110
 ツヴィングリ 改革派教会の遺産
 と負債 26
 ツヴィングリの人と神学 27
 追憶 熊野義孝先生 107
 翼をもつ言葉 33
 罪と死の文学 増補新版 113
 剣を取めよ 48

て

ディアコニー共同体 57
 ディズニー変形譚研究 17
 ディズニーランド研究 18
 D. ボンヘッファーの政治思想
 38
 ティリッヒ神学における存在と
 生の理解 39
 ティリッヒの神と諸宗教 39
 ティリッヒの『組織神学』研究
 39
 ティリッヒの人間理解 39
 テキストの魅惑 114
 テサロニケ人・テモテ・テトス・
 フィレモンへの手紙 (宮平)
 72
 テモテ書・テトス書・ピレモン
 書 (蓮見) 79
 テモテ・テトス・フィレモン書
 (カルヴァン) 2
 テモテ・テトス・フィレモン書
 上製函入版 (カルヴァン)
 2

寺田博著作集 132
 天国から締め出されたローマ法
 王の話 26
 天国と真理 114
 伝道の書・雅歌 (DSB) 64
 天に架ける橋 114
 天皇制と韓国キリスト教 110
 天皇制の検証 54
 天皇制の神学的批判 54
 天皇の葬儀 54
 天の墓標 句文集 114
 天路歷程 正篇 92
 天路歷程 続篇 93
 ドイツ現代史とキリスト教
 100
 ドイツの根底にあるもの 95
 統一協会と文鮮明 51
 同行二人 58
 同志社の独立 103
 同時代史を生きる 51
 トゥルナイゼン著作集 41
 問う私、問われている私 123
 遠くで近い道 83
 時といのち 114
 時の中心 69
 ドグマこそドラマ 112
 都市の神学 24
 途上のキリスト論 35
 ドストエフスキ 113
 土着と挫折 106
 土着と背教 106
 特高資料による戦時下のキリス
 ト教運動 1～3 106
 共に生きた一人 128
 共に生きるために 58
 共に生きる生活 36

な

ナザレのイエス 67
 ナザレのイエスと信仰のキリス
 ト 67
 ナザレのイエスとは誰か 22
 ナザレのマリア 73
 なぜ「秘密法」に反対か 49
 なぜ私は生きているか 100
 七転び八起き寝たきりのいのちの
 証し 58

涙の衣をぬいで 94
 悩みの日にわたしを呼べ 88
 汝の敵を愛せよ 84
 汝ら時を知るゆえに 85
 南島キリスト教史入門 97

に・ね・の

新島襄物語 102
 21 世紀の信と知のために 19
 21 世紀の倫理とキリスト教 50
 二十世紀キリスト教の歴史観
 17
 二十世紀神学の形成者たち 17
 二十世紀の聖書理解 17
 20 世紀のプロテスタント神学
 上下 16,17
 虹は私たちの間に 55
 日韓関係史研究 109
 日韓キリスト教関係史資料 Ⅲ
 101,108
 日本基督教会山陽中会記録
 106
 日本基督教会鎮西中会記録
 106
 日本キリスト教史における賀川
 豊彦 105
 日本キリスト教社会経済史研究
 109
 日本キリスト教出版史夜話
 107
 日本キリスト教史論 103
 日本キリスト教史を読む 103
 日本基督教団戦争責任告白から
 50 年 48
 日本組合基督教会史研究序説
 104
 日本国を建てるもの 48
 日本人は宗教が分かっているか
 21
 日本で神学する 18
 日本のプロテスタント主義の
 政治思想 48
 日本におけるカール・バルト
 34
 日本における宣教的共同体の形
 成 21
 日本におけるドイツ 103
 日本の神学の方法と課題 21
 日本の説教者たち 46

日本プロテスタント海外宣教史
 102
 日本プロテスタント・キリスト
 教史 102
 人間とキリスト・新約神学序説
 79
 人間になる 55
 人間の盾 52
 人間の間らしさ 120
 人間への途上にある福音 19
 ねことふしぎなぶどう酒 125
 能ドラマト聖書 115
 望みつつ歩む 94
 上り列車の時代の歌 115

は

ハイデルベルク信仰問答 122
 ハイデルベルク信仰問答 証拠
 聖句付き 91
 BibleChallenge(バイブルチャレ
 ンジ) 1 127
 パウロから見たイエス 77
 パウロカルターか 22
 パウロ小書簡の神学 77
 パウロの出発 128
 パウロは私たちにとって誰なの
 か 上下 71
 パウロをどうとらえるか 72
 破局の時代に生きる信仰 24
 初めに闇があった 95
 橋をつくるために 98
 バーゼル 99
 働く人間像を求めて 53
 花嫁の聖書 90
 母に贈るよるごびの詩 90
 パパママががんになったら
 56
 はるかなる遠い日々 93
 バルト自伝 123
 バルト神学研究 35
 バルト神学とオランダ改革派教
 会 33
 バルト神学入門 34
 バルト神学の行程 35
 バルト・セレクション1、4～6
 31
 バルメン宣言の政治学 48
 パン屑を集める心 92

咸錫憲著作集 131
 反ナチ抵抗者の獄中書簡 117
 晩年に贈られた友情 32

ひ

東アジアでボンヘッファーを読
 む 37
 東アジアの平和とキリスト教
 50
 東と西の間の聖書 60
 光あふれて 92
 光の中で信じ歌う 115
 光は闇の中に輝いている 53
 ヒップホップ・アナムネーシス
 1
 ヒップホップ・レザレクション
 17
 人が神にならないために 81
 人が孤独になるとき 81
 人が共に生きる条件 82
 美と真実 111
 人は何によって生きるか 120
 人への奉仕と神の国 40
 ヒトラーと闘った女性たち
 100
 一人の人間に 122
 一人一人に与えられる賜物 87
 ひとりぼっちのちいさなエルフ
 124
 人を恐れず天を仰いで 102
 ひびきあういのち 55
 日々聖書を読む中で 92
 ヒマラヤ診療その日その日 58
 100 年前のバンデミック 2
 評伝井上良雄 102
 評伝高倉徳太郎 上下 105
 評伝矢内原忠雄 97
 ピリビ・コロサイ・テサロニケ
 書 (カルヴァン) 75
 ピリビ書・コロサイ書・テサロ
 ニケ書 (蓮見) 79
 ピリビ書注解 33
 ピリビ人への手紙 (佐竹) 72
 ヒロシマと平和の福音 51

ふ

フィロンと新約聖書の修辞学
 65

フェミニスト視点による聖書読
 解入門 123
 フォーサイス神学の構造原理
 16
 福音主義神学入門 33
 福音主義神学の展開 24
 福音書作家マルコの思想 69
 福音宣教の使命に生きる教会
 45
 福音的キリスト教 22
 福音と現代倫理 50
 福音の土台 87
 服従と抵抗への道 新版 37
 福田正俊論文集 132
 二人が向かい合うために 56
 二人の平和主義者の殉教 100
 ブツァーとカルヴァン 27
 復活と歴史的理性 20
 復活の神学 20
 復刻『宗教及び文藝』104
 覆刻馬太伝福音書・馬可伝福音
 書 74
 フランクル人生論入門 90
 フリードリヒ・ユストゥス・ベ
 ーレルス 100
 プルトマン著作集 75,76
 プルトマンとナチズム 23
 フルベッキ書簡集 103
 プロテスタンティズムとメキシ
 コ革命 100
 プロテスタント・スコラ神学の
 再考察 16
 文学の比喩 聖書の比喩 112
 文化の起源 20
 文脈化するキリスト教の軌跡
 101

へ

兵士と人間 94
 平静の祈り 96
 平和憲法を守りひろめる 51
 平和創造への道 49
 平和な未来を告げる 83
 平和のコンセプト 50
 平和の憲法と福音 51
 平和を造り出す力 120
 平和の神学 1938-1965 51
 平和を目指す共生神学 52

ベツレヘムの星 90
 ペテロ 73
 ペテロ書・ヨハネ書・ユダ書（連見） 79
 ペテロ・ユダ書・ヨハネ書簡（カルヴァン） 75
 ヘブライ人とギリシヤ人の思惟 15
 ヘブライ人への手紙（宮平） 72
 ヘブル書の神学 77
 ヘブル書・ヤコブ書（連見） 79
 ヘブル・ヤコブ書（カルヴァン） 75
 ヘンリー・スタウトの生涯 103

ほ

放蕩息子 117
 《放蕩息子》の精神史 116
 葬りを越えて 85
 牧師 44
 牧師植村正久 104
 ほくのらいおん 124
 星を仰いで路地を見よ 101
 ポスト・フクシマの神学とフォースイスの贖罪論 49
 牧会カウンセリング入門 44
 牧会者カルヴァン 26
 牧会書簡の神学 77
 牧会としての礼拝 47
 ポップカルチャーを哲学する 18
 本のはなし（改訂増補版） 107
 ボンヘッファー紀行 37
 ボンヘッファー家の運命 38
 ボンヘッファー聖書研究 旧約編・新約編 36
 ボンヘッファー説教全集 1・3 36
 ボンヘッファー伝 1～4 37
 ボンヘッファーとその時代 37
 ボンヘッファーと日本 38
 ボンヘッファーの生涯 38
 ボンヘッファーの神学 38
 ボンヘッファー／マリーア 37

ま

前に向かって進む 69
 マグダラのマリア、第一の使徒 98
 貧しい人々と賀川豊彦 105
 マタイによる福音書（シュラッター） 68
 マタイによる福音書（宮平） 68
 マタイによる福音書 上下（連見） 78
 待ちつつ急ぎつつ 116
 真昼の悪夢 114
 幻なき民は減ぶ 52
 迷っているけど着くはずだ 92
 マリア 125
 マルコが語る主イエスのメッセージ 86
 マルコによる福音書（連見） 78
 マルコによる福音書（宮平） 69
 マルコ福音書 上巻（増補新版）（田川） 69
 マルコ福音書講解説教 1・2（渡辺） 84
 マルコ福音書の神学 76
 マルタとマリア 72

み

みあしのあと 113
 み足の跡をしたい 123
 見えること・見えないこと 86
 未完の独立宣言 101
 み言葉の調べ I～III 84
 み言葉はあなたの近くに 89
 御言葉はわが足のともしび 89
 御言葉はわたしの道の光 123
 ミシュカ 124
 みたまのかぜよ 115
 耳をすまして 111
 宮本武之助著作集 132
 未来をひらく人権 53
 みわざの現れるために 55
 民衆が時代を拓く 42
 民衆による平和と統一 109
 民衆の神学をめざして 42

民衆神学の形成と展開 42
 民衆神学の探究 42
 民衆神学を語る 42
 民教記（DSB） 63
 民族主義とキリスト教 23
 無教会史 I・III・IV 110

め・も

明治学院人物列伝 107
 明治初期神戸伝道と D. C. グリーン 110
 瞑想とキリスト教 91
 恵みと真実 88
 恵みに動かされて 88
 恵みの契約 46
 滅亡の予感と虚無をいかに生きるのか 59
 目はかすまず気力は失せず 2
 もう一つの召命物語 73
 もうひとりのはかせ 124
 黙想の伴侶 90
 目標をみざして走り 121
 もし愛がなければ 122
 モーツァルト 115
 モーツァルト 超越性の痕跡 115
 最も大切なもの 81
 物語神学へ 20
 物語日本キリスト教史 103
 もみの木 125
 森のサンタクロース 125
 モンスターチルドレン 55

や・ゆ

八重のことば 102
 八木重吉 119
 約束の大地へ 128
 約束の地をめざして 101
 ヤコブ（リュティ） 82
 ヤコブの手紙（辻） 72
 ヤコブ・ペトロ・ヨハネ・ユダの手紙（宮平） 72
 ヤスパースとキリスト教 17
 ヤバイぜ！聖書 126
 山の上にある病院 58
 山本周五郎の世界 114
 唯一神教の創出とその展開 19

唯一なる神 59
 ユーカリスト 46
 雪に閉ざされて 112
 豊かな生命を求めて 128
 豊かなる流れ 94
 ユタ州とブリガム・ヤング 99
 ユダヤ人イエス 67
 ユダよ、帰れ 2
 尹致昊と金教臣 その親日と抗日の論理 108

よ

幼児の心との対話 56
 夜が明けるまで 110
 預言者アモスと現代 85
 預言者サムエル 82
 預言者と政治 62
 預言者ネヘミヤ 82
 預言者の研究 118
 預言者は何を語るか 84
 四つの愛 [新訳] 95
 四つの福音書、ただ一つの信仰 67
 世にあるキリスト 35
 世に遣わされて 54
 世のために存在する教会 45
 ヨハネ福音書の神学 77
 ヨハネとパウロ 74
 ヨハネによる福音書（宮平） 69
 ヨハネの黙示録 上中下（佐竹） 73
 ヨハネの黙示録における祈りと讚美 73
 ヨハネの黙示録に学ぶ 改訂版 73
 ヨハネの黙示録（連見） 79
 ヨハネの黙示録（宮平） 72
 ヨハネ福音書 上下（カルヴァン） 74
 ヨハネ福音書講解 上下 70
 ヨハネ福音書のイエス・キリスト 上下 70
 ヨハネ福音書の神学 76
 ヨハネ福音書を読む 70
 約翰福音之傳・約翰上中下書 66
 ヨハネ黙示録の神学 77

ヨブ記（ケンブリッジ） 61
 ヨブ記（DSB） 64
 ヨベルの年に向かって 109
 よみがえれ、平和よ！ 52
 夜と霧の明け渡る日に 54
 喜びのいのち 55
 喜びの手紙 87

ら・り・る

落第人生論 120
 ラディカル・ラブ 54
 ラビの聖書解釈 60
 隣人愛のはじまり 65
 ルカによる福音書（宮平） 69
 ルカによる福音書 上下（連見） 78
 ルカ福音書の神学 76
 ルター自伝 116
 ルターはヒトラーの先駆者だったか 26
 ルツ 125
 礼拝学概論 47
 礼拝論入門 47
 歴史観とキリスト教 98
 歴史から世界へ 34
 歴史の主に従う 20
 歴代志（DSB） 64
 歴代のローマ教皇 99
 「レズビアン」という生き方 54
 列王記（DSB） 64
 レビ記（DSB） 63
 ログス・エートス・パトス 70
 ログセラピーのエッセンス 54
 路上の信仰 108
 ローマ書（カルヴァン） 75
 ローマ書（バルト） 32
 ローマ書講解説教 I～III（竹森） 86
 ローマ帝国のたそがれとアウグスティヌス 99
 ローマ帝国とイエス・キリスト 65
 ローマの信徒への手紙 上（原口） 71
 ローマの信徒への手紙 下（原口） 2
 ローマ人への手紙（連見） 78
 ローマ人への手紙（宮平） 71
 ローマ人への手紙（松木） 79
 論争された聖書 119

わ

わが足を広きところに 39
 和解と希望 34
 和解の務め 88
 わが祈りの座 58
 若き植村正久 10
 わが涙よわが歌となれ 94
 若者と学ぶフィリビ書 123
 わが幼少年時代 118
 私たちの間のイエス 111
 私たちのキリスト 126
 私たちの信仰告白 126
 私たちの『創世記』 126
 わたしたちは、いまどこにいるのか 58
 私には夢がある 84
 私にみ言葉をください 89
 私のごすべるくろにくる 114
 わたしの信仰 80
 私の人生のテーマは「現場」 108
 私の聖書物語 90
 渡辺禎雄聖書版画集 111
 われ信ず 32
 我は生ける神を信ず 118
 われは教会を信ず 123
 われ山に向かいて眼をあぐ 117
 われらイエスを知るや I～III 89,90

著 訳 者 名 索 引

- | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|---|--|--|---|---|
| <p>あ</p> <p>相沢好則 53
会津 伸 50
アウグスティヌス 70
青野太潮 12, 19, 65, 72, 76, 81, 123
青山学院大学総合研究所 23, 41, 98
赤木善光 26, 117
赤坂桃子 54, 126
穂田信子 96, 99
秋田 稔 68, 69, 70, 71, 73
秋山繁雄 103, 104
秋山卓也 22
秋山 徹 91
秋山憲兄 66, 107, 118
アクロイド 61
浅井 力 41
朝岡 勝 48
浅野淳博 14, 66, 127
浅野幸治 48, 55, 69
浅野順一 118
浅見一羊 36
浅見 洋 44
浅見洋一 36
芦川進一 112
芦名定道 17, 51, 57
安積鋭二 32, 67
阿蘇敏文 50, 59
麻生信吾 19
安達寿孝 56, 122
アプシー 120
阿部恭嗣 58
天野 有 31, 32, 76
雨宮栄一 34, 37, 45, 100, 102, 104, 105
新井 明 94
荒井 献 12, 65, 70, 72, 73, 81, 97
荒井章三 14, 42, 59, 63
荒川純太郎 58
有馬平吉 124
アレックス 125
安 炳茂 42, 121
アンダーヒル 18
アンデルセン 125
アンプロジェクト 98</p> | <p>い</p> <p>飯 謙 61
イーヴァント 46
飯郷友康 67, 77
飯野かおり 121
イェルヴェル 76
猪狩由紀 97
池田 伯 45
池谷敏雄 89, 92, 93
池永倫明 19, 36, 41, 52
石川 立 63
石島三郎 117, 153
石田 学 15, 21, 80, 98
石谷 行 51, 120
石原 謙 103
石原知弘 33
石丸 新 46, 83, 106
石脇慶総 44, 121
泉 治典 61, 70, 71
磯貝暁成 127
磯部 隆 65, 99
いちじくの会 88
一柳やすか 76
一色 哲 97
伊藤邦幸 58
伊藤聡美 58
井上良雄 25, 29, 30, 32, 33, 45, 81, 85, 86, 89, 98, 101, 102, 105, 116, 117, 118
今井 献 27
今井敬隆 81
今泉信宏 107
今高義也 112
今橋 朗 22, 126
今村嗣夫 53
イムホフ 125
岩井健作 111
岩切正一郎 20
岩手靖国違憲訴訟を支援する会 54
岩波哲男 31
岩橋常久 98
岩見育子 47
岩村信二 45, 92, 93
岩村太郎 92
岩村 昇 58</p> | <p>う</p> <p>ヴァン・ダイク 124
ウイアマス 41
ヴィゴダー 14
ヴィサー・トーフト 118
ウイトマー 55
ウイリモン 44, 47
ヴィルケンス 67
ウィルソン 101
ウインク 50
ヴィンターホフ 55
ウエア 1, 97
ヴェスターマン 119
ウエスト 52
ウエスレー 40, 41, 99
植田重雄 15
上村 静 19, 49, 59
植村 環 93
植村正久 129
上山修平 48
ウエンディ 111
ウォーカー 115
ウォーザー 42
ウォリス 52
ヴォルトン 98
宇都宮輝夫 1
宇都宮秀和 113
鶴沼裕子 1
宇野 元 32, 80, 112
梅染信夫 115
梅津順一 2, 16, 48</p> | <p>え</p> <p>エイトケン 64
エスコバル 98
江田孝臣 112
エドワーズ 19, 56
NCC 宗教研究所 51
NCC 障害者と教会問題委員会 55
榎本栄次 51
榎本 空 17
江原 望 107</p> | <p>お</p> <p>呉 在植 108
呉 寿恵 108
大岩美代 117
大内弘助 15
大内三郎 104, 129
大木英夫 118
大久保教宏 100
大倉一郎 42, 45
大崎節郎 34, 35, 36, 118
大島かおり 22, 24, 43
大島良雄 119, 120
大住雄一 61
太田愛人 83, 103
太田修司 67
太田道子 59
大塚和子 56
大友 浩 53
大西晴樹 110
大貫 隆 66, 68, 69
大野恵正 1, 60, 61, 115
大庭昭博 38
大畑 凜 1
大宮有博 18, 25
オールド 64
岡崎 晃 86
オカダ 107
岡田 聡 17
岡野昌雄 90
岡見 璋 103
岡村民子 131
岡本不二夫 70
小河 陽 77
小川国夫 81
小川圭治 21, 30, 34, 105
沖野政弘 40
奥田暁子 121
奥田和弘 56
奥田知志 2
奥野政元 113, 114
小黒 薫 120
尾崎 安 64, 93, 113
小沢三郎 106
小塩 節 115
小塩 力 14, 22, 23, 105</p> | <p>か</p> <p>カー、G. C. 44
カー、G. L. 44
カーソン 84
カーター 101
カービッツ 37
海津忠雄 111
貝沼 信 51
ガイヤー 67
加賀乙彦 81
賀川豊彦記念松沢資料館 105
カグスウェル 110
笠井恵二 17, 57
笠原義久 116
柏井忠夫 88
柏井宣夫 59, 60, 83
柏木哲夫 57
梶原 寿 22, 84, 85, 101, 115, 123
片岡 篤 95
片野真佐子 106
片山 寛 15, 58
勝村弘也 59
桂川 潤 42
加藤英治 58
加藤善治 67
加藤 隆 67, 69, 72
加藤常昭 33, 46
金井美彦 62
金子麻里 18
金田隆一 105
加納孝代 63
神藏美子 80
禿 準一 46
亀田政則 85
加山宏路 75
加山久夫 64</p> | <p>織田晶子 55
小田兼三 57
オット 57
小野 文 20
小野功生 42, 59, 64
小野忠信 16
小野経男 83
小幡慶助 87
小原 信 120, 123
おむらまりこ 124
オムリ 49
オランダ改革教会 52
オルブライト 119</p> | <p>カルヴァン 2, 25, 26, 27, 32, 62, 63, 83, 116, 117, 118, 130
カルヴォネン 124
カルデナル 42
川越敏司 23, 44, 113
川島堅二 35
河島幸夫 100, 160
川島第二郎 110
川名 勇 120
川西 薫 94
川西 進 94
川西田鶴子 94
川西 剛 94
河野信子 123
川端純四郎 48, 49, 76
川村輝典 77
川村永子 23
菅 円吉 30, 35, 118
姜 尚中 48
韓国基督教歴史研究所 108
韓国問題キリスト者緊急会議 108, 109
関西エキュメニカル・フォーラム 実行委員会 108
関西学院大学キリスト教と文化研究センター 49, 52
神田健次 51, 111
神田盾夫 120
カンバーランド長老キリスト教会 高座教会 96
カンペンハウゼン 16, 118</p> | <p>き</p> <p>キー 78
菊地 譲 93
私市元宏 93
岸 千年 15
岸田 紀 41
岸本和世 123
岸本羊一 107
木田献一 60
北垣宗治 103
喜田川信 24, 40, 87
北川三夫 23
北澤宏一 49
北村慈郎 44
北村慈郎牧師の処分撤回を求め、ひらかれた合同教会をつくる会 43, 44
北森嘉蔵 27, 117
絹川久子 123</p> |
|---|--|--|--|---|--|--|---|---|

木下裕也 104
 木ノ脇悦郎 26, 97
 ギブソン 63, 64
 木部尚志 47
 金 山徳 16
 金 慈林 94
 金 忠一 42, 116
 木村栄寿 128
 木村公一 41, 52
 キャヴァノー 47
 ギューティング 74
 ギュツラフ 66
 キュネット 20
 キュンク 15, 44, 115
 京極純一 119
 キリスト教古典双書刊行委員会
 16
 キルケゴール 25
 キルビー 95
 キング、B 85
 キング、M. L. 84, 85
 金城学院大学キリスト教文化研究
 所 57

く

クービッシュ 34
 草間信雄 40
 クスケ 38
 楠原博行 91
 グッグスベルク 99
 グティエレス 42
 クドウあや 124
 工藤英一 109
 工藤万里江 54
 国谷純一郎 41
 国安敬二 88
 久保田純一 127, 128
 熊沢義宣 117, 118, 122
 熊野義孝 22, 107, 123, 130
 熊野義孝先生追憶文集刊行会
 107
 久米 博 20, 32
 クラウス、C. N. 23
 クラウス、H. J. 27
 蔵田雅彦 108, 110
 クラッパート 18, 34
 クランフィールド 122
 グリーシー 103
 グリーン 76
 栗林輝夫 18, 21, 48, 49, 105
 クリュゼマン 61

クルースター 91
 クルーゼ 94
 クルマン 73
 クレイギ 64
 クレーマー 44
 クレック 67
 グレメルス 38
 黒川知文 98, 102
 黒崎幸吉 107
 クロッサン 67
 クロトウエル 121
 郡司益良 94

け

ケーゼマン 67
 ゲーターズ 67
 ケーベルレ 92

こ

小池創造 82, 89
 小泉 空 1
 小泉達人 60, 82, 87
 神戸女学院大学「新撰讃美歌」研
 究会 115
 河本哲夫 107
 コーブランド 100
 コーラー 57
 コーン 17, 115
 古賀清敬 62
 小暮修也 53
 午後3時祈の友会 95
 越川弘英 44, 46, 47
 小嶋大造 47
 小杉尅次 50, 131
 コックス 24
 コットレ 26
 後藤田典子 126, 127
 小中陽太郎 52
 小林信雄 44
 小林玲子 20
 小原克博 57
 小樋井滋 31
 小檜山ルイ 43
 コフィン 87
 小峯 明 91
 小峰三和子 95
 小山源吾 94
 小山 洋 94
 ゴルヴィツァー 24, 117
 コルモン 124

ゴンサレス 15, 98
 コンツェルマン 67, 69

さ

斎藤剛毅 91
 斎藤末弘 113
 斎藤 勇 104
 斎藤正彦 82, 98, 128
 齋藤元子 103
 在日大韓基督教会総会 109
 在日本韓国YMCA 101
 佐伯晴郎 89, 90, 128
 酒井 修 31
 坂本清音 44
 坂本優二 102
 櫻井康人 97
 左近 淑 62
 笹川紀勝 54
 佐々木栄悦 1
 佐々木勝彦 1, 17
 佐々木悟史 101, 119, 121
 佐々木哲夫 77
 佐々木徹 35
 清水光敏 14
 佐治孝典 106
 佐竹 明 66, 67, 71, 72, 73
 サグト 124
 佐藤司郎 31, 33, 34, 35, 36, 47,
 86, 123
 佐藤貴史 31
 佐藤敏夫 16, 20, 21, 22, 31, 104,
 123
 佐藤 誠 114
 佐藤 優 19, 20, 25, 100
 佐藤泰将 68
 里野泰昭 44
 真田 泉 25
 佐野一雄 96
 佐野安雄 92
 佐原光児 126
 佐柳文男 95
 沢 知恵 114
 沢 正彦 109

し

CCA 都市農村宣教部 42
 シーモア 56
 シェルドン 113
 シェンケル 126
 塩谷直也 92

塩月賢太郎 24
 塩野和夫 61, 99, 103, 104, 122,
 123
 四竈一郎 88
 四竈 揚 88
 茂 洋 39, 69, 82, 86, 87
 茂 義樹 110
 寺家村和子 90
 寺家村博 90
 四国学院キリスト教教育研究所
 50
 宍戸好子 84
 宍戸 達 23, 32, 33, 46, 47, 82,
 84, 92, 101
 宍戸峰子 94
 宍戸 寛 94
 柴崎 聰 112
 芝田豊彦 90
 柴田ひさ子 19
 シフトン 96
 島 創平 99
 島 多代 124
 島崎光正 94
 島塚 光 115
 清水光雄 41
 清水義樹 23
 志村 真 1, 48, 50, 51, 52
 志村 恵 51
 志茂望信 103
 初宿正典 38
 シュヴァイツァー、A. 50, 118
 シュヴァイツァー、E. 73
 シューベルト 98
 シュトゥールマッハー 67
 シュトゥルンク 22
 シュニーヴィント 117
 シュミット、E. 125
 シュミット、M. 99
 シュメーマン 46
 シュラーゲ 67
 シュラキ 67
 シュラッター 68, 89, 90
 シュリンク 47
 東海林勤 14
 庄司 真 77, 78
 正田倫顕 111
 ジョーンズ、C. M. 14
 ジョーンズ、O. 124
 ジラール 20
 シルジェン 105
 申 英傑 114

新教出版社 14, 21, 107
 新教出版社編集部 15, 47, 48, 97
 新名友子 57
 新免 貢 59

す

スウィードラー 68
 末盛千枝子 93
 杉原 助 76
 勝呂 奏 81
 鈴木正三 37, 51
 鈴木信子 94
 鈴木 浩 69
 鈴木文治 44
 鈴木牧雄 74
 鈴木正久 118, 119, 130
 鈴木伶子 93
 スターク 97, 99
 スチュアート 23
 ストーン 51
 スミス、D. M. 76
 スミス、J. 57
 澄田 新 127
 住田博子 15
 隅谷三喜男 95, 123
 陶山義雄 127
 ズンデル 90

せ

セイヤーズ 112
 清鈴園 121
 世界教会協議会 44, 57
 世界教会協議会「正義・平和・被
 造物」部局 57
 関 茂 119
 関川泰寛 62, 122
 関口安義 97
 関田寛雄 2
 瀬戸毅義 101
 ゼレ 43, 52, 96, 121
 全国キリスト者障害者団体協議会
 55
 善野碩之助 67, 68

そ

徐 南同 42
 ソン 22
 ゾンターク 97

た

タイセン 46, 66
 タイナ 124
 高尾 哲 61
 高尾利数 31, 39
 たかお・まゆみ 56
 高倉徳太郎 22, 129, 130, 132
 高倉雪江 93
 高崎宗司 131
 高砂民宣 69
 高堂 要 113
 高橋 弘 99, 100
 高橋優子 18
 高橋祐次郎 37, 38
 高松義数 88, 99
 高谷道男 103
 高柳俊一 24, 112
 高柳富夫 46
 田川建三 69
 滝口明男 115
 滝沢克己協会 18
 滝澤武人 69
 滝沢陽一 64
 田口江司 51
 武祐一郎 85, 122, 123
 武田 新 67
 武田清子 104, 106
 竹田伸一 91
 武田武長 17, 18, 41, 45, 67
 竹中正夫 111
 竹之内裕 58
 竹森満佐一 86, 116
 田添嬉雄 92
 田中遵聖 80
 棚瀬多喜雄 23
 田邊哲朗 127
 谷口美智雄 38, 117
 田上雅徳 27, 47
 ダフ 14, 127
 田淵 結 61
 WCC 世界宣教・伝道委員会 45
 玉井邦夫 124
 多摩美術大学環境デザイン学科
 44
 田村宏之 35
 田母神顯二郎 20
 俵さん石川さんと共に歩む会 58
 ダン 77
 ダンデライオン 97

ち

池 明観 24, 53, 109

崔 炳一 108
 崔 亨熙 116
 チェスター 77
 チェン 54
 千田まや 94
 千葉 眞 40
 曹 紗玉 113
 趙 載国 108
 趙 容来 42

つ

ツァーレント 16
 ツィンク 23, 56, 101
 塚田 理 57, 121
 塚本虎二 64
 月本昭男 61, 62
 辻 直人 110
 辻 学 25, 59, 65, 67, 72, 77
 津島久雄 88
 津田謙治 98
 土屋澄男 26, 95
 土屋 博 76, 77
 角田信三郎 44, 68
 つのぶえだん 124
 椿 憲一郎 23, 83
 椿 信子 83

て

ディア 1, 48
 ディーシェ 126
 ティーリケ 118
 デイヴィス 59
 テイラー 24
 ティリッヒ 16, 17, 38, 39, 51, 82, 117
 デヴィドソン 61, 64
 テ・グルーチー 49
 出村 彰 26, 63, 97, 99
 出村みや子 73
 デュボン 121
 寺島俊穂 51
 寺園喜基 33, 34, 35, 55
 寺田 博 132
 テルフォード 76
 デンツラー 53

と

土井かおる 128
 土井健司 99
 土居真俊 38

ドイツ福音主義教会 50
 東京ミッション研究所 54
 東京ミッション研究所ヨーダー研究会 52
 峠口 新 103
 東後勝明 85
 同志社大学人文科学研究所 106
 東條耿一 112
 東方敬信 47, 50
 トゥルナイゼン 41, 117, 118
 ドーセット 101

ドーリング・キンダースリー・ブック 90
 土岐健治 66
 「時の徴」同人 48
 徳田 亮 77
 戸口日出夫 31
 特定秘密保護法に反対する牧師の会 49
 徳永 徹 102
 渡久山章 54
 ドッド 118, 120
 土肥昭夫 53, 102, 103, 116, 129
 トマス・ア・ケンピス 89
 富坂キリスト教センター 2, 22, 42, 51, 54, 55, 57, 58, 96, 100, 101, 105, 108, 109, 128
 戸村政博 106
 友枝久美子 64, 100, 125
 戸山靖一 99
 外山八郎 118
 トリプル 123
 トレルチ 119
 トロクメ 67
 ドンフリード 77

な

ナイト 63, 64
 内藤道雄 42, 56, 115
 中井俊巳 124
 長尾ひろみ 114
 寺島 優 92
 中川晶輝 107, 122
 長崎 巍 47, 73
 中沢宣夫 70
 長柴忠一 67
 中島耕二 110
 中平健吉 54
 中田元子 42
 中野 実 64
 中野泰治 97

永野羊之輔 41
 仲原晶子 92
 中道政昭 60
 中村 敏 102
 中村妙子 90, 95, 101, 112, 124, 125, 126, 153, 160
 中村吉基 80
 永本哲也 97
 並木浩一 82
 南條俊二 65

に

ニーグレン 15
 新潟学園女子短期大学付属新潟文化研究所 103
 ニーゼル 27
 ニーパー、H. 126
 ニーパー、H. R. 50
 ニーパー、R. R. 20
 新堀邦司 109
 ニコルソン 61
 西垣内寿枝 63
 西垣二一 56, 67
 西片町教会 88
 西川博彬 87
 西阪 盾 125
 西阪保治 107
 西田恵一郎 93
 西田 玄 93
 西谷幸介 20, 51, 116
 仁科健一 131
 西原廉太 18
 西村貞二 119
 西村 徹 96
 西山健路 119

日本基督教改革派教会大会出版委員会 122
 日本基督教会山陽中会記録編纂委員会 106
 日本基督教会柳川教会 106
 日本基督教団代田教会 58
 日本キリスト教団百人町教会 50
 日本クリスチャン・アカデミー 48
 日本クリスチャン・アカデミー関東活動センター 43
 日本組織神学会 24
 日本におけるドイツ宣教史研究会 103
 日本バプテスト連盟靖国神社問題特別委員会 53
 日本ハンセン病者福音宣教協会

(MOL) 95
 日本ボンヘッフアー研究会 37, 38
 ニュービギン 21

ね

根本 泉 112

の

野上文夫 57
 野崎卓道 80, 82
 野田正彰 49, 51
 野田美由紀 77
 野町 裕 98
 野村 喬 19, 85
 野村文子 52
 野村 実 50
 野呂幸子 128
 野呂芳男 40, 41

は

バーカート 125
 パーキンス 78
 ハークネス 122
 バークレー 50, 89, 119, 120
 ハーパー 80
 ハーベル 61
 ハーン 46, 65
 バーンズ 59
 ハイスター 73
 生原 優 36
 ハイム 88
 バイル 111
 バウアーズ 58
 芳賀繁浩 27, 40
 芳賀達彦 1
 芳賀 力 59
 袴田巖さんを救う会 56
 袴田康裕 16
 量 義治 45
 波木居齊二 118
 バキオキ 57
 朴 聖煥 42
 朴 炯圭 88, 108
 橋本左内 51
 バスカル 81
 蓮見和男 21, 27, 30, 39, 40, 68, 78, 79, 87, 89, 117, 118, 121, 126, 159
 蓮見幸恵 39, 40, 95, 121, 122, 126

蓮見博昭 84
 長谷川修一 2
 長谷川晴子 36
 長谷川正昭 91
 畑 祐喜 24, 36, 57, 118
 バターワース 125
 畠山保男 20
 蜂谷昭雄 95
 八谷俊久 34
 バニエ 55
 バニヤン 92, 93, 126
 パネンベルク 1, 17, 19
 濱崎雅孝 31
 浜野道雄 78
 咸 錫憲 131
 早川朝子 97
 林 晃 85
 林 巖雄 42
 林 文雄 114
 林 好人 120
 原 栄作 92, 127
 原口尚彰 2, 66, 70, 71
 原崎百子 94
 原谷 勉 128
 ハル 95
 バルト 16, 17, 21, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 40, 41, 76, 80, 89, 115, 117, 118, 119, 120, 123, 128, 130, 132
 バルト神学受容史研究会 34
 パワーズ 93
 韓 哲義 108
 ハンター 68, 116
 ハントリー 55

ひ

ピーターズ 57
 ピエール 90
 挽地茂男 76
 樋口 進 60, 64, 81, 84
 久山療育園 55
 ピツァー 67
 ヒック 19
 ひとひとの会 51
 日野綾子 94
 ビュッサー 27
 平井 清 117, 118
 平川祐弘 111
 平野清美 19
 蛭沼寿雄 66, 74, 75, 128
 廣石 望 19, 46, 66

広岡義之 90

ふ

ファージョン 124
 ファイル 38
 ファニッシュ 77
 ファルケ 121
 フィオレンツァ 21
 フィロネンコ 72
 フート 51
 フーパー 47, 57
 フォーサイス 117
 フォスディック 91
 深井智朗 16, 23, 100
 深沢秀男 109
 深瀬忠一 51, 53
 福島 旭 126
 福嶋 揚 33, 39
 福田正俊 132
 藤井あけみ 56, 125
 藤井和弘 73
 藤井孝夫 20, 22, 23, 50
 藤井 創 49, 52, 57, 59
 藤倉恒雄 39, 56, 92
 藤田英夫 62
 藤田英彦 53
 藤田孫太郎 116
 藤本四郎 124
 藤本鈴恵 64
 藤原史朗 121
 二本 信 1
 ブッシュ 34
 船戸英夫 113
 フライ 112
 ブラウン、N. 66
 ブラウン、R. M. 52
 ブラッシュ 123
 フランクル 54, 90
 フランシスコ 98
 プリケット 59
 プリチャード 14
 プリンツラー 68
 ブルーダー 121
 ブルームハルト 35
 フルッサー 67
 ブルトマン 23, 75, 76
 フルベッキ 104
 古屋安雄 50, 52
 ブルンナー 117, 118
 ブロック 98

フロマートカ 19, 20, 100

へ

ペイシャ 100

ヘイズ 59

平和と核廃絶を求める委員会 53

ペイン 63

ペイントン 97, 124

ペートゲ 38

ペール 50, 114

ペールマン 21, 22

ヘッセリンク 91

ベンゲル 70

ヘンドリー 57

ヘンヘン 67

ほ

ホイッティア 112

ボイド 113

ボウカム 65, 66

北條元子 42

ボーグ 67

ボーマン 15

細川道弘 35, 50, 87

ボラー 103

堀 蘭子 113

堀 光男 36

堀江知己 2, 62, 63

堀川敏寛 18

ボルンカム 66, 67

ホロウエイ 42

本多峰子 89, 96, 111, 114

ボンヘッファー 22, 34, 36, 37, 38,
84, 89, 100, 117, 128

ま

マーシャル 77

マーセル 98

マーティン 43

マーティン 77

マーネル 52

マーフィー・オコナー 77

前川 裕 74, 76

前島宗甫 49

前田 豊 115

牧野留美子 50, 64, 90, 114

マクフェイグ 47

マゴネット 60

マコンヴィル 64

増子正一 113

益 巖 121

松浦 謙 125

松浦 大 61, 88

マッキー 26

松本治三郎 79

マッキンレイ 101

マッコリー 50

松島雄一 1, 46, 97

松平陽子 64

松田和憲 45, 89

松田智雄 94, 107

松田 央 18

松田真理子 57

松谷邦英 49

松谷暁介 23

松谷好明 49

松永希久夫 76

松永晋一 24, 53, 120

松永美穂 80

松見 俊 21

松村国隆 50

松本寛二 94

松本襄二 55

松本卓夫 40

松本宣郎 99

松本富士男 14

松本雅弘 46

松山與志雄 47

真山光彌 110

マリナー 69

マルクセン 67

丸橋 裕 63

マロウ 46

マンシュレック 117

み

三浦永光 2

三浦安子 37

三小田敏雄 16

水谷昭夫 113, 114

水谷八也 63

水野たかし 54

水野 誠 56

水野隆一 49, 61

みつじまちこ 124

三鼓秋子 96

三ツ本武仁 67

三永旨従 73

南 吉衛 67

嶺重 淑 25, 76

三野和恵 101

美濃部信 126

三保 元 73

三村 修 44

宮城多佳子 57

三宅成仁 43

宮崎 亮 101

宮島新也 120

宮谷宣史 25

宮田光雄 22, 26, 31, 34, 37, 47,
48, 51, 88, 90, 92, 100, 104, 116,
120, 123宮平 望 1, 17, 18, 21, 68, 69, 70,
71, 72, 91

宮本武之助 132

三好 明 62

三好 迪 68

む

向井武子 55

無教会史研究会 110

宗藤尚三 51

村井洋子 82, 101

村上和男 22

村上達夫 24

村上 伸 24, 36, 37, 38, 67, 88,
92, 101, 119, 128

村上良夫 100

村瀬義史 51

村椿嘉信 89

村松恵二 34

村山幸輝 57

文 益煥 109

め

明治学院人物列伝研究会 107

明治学院テキスト作成委員会
126

メッツ 40

メルケル 80

メレディス 98

メロニー 125

も

最上敏樹 49

持田克己 87

望月麻生 80

森 平太 36, 121

森 真弓 123

森岡 巖 38, 45, 105

森岡清美 45

森川 甫 81

森島 豊 16

森田 進 57

森田安一 27

盛永 進 88

森野善右衛門 36, 37, 38, 43, 45,
86, 117, 121, 122, 128

森本あんり 19, 99

森安 綾 95

森山浩二 131

森山 恣 53

モルトマン 11, 12, 21, 39, 40, 42,
43, 121, 122, 158, 160, 162モルトマン・ヴェンデル 40, 42,
43

モンテフィオレ 57

や

八重樫克彦 98

八重樫由貴子 98

柳父近延 48

八木重吉 117

八木誠一 66, 68, 76

柳生直行 96, 113

安藤敏真 31, 96

矢田裕華子 100

矢田由香子 125

八田正光 100

矢野百合子 109

ヤマウチ 98

山内一郎 14, 25, 41, 50, 77

山内 眞 77

山岡 健 73, 77

山我哲雄 62

山形孝夫 76

山口里子 21, 46, 55, 58, 68, 72

山口希生 65

山口雅弘 46, 85

山口陽一 48

山崎和明 38, 49

山崎鷲夫 107

山下秋子 52

山下章子 47

山下壮起 1, 17

山下慶親 49, 52

山田耕太 65, 76

山田貞夫 108

山田 隆 83

山内祥史 113, 114

山本 和 33

山本光一 51

山本大丙 97

山本俊正 108

山本泰生 76

山森みか 64

山谷省吾 14, 97, 129, 159

梁 賢恵 108

ヤング, A. 113

ヤング, F. 77

ゆ

湯浅裕子 115, 123

由木 康 47

よ

横田耕一 49

横田幸子 80

横田法路 65

横手征彦 99

吉岡契典 2

吉岡 繁 46

吉武 誠 122

吉田信夫 68

吉田 新 44, 46

吉田 隆 91, 122

吉谷おる 98

吉田満穂 120

吉永正義 27, 28, 30, 32, 35

吉村秀子 121

吉村善夫 32, 113, 117

ヨンバルト 91

ら

ライアン 1

ライザー 44

ライト 65

ライブホルツ 38

ラウシェンブッシュ 49

ラッセル, D. S. 64

ラッセル, L. M. 42

ラトゥレット 120

ラビーデ 90

ラベル 57

ラマー 44

ラング 59

ランドル 51

り

リース 27

リガンズ 63

リクール 20

リチャードソン 116

リッチズ 77

リッチェル 24

リュウ 77

リユースー 43

リュティ 80, 82, 89, 92, 117

リンダース 77

リントシュトレーム 41

る

ルアーノ 125

ルイス 95, 96, 101, 114, 125

ルター 116, 124

ルビン 98

れ

レーナルト夫妻 56

レーマン 103

レオン・デュフル 73

ろ

ロアポー 69

ロイエンベルガー 46

ローゼ 67

ロジャンコフスキー 124

ロバートソン 26

ロビンソン, J. M. 64

ロビンソン, M. 112

ロベス・ビヒル, J. 81

ロベス・ビヒル, M. 81

ロメロ 114

わ

和井田学 119

和賀真也 51

若林 裕 19

渡辺禎雄 111, 125

渡辺省三 20

渡辺翔平 1

渡辺信夫 25, 26, 27, 45, 63, 75,
83, 84, 109, 116

渡辺英俊 45, 88

渡辺正雄 84

王 艾明 23

品切書名索引

あ

愛（戸田伊助）……2007
 愛することと信じること（小副川幸孝）……1995
 愛する人が襲われたら？（ヨーダー）……1998
 愛せる自由をください（戸田伊助）……1999
 愛・力・正義（ティリッヒ）……1957
 愛とパンと自由を（カルデナル）……1982
 愛に生きる教会（ゴルヴィツァー）……1987
 愛の体制（原 良三）……1946
 愛への解放（渡辺英俊）……1980
 アウグスチヌス「告白」講義（矢内原忠雄）……1946
 アウグスチヌスの「告白」（ハルナック）……1957
 青学神学科訴訟（青学神学訴訟を支援する会）……1979
 アガサ・クリスティーの真実（中村妙子）……1979
 暁を呼びさます鐘（金 鎮洪）……1975
 芥川龍之介の思想（滝沢克己）……1967
 悪太郎の一生（パニヤン）……1955
 アコルの谷を望みの門となす（柏井光蔵）……1945
 麻生信吾説教集 1～2……1973
 アジア宗教と福音の論理（池 明観）……1970
 アジアの革命と神の支配（トーマス）……1972
 アジアの呼び声に応じて（隅谷三喜男）……1990
 明日に生きる寄留の民（李 仁夏）……1987
 明日の社会と明日の教会（ホーケンダイク）……1966
 アタナシオスの救済論（有賀文彦）……1998
 アダム（リュティ）……1972
 新しい人生の創造（パークレー）……1966
 新しい人間像を求めて（佐古純一郎）……1963
 新しい福音（蓮見和男）……1970
 新しい革袋（丸尾俊介）……1974
 新しき教会の生命と使命（トーフト）……1960
 新しき存在（ティリッヒ）……1958
 新しきミューズ（山形和美編）……1987
 集められた共同体（ウェーバー）……1979
 あなたはどこにいるのか（宗藤尚三）……1971
 アルファとオメガ（エルブ）……1959
 アブラハム（リュティ）……1973
 アブラハム物語（井関かずみ）……1954
 アフリカ物語（シュバイツァー）……1952
 アモス書・ホセア書を読む（泉治典）……2001
 嵐の中の牧師たち（辻 宣道）……1992
 アンジェラスの鐘（田中忠雄）……1958
 アンセルムス研究（印具 徹）……1951

安中教会史（新島学園文化研究所編）……1988

い

イエス（デイペリウス）……1973
 イエス（ブラウン）……1970
 イエス・キリスト（上沢謙二）……1966
 イエス・キリストの道（モルトマン）……1992
 イエス伝（本田正一）……1954
 イエス伝研究（高柳伊三郎）……1951
 イエス伝とその周辺（高柳伊三郎）……1957
 イエスと呼びあった女たち（横田幸子）……1995
 イエスと黒人革命（コーン）……1971
 イエスと子ども（野辺地天馬）……1956
 イエスと子どもたち（ウェーバー、H. R.）……1980
 イエスとの出会い（カファレナ、他）……1977
 イエスとわれら（佐伯晴郎）……1970
 イエスの政治（ヨーダー）……1992
 イエスの弟子たち（パークレー）……2007
 イエスの弟子達（西阪 盾）……1953
 イエスに従おうとするなら（朴 炯圭）……1976
 イエスの足あと（ヴィルク）……1977
 イエスの根源志向（高尾利数）……1970
 イエスの警への意味（A.M. ハンター）……1982
 イエスのたとえ話（西阪 盾）……1954
 イエスの学び（佐伯晴郎）……1981
 イエスの幼年時代（三浦アンナ）……1958
 イエスは生きておられる（ツィンク、レーリヒト）……1971
 イエスは革命家であったか（ヘンゲル）……1974
 イエスは神の御子キリスト（長崎 鏡）……1999
 イエスは主なり（バルト、トゥルナイゼン）……1950
 イエス物語（吉野丈夫）……1949
 イエスをめぐる女性たち（モルトマン＝ヴェンデル）……1982
 家の教会の論理（佐伯晴郎）……1987
 いかに生きるか（岡 通）……1964
 生きにくさをかかえて（東京・障害者問題を考える集い編）……2002
 異教徒の憂い（キェルケゴール）……1976
 生きる道（松永晋一）……1976
 生きる道を探して（西川博彬）……1980
 イザヤ書（中澤洽樹）……1990
 イザヤ書 旧約註解合本（手塚儀一郎、中澤洽樹）……1964
 石ではなくパンを（フィオレンツァ）……1992
 イスカリオテのユダ（バルト／川名訳）……1963

イスラエルの起こり（長谷川初音）……1953
 傷める葦（小塩 力）……1946
 傷める葦を折ることなく（島崎光正）……1976
 いと小さき者の神 旧約篇（ショットロフ）……1981
 いと小さき者の神 新約篇（シュテーゲマン）……1981
 生命の原点（高橋三郎）……1971
 いのちの道を行く者（大戸好子）……1982
 いのちの倫理を考える（NCC 生命倫理委員会）……2004
 いのちを愛して（岡 通）……1961
 いのちを望む神（村上 伸）……1992
 祈（植村正久）……1943
 祈りの世界（ケルヴェン）……1970
 祈りと慰めの言葉（ルター）……2007
 祈りは力である（藤井孝夫）……1991
 祈ること生きること（シェーンヘル）……1979
 いばらの冠（NCC 部落差別問題委員会編）……1983
 癒しと救い（ウールリッヒ・パッハ）……1993
 インマヌエル（橋本 鑑）……1966
 インマヌエル・アーメン（寺田 博）……1945

う

ウェストミンスター信仰告白講解（矢内昭二）……1969
 ウェスレー著作集 1（新訳注解 上）……1979
 ウェスレー著作集 3（説教 上）……1961
 ウェスレー著作集 5（説教 下）……1972
 ウェスレー著作集 6（神学論文 上）……1967
 ウェスレー著作集 7（神学論文 下）……1973
 ウェスレーの神学（野呂芳男）……1960
 ウェスレー篇 古典叢書 9（NCC 文書篇）……1958
 植村環先生の時代（今村武雄）……1987
 植村正久説教集（加藤常昭編）……1972
 植村正久の福音理解（藤田治芽）……1981
 内村鑑三と無教会（カルダローラ）……1978
 内村鑑三・ベルにおくった書翰（山本泰次郎編訳）……1949
 美しい大地（ツィンク）……1983
 海と灯台の本（マヤコフスキー）……2010
 海辺のキリスト（リルエ）……1958
 うめき（戸田伊助）……2006
 運命と摂理（池田浩平）……1969

え

永遠（ブルナー）……1957
 永遠なるものとの対話（水谷昭夫）……1983
 永遠者の探求（赤岩 栄）……1948
 永遠なる言（松木治三郎）……1946

永遠の今（ティリッヒ）……1986
 栄光、神にあれ（梅染信夫）……1992
 英国宗教詩鑑賞（斎藤 勇）……1958
 英国人と基督教（好本 督）……1948
 永生（植村正久）……1948
 エコロジールとキリスト教（富坂キリスト教センター編）……1992
 エステル物語（野田光子）……1953
 エゼキエル書（ケンブリッジ旧約聖書註解 18）……1980
 海老名正説教集（加藤常昭編）……1973
 エバソ・ビリビ・コロサイ・ビレモン（山谷省吾）……1975
 エマオ途上の旅人（大村 勇）……1975
 選ばれた島（青木恵哉）……1972
 選びの歴史（榎原康夫）……1995
 エリヤ・エリシャ物語（石島三郎）……1953
 エルサレムの城壁（新見 宏）……1960
 エレミヤよ、何が見えるか（大島純男）……1995

お

老いの豊かさ（シュルツ編）……1981
 逢坂元吉郎著作集 上・中……1971
 逢坂元吉郎著作集 下……1972
 逢坂元吉郎の生涯と思想（石黒美種）……1964
 大いなる終末（高橋泰二）……1982
 オカルドゥンガ診療所（伊藤邦幸／伊藤聡美）……1981
 沖縄から天皇制を考える（新教出版社編）……1988
 沖縄からヤスクニを問う（池永倫明）……1979
 沖縄にこだわりつけて 新版（平良 修）……2002
 小塩力説教集 1,2……1977
 小塩力説教集 3……1978
 お伽の国の神学（柳生直行）……1984
 男・女・結婚（トゥルナイゼン、ヴィサー・トーフト他）……1954
 男と女（ビエレル）……1964
 小野村林蔵全集 1……1977、 2、3……1978
 お日さまとお月さま（宋）……1979
 恩寵と召命（高倉徳太郎）……1952
 お星さまのおくりもの（中村妙子訳）……1989
 恩恵の栄光（高倉徳太郎）……1984

か

カール・バルト戦後神学論集……1989
 カール・バルト著作集（*印は新教セミナーブックにて新装復刊）
 1（教義学論文集 上）……1968
 5（倫理学論文集）……1986
 6（政治・社会問題論文集 上）……1969

7 (政治・社旗問題論文集下) ……1975
 8 (知解を求める信仰・われ信ず*) ……1983
 9 (神認識と神奉仕*・教会の信仰告白*・キリスト教の教理*) ……1971
 10 (教義学要綱*・福音主義神学入門*) ……1968
 15 (死人の復活*・ビリビ書注解*・ローマ書新解*) ……1981
 16 (説教上) ……1967
 17 (説教下) ……1970
 カール・バルトにおける神認識の特徴 (田部郁彦) ……1991
 改革教会における霊性《大森講座15》(東野尚志) ……2000
 改革主義信仰と説経 (松田真二) ……1990
 改革主義信条の神学 (ヤコブス) ……1981
 改革派教会の伝統 (リース) ……1989
 改革派教会の礼拝 (後藤憲正) ……1987
 カイザルのものと神のもの (宮田光雄) ……1971
 回心記 (石原兵永) ……1959
 回心の前後 (ブルンス) ……1955
 改造途上のキリスト (森 明) ……1954
 帰ってこない子供たち (宮崎 亮・宮崎安子) ……1991
 革命の時代の教会と神学 (ロマドカ) ……1962
 解放者イエス (安 炳茂) ……1977
 解放の神学 (コーン) ……1973
 解放の神学をたずねて (渡辺英俊) ……1988
 解放の地平をめざして (グティエレス) ……1985
 解放と変革の神学 (グティエレス) ……1979
 科学の時代の中のキリスト (ケールソン) ……1955
 科学の時代の中の聖書 (リチャードソン) ……1970
 かがやく星を道しるべに (ウェンセル、ホイク) ……1994
 賀川豊彦先生 (横山春一) ……1952
 核戦争と性的問題 (島崎暉久) ……1984
 隠れたる現実と隠れたる現実人 (寺田 博) ……1946
 駆けよってくださる神 (ロッホマン) ……2000
 片隅が天である (渡辺英俊) ……1995
 片隅からの平和発言 (中村 滯) ……1996
 カトリックとは何ぞ (ホッジ) ……1954
 カトリックとプロテスタント (和蘭改革派教会教書) ……1959
 カトリック倫理とプロテスタント倫理 (ロジェ・メール) ……1990
 神 (オット) ……1975
 神 (植村正久) ……1947
 神さまのおとずれ (蓮見和男) ……1993
 神さまのこどもたちへ (松浦 謙) ……2002年
 神さまの約束 (スマート) ……1954
 神さまはお急ぎにならない (松本寛二) ……1986
 神さま、ようこそわが家へ (ツィンク夫妻) ……

1981
 神とこの世 (マッコリー) ……1971
 神との邂逅 (NCC 文書編) ……1954
 神の栄光の神学 (ニーゼル) ……1981
 神の革命と人間の責任 (コックス) ……1970
 神の家族 (バッハ、他) ……1981
 神の国のおとずれ (鈴木正久) ……1969
 神の国の証人ブルームハルト父子 (井上良雄) ……1982
 神の国の種を蒔こう (ヴォーリス) ……2014
 神の国の約束に生きて (村上 伸) ……1982
 神の国は近づいた (喜田川信) ……1976
 神の言葉はとこしえに保つ (兩宮栄一) ……1984
 神の真理 (ハワーワス/ウィリモン) ……2001
 神の算盤 (大塚節治) ……1965
 神の死の神学 (ハミルトン、アルタイザー) ……1969
 神の創造と科学の世界 (ビーコック) ……1983
 神の場 (ネラン) ……1972
 神の平和 (イシガ オサム) ……1971
 神はわれらの避け所 (ブルンナー) ……1955
 神への思い (キェルケゴール) ……1958
 神わが友 (スピーリー) ……1946
 神われらと共に (ゴルヴィツァー) ……1975
 神を知る道 (松田正三) ……1983
 神を讀う (新堀邦司) ……1999
 神を求めよさらば生くべし (バルト、トゥルナイゼン) ……1951
 からだと倫理 (松永晋一) ……1976
 ガラテヤ書講解 (ルター) ……1956
 ガラテヤ書注解 (松本卓夫) ……1955
 ガラテヤ・テサロニケ人への手紙 (山谷省吾) ……1972
 カルヴァン 研究と年譜 (郷司慥爾) ……1952
 カルヴァン説教集 ……1952
 カルヴァンの人と神学 (ドゥメルグ) ……1977
 カルヴァン篇 古典叢書8 (NCC 文書編) ……1959
 カルヴィニズム (ミーター) ……1949
 彼らは如何に導かれたるか (植村正久) ……1947
 河井道の生涯 (関根文之助) ……1954
 関係の教育 (ミラー) ……1971
 韓国のキリスト教会史 (関 庚培) ……1981
 韓国現代史と教会史 (池 明観) ……1975

 き

キェルケゴール (高橋 亘) ……1950
 キェルケゴール説教集 ……1948
 キェルケゴールと現代の神学 (喜田川信) ……1971
 キェルケゴール篇
 上 (NCC 文書編) ……1959
 下 (NCC 文書編) ……1961
 危機に生きる信仰 (マイケルソン) ……1959

菊池吉弥説教集 1 ……1981
 菊池吉弥説教集 2 ……1983
 危険な旅 (バニヤン) ……1987
 北からの平和 (深瀬忠一/榎本栄次編) ……1975
 きつねがのぞいたクリスマス (バターワース) ……1989
 義と憐れみ (ニーバー、R. H.) ……1975
 昨日と明日の間の神学 (ロマドカ) ……1963
 希望の神 (喜田川信) ……1979
 基本信条 (東京基督教研究所訳) ……1946
 奇妙な国 (島比呂志) ……1980
 逆境の恩寵 (徳永規矩) ……1958
 究極的なものを求めて (ティリッヒ、他編) ……1968
 求道者に寄す (植村正久) ……1948
 旧約外典概説 (高橋 虔) ……1954
 旧約各書概説 (興沼正敏) ……1990
 旧約宗教の社会学的背景 (関根正雄、内田芳明) ……1954
 旧約神学の諸問題 (浅野順一) ……1953
 旧約聖書 (ヴォルフ) ……1991
 旧約聖書概論 (岡村民子) ……1956 (*『岡村民子著作集IV』に収録)
 旧約聖書緒論
 1,2 (ファイファー) ……1956
 3 (ファイファー) ……1962
 4 (ファイファー) ……1963
 5 (ファイファー) ……1964
 旧約聖書通論 (松田明三郎) ……1959
 旧約聖書の思想 (興沼正敏) ……1977
 旧約聖書の中心 (木田献一) ……1989
 旧約聖書の手引き (アブリ) ……1974
 旧約聖書の人々 (興沼正敏) ……1960
 旧約聖書は何を語るか (樋口 進) ……1997
 旧約注解
 1 創世記 (高橋 虔) ……1956
 2 出エジプト (馬場嘉一) ……1957
 3 レビ記 (山崎 亨) ……1967
 4 民数記 (興沼正敏) ……1959
 5 申命記 (田中理夫) ……1958
 9 歴代志 (新屋徳治) ……1960
 10 エズラ・ネヘミヤ・エステル (加納政弘、新屋徳治) ……1966
 11 ヨブ記 (手塚儀一郎) ……1957
 12 詩篇1 (松田明三郎) ……1956
 13 詩篇2 (松田明三郎) ……1957
 14 詩篇3 (松田明三郎) ……1957
 16 伝道の書・雅歌・哀歌 (浅野順一、興沼正敏) ……1967
 17 イザヤ書1 (手塚儀一郎) ……1959
 18 イザヤ書2 (中澤洽樹) ……1959
 19 エゼキエル書 (城崎 進) ……1959

20 ダニエル書・小預言者 (手塚儀一郎) ……1967
 旧約における神の独一性 (関根正雄) ……1947
 旧約預言者像 (新屋徳治) ……1993
 教育と宗教 (関西学院宗教活動委員会) ……1965
 教会 (植村正久) ……1948
 教会 (ウィリアムス) ……1969
 教会 (バルト) ……1978
 教会 (福田正俊) ……1948
 教会が教会であるために (渡辺信夫) ……1993
 教会史概説 (ホイシ) ……1966
 教会生活とは何か (江口武憲) ……1970
 教会堂建築 第2版 (田淵論) ……2009
 教会と国家 (バルト) ……1954
 教会と社会の間で (ニーバー、R. H.) ……1971
 教会と世界の出会い (ゲブル) ……1964
 教会と文化 (熊野義孝著作集9) ……1981
 教会に未来はあるか (キューク) ……1980
 教会の改革形成 (プロウシュ) ……1982
 教会の改革と形成 (ニーゼル) ……1970
 教会の革新 (トーフ) ……1959
 教会の起源と本質 (高橋三郎) ……1975
 教会の神学 (ディーム) ……1965
 教会のパピロン幽囚 (ルター) ……1957
 教会・律法・社会 (アウレン) ……1953
 教会論入門 (渡辺信夫) ……1963
 共観福音書概説 (高橋三郎) ……1973
 教義学要綱 (バルト) ……1993
 共産主義世界における福音の宣教 (バルト、ハーメル) ……1963
 共同体を生きる (西田 晃) ……1969
 教理の手引き (カー) ……1958
 きよしこのよる (ラーゲルレーヴ) ……1992
 キリスト教概論 (熊谷政喜、深町正信) ……1984
 キリスト教家庭教育の源流 (安達寿孝) ……1989
 基督教教育 (高橋 毅) ……1957
 キリスト教教育講座1~4 (高橋 毅、他) ……1958
 キリスト教教育の革新 (ラッセル) ……1971
 キリスト教教理 (石島三郎) ……1956
 基督教講座1~10 (東京神学大学) ……1951~53
 基督教綱要聖句便覧 (新教出版社編) ……1949
 キリスト教綱要 (渡辺信夫訳、旧版)
 I ……1962
 II ……1962
 III /1 ……1963
 III /2 ……1964
 IV /1 ……1964
 IV /2 ……1965
 別巻 ……1965
 キリスト教綱要抄 (カルヴァン/カー) ……1954
 キリスト教国アメリカ (古屋安雄) ……1967

キリスト教史 (柏井 園) ……1956
 基督教史 (松尾喜代司) ……1956
 基督教思想概説 (高柳伊三郎) ……1953
 キリスト教思想の流れ (高尾利数) ……1969
 基督教社会倫理 (ベネット) ……1950
 キリスト教社会倫理概説 (ヴェントラント) ……1981
 キリスト教社会倫理の現代的視点 (細川道弘) ……1977
 キリスト教主義大学の死と再生 (高尾利数) ……1969
 キリスト教女性観 (キルシュバウム) ……1956
 基督教神学概論 (桑田秀延) ……1952
 キリスト教神学序説 (マカイ) ……1956
 キリスト教信仰案内 (ハンター) ……1978
 キリスト教信仰の本質 (エーベリング) ……1963
 キリスト教信仰の本質 (高橋三郎) ……1971
 基督教生活 (植村正久) ……1948
 基督教の焦燥 (小田切信男) ……1950
 キリスト教的平和主義 (ヨーダー) ……1957
 キリスト教と教育 (ワータリンク) ……1962
 キリスト教と近代文化 (佐藤敏夫) ……1964
 キリスト教と社会秩序 (テンブル) ……1951
 キリスト教と大嘗祭 (富坂キリスト教センター) ……1987
 キリスト教と西田哲学 (川村永子) ……1988
 キリスト教と日本の現状 (滝沢克己) ……1972
 キリスト教と部落問題 (工藤英一) ……1983
 キリスト教と文学 (佐古純一郎) ……1965
 キリスト教と文明の諸問題 (ブルンナー) ……1982
 キリスト教と歴史 (土肥昭夫教授退職記念論文編集委員会) ……1997
 キリスト教入門 (石島三郎) ……1947
 基督教人間観 (ニーバー、R. H.) ……1951
 キリスト教の神 (フェレー) ……1962
 キリスト教の現代的使命 (鈴木正久) ……1969
 キリスト教の現代的展開 (古屋安雄) ……1969
 キリスト教の人間観 (野村耕三) ……1985
 キリスト教の道しるべ (森 好春) ……1952
 キリスト教の非戦平和主義 (リチャード) ……1952
 キリスト教の挿監期 (トロクメ) ……1998
 キリスト教本質論 (熊野義孝著作集6) ……1979
 基督教倫理 (ニーバー、R. H.) ……1949
 キリスト教倫理思想史 (細川道弘、小林照夫) ……1974
 キリスト告白と平和 (ドイツ改革派教会平和宣言) ……1984
 キリスト讃歌 (小塩 力) ……1959
 基督者と生活 (植村正久) ……1948
 キリスト者の勝利 (横井憲太郎追想録刊行会) ……1978
 キリスト者の生活 (ヘッサート) ……1970
 キリスト者の政治責任 (飯坂良明) ……1970

キリスト者の成長 (長崎 巍) ……1946
 キリスト者の倫理 (藤井孝夫) ……1966
 キリスト小伝 (バスカル) ……1951
 キリスト称念 (清水義樹) ……1946
 キリスト伝説物語 12 話 (梅染信夫) ……1997
 キリストとキリスト者 (フェレー) ……1961
 キリストと神話 (ブルトマン) ……2007
 キリストと歴史 (ティリッヒ) ……1971
 キリストとわたし (船本弘毅) ……1968
 キリストに存る自由 (栗原久雄) ……1946
 キリストに従いし人々 (新教出版社編) ……1954
 キリストに従う者と戦争 (リンド) ……1957
 キリストによる自由 (柏井忠夫) ……1976
 キリストの体なる教会 (NCC 文書編) ……1958
 キリストの共同嗣業 (田中剛二) ……1947
 キリストの死 (デニー) ……1992
 キリストの死 (ノックス) ……1963
 キリストの証人 (小塩力編) ……1951
 キリストの証人ヨブ (バルト) ……2000
 キリストの精神 (富永徳磨) ……1970
 キリストのほとりの中で (吉岡千里) ……1971
 キリストの未来と世界の終わり (モルトマン) ……1973
 寄留の民の叫び (李 仁夏) ……1979
 岐路に立つ (岩田雅一) ……1990
 キング牧師ってどんな人? (ドゥケイ) ……1985
 近代世界とプロテスタンティズム (トレルチ) ……1962
 近代世界における人間の運命 (ベルジャイエフ) ……1946
 金大中氏たちと共に (和田春樹、清水知久) ……1983
 近代天皇制の形成とキリスト教 (富坂キリスト教センター編) ……2004
 近代日本のキリスト教と女性たち (富坂キリスト教センター) ……1995
 近代の日本の終焉と宗教裁判 (堀井順次) ……1972
 銀の燭台 (新教出版社編) ……1957

く

愚者の饗宴 (コックス) ……1971
 苦難の意義 (浅野順一編) ……1948
 苦難の韓国民衆史 (咸錫憲著作集2) ……1993
 苦難の僕 (中澤恰樹) ……1964
 熊野義孝全集
 1 (聖書講解上) ……1977
 3 (聖書神学) ……1979
 4 (神学概論) ……1982
 5 (終末論・キリスト論・教会論) ……1979
 6 (キリスト教本質論) ……1978
 7 (教義学上) ……1980 (*オンデマンド版で復刊)

8 (教義学下) ……1982 (*オンデマンド版で復刊)
 9 (教会と文化) ……1981
 10 (歴史と現代上) ……1981
 11 (歴史と現代下) ……1979
 12 (日本のキリスト教) ……1982
 熊野義孝の神学 (熊野義孝記念論文集刊行会) ……1986
 クラーク先生とその弟子達 (大嶋正健) ……1948
 暮らしの中のキリスト教 (新名忠臣) ……1993
 クリスチャンのための親業 ABC (ゴールキエ) ……1985
 クリスマスの贈り物 (ヘップナー) ……1982
 クリスマスの思い出 (ヘップナー) ……1991
 クリスマスの奇蹟 (ボンヘッファー) ……1997 年
 苦しみ (ゼレ) ……1948
 黒崎幸吉著作集
 1、2 ……1972
 3 ~ 7 ……1973

け

荆冠の神学 (栗林輝夫) ……1991
 敬虔なるリベラリスト (新島学園文化研究所) ……1984
 掲示・教会・神学 福音と律法 (バルト) ……2007
 芸術・信仰・青春 (小塩 節) ……1969
 ゲーテ (シュヴァイツァー) ……1949
 結婚の神聖について (ヒルティ) ……1946
 原始教会の信仰告白 (クルマン) ……1957
 原始教会の伝承 (クルマン) ……1958
 原始キリスト教と礼拝 (クルマン) ……1957
 現世の福音としてのファウスト 1 ~ 4 (斎藤平四郎、他) ……1957 ~ 59
 現代教育の宗教的関心 (フェニックス) ……1968
 現代教会こころ事情 (有馬式夫) ……1998
 現代教義学総説 (ペールマン) ……1982
 現代キリスト教神学思想事典 (マクグラス) ……2001
 現代キリスト教人間像 (宮本武之助) ……1958 (*品切後『宮本武之助著作集』上巻に収録)
 現代キリスト教問答 (松木治三郎、他) ……1972
 現代史を生きる教会 (池 明観) ……1982
 現代人と宗教 (細川道弘、他) ……1971
 現代人と聖書 (細川道弘、他) ……1972
 現代人のキリスト (バルチュ) ……1958
 現代人のキリスト神学 (高橋俊一) ……1974
 現代人は愛しうるか (佐古純一郎) ……1961
 現代新約聖書入門 (ハンター) ……1983
 現代とキリスト教 (マタイス) ……1973
 現代に生きる使徒信条 (ボルンカム、モルトマン) ……1970
 現代における神 (モルトマン) ……1981

現代日本とキリスト教 (隅谷三喜男) ……1962
 現代日本を考える (久世 了) ……1973
 現代のイエス伝 (ハンター) ……1956 (*刊行中の『イエスの働きと言葉』は同書新訳)
 現代の教会と信仰告白 (高松牧人) ……1992
 現代の教壇 (NCC 文書編) ……1958
 現代の神学 (バックハウス) ……1960
 現代の神学と日本の宣教 (吉村善夫) ……1964
 現代の人間解放の倫理 (小幡慶助) ……1988
 現代ヨーロッパ神学 (トーフト) ……1953
 現代を聖書に問う (小林融弘、内坂 晃) ……1985
 ケンブリッジ旧約聖書註解
 2 (出エジプト記) ……1981
 3 (レビ記) ……1983
 6 (ヨシュア記) ……1982
 9 (列王記) ……1980
 11 (ルツ記・エステル記・伝道の手紙) ……1981
 13 (詩篇 1-75) ……1984
 14 (詩篇 76-150) ……1984
 15 (箴言) ……1983
 18 (エゼキエル書) ……1980
 19 (ダニエル書・ホセア書・アモス書) ……1981

こ

講解説教ハイデルベルグ信仰問答 (竹森満佐一編) ……1971
 講解説教イエス伝 (竹森満佐一編) ……1990
 高校生と学ぶ使徒信条 (武祐一郎) ……1994
 口語訳 聖書辞典 ……1968
 口語訳聖書コンコルダンス ……1978
 「合祀」いやです (中谷康子さんを支える全国連絡会編) ……1993
 降誕と復活 (植村正久) ……1948
 合同教会としての日本基督教団 (日本基督教団教職者懇談会) ……1989
 幸福論 (三谷隆正) ……1968
 浩平詩集 (池田浩平) ……1976
 心に残るキリスト教のお葬式とは (井上彰三) ……2005
 心の旅路 (関根文之助) ……1959
 心は夕日よりも明るく (シュバイツァー) ……1967
 小島の春 (小川正子) ……1947
 古代オリエントの衣装 (ワトソン) ……1991
 古代教会の信仰告白 (渡辺信夫) ……2002
 古代世界とキリスト教 (山谷省吾) ……1963
 こだますいのち (三宅 廉) ……1992
 国家本質に関する二大思潮の対立 (中島 重) ……1946
 国権と良心 (種谷牧師裁判を支援する会) ……1975
 ゴッホ (久米あつみ) ……1965
 ことばは光 2 (太田道子) ……2006
 鼓動する東アジアのキリスト教 (富坂キリスト教セ

ンター企画) ……2001
 こどものイエスさま (西阪保治) ……1952
 子どもの神学 (上山修平) ……1988
 子どもの信仰と教会 (ウェスターホフ) ……1981
 この囲いの外の羊をも (戸村政博) ……1998
 この人を見よ (ボンヘッファー) ……1969
 この人を見よ (増田 祈) ……1997
 湖畔の小さな教会 (星野正興) ……1983
 コリント前書講解説教 (松本 廣) ……1985
 コリント前書要解 (松本卓夫) ……1952
 コリント人への第一の手紙 (山谷省吾) ……1970
 コリント人への第二の手紙 (山谷省吾) ……1962
 コンコルダンス (広田花崖編) ……1953
 コンコルダンス 文語・口語兼用 (新教出版社編) ……1957
 近藤治義説教集 ……1978
 今日キリスト教とは何か (堀井順次) ……1972
 今日キリストは私たちに何者か (モルトマン) ……1996
 今日、福音の証しに召されて (世界改革派教会連盟) ……1986

 さ

最高裁と神々 (津地鎮祭違憲訴訟を守る会) ……1980
 最後の勝利をわかちあうまで (金 大中) ……1984
 最後の証し (バルト) ……1973
 差別をめぐって人間を考える (日本基督教団全国教会婦人会連合) ……1994
 サムソン物語 (海老沢宣道) ……1955
 されど神の言葉はつながられたるにあらず (ニーメラー) ……1962
 山上の垂訓 (トゥルナイゼン、他) ……1953 (*品切後『トゥルナイゼン著作集』第1巻に収録)
 山上の説教 (菊池吉弥) ……1983
 山上の説教を生きる (モルトマン) ……1985
 サンタクロースのお手伝い (ジーゲンターラー) ……1988
 讃美歌物語 3 (佐々木祐編) ……1954

 し

死 (ユンゲル) ……1972
 椎名麟三 (吉村善夫) ……1955
 然りと否 (浅野順一) ……1946
 時間と空間のかたに (茂 洋) ……1972
 時間に追われる人間 (佐藤敏夫) ……1990
 死刑廃止とキリスト教 (死刑廃止キリスト者連絡会) ……1994
 自己確認の旅 (大島孝一) ……1980
 自殺の危機 (リングエル) ……1976
 十戒の倫理と現代世界 (笠井恵二) ……2002
 十戒 (シュタム/アンドリュウ) ……1980

実践する神秘主義 (アンダーヒル) ……2015
 実践的伝道論研究 (吉岡 繁) ……1996
 実存と歴史 (マイケルソン) ……1968
 史的イエスの探求 (ツァールト) ……1971
 自伝・日記・手紙・年譜 (鈴木正久4) ……1980
 児童説教 (西阪保治) ……1951
 使徒行伝と歴史 (トロクモ) ……1969
 使徒行伝要解 (吉岡 勝) ……1955
 使徒信条 (森本あんり) ……1995
 使徒的な教会 (ウイズロー) ……1965
 使徒と天才の相違 (ケルケゴール) ……1948
 死の理解 (浅野順一編) ……1946
 詩篇 旧約註解合本 (松田明三郎) ……1964
 詩篇 1-75 (ケンブリッジ旧約聖書註解 13) ……1984
 詩篇 76-150 (ケンブリッジ旧約聖書註解 14) ……1984
 詩篇講解抄 (ルター) ……1961
 詩篇選訳 (浅野順一) ……1962
 詩篇入門 (バルト) ……1967
 島の牧師 (白川藤太郎) ……1972
 市民社会の中の信仰 (宮田光雄) ……1964
 使命に生きる教会の建設 (森野善右衛門) ……1983
 社会的激変に対決する教会 (WCC 総会報告) ……1961
 主イエスよ来たり給え (安 柄茂、他) ……1978
 シュヴァイツァー (笠井恵二) ……1989
 宗教改革研究 論文集 (岸 千年、他) ……1968
 宗教改革者カルヴァン (渡辺信夫) ……1962
 宗教改革者ルターとその周辺 (石原 謙) ……1967
 宗教改革の世界的影響 (リッター) ……1967
 宗教史大系 (ソーセー) ……1945
 宗教と現世 (内村鑑三) ……1980
 宗教文集 (綱島梁川) ……1948
 宗教法人の解説と運営 (吉田孝一) ……1947
 宗教を考える (小泉達人) ……1996
 十字架 (植村正久) ……1947
 十字架と革命 (モルトマン) ……1974
 十字架につく神 (戸田伊助) ……2006
 十字架のイエスに会った人々 (シュトゥルンク) ……1985
 自由の原点・インマヌエル (滝沢克己) ……1969
 自由の証人 (杉原 助) ……1980
 自由の神学 (山本 和) ……1963
 自由の道しるべ (ロホマン) ……1985
 自由の要求 (ゴルヴィツァー) ……1964
 終末をつげる群れ (MOL 編) ……1974
 主体性の基盤 (高橋三郎) ……1975
 出エジプト記 (エリソン) ……1991
 出エジプト記 (ケンブリッジ旧約聖書註解 2) ……1981
 受肉のキリスト (熊野義孝、赤木善光) ……1975

受肉の信仰 (隅谷三喜男) ……1982
 主の道を生きて (加藤常昭) ……1964
 主の眼をすえて (大野寛一郎) ……1975
 主の祈り・十誡 (宮内 彰) ……1948
 主の生涯のパレスチナ (小河内美男) ……1977
 主よ、われら誰に行かん (井上良雄) ……1970
 シュライエルマッハー (ゲリッシュ) ……2000
 シュライエルマッヘル (石井次郎) ……1948
 シュラッター新約聖書講解
 2 マルコによる福音書 ……1977
 3 ルカによる福音書 ……1976
 4 ヨハネによる福音書 ……1978
 5 使徒行伝 ……1978
 6 ローマ人への手紙 ……1977
 7 コリント人への第一の手紙 ……1978
 8 コリント人への第二の手紙 ……1978
 9 ガラテヤ・エペソ書 ……1976
 10 ピリピ・コロサイ・ピレモン ……1977
 11 テサロニケ・テモテ・テトス書 ……1979
 12 ヘブル人への手紙 ……1977
 13 ヤコブ・ペテロ・ユダ書 ……1979
 14 ヨハネの手紙・黙示録 ……1979
 別巻 自伝・総索引 ……1979
 終末論・キリスト論・教会論 (熊野義孝著作集 5) ……1979
 主を覚え、死を忘れるな (雨宮栄一) ……2002
 巡礼者 (高倉徳太郎) ……1948
 障害者神学の確立をめざして (NCC) ……1988
 「常識」の壁に向かって (東京・障害者問題を考える集い編) ……1994
 象徴としての哲学 (宮本武之助) ……1948
 少年イエス (西阪 盾) ……1952
 逍遙するキリスト者 (ケルケゴール) ……1970
 勝利の信仰 (バルト) ……1958
 初期キリスト教史の諸問題 (荒井 献) ……1973
 女性解放とキリスト教 (クライスト、他編) ……1982
 女性たちの聖書注解 (ニューサム、他編) ……1998
 神学概論 (熊野義孝著作集 4) ……1982
 神学総論 (メランヒトン) ……1949
 神学とは何か (ワイルズ) ……1986
 神学の展望 (モルトマン) ……1971
 神学の方法と内容 (清水 正) ……1991
 神学要綱 (キルン) ……1962
 神学論文 下 (ウェズレー著作集 7) ……1973
 神学論文集 I (ブルトマン著作集 11) ……1986
 神学論文集 II (ブルトマン著作集 12) ……1981
 神学論文集 III (ブルトマン著作集 13) ……1984
 箴言 (興相正敏) ……1986
 箴言 (ケンブリッジ旧約聖書註解 15) ……1983
 人権の思想 (テート、フーバー) ……1980
 信仰告白 (バルト) ……1953 (*品切後『バルト著

作集』第9巻に収録)
 信仰生活入門 (石島三郎) ……1962
 信仰短言 暁に翼をひろげ (小池創造) ……2005
 信仰と自然科学との対話 (ワイツゼッカー、他) ……1963
 信仰と人生 (山本泰次郎) ……1952
 信仰と歴史 (ニーバー、R. H.) ……1950
 信仰の五つの柱 (フェレー) ……1959
 信仰の生活 (植村正久) ……1946
 信仰の論理 (三谷隆正) ……1970
 信ずること (ネラン編) ……1974
 真人の共同体 (竹中正夫) ……1962
 新生 (福田正俊) ……1946
 新撰讃美歌 (原 恵解説) ……1979
 新日本建設原理 (山谷省吾) ……1945
 新約外典概説 (蛭沼寿雄) ……1953
 新約講解
 1 共観福音書 (熊野義孝) ……1952 (*品切後『熊野義孝全集』第1巻に収録)
 2 ヨハネ伝・使徒行伝 (村田四郎、山谷省吾) ……1954
 新約思想の探求 (八木誠一) ……1972
 新約聖書 (蓮見和男) ……1955
 新約聖書 現代語訳 (柳生直行) ……1985
 新約聖書案内 (ハンター) ……1972
 新約聖書概論 (高柳伊三郎) ……1952
 新約聖書ギリシャ語入門 (左近義慈) ……1953
 新約聖書語句研究 (松本卓夫) ……1951
 新約聖書神学概論 (コンツェルマン) ……1974
 新約聖書神学概論 (石島三郎) ……1954
 新約聖書神学辞典 (小塩 力編) ……1949
 新約聖書註解
 上 福音書～使徒行伝 (熊野義孝監修) ……1956
 下 手紙～黙示録 (熊野義孝監修) ……1958
 新約聖書通論 (竹森満佐一) ……1958
 新約聖書と解釈 (松木治三郎) ……1986
 新約聖書と神話論 (ブルトマン) ……1954
 新約聖書入門 (笠原義久) ……2000
 新約聖書の手引き (高柳伊三郎、高崎 毅) ……1952
 新約聖書本文批評 (蛭沼寿雄) ……1965
 新約聖書物語 (ニーバー、R. H.) ……1960
 新約全書 (ブラウン) ……2011
 真理と自由 (村田四郎) ……1946
 真理の言葉 (バーンハウス) ……1954

 す

杉田つる博士小伝 (石原兵編) ……1958
 救い主イエス様のご一生 (ディケンズ) ……1981
 救われし人々 (斎藤喜代子) ……1953
 鈴木正久著作集 4 (自伝・日記・手紙・年譜) ……1980

図説・旧約聖書の歴史と文化（ジョーンズ）……1973

せ

正義がわれを呼ぶとき（朴 永昌）……1980
 世紀の人シエウツェル（鈴木俊郎編）……1948
 聖餐式のための説話（ケルケゴール）……1949
 政治・社会問題論文集 上（カール・バルト著作集6）……1969
 政治・社会問題論文集 下（カール・バルト著作集7）……1975
 聖書（ドッド）……1953
 聖書解釈試論（岡村民子）……1964（*『岡村民子著作集』第3巻に収録）
 聖書解釈の歴史（グラント）……1966
 聖書学論文集 I（ブルトマン著作集7）……1982
 聖書クイズ・ブック（カリンスキー）……1978
 聖書研究（ボンヘッファー選集9）……1965
 聖書少年文庫
 1 世界のはじめ（吉野丈夫）……1957
 2 イスラエルの父（海老沢宣道）……1957
 3 エサウとヤコブ（中村妙子）……1957
 4 ヨセフ物語（岩村安子）……1957
 5 雲のはしら（野辺地天馬）……1956
 6 勇ましい士師達（吉田源治郎）……1957
 7 ルツ物語（阿部光子）……1956
 8 サムエル物語（西阪保治）……1957
 9 ダビデ王物語（由木 康）……1957
 10 エリヤとエリシャ（石川儀一）……1957
 11 神の言葉を伝えた人々（深津文雄）……1957
 12 神の言葉を伝えた人々（田坂惇己）……1957
 13 エステル物語（村岡花子）……1956
 14 苦しみに勝った人（賀川豊彦）……1957
 15 ダニエル物語（関根文之助）……1956
 16 神様の都（山本 彰）……1957
 17 イエス・キリスト（上沢謙二）……1956
 18 イエス・キリスト（上沢謙二）……1957
 19 12人の弟子（小出正吾）……1957
 20 パウロ（高田 彰）……1958
 聖書神学（熊野義孝著作集3）……1979
 聖書新辞典（新教出版社編）……1952
 聖書大辞典（日曜世界社編）……1951
 聖書大辞典 増補（新教出版社編）……1951
 聖書と現代社会（太田道子／佐藤 研）……1991
 聖書と信仰（戸島貫太郎）……1979
 聖書とは何か（興梠正敏）……1968
 聖書とわたしたち 1～3（佐伯晴郎）……1966
 聖書における人間の主体性（岡村民子）……1969（*『岡村民子著作集』第4巻に収録）
 聖書に方向を見出す（寺田 博）……1974
 聖書に見る女性差別と解放（ショットロフ）……1986

聖書のイエスと現代の思惟（滝沢克己）……1965
 聖書のキリストと実存（八木誠一）……1967
 聖書の時間1（佐野 昇）……1977
 聖書の時間2（佐野 昇）……1978
 聖書の女性 旧約篇（カイバー）……1980
 聖書の女性 新約篇（カイバー）……1980
 聖書の真髄（深津文雄）……1953
 聖書の物語とリクール哲学（ヴァンファーザー）……1999
 聖書のらい（犀川一夫）……1994
 聖書の靈感と権威（ウォーフフィールド）……1959
 聖書物語 旧新約合本（ニーバー、R. H.）……1953
 聖書論（渡辺善太）
 1 正典論……1949
 2 解釈論……1954
 3 聖書神学論……1963
 聖書を貫く救済史観（岡村民子）……1972（*『岡村民子著作集』第3巻に収録）
 聖戦（バニヤン）……1957
 聖想100篇（田辺 保編訳）……1960
 聖徒の交わり（ボンヘッファー選集1）……1963
 性の進歩と愛の調和（マタイス）……1974
 聖霊とキリスト教の生活（バルト）……1965（*後に『バルト著作集』第1巻に収録）
 聖霊は女性ではないのか（モルトマン＝ヴェンデル編）……1996
 世界の命キリスト（W C C）……1983
 世界のはじまり（西阪保治）……1954
 世界の光（福田正俊）……1968
 世界のよろこび（鶴田雅二）……1946
 せせらぎのほとり（せせらぎ会）……1986
 世俗化時代の信仰（コックス）……1969
 説教の本質と実際（バルト）……1977
 絶対恩寵の宗教（高木順一）……1977
 雪片（ウイン）……1957
 宣教する教会の説教（岩崎 謙）……2003
 宣教の神学（クレマー）……1960
 閃光録（黒崎幸吉）……1975
 戦時下キリスト教の抵抗と挫折（金田隆一）……1985
 戦争責任と戦後責任（渡辺信夫）……1971
 戦争と平和について（関根正雄）……1950
 戦争・ナチズム・教会（河島幸夫）……1993
 戦争の罪責を担って（渡辺信夫）……1994
 戦争・平和・キリスト者（ペイントン）……1963
 洗礼 その起源と意義（小林信雄）……1956
 洗礼とは何か（バルト、クルマン）……1971

そ

創世記・出エジプト記 旧約註解合本（高橋虔、他）……1967
 創造（ヴェスターマン）……1972

創造と墮落（ボンヘッファー）……1972（*「ボンヘッファー聖書研究 旧約編」に収録）
 続・黒崎幸吉著作集1 旧約研究……1990
 続・受肉のキリスト（石黒美種）……1978
 続・目で見える聖書の世界（馬場嘉一）……1977
 祖国の罪を負う者（渡辺善太）……1946
 その日の広島（松本卓夫、四竜一郎）……1965
 その故は神知りたもう（シュザンヌ）……1961
 存在の喜びの神学（モルトマン）……1973
 存在への勇氣（ティリッヒ）……1969

た

大学革命の原点を求めて（滝沢克己）……1969
 大正デモクラシー・天皇制・キリスト教（富坂キリスト教センター）……2001
 代祷（小塩 力）……1948
 対論 教会と無教会（無教会史研究会）……1995
 台湾山地伝道記（井上伊之助）……1960
 高倉徳太郎とその時代（佐藤敏夫）……1983
 滝沢克己 人と思想（追悼論文集刊行会編）……1986
 滝沢克己とバルト神学（浜田達男）……1974
 他者中心なる神（高橋敬基）……1973
 他者のための教会（森野善右衛門）……1980
 戦いの視点（高橋三郎）……1977
 戦う教会（堀 光男）……1970
 戦うキリスト（バークレー）……1969
 戦う使徒たち（バークレー）……1971
 ただ神の栄光のために（シュティッケルベルガー）……1956
 ただ進み進みて（森岡 巖）……2011
 ただひとつの慰め（ガウルース）……1980
 たどい我死の陰の谷を歩むとも（ボンヘッファー）……1956
 田中剛二著作集
 1 新約聖書の終末論……1982
 2 カルヴァン……1984
 3 ガラテヤ書講義……1985
 4 説教……1986
 ダニエル書・ホセア書・アモス書（ケンブリッジ旧約聖書註解18）……1981
 楽しいみんなのクリスマス（チャップマン）……1983
 誰が信じ得たか（興梠正敏）……1980

ち・つ

小さき花（テレジア）……1952
 小さな鳥からの大きな問い（平良 修）……1998
 知恵の招き（クレンショウ）……1987
 知識・信仰・道徳（三谷隆正）……1971
 知解を求める信仰（カール・バルト著作集8）……1963

父と母のこと（井上おきつ）……1966
 「乳と蜜の流れる地」から（山森みか）……2002
 地の果ての証人たち（MOL編）……1976
 地の基ふるい動く（ティリッヒ）……1974
 中国の家の教会（R. フンボン）……1984
 中国のキリスト者はかく信ず（丁光訓他）……1984
 長老制とは何か（澤 正幸）……1992
 沈黙と愛（松木治三郎）……1966（*『松木治三郎著作集』第5巻に収録）
 杖の音（吉成 稔）……1977
 塚本虎二訳 新約聖書……2011
 津地鎮祭違憲訴訟（津地鎮祭違憲訴訟を守る会）……1972

て

出会いと摂理（ティリーケ）……1985
 出会いの広場（小川圭治）……1995
 出会いの論理（菅 支那）……1982
 デイトリヒ・ボンヘッファー（ペートゲ夫妻）……1992
 デイリー・スタディー・バイブル（DSB）
 3（出エジプト記）……1991
 7（ヨシュア記・士師記・ルツ記）……1998
 8（サムエル記）……1993
 13（詩篇 I）……1991
 17（イザヤ書 I）……1988
 19（エレミヤ書・哀歌）……1987
 22（十二預言書 I）……1989
 23（十二預言書 II）……1989
 テイリッヒ組織神学の構造（茂 洋）……1971
 転換期に生きる（大串元亮）……1975
 転換期に立つ神学（ホーダーン）……1969
 天国と地獄の離婚（ルイス）……2006
 天国に関する研究（藤井 武）……1947
 天国についてのすべて（クリーフト）……1983
 伝道者ソロモン（リュティ）……1975
 天皇制下のキリスト教（塚田 理）……1981
 天皇制を考える（立教女学院短期大学公開講座編）……1991

と

ドイツ教会闘争への道（クビッシュ）……1967
 ドイツ神学（ルター編）……1949
 統一教会（和賀真也）……1978
 道徳と宗教（田辺 保）……1970
 トゥルナイゼン著作集1（ピリピン人への手紙・山上の説教）……1986
 遠き広き国へ（橋本郁子）……1995
 ドーラの五つの星（スピーリ）……1956
 時の徴（福田正俊、小塩 力）……1948
 土岐林三説教集……1972
 ドストエフスキー（トゥルナイゼン）……1957（*

『トゥルナイゼン著作集』第6巻に収録)
 トマス・ウィン伝 (中沢正七編) ……1967
 富める社会と解放の神学 (ベイヤー) ……1990
 共に歩むキリスト (渡辺総一) ……2004
 共に生きる (高倉雪江編) ……1987
 奴隷と自由 (ベルジャエフ) ……1953
 奴隷の宗教 (田辺 保) ……1970

な

内面への旅 (ゼレ) ……1983
 中村獅雄著作集 1-3……1968
 流れに抗して (池 明観) ……1966
 泣く者と共に (梶原 寿) ……1972
 夏目漱石の思想 (滝沢克己) ……1968
 何ぞ御霊を試みんとするか (高柳伊三郎) ……1947
 悩める魂への慰め (ブルームハルト) ……1975
 ナルニヤの国は遠くない (柳生 望) ……1981
 汝我と共にパラダイスにあるべし (玉井義治編)
 ……1954

に

新島 襄 (吉田曠二) ……1988
 西ドイツ教会事情 (村上 伸) ……1984
 西ドイツの空の下で (村上 伸) ……1969
 二十世紀神学の展望 (モルトマン) ……1989
 二十世紀の世界像と信仰 (シュライ) ……1964
 20 世紀のプロテスタント神学上 (ツァールント)
 ……1975
 日曜日 (ボンヘッファー) ……1987
 日韓キリスト教関係史資料 1 (小川圭治、池 明観)
 ……1984
 日韓キリスト教関係史資料 2 (富坂キリスト教セン
 ター) ……1995
 日韓キリスト教交流史 (呉 允台) ……1968
 日本基督教会北海道中会記録 (歴史編纂委員会)
 ……1985
 日本キリスト教団教会論 (雨宮栄一) ……1981
 日本近代詩とキリスト教 (佐藤泰正) ……1968
 日本語聖書翻訳史 (門脇 清、大柴 恒) ……1983
 日本人と靖国問題 (戸村政博編著) ……1971
 日本人の回心 (野村耕三) ……1976
 日本人の終末観 (野村耕三) ……1981
 日本におけるブルンナー (中沢治樹、川田殖編)
 ……1974
 日本の教会と信仰告白 (堀 光男) ……1970
 日本の教会の行くえ (高崎 毅) ……1966
 日本のキリスト教 (熊野義孝著作集 12) ……1982
 日本のキリスト教とバルト (新教出版社編) ……
 1986
 日本のキリスト教の現在と将来 (新教出版社編)
 ……1985
 日本の近代化とキリスト教 (同志社大学人文研究所

編) ……1973
 日本の告白教会の形成 (雨宮栄一) ……1975
 日本の再出発 (カー) ……1951
 日本のファシズムと靖国問題 (戸村政博編著) ……
 1974
 日本プロテスタント史論 (隅谷三喜男) ……1983
 入門 解放の神学人間 (ボフ) ……1999
 人間 (シン) ……1969
 人間 (ブルンナー) ……1956
 人間解放とキリスト教教育 (文 東煥) ……1975
 人間解放の神学 (リューサー) ……1976
 人間苦とキリスト (ジョーンズ) ……1951
 人間であること (赤岩 栄) ……1959
 日本で考えたこと (呉 英元) ……1993
 人間とキリスト (松木治三郎) ……1955 (*後に『松
 木治三郎著作集』第2巻に収録)
 人間と社会 (ビエレレー) ……1964

ね・の

ネパール通信 (岩村 昇、岩村史子) ……1968
 ネパールで起こった奇蹟 (岩村 昇、岩村史子)
 ……1973
 ネパールのはるかな道 (桜井正恵) ……1978
 ネパールの一粒の麦 (岩村 昇、岩村史子) ……
 1975
 ノアの方舟 (西阪保治) ……1955
 望みなき時にも (戸田伊助) ……1976
 …のような気がする (岩崎賢江) ……1985

は

ハイデルベルク信仰問答講解 (ベリー) ……1971
 パウル・シュナイダーの殉教 (シュナイダー) ……
 1974
 パウロ (波多野精一) ……1947
 パウロ (ディベリウス) ……1965
 パウロ (ボルンカム) ……1970
 パウロ (山谷省吾) ……1964
 パウロ思想概説 (村田四郎) ……1957
 パウロとイエス (エンゲル) ……1970
 パウロの自伝 (柏井 圃) ……1952
 パウロの神学 (山谷省吾) ……1950
 パウロの手紙 (小林 宏) ……1976
 パウロの手紙講話 (山谷省吾) ……1967
 白馬に乗れるロゴス (三浦アンナ) ……1957
 派遣される教会 (森野善右衛門) ……1957
 母モニカ (アウグスティヌス) ……2007
 バプテスト教会の形成 (メアリング、ハドソン)
 ……1992
 林竹治郎画集……1979
 林文雄の生涯 (おかのゆきお) ……1974
 パラの乙女 (スピーリ) ……1950
 バルト自伝 (バルト) ……1961

バルト初期神学の展望 (トーランス) ……1977
 バルト神学における神と人間 (近藤定次) ……1950
 バルトとの対話 (ゴッドシー) ……1965
 バルト＝ボンヘッファーの線で (クラッパート)
 ……1996
 バングラデシュに生きて (宮崎 亮／宮崎安子)
 ……1989
 半月の詩 (木村伊佐) ……1976
 パンセ (バスカル) ……1966
 『パンセ』の原点をさぐる (田辺 保) ……1976

ひ

東と西の間にある教会 (バルト) ……1951 (*後に
 『バルト著作集』第7巻に収録)
 光と闇を越えて (ハル) ……1996
 光遙かに (武岡洋治) ……1996
 低きに下りたもうて (高崎光正) ……1996年
 被告席に立つ神 (ルイス) ……1998
 日ごとの讃美 (テゼー共同体) ……1982
 一つなる教会 (クレイグ) ……1955
 一粒の麦死なずば (宮田光雄) ……1987
 人はひとりである (浅野順一) ……1969
 火花よこの闇を照らせ (金 一哲) ……1979
 日々の糧 聖書の日課 (赤岩 栄編) ……1946
 ヒューマニズム (バルト) ……1951 (*後に『バル
 ト著作集』第5巻に収録)
 ヒューマニズムを越えるもの (内坂 晃) ……1982
 ビューリタニズムの倫理思想 (大木英夫) ……1966
 病気になった時 (ビーバー) ……1975
 病床から病床へ (病院伝道文書刊行会) ……1951
 病床の花 (病院伝道文書刊行会) ……1951
 ビリビ人への手紙・山上の説教 (トゥルナイゼン著
 作集 1) ……1986
 ビリビ・ビレモン書 (山谷省吾) ……1948
 翻って生きよ (小副川幸孝) ……1996
 ひろしまを考える旅 (日本 YMCA 編) ……1983
 ヒロファンとミサファン (中牧美抄子) ……2002

ふ

深き淵より (アンダーソン) ……1989
 福音主義教会の形成の課題 (加藤常昭) ……1973
 福音書概説 (高柳伊三郎) ……1951
 福音信仰と現実 (原田博充) ……1978
 福音的基督教 (高倉徳太郎) ……1955
 福音と律法 (バルト) ……1952 (*後に新教新書)
 福音に生きる (森野善右衛門) ……1981
 福音にふさわしく (柏井忠夫) ……1970
 福音の真理 (宮本武之助) ……1952
 福音の歴史化と回心の神学 (野村耕三) ……1988
 福永武彦巡礼 (水谷昭夫) ……1989
 福田正俊著作集 1 (説教集) ……1993
 不死 (ベットナー) ……1957

ふしぎなたまごのおほなし (シュロースマッハー／
 ギター) ……1999
 二つとなき福音 (NCC 文書編) ……1955
 復活 (ヴィルケス) ……1971
 復活の福音 (ナイルズ) ……1976
 覆刻 新撰讃美歌 (原 惠解説) ……1979
 覆刻『志無也久世無志與』(ブラウン) ……2008
 覆刻 讃美歌并楽譜 (神戸女学院大編) ……1991
 覆刻 明治初期讃美歌……1978
 父母とわれら (植村 環) ……1966
 フランチェスコ物語 (高崎 毅) ……1959
 ブルトマン著作集
 7 (聖書学論文集 I) ……1982
 12 (神学論文集 II) ……1981
 13 (神学論文集 III) ……1984
 ブルームハルト (トゥルナイゼン) ……1965 (*後
 に『トゥルナイゼン著作集』第6巻に収録)
 プロセス神学の展望 (カブ、グリフィン) ……1978
 年
 プロテスタンティズムと伝統 (赤木善光、石黒美種)
 ……1988
 プロテスタンティズムになぜ聖餐は必要か (佐藤敏
 夫) ……1996
 プロテスタンティズムの明日 (カー) ……1954
 プロテスタントの神学 (清水義樹) 1……1961
 プロテスタントの神学 (清水義樹) 2……1963
 文化と倫理 (シュバイツァー) ……1953
 文化の神学 (ティリッヒ) ……1969
 文化の没落と再建 (シュバイツァー) ……1951

へ

平和 (シュミット、H) ……1973
 平和憲法とともに (稲正樹ほか編) ……2020
 平和憲法を守るキリスト者 (深瀬忠一、橋本左内)
 ……1968
 平和の神学 (テート) ……1984
 平和への巡礼 (吉田 満) ……1982
 平和を可能にする神の国 (ハワーラス) ……1992
 平和を願う遺族の叫び (小川武満) ……1983
 ヘール日本伝道記 (ヘール) ……1969
 ベツレヘムの星 (水野良平) ……1959
 ベテスタ (麻生信吾) ……1946
 ベテスタの池のほとりで (中川恒子) ……1972
 ヘブライズムの人間感覚 (並木浩一) ……1997
 ヘブル書要解 (近藤治義) ……1957
 弁証法神学の倫理思想 (山本 和) ……1961

ほ

望楼に立つ (江口武憲) ……1969
 ホーリネス・バンドの奇跡 (弾正史刊行会) ……
 1983
 星は導く (赤岩 栄) ……1945

教会百話 (多田 素、吉田満穂) ……1969
 微笑みをください (青木義昭) ……1985
 頌むべきかな (梅染信夫) ……1993
 ボランティアのカウンセリング技法 (フォード、メリマン) ……1995
 ボンヘッファー家のクリスマス (S. ボンヘッファー) ……1993
 ボンヘッファー獄中詩篇 ……1989
 ボンヘッファー獄中書簡集 ……1988
 ボンヘッファー説教全集 2 ……2004
 ボンヘッファー選集
 1 (聖徒の交わり) ……1963
 2 (行為と存在) ……1965 (*新訳を2007年に刊行)
 3 (キリストに従う) ……1966 (*新教セミナーブックで復刊)
 4 (現代キリスト教倫理) ……1966 (*新教セミナーブックで復刊)
 5 (抵抗と信従) ……1964
 6 (告白教会と世界教会) ……1968 (*新教セミナーブックで改訂復刊)
 8 (説教) ……1964
 9 (聖書研究) ……1965
 ボンヘッファーの世界 (パートゲ) ……1981

ま

マーティン・L・キング (ベネット) ……1966
 マクサの子供たち (スピーリ) ……1950
 貧しい人々と福音 (シュテーターゲマン) ……1982
 貧しき信徒 (八木重吉) ……1958
 増田孝著作集 1～4 ……1991～95
 マリアとは誰だったのか (モルトマン・ヴェンデル／キュンク) ……1993
 マルクス主義と基督教 (矢内原忠雄) ……1947
 マルクス主義からの問い (マコヴェック) ……1970
 マルクス主義の宗教批判 (ゴルヴィツァ) ……1967
 マルコ伝要解 (赤岩 栄) ……1957
 マルティン・ニーメラー (シュミット、D) ……1966
 マルティン・ルター (青山四郎) ……1968

み

み国をめざして (水野源三) ……1984
 み言を求めて (熊野清子) ……1989
 水と原生林のはざまにて (シュヴァイツァー) ……1950
 道しるべ (島 勉) ……1979
 未来 (マルシュ) ……1972
 民衆宗教の時代 (コックス) ……1978
 民主救国の道 (金 大中) ……1980
 民話の神学 (宋 泉盛) ……1984

む・め・も

無教会史Ⅱ (中澤洽樹) ……1970
 無教会精神の探求 (高橋三郎) ……1970
 椋の木池物語 (吉武 誠) ……2002
 無神論者のための福音 (ロマー・ドカ) ……1964
 無力の力強さ (モルトマン) ……1998
 明治人物拾遺物語 (秋山繁雄) ……1982
 目覚めている精神の輝き (ルイス、キルビー編) ……1982
 メシアは夢か幻か (大庭昭博) ……2000
 メシアと受難の秘密 (シュヴァイツァー) ……1956
 目でみる聖書の世界 (馬場嘉市) ……1975
 もう一人の羊飼 (ウィルソン) ……1959
 燃える花なれど (水谷昭夫) ……1986
 モーセ物語 (吉野丈夫) ……1949
 最も大なるものは愛である (斎藤久吉) ……1988
 ものがたり説教 (西阪保治) ……1953
 もはや悲しみも痛みもなく (ハガイ) ……1980
 燃やしつくす火 (マクドナルド) ……1983
 森 明著作集 (基督教共助会編) ……1970
 モルトマン組織神学論叢 1 三位一体と神の国 ……1990
 モルトマン組織神学論叢 2 創造における神 ……1991
 モルトマン組織神学論叢 3 イエス・キリストの道 ……1992
 モルトマン組織神学論叢 4 いのちの御霊 ……1994
 モルトマン組織神学論叢 5 神の到来 ……1996

や・ゆ

約束の大地へ (野呂幸子) ……1992
 ヤコブ・ユダ書要解 (高柳伊三郎) ……1957
 靖国公式参拝を批判する (新教出版社編) ……1985
 靖国神社法案の問題点 (東京弁護士会編) ……1976
 靖国闘争 (戸村政博編著) ……1970
 靖国問題と戦争責任 (戸村政博編著) ……1973
 安らかな死と生を求めて (高橋泰二) ……1993
 病と死についての瞑想 (パスカル) ……1959
 闇を照らした人々 (葛井義憲) ……1992
 ユーカリの実るを待っていた (内田 守編) ……1976
 勇気の源泉 (島崎暉久) ……1986
 雪国の小さな高校 (武 祐一郎) ……2000
 誘惑 (ボンヘッファー) ……1958 (*『ボンヘッファー聖書研究 旧約編』に収録)
 豊かな結婚生活を (メイス夫妻) ……1980
 ユダヤ終末論におけるギリシャの影響 (グラッソン) ……1984
 夢と現実主義 (高橋三郎) ……1972
 ゆるぎなき権威? (キュンク) ……1973

よ

夜明けの光 (小島誠志) ……2000
 よき力に不思議に守られて (石原 博) ……1990
 抑圧された者の神 (コーン) ……1976
 預言者アモス (リュティ) ……1975
 預言者エレミヤ (ヴェスターマン) ……1998
 預言者ダニエル (リュティ) ……1978
 預言者ネヘミヤ (リュティ) ……1987
 預言者の信仰 (クレメンツ) ……1971
 預言者ハバクク・マラキ (リュティ) ……1982
 預言者ヤコブ (リュティ) ……1974
 ヨシヤ記 (ケンブリッジ旧約聖書註解 6) ……1982
 ヨセフ物語 (吉野丈夫) ……1952
 四つの愛 (ルイス、蛭沼沢) ……1977
 世に勝つ信仰 (NCC 文書編) ……1956
 世のいのちのために (シュメーマン) ……2003
 世の命キリスト (森野善右衛門) ……1983
 世の光キリスト (森野善右衛門) ……1979 (*「合本 世の光キリスト・世の命キリスト」に)
 世の光キリスト (WCC 第3回世界大会報告) ……1962
 ヨハネ書翰要解 (宮内 彰) ……1951
 ヨハネ伝要解 (森 好春) ……1951
 ヨハネによる福音書 (蓮見和男) ……1994
 ヨハネの黙示録を読む (泉 治典) ……2003
 ヨハネ福音書を読む (井上良雄) ……1998
 ヨハネ黙示録 上 (佐竹 明) ……1978
 ヨハネ黙示録 下 (佐竹 明) ……1989
 ヨハネ福音書の現代的理解 (ハンター) ……1985
 ヨハネ黙示録要解 (石島三郎) ……1953
 ヨブ記 (中澤洽樹) ……1991
 ヨブ記講解 (佐藤陽二) ……1971
 喜びに生きる 新版 (佐竹 明) ……2004
 喜びの日も涙の夜も (鈴木正久) ……1995

ら・り・る・れ

ラインホルド・ニーバーとアメリカ (鈴木有郷) ……1998
 ランバレネ通信 (シュヴァイツァー) ……1954
 理性 (オットー) ……1971
 良心的兵役拒否 (日本友和会) ……1967
 倫理学論文集 (バルト) ……1986
 ルカ (シュヴァイツァー) ……1985
 ルター・生涯と思想 (ストロール) ……1955
 ルター選集 1, 2 ……1948, 1949
 ルター篇 古典叢書 7 (NCC 文書編) ……1956

ルツ物語 (高橋マリア) ……1953
 ルツ記・エステル記・伝道の書 (ケンブリッジ旧約聖書註解 11) ……1981
 礼拝への招き (森野善右衛門) ……1997
 歴史と解釈学 (ブラーテン) ……1969
 歴史と現代 上 (熊野義孝著作集 10) ……1981
 歴史と現代 下 (熊野義孝著作集 11) ……1979
 歴史の中のイエス (川島貞真、中村民男編) ……1983
 レジャーの神学 (佐藤敏夫) ……1988
 列王記 (ケンブリッジ 旧約聖書註解 9) ……1980
 レビ記 (ケンブリッジ旧約聖書註解 3) ……1983
 レンブラント (ヴィサートーフト) ……1961
 レンブラントのイエス伝 (八代修次、海津忠雄) ……1975

ろ

ローマ書講義 (ルター) 上下巻 ……1959, 1960
 ローマ書新解 (バルト) ……1981
 ローマの信徒への手紙講解 (大島純男) ……1990
 ローマの人への手紙 (山谷省吾) ……1967
 ローマ書教理の理解 (中村獅雄) ……1954
 ローマ書・私訳と解釈 (山谷省吾) ……1952
 ローマ書・私訳と解釈 (プルンナー) ……1954
 魯迅の友 内山完造の肖像 (吉田曠二) ……1994

わ

若き人びとと共に (宮田光雄) ……1993
 わが心、主をあがめ (リルエ) ……1973
 わが魂の遍歴 (コーン) ……1987
 わが談話・わが宣教 (森 好春) ……1955
 わがふるさとネバル (岩村 昇、岩村史子) ……1970
 わが道の光 (興正正敏) ……1978
 私たちの『使徒行伝』増補版 (土戸清) ……2001
 私たちの人生案内 (佐古純一郎) ……1966
 私たちの救い主 (蓮見和男) ……1985
 私たちの聖書物語 (ラント、パウマン) ……1980
 わたしのランタン (河井 道) ……1968
 私はイエスに出会った (セントクレア) ……1955
 渡辺禎雄版画集「イエスの生涯」連作 ……1975
 私は三一の神を信ず (ゴーガルテン) ……2010
 私は初めなり終わりなり (リュティ) ……1960
 われ弱き時に強し (シュミット) ……1982
 われら何をすべきか (シュヴァイツァー) ……1975
 われらの信仰 (プルンナー) ……1966
 われらの救い主イエス (ハンター) ……1981